開講科目表

授業回数…◎＝週２回、○＝週１回、●＝週１回・２時限連続を表しています。
DP及び学修成果の項目については、「英語科卒業認定・学位授与の方針と開講科目との関連」(P.53) 及び「英語科卒業認定・学位授与の方針及び学修成果獲得の観点」 (P.62 ～ 64) を参照してください。

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
英語必修科目									講義内容（シラバス）→ P.1 ～ P.45		
ENG101	英語Ⅰ (再)	2			◎	◎	1	C.Oliver、Thomas	・クラス指定 ・PP.58-59(7)(8)「履修上の注意」参照 ・「英語Ⅰ」の評価が「F(不合格)」の学生に限り、履修が義務付けられます。	3	3-①
ENG102	英語Ⅱ (再)	2			◎	◎	1	神谷、M.Lupas	・クラス指定 ・PP.58-59(7)(8)「履修上の注意」参照 ・「英語Ⅱ」の評価が「F(不合格)」の学生に限り、履修が義務付けられます。	3	3-①
ENG201	英語Ⅲ	2			◎		2	Thomas、R.Burton、O.Ilina、O.Massoud、M.Wilkinson、J.Zhang	・クラス指定 ・P.58(7)「履修上の注意」参照	3	3-①
ENG201	英語Ⅲ (再)	2				◎	2	神谷	・クラス指定 ・PP.58-59(7)(8)「履修上の注意」参照 ・「英語Ⅲ」の評価が「F(不合格)」の学生に限り、履修が義務付けられます。	3	3-①
ENG202	英語Ⅳ	2				◎	2	G.Freddes、O.Ilina、岩崎、P.McQuilling、O.Massoud、M.Wilkinson	・クラス指定 ・P.58(7)「履修上の注意」参照	3	3-①
ENG111	TOEIC対策講座Ⅰ (再)	1			○	○	1	神谷、M.Lupas	・クラス指定 ・PP.58-59(7)(8)「履修上の注意」参照 ・「TOEIC対策講座Ⅰ」の評価が「F(不合格)」の学生に限り、履修が義務付けられます。	3	3-②
ENG112	TOEIC対策講座Ⅱ (再)	1			○	○	1	C.Oliver、Thomas	・クラス指定 ・PP.58-59(7)(8)「履修上の注意」参照 ・「TOEIC対策講座Ⅱ」の評価が「F(不合格)」の学生に限り、履修が義務付けられます。	3	3-②
英語選択必修科目（英語スキルズ）									講義内容（シラバス）→ P.46 ～ P.73		
ENG120	基礎英語スキルズ (文法・語彙)		2		◎		1・2	J.Zhang	[人]15名	3	3-③
ENG126	基礎英語スキルズ (リーディング・ライティング)		2			◎	1・2	岩崎	[人]15名	3	3-③
ENG150	標準英語スキルズ (職場の英語)		2		◎		1・2	M.Wilkinson	[人]15名	3	3-③
ENG158	標準英語スキルズ (ディスカッション)		2		◎		1・2	O.Massoud	[人]15名	3	3-③

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
ENG161	標準英語スキルズ(編入対策)		2		◎		1・2	岩崎	[人]15名	3	3-③
ENG166	標準英語スキルズ(ホスピタリティの英語)		2		◎		1・2	R.Burton	[人]15名	3	3-③
ENG167	標準英語スキルズ(日本の文化)		2		◎		1・2	宮崎	[人]15名	3	3-③
ENG168	標準英語スキルズ(メディア・ニュースの英語)		2			◎	1・2	J.Zhang	[人]15名	3	3-③
ENG169	標準英語スキルズ(リーディング・ライティング)		2			◎	1・2	P.McQuilling	[人]15名	3	3-③
ENG182	準上級英語スキルズ(TOEICスピーキング・ライティング対策)		2		◎		1・2	P.McQuilling	[人]15名	3	3-②,3-③
ENG183	準上級英語スキルズ(多読速読)		2		◎		1・2	M.Lupas	[人]15名	3	3-③
ENG189	準上級英語スキルズ(ライティング・文法)		2			◎	1・2	R.Burton	[人]15名	3	3-③
ENG225	上級英語スキルズ(編入対策)		2		◎		1・2	永野	[人]15名	3	3-③
ENG229	上級英語スキルズ(SDGs)		2		◎		1・2	G.Freddes	[人]15名	3	3-③
教養必修科目									講義内容（シラバス）→ P.74 ～ P.75		
SCH100	人間学Ⅰ(再)	2			○	○	1	(春) 丹木 (秋) 小林	・クラス指定 ・PP.58-59(7)(8)「履修上の注意」参照 ・「人間学Ⅰ」の評価が「F(不合格)」の学生に限り、履修が義務付けられます。	1,2	1-①,2-①
教養選択科目									講義内容（シラバス）→ P.76 ～ P.141		
SCH101	人間学Ⅱ			2	○		1・2	小林		1,2	1-①,2-①
HST201	歴史学A			2	○		1・2	森下		2	2-①
HST202	歴史学B			2		○	1・2	森下		2	2-①
PHL203	哲学A			2	○		1・2	丹木		2	2-①
PHL204	哲学B			2		○	1・2	丹木		2	2-①
REL201	宗教学A			2	○		1・2	小林		1,2	1-①,2-①
REL202	宗教学B			2	○		1・2	小林		1,2	1-①,2-①
MUS201	音楽A			2	○		1・2	北村		2	2-①
MUS202	音楽B			2		○	1・2	北村		2	2-①
SOC201	社会学A			2	○		1・2	ミカロヴァー		2	2-①
SOC202	社会学B			2		○	1・2	ミカロヴァー		2	2-①
LAW211	日本国憲法A			2	○		1・2	ヒトロフ		2	2-①
LAW212	日本国憲法B			2		○	1・2	ヒトロフ		2	2-①

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
LAW201	法学A			2	○		1･2	ヒトロフ		2	2-①
LAW202	法学B			2		○	1･2	ヒトロフ		2	2-①
EDU201	教育学A			2	○		1･2	櫛桁		2	2-①
EDU202	教育学B			2	○		1･2	黒田		2,5	2-①,5-①
ECN201	経済学A			2	○		1･2	溝口		2	2-①
ECN202	経済学B			2	○		1･2	溝口		2	2-①
BUS201	経営学A			2	○		1･2			2	2-①
BUS202	経営学B			2		○	1･2			2	2-①
SWF201	社会福祉入門A			2	○		1･2	西牧		2	2-①
SWF202	社会福祉入門B			2		○	1･2	西牧		2	2-①
JRN202	マスメディア論A			2	○		1･2	吉武		2	2-①
JRN203	マスメディア論B			2		○	1･2	吉武		2	2-①
COM101	基礎コンピューター演習			2	○		1･2	坂本	[人]各18名	2	2-②
MTH201	数学A			2	○		1･2	坂本		2	2-①
MTH202	数学B			2		○	1･2			2	2-①
PSY201	心理学A			2	○		1･2	眞田		2	2-①
PSY202	心理学B			2		○	1･2	佐藤		2	2-①
PED100	体育理論(ウエルネスと身体)			2	○	○	1･2	若松		2	2-③
PED113	体育A			1	○		1･2	若松	[人]各20名	2	2-③
PED114	体育B			1		○	1･2	若松	[人]各20名	2	2-③
基礎選択科目（異文化理解領域）									講義内容（シラバス）→ P.142 ～ P.145		
REL210	キリスト教文化入門			4		◎	1･2	小林（輪講）		1,4	1-①,4-②
IDS210	異文化間コミュニケーション			4	◎		1･2	C.Oliver		3,4	3-④,4-②
基礎選択科目（英米文学研究領域）									講義内容（シラバス）→ P.146 ～ P.147		
LIT201	英文学概論			4	◎	◎	1･2	飯田		4	4-②
基礎選択科目（言語研究領域）									講義内容（シラバス）→ P.148 ～ P.151		
LNG200	言語学概論			4	◎	◎	1･2	(春) 近藤 (秋) 神谷		4	4-②
基礎選択科目（言語教育領域）									講義内容（シラバス）→ P.152 ～ P.153		
EDU205	児童英語教育概説			2	○	○	1･2	狩野		4,5	4-②,5-②

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
基礎選択科目									講義内容（シラバス）→ P.154 ～ P.177		
GMN101	ドイツ語Ⅰ			2	◎		1･2	工藤	PP.59-60(11)「履修上の注意」参照	4	4-①
GMN102	ドイツ語Ⅱ			2	◎	◎	1･2	工藤	・「ドイツ語Ⅰ」既修者か、それに相当する者に限る ・P.58(4)、PP.59-60(11)「履修上の注意」参照	4	4-①
FRN101	フランス語Ⅰ			2	◎		1･2	鈴木	PP.59-60(11)「履修上の注意」参照	4	4-①
FRN102	フランス語Ⅱ			2	◎	◎	1･2	鈴木	・「フランス語Ⅰ」既修者か、それに相当する者に限る ・P.58(4)、PP.59-60(11)「履修上の注意」参照	4	4-①
SPN101	スペイン語Ⅰ			2	◎		1･2	A.Gilabert	PP.59-60(11)「履修上の注意」参照	4	4-①
SPN102	スペイン語Ⅱ			2	◎	◎	1･2	A.Gilabert	・「スペイン語Ⅰ」既修者か、それに相当する者に限る ・P.58(4)、PP.59-60(11)「履修上の注意」参照	4	4-①
CHN101	中国語Ⅰ			2	◎		1･2	廣重	PP.59-60(11)「履修上の注意」参照	4	4-①
CHN102	中国語Ⅱ			2	◎	◎	1･2	廣重	・「中国語Ⅰ」既修者か、それに相当する者に限る ・P.58(4)、PP.59-60(11)「履修上の注意」参照	4	4-①
KOR101	韓国語Ⅰ			2	◎		1･2	丁	PP.59-60(11)「履修上の注意」参照	4	4-①
KOR102	韓国語Ⅱ			2	◎	◎	1･2	丁	・「韓国語Ⅰ」既修者か、それに相当する者に限る ・P.58(4)、PP.59-60(11)「履修上の注意」参照	4	4-①
JPN250	日本語表現法			2	○	○	1･2	鷲見	[人]各20名	4	4-①
SEF200	キャリアプランニング			2		○	1･2	森下（輪講）	同窓会寄附講座	4	4-①
専門必修科目									講義内容（シラバス）→ P.178 ～ P.231		
SES100	基礎ゼミナール(再)	2			○	○	1	(春)丹木 (秋)杉村	・クラス指定 ・PP.58-59(7)(8)「履修上の注意」参照 ・「基礎ゼミナール」の評価が「F(不合格)」の学生に限り、履修が義務付けられます。	2	2-④
SES150	プレ・ゼミナール(再)	2			○		1	杉村	・クラス指定 ・PP.58-59(7)(8)「履修上の注意」参照 ・「プレ・ゼミナール」の評価が「F(不合格)」の学生に限り、履修が義務付けられます。	4	4-③

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
SES200	ゼミナールⅠ(永野)	2			○		2	永野		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(近藤)	2			○		2	近藤		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(丹木)	2			○		2	丹木		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(森下)	2			○		2	森下		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(宮崎)	2			○		2	宮崎	・P.58(7)「履修上の注意」参照	4,5	4-④,5-①
SES200	ゼミナールⅠ(狩野)	2			○		2	狩野	・原則として、「ゼミナールⅠ」と「ゼミナールⅡ」は同一教員の担当科目を履修する。	4,5	4-④,5-②
SES200	ゼミナールⅠ(Oliver)	2			○		2	C.Oliver		3,4	3-④,4-④
SES200	ゼミナールⅠ(杉村)	2			○		2	杉村		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(神谷)	2			○		2	神谷		4	4-④
SES200	ゼミナールⅠ(小林)	2			○		2	小林		1,4	1-①,4-④
SES200	ゼミナールⅠ(Thomas)	2			○		2	Thomas		3,4	3-④,4-④
SES200	ゼミナールⅠ(Lupas)	2			○		2	M.Lupas		3,4	3-④,4-④
SES200	ゼミナールⅠ(再)	2				○	2	杉村	・クラス指定 ・PP.58-59(7)(8)「履修上の注意」参照 ・「ゼミナールⅠ」の評価が「F(不合格)」の学生に限り、履修が義務付けられます。	4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(永野)	2				○	2	永野		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(近藤)	2				○	2	近藤		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(丹木)	2				○	2	丹木		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(森下)	2				○	2	森下		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(宮崎)	2				○	2	宮崎	・P.58(7)「履修上の注意」参照	4,5	4-④,5-①
SES300	ゼミナールⅡ(狩野)	2				○	2	狩野	・原則として、「ゼミナールⅠ」と「ゼミナールⅡ」は同一教員の担当科目を履修する。	4,5	4-④,5-②
SES300	ゼミナールⅡ(Oliver)	2				○	2	C.Oliver		3,4	3-④,4-④
SES300	ゼミナールⅡ(杉村)	2				○	2	杉村		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(神谷)	2				○	2	神谷		4	4-④
SES300	ゼミナールⅡ(小林)	2				○	2	小林		1,4	1-①,4-④
SES300	ゼミナールⅡ(Thomas)	2				○	2	Thomas		3,4	3-④,4-④
SES300	ゼミナールⅡ(Lupas)	2				○	2	M.Lupas		3,4	3-④,4-④
専門選択科目（異文化理解領域）										講義内容（シラバス）→ P.232 ～ P.249	
HST310	東洋研究			4	◎		1・2	玉置		4	4-⑤
HST302	西洋研究			4		◎	1・2	森下	隔年開講	4	4-⑤

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
JPN311	日本文化			4			1・2	2025年度休講	隔年開講	4	4-⑤
HST301	英米史			4			1・2	2025年度休講	隔年開講	4	4-⑤
HST300	比較社会史			4	◎		1・2	森下	隔年開講	4	4-⑤
INT301	国際関係論			4	◎	◎	1・2			4	4-⑤
ANT300	文化人類学			4		◎	1・2	C.Oliver		3,4	3-④,4-⑤
ART300	現代美術			4	◎		1・2	G.Freddes		3,4	3-④,4-⑤
EDU302	比較・国際教育学			4	◎		1・2	杉村		4	4-⑤
PHL310	倫理学			4		◎	1・2	丹木		1,4	1-①,4-⑤
SOC301	平和と開発			4		◎	1・2	Thomas		3,4	3-④,4-⑤
専門選択科目（英米文学研究領域）									講義内容（シラバス）→ P.250 ～ P.255		
LIT310	英詩研究			4		◎	1・2	飯田	隔年開講	4	4-⑤
LIT320	演劇研究			4			1・2	2025年度休講	隔年開講	4	4-⑤
LIT321	小説研究			4		◎	1・2	永野		4	4-⑤
LIT322	映画と文学			4	◎		1・2	飯田		4	4-⑤
専門選択科目（言語研究領域）									講義内容（シラバス）→ P.256 ～ P.263		
LNG310	社会言語学			4	◎		1・2	神谷		4	4-⑤
LNG305	音声学			4		●	1・2	野口		4	4-⑤
LNG330	日本語学			2		○	1・2	鷲見		4	4-⑤
LNG302	語用論			4		◎	1・2	近藤		4	4-⑤
専門選択科目（言語教育領域）									講義内容（シラバス）→ P.264 ～ P.283		
LNG320	バイリンガル教育			2		○	1・2	宮崎		4,5	4-⑤,5-①
EDU310	初等教育			4		◎	1・2	杉村		4	4-⑤
SLE201	サービスラーニング入門講座			1	○		1・2	宮崎		4,5	4-⑤,5-①,5-②
SLE305	サービスラーニング（児童英語教育Ａ）			3	●		2	狩野	・「サービスラーニング入門講座」又は「児童英語教育概説」既修者に限る ・P.58(4)、P.60(13)「履修上の注意」参照	4,5	4-⑤,5-②
SLE306	サービスラーニング（児童英語教育B）			3		●	2	狩野	・「サービスラーニング入門講座」又は「児童英語教育概説」既修者に限る ・P.58(4)、P.60(13)「履修上の注意」参照	4,5	4-⑤,5-②

ナンバリング	授業科目名	単位			開講期・授業回数		履修年次	担当者	備考	DP及び学修成果	
		必修	選必	選択	春学期	秋学期				DP分類	学修成果獲得の観点
SLE301	サービスラーニング(小中学校日本語支援A)			3	◎		2	鷲見	[人]各20名 ・「サービスラーニング入門講座」既修者に限る ・P.58(4)、P.60(14)「履修上の注意」参照	4,5	4-⑤,5-①
SLE302	サービスラーニング(小中学校日本語支援B)			3		◎	1・2	宮崎		4,5	4-⑤,5-①
SLE303	サービスラーニング(地域日本語支援A)			3	◎		2	宮崎		4,5	4-⑤,5-①
SLE304	サービスラーニング(地域日本語支援B)			3		◎	1・2	鷲見		4,5	4-⑤,5-①
EDU322	リテラシーと多文化教育			4		◎	1・2	M.Lupas		3,4	3-④,4-⑤
専門選択科目（その他）											
SES390	インデペンデント・スタディA			2			1・2	担当教員	詳細はP.60(15)「履修上の注意」参照	3,4	3-④,4-⑤
SES391	インデペンデント・スタディB			2			1・2	担当教員	詳細はP.60(15)「履修上の注意」参照	3,4	3-④,4-⑤

上智大学短期大学部の必修英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

1. 目標 Goals

- 「他者のために、他者とともに」という本学の精神を持つ責任ある地球市民となるために必要な様々な問題について理解を深める
- 複眼的かつ分析的に物事を考える力をつける
- 他者の考えを理解し、自分の考えを効果的に表現する英語力をつける
- 自律した英語学習者となるための知識とスキルを身につける

2. 内容 Contents

◆英語Ⅰ　他者と共に生きる：人とのつながりと人生の意味を探究する

English I. Living with others: Exploring relationships and life values

英語Ⅰでは自分自身、身近な他者との関係、人生設計などに関する内容を扱います。

◆英語Ⅱ　異文化との遭遇：他者を理解し尊重する

English Ⅱ. Crossing cultures: Understanding and respecting others

英語Ⅱでは世界の様々な国の多様な文化について扱います。

◆英語Ⅲ　日本における社会問題：より良いコミュニティーを目指して

English Ⅲ. Social issues in Japan: Toward a better community

英語Ⅲでは地域社会や日本全体にかかわる問題を扱います。それらの問題は必ずしも日本特有のものではないかもしれませんが、日本でどのように問題が顕在化し捉えられているかに焦点を当てます。

◆英語Ⅳ　日本と世界：国際社会で生きる

English Ⅳ. Japan and the world: Living in an international community

英語Ⅳでは世界が直面している重要な問題について扱います。必ずしも全ての問題が日本と大きな関係があるとは限りませんが、世界の重要な問題について日本と日本人がどのような役割を果たすことができるのかについて考えます。

科目名	ENG101: 英語Ⅰ（再）					担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	火金4限			研究室	4205
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to individuals, their direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary to discuss various issues related to “relationships and life values;” use problem/solution thinking when expressing their views on these issues; express their ideas in a short, well-organized presentation with good delivery; utilize problem/solution thinking in the presentation; create and carry out three-week plans for independent English study; manage one’s time to complete assigned independent learning tasks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities, including short speeches (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment (25%), including two vocabulary tests (10%) and final presentation (15%); Independent learning (15%).
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, use of vocabulary studied, content and delivery of speeches; Homework: completed thoroughly, submitted on time, use of vocabulary studied, use of problem/solution thinking; Vocabulary tests: correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions; Final presentation: length, suitability of theme, use of a “preview” in Introduction, organization, delivery, problem/solution thinking; Independent learning (IL): IL Study Plans, IL Reflection Sheets, and IL Journal completed thoroughly and submitted on time, and evidence of timely completion of assigned IL tasks.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course	explanation by instructor, pair work	Review syllabus after class
2	Friendship (textbook Unit 2); explanation of short speech #1	pair work, small-group discussion, listening	Review Unit 2 textbook content
3	Friendship (supplementary materials); Independent Learning (IL) guidelines	pair work, small-group discussion	Review Unit 2 supplementary materials
4	Love (textbook Unit 19); recap of Unit 2	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
5	Love (supplementary materials); discuss IL Study Plan #1	pair work, small-group discussion	Review Unit 19; write IL Study Plan #1

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Short speech #1; speech/presentation organization	speeches, lecture	Prepare speech
7	Compromise (textbook Unit 12); recap of Unit 19; explanation of short speech #2	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
8	Compromise (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 12
9	Adolescence and adulthood (textbook Unit 4); recap of Unit 12; discuss IL progress	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Reflection Sheet #1
10	Adolescence and adulthood (suppl. materials); discuss IL Study Plan #2	pair work, small-group discussion	Review Unit 4; write IL Study Plan #2
11	Living as an adult (textbook Unit 10); recap of Unit 4	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
12	Living as an adult (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 10
13	Short speech #2	speeches	Prepare speech
14	Vocabulary Test #1; recap of Unit 10; expl. of short speech #3; Earning money (textb. Unit 8)	test, pair work, small-group discussion	Write Unit Recap
15	Earning money (supplementary materials); discuss IL progress	pair work, small-group discussion	Write IL Reflection Sheet #2
16	Career choice (textbook Unit 13); recap of Unit 8; discuss IL Study Plan #3	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #3
17	Career choice (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 13
18	Workplace relationships (textb. Unit 11); recap of Unit 13; return Test #1 and go over results	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
19	Workplace relationships (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 11
20	Divorce (textbook Unit 20); recap of Unit 11	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
21	Short speech #3; explanation of final presentation; discuss IL progress	speeches, small-group discussion	Prepare speech; write IL Reflection Sheet #3
22	Divorce (supplementary materials); discuss IL Study Plan #4	pair work, small-group discussion	Review Unit 20; write IL Study Plan #4
23	Starting a family (textbook Unit 7); recap of Unit 20	pair work, small-group discussion, listening	Write Unit Recap
24	Starting a family (supplementary materials)	pair work, small-group discussion	Review Unit 20
25	Vocabulary Test #2; recap of Unit 7	test, pair work	Write Unit Recap
26	Return Test #2 and go over results; course evaluation; final presentation preparation	pair work, small-group discussion	Start preparation for final presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations; discuss IL progress	presentations	Prep. presentation; write IL Refl. Sheet #4; prep. IL Journal
28	Final presentations (if needed); semester recap	presentations, pair work, writing	Prepare presentation

テキスト	Richard R. Day, Joseph Shaules, and Junko Yamanaka. *Impact Issues 3* (Pearson).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG101: 英語Ⅰ（再）					担当教員	Thomas
開講期	秋	開講時限	月木3限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English I. Living with others: Exploring relationships and life values** This course will cover a variety of topics related to individuals, their direct relations with others, and key aspects of the life process. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English ・For students to acquire academic writing skills						
到達目標（学修成果）	By the end of this course students should be able to: ・express their ideas on ‘living with others’ and ‘life values’ using grammatically correct and coherent sentences ・conduct research on their hometown and create a well-organized PowerPoint presentation ・write clear and structured paragraphs and short essays academically ・deliver a short speech and participate in discussions in English						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	To be distributed at the first class.						
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to syllabus and class policies Unit 1. Lesson A: Getting to know you.	Lecture, self-introduction, pair work	Buy textbook, read syllabus. Do Ex. 3A & 4A on p. 3
2	Unit 1. Lesson B: Things in common, Lesson D: Making small talk, paragraph writing	Lecture, pair work, reading, listening	Do Ex. 3B & 3C on p. 5. Do Ex. 1C & 2A on p. 9
3	Unit 2. Lesson A: Leisure time. Lesson B: Music, paragraph writing	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex. 1B & 2A on p. 13, Prepare for Quiz – Unit 1
4	Unit 2. Lesson C: I’m not really into it, Lesson D: Online forums, paragraph writing	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex. 1D & 3B on p. 17. Do Ex. 1C & 2B on p. 19
5	Unit 3. Lesson A: Healthy living, Lesson B: Aches and pains	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex. 1B & 3A on p. 23, Prepare for Quiz – Unit 2
6	Unit 3. Lesson C: Really? How come? Lesson D: Health advice	Lecture, reading, writing, speaking, pair work	Do Ex. 1D & 2A on p. 27. Do Ex. 1C & 2B on p. 29

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 4. Lesson A: Birthdays, Lesson B: Special days	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1D & 3B on p. 35. Prepare for Quiz – Unit 3
8	Unit 4. Lesson C: It depends, Lesson D: Traditions	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 2A & 3A on p. 39. Do Ex. 1C & 2A on p. 41
9	Unit 5. Lesson A: Childhood, Lesson B: Favorite classes	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 1C & 3B on p. 45. Prepare for Quiz – Unit 4
10	Unit 5. Lesson D: Teenage years. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 1C & 2 & 3 on p. 51. Prepare for presentation
11	Unit 6. Lesson A: Finding places. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 2A & 3B on p. 55. Prepare for Quiz – Unit 5
12	Unit 6. Lesson D: Exploring the city. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, speaking, pair work	Do Ex. 1C on p. 61. Prepare for presentation
13	Unit 7. Lesson A: Getting ready. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1C & 3B on p. 67. Prepare for presentation
14	Unit 7. Lesson D: Interesting places. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 2C on p. 73. Prepare for presentation
15	Unit 8. Lesson A: Spring cleaning. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, speaking, listening, pair work	Do Ex. 1C on p. 76. Prepare for presentation & Quiz- Unit 6 & 7
16	Unit 8. Lesson D: Home habits. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1C & 2C on p. 83. Prepare for presentation
17	Unit 9. Lesson A: When things go wrong. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1C & 3B on p. 87. Prepare for presentation
18	Unit 9. Lesson D: Happy endings. Presentation on ‘My Hometown’	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1C & 2B on p. 93. Prepare for presentation
19	Unit 10. Lesson A: Keep in touch, Lesson B: On the phone	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1B & 2A on p. 99. Prepare for Quiz – Unit 8 & 9
20	Unit 10. Lesson C: What were you saying? Essay Writing	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1D & 3B. Read English Essentials Chapter 7
21	Unit 10. Lesson D: Texting. Essay Writing	Lecture, listening, pair work, speaking	Do Ex. 1C & D on p. 105.
22	Unit 11. Lesson A: Family traits. Essay Writing	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1C & 2A on p. 109. Prepare for Quiz – Unit 10
23	Unit 11. Lesson B: Features. Essay Writing	Lecture, reading, listening, pair work	Do Ex. 1A, 2B & 3A on p. 111.
24	Unit 11. Lesson C: What’s his name? Essay Writing	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 1D & 3A on p. 113.
25	Unit 11. Lesson D: Changing fashions.	Lecture, reading, pair work, writing	Do Ex. 1C & 2B on p. 115.
26	Unit 12. Lesson A: What’s next?	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 1A & B on p. 118. Do Ex. 2A on p. 119.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 12. Lesson B: Jobs, Lesson C: I’ll drive	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 1B & 2B on p. 121. Do Ex. 1D & 3B on p. 123
28	Unit 12. Lesson D: In the future.	Lecture, reading, listening, speaking	Do Ex. 1C & 2B on p. 125. submit final report

テキスト	Michael McCarthy, Jeanne McCarten and Helen Sandiford. *Touchstone 2* (Cambridge).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG102: 英語Ⅱ（再）					担当教員	M. Lupas
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4206
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	Students will reflect on cultural differences connected to everyday topics such as talking about oneself, sleep, shopping, personal relationships, and asking for favors. They will learn vocabulary and practice using expressions to listen, speak, read, and write about these topics. They will learn to independently research cultural topics and express their findings in short and long presentations and essays. They will practice and improve their reading by doing independent learning on topics that interest them and then present independent learning reports.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	**Participation:** active participation in class activities and textbook tasks **Homework:** unit review sheets that summarize main vocabulary, expressions, and cultural points for each cultural topic are evaluated on completeness and timely submission (15%). Short presentations on countries, your reading, or a free topic (15%). **Assessment**: Longer presentations and essays are evaluated on criteria in *English Essentials (EE)* for presentations and essays (15%); and review quizzes (10%). **Independent learning (IL):** plans and results are complete, timely, and sent in a formal email to the teacher. Reports are complete and submitted on time. A presentation on “What I Learned in IL” is evaluated on appropriate content, length, organization, and delivery.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course. Conversations. Researching countries	lecture, pair and group work	Make an independent learning plan and send a formal email.
2	Interpersonal Relationships: Introducing yourself in your culture	Warm-up, reading, pair and group work	Prepare short presentation.
3	Interpersonal Relationships: How people introduce themselves in other cultures	Warm-up, reading, pair and group work	Prepare short presentation.
4	Introduction to Extensive Reading. How to use graded readers. Conversations	Warm-up, reading, pair and group work	Do unit review sheet.
5	Lifestyle: Sleep according to you and your culture	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading 2000 words or more.
6	Lifestyle: Sleep and Rest in other cultures	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading 2000 words or more.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	School: classroom relationships in your culture. Independent Learning Report Sharing	Warm-up, reading, pair and group work	Do April IL report and email.
8	School: classroom relationships in other cultures Writing Paragraphs on culture patterns	Warm-up, reading, pair and group work	Prepare short presentation.
9	Friends and Family: Having Guests in Your Home	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading.
10	Friends and Family: Having Guests in the home in other cultures	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading.
11	Friends and Family: Cultural patterns. Review quiz	Warm-up, reading, pair and group work	Write unit review sheet.
12	Truth and Lies: having a conversation or discussion in your culture. Writing 1	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading.
13	Truth and Lies: having a conversation or discussion in other cultures	Warm-up, reading, pair and group work	Prepare short presentation.
14	Working life: In a shop for you and your culture. Return review quiz and go over results	Warm-up, reading, pair and group work	Write unit review sheet.
15	Working life: In a shop for people in other cultures. What is an essay? Share IL Reports.	Warm-up, reading, pair and group work	Do May Independent Learning report and e-mail.
16	Relationships in a shop: Cultural patterns	Warm-up, reading, pair and group work	Write unit review sheet.
17	Romance and Relationships: You and your culture	Warm-up, reading, pair and group work	Prepare short presentation.
18	Romance and Relationships: In other cultures	Warm-up, reading, writing	Write unit review sheet.
19	Romance and Relationships: Cultural patterns	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading.
20	Helping others: Asking for help and favors in your culture.	Warm-up, reading, pair and group work	Write unit review sheet.
21	Helping others: Asking for help in other cultures	Warm-up, reading, pair and group work	Do extensive reading.
22	Helping others: Cultural patterns. Introduce Presentations	Warm-up, reading, pair and group work	Write unit review sheet.
23	Attitudes towards strangers: in my culture	Warm-up, reading, workshop	Do extensive reading.
24	Attitudes towards strangers: in other cultures. Review quiz	Warm-up, reading, workshop	Do June Independent Learning report and e-mail.
25	Preparing presentations/essays on culture shock and cultural patterns	Warm-up, reading, student presentations	Write unit review sheet.
26	Sharing presentations/essays on culture shock and cultural patterns	Warm-up, reading, writing	Do extensive reading.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Independent Learning Presentations Sharing essays. Return and go over review quiz	Warm-up, reading, student presentations	Prepare presentation.
28	Reflecting on this class	Warm-up, reading, pair and group work	Reflect on your English learning.

テキスト	S. Richmond and B. Vannieu. *Ibunka! Intercultural Communication in Everyday Life* (Alma).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Some class sessions may be held in the school library. If that is the case, the teacher will inform students in advance.

科目名	ENG102: 英語Ⅱ（再）					担当教員	神谷　雅仁
開講期	秋	開講時限	月木4限			研究室	4215
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English II. Crossing cultures: Understanding and respecting others** In this course, students will look at various aspects of culture in different countries in the world. Students will be expected to participate fully in class activities, and to do assignments and independent learning outside of class in order to develop balanced reading, speaking, writing, and listening skills in English.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	Students will improve both their receptive skills including reading and listening skills, and productive skills such as speaking and writing skills with special focus on public speaking skills, as they learn about various cultural aspects of Japan and other countries. They will also build their vocabulary and understand not only sentence structures, but also paragraph/essay organizations, which will enhance their speaking and writing effectively. In the end, they will be able to become more competent users of English.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Overview and how to study English	Lecture, reading, discussion, Q&A	Review the syllabus and check the class assignments.
2	Oral practice: talking about yourself and getting to know each other; review course assignments	Discussion, oral activities, Q&A	Prepare to talk about yourself by filling out an exercise sheet.
3	Paragraph organization①: basic structure	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read class syllabus and Units 5 & 6 of *English Essentials.*
4	Paragraph organization②: topic sentence and supporting sentences	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read Units 5 & 6 of *English Essentials* and do homework.
5	Paragraph organization③: writing paragraphs; vocab. quiz	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read Units 5 & 6 of *English Essentials*; prep. for quiz.
6	Unit 1: Roommates - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 1 of *New Connection 2*.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 6: Time to Celebrate - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 6 of *New Connection 2.*
8	Review of the last two units - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do the remaining exercises in Unit 6 of *New Connection 2.*
9	Unit 13: Right and Wrong - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 13 of *New Connection 2.*
10	Unit 5: Close Ties - practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocab. quiz	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 5 of *New Connection 2*; prep. for quiz.
11	Review of the last two units - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do the remaining exercises in Unit 5 of *New Connection 2.*
12	Unit 11: Study Abroad - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 11 of *New Connection 2.*
13	Unit 14: Your Career Starts Now - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 14 of *New Connection 2*; prep. for quiz.
14	Review of the last two units - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do the remaining exercises in Unit 14 of *New Connection 2.*
15	Prep. 1 for speech: talking about evaluation and outline, and reviewing speech organization, etc.	Lecture, pair work, Q&A / discussion	Read Units 2 & 5 of *English Essentials.*
16	Unit 8: A Fine Art - practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocab. quiz	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 8 of *New Connection 2*; prep. for quiz.
17	Unit 9: Tune In - practice 4 skills and learn vocab. and grammar; prep. 2 for speech	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 9 of *New Connection 2*; prepare outline.
18	Speech to be given by all the students; comments and reflections; continue Unit 9	Students' speeches, give feedback and evaluation	Write the outline; practice and rehearse for speech.
19	Unit 7: Animals in Danger - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 7 of *New Connection 2.*
20	Unit 4: Money Management - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 4 of *New Connection 2*.
21	Review of the last two units - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do the remaining exercises in Unit 4 of *New Connection 2.*
22	Unit 2: Checking Out - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 2 of *New Connection 2*.
23	Unit 10: Music to Our Ears - practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocab. quiz	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 10 of *New Connection 2*; prep. for quiz.
24	Book Report: a brief presentation about the book they read; peer review and discussion	Students' presentations, discussion / Q&A	Prepare for presentation about Book Report.
25	Prep. 1 for Final Presentation (evaluation, outline, learning about visual aids, etc.)	Lecture, pair work, discussion / Q&A	Read Units 2 & 5 of *English Essentials*.
26	Prep. 2 for Final Presentation (structure of a presentation to be reviewed; rehearsing); vocab.	Lecture, pair work, discussion / Q&A	Write an outline for in-class group discussion; prep. for quiz.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentation: deliver presentation and give feedback	Students' presentations, Q&A, and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.
28	Course review: revisit the course themes & English learning	Lecture, discussion, and comment	Review the syllabus and course themes.

テキスト	①角山照彦, Andrey Dubinsky, David Edward Keane. *New Connection Book 2*（成美堂）. ②ロバート ヒルキ他『新装版 TOEIC テスト スーパー英単語―5 人のエキスパートが選んだ 3000 語』（アルク）
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook;* 福島範昌『英語が英語のままわかる本：頭の中に英語回路をつくる実践トレーニング』（The Japan Times）

科目名	ENG201:　英語Ⅲ			担当教員	Thomas，R. Burton， O. Ilina，O. Massoud， M. Wilkinson，J. Zhang
開講期	春	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	2年		

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** **英語Ⅲ　日本における社会問題：より良いコミュニティーを目指して** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan. Examples of topics that might be included: ・Japan's aging population; ・gender discrimination; ・crime, youth crime; ・homelessness; ・Japan's high suicide rate; ・victims of natural disasters; ・depopulation of the countryside; ・child abuse, elder abuse, animal abuse; ・volunteerism.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of "For Others, With Others" ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
課題等に対するフィードバック方法	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均45分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-28	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG202:　英語Ⅳ			担当教員	G. Freddes,　O. Ilina, 岩崎 明子,　O. Massoud, P. McQuilling,　M. Wilkinson
開講期	秋	分類	必修		
単位	2	標準受講年次	2年		

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning

授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** **英語Ⅳ　日本と世界：国際社会で生きる** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues. Examples of topics that might be included: ・human rights, animal rights; ・immigration, refugees; ・religious freedom, religious suppression; ・environmental destruction, environmental activism; ・NGOs, NPOs, JICA, the UN; ・international conflicts, terrorism, war, peace; ・overpopulation; ・famine, poverty; ・child labor; ・AIDS.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
課題等に対するフィードバック方法	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均45分が求められる。 For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1-28	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.		

テキスト	各科目・担当教員の個別シラバスを参照すること。 Refer to the individual syllabus for each class and teacher.
参考書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student’s final grade.

科目名	ENG201: 英語Ⅲ（1）					担当教員	M. Wilkinson
開講期	春	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of the course students should be able to discuss, ask questions, and think critically about a number of social issues facing Japanese society and the wider world. By reading, discussing, making observations, sharing thoughts and opinions, and asking questions about these issues, students will be able to engage critically with them. This will involve class discussions in pairs and groups, as well a final presentation. The course also aims to develop critical thinking, awareness of the issues discussed, non-judgemental engagement with the opinions of others, self-reflection, and independent learning.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	*Participation*: Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks. *Homework assignments*: Completing and submitting assignments by the deadline (Textbook activities). *Testing and assessment*: Final presentation (4 minutes)-fluency and paralanguage (body language, tone, eye contact, speed, loudness), content, including quality of PowerPoint slides, organization (introduction, transitions, conclusion), with bonus points for asking questions of peer presentations. *Independent learning*: Weekly journal on reflections and observations of social issues in Japan.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions, discuss course outline and objectives, Unit 1: Study abroad	Lecture, pair & group discussions	Preview textbook and prepare journal
2	Unit 2: Nuclear power, Critical thinking skills (CTS): Facts and opinions, Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook pp.12-13, write journal 1, vocabulary review
3	Unit 3: Immigration, CTS: Beliefs or Prejudice? Submit journal 1	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.18, vocabulary review
4	Unit 3: Immigration; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.19, write journal 2, vocabulary review
5	Unit 4: The social safety net, CTS: Supporting positions; Submit journal 2	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.24, vocabulary review

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Unit 4: The social safety net, Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.25, write journal 3
7	Unit 5: Global warming, CTS: Criteria for evaluation; Submit journal 3	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.30, vocabulary review
8	Unit 5: Global warming; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.31, vocabulary review
9	Unit 6: Women in the workplace, CTS: Relevant facts	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.36, vocabulary review
10	Unit 6: Women in the workplace; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.37, vocabulary review, write journal 4
11	Unit 7: School on Saturdays, CTS: Critiquing arguments; Submit journal 4	Lecture, pair & group discussions	Reading comprehension: Textbook pp.40-41
12	Unit 8: Food labelling, CTS: Generalizations & assumptions	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.48, vocabulary review
13	Unit 8: Food labelling; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.49, vocabulary review, write journal 5
14	Unit 9: Etiquette in the digital age, CTS: Analogies; Submit journal 5	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.54, vocabulary review
15	Unit 9: Etiquette in the digital age; *English essentials*: Presentation	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.55, vocabulary review, presentation planning
16	Unit 10: Merit-based pay, CTS: Drawing inferences	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.60, vocabulary review
17	Unit 10: Merit-based pay; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.61, vocabulary review, write journal 6
18	Unit 11: American military bases in Japan, CTS: Logical fallacies, submit journal 6	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.66, vocabulary review
19	Unit 11: American military bases in Japan Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.67, vocabulary review
20	Unit 12: Taxes, CTS: The slippery slope; *English essentials*: Presentation	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.72, vocabulary review, presentation planning
21	Unit 12: Taxes; Reading skills	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.73, vocabulary review, write journal 7
22	Unit 13: Living together before marriage, CTS: Ad Hominem; submit journal 7	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.78, vocabulary review
23	Unit 13: Living together before marriage; *English essentials*: Presentation	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.79, vocabulary review, write journal 8
24	Unit 14: Animal rights, CTS: The straw man; Submit journal 8	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.84, vocabulary review
25	Unit 14: Animal rights; Reading skills review	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.85, vocabulary review, write journal 9
26	Unit 15: Hosting the Olympics, CTS: The red herring; Submit journal 9	Lecture, pair & group discussions	Textbook p.90, vocabulary review, finalize presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations	Presenting, Q & A	Textbook p.91, vocabulary review
28	Finish presentations, check and submit journals	Presenting, Q & A, feedback	Reflect on issues covered in class

テキスト	Michael Hood. *Think Smart* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201: 英語Ⅲ（2）					担当教員	O. Massoud
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of the semester students will be able to: ・Participate in discussions about social issues in Japan. ・Acquire vocabulary related to social issues. ・Write coherent, grammatically correct paragraphs. ・Make presentations about social issues in Japan.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	1. Participation and performance: Students will be evaluated on their participation in class discussions and their performance in pair and group work. 2. Homework: Students will be evaluated on their ability to complete relevant assignments on time, including textbook exercises and vocabulary sentences. 3. Testing and assessment: Quizzes will be used to assess understanding of vocabulary and class discussion topics, and the final presentation will be evaluated on volume, clarity, and the incorporation of visuals. The final report, a research project paper in essay form, will be evaluated on the quality of the research, organization, and writing style. 4. Independent learning: Students will be evaluated on their completion of two independent learning (IL) study plans and reflections.						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers ・上記以外で行う／other: Google Sheets and Google Docs.						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions and Overview of Social Issues in Japan.	Meeting, greeting, and discussion	Read English Essentials, pp. 26-30.
2	Food Safety and Public Health in Japan (Video: Is Our Food Safe?).	Discuss food safety and ethics	Read RE4, Unit 3A (How Safe Is Our Food?).
3	Plastic Pollution in Japan’s Oceans (Video: Jellyfish and Ecosystems).	Analyze marine pollution impacts	Read RE4, Unit 2A (Living Light); Watch video Jellyfish.
4	Green Solutions to Environmental Challenges in Japan.	Discuss sustainability and e-waste	Read RE4, Unit 11A (Saving Water); Watch video Your Water Footprint.
5	Innovation Inspired by Nature in Japanese Technology.	Research biomimicry in Japan	Read RE4, Unit 4A (Design by Nature).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Robotics for Accessible Healthcare in Japan. Watch video Robotic Hands.	Propose robotic healthcare solutions	Read RE4, Unit 4B (Robotic Hands).
7	Economic Inequality in Japan's Digital Economy.	Debate digital finance and inequality	Read RE4, Unit 6B (The Rise of Virtual Money); Watch Take the Money
8	Preserving Cultural Heritage in Japan.	Propose strategies for preservation	Read RE4, Unit 9A (Rediscovering the Past). Prepare for Quiz #1.
9	Review. Quiz #1. The Ethics of Genetic Research in Japan.	Discuss genetic research ethics	Read RE4, Unit 5A (The DNA Trail). Quiz #1.
10	Globalization and Local Culture in Japan (Video: Archeology … Space).	Explore impacts of globalization	Read RE4, Unit 9B (Archeology from Space).
11	Cyberbullying and Digital Safety in Japan (Video: Social Conformity).	Design public awareness campaigns	Read RE4, Unit 7A (A Crowd in Harmony).
12	Justice and Technology in Japan (Video: Beating a Lie Detector).	Explore how forensic tools impact justice	Read RE4, Unit 8B (In the Crime Lab).
13	Aging Society and Elder Support in Japan.	Propose solutions for eldercare	Read RE4, Unit 10A (Living Longer).
14	Mental Health and Suicide Prevention in Japan.	Address stress and mental health awareness	Read RE4, Unit 3A (How Safe Is Our Food?) and supplementary material.
15	Healthcare Innovations for Chronic Illness in Japan (Video: Your Water ...)	Brainstorm innovative healthcare solutions	Read RE4, Unit 11B (Technology as Trash).
16	Gender Inequality and Economic Empowerment in Japan.	Analyze gender pay gap and economic inequality	Read RE4, Unit 6A (How Money Made Us Modern).
17	Space Exploration and Japan's Global Role (Video: Shooting Stars).	Discuss Japan's role in space innovation	Read RE4, Unit 12B (The Threat from Space).
18	Advocating for Human Rights in Japan.	Develop advocacy for human rights	Read RE4, Unit 8A (Who Killed the Emperor?) and supplementary material.
19	Prepare Group Presentations. Review. Research Project Report D1.	Prepare research presentations	Prepare group presentation materials.
20	Present Group Presentations.	Deliver group presentations	Deliver group presentations.
21	Victims of Natural Disasters in Japan (Video: Archeology from Space).	Develop disaster preparedness plans	Read RE4, Unit 9B (Lure of the Lost City). Prepare for Quiz #2.
22	Review. Quiz #2. Research Project Report D2.	quiz and comments, lecture, discussion	Read *English Essentials* pp. 51-60. Quiz #2.
23	Global Movements and Japan's Local Impact.	Discuss inclusive practices and social justice	Read RE4, Unit 10B (In Search of Longevity).
24	Healthcare Innovations and Equity in Japan.	Brainstorm solutions for equitable access	Read RE4, Unit 11B (Technology as Trash).
25	Quiz Feedback. Prepare Research Project Presentations.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Presentation preparation.
26	Research Project Presentations (Day 1). Research Project Report Final Draft.	Deliver research presentations and feedback	Finalize research projects and presentation materials.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Research Project Presentations (Day 2).	Continue presentations	Polish and practice for presentations.
28	Final Course Reflection and Feedback.	Reflect on course themes and outcomes	Prepare personal reflections and feedback.

テキスト	MacIntyre, P., & Bohlke, D. *Reading Explorer 4* (English ed.) (National Geographic Learning).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201: 英語Ⅲ（3）					担当教員	R. Burton
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will have expanded their vocabulary relevant to social issues, and gained considerable practice at incorporating that vocabulary into well-structured sentences, both written and spoken. The teacher’s presentations, video input and discussions will provide ample listening skills development. Paragraph writing practice should greatly improve cohesiveness, while the short presentations allow students to develop their confidence at speaking English, reinforcing realization that comprehensive preparation greatly facilitates expression, especially with carefully planned use of key expressions. In this way students should also become more resourceful and skillful as autonomous learners of English.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	Participation and performance in classroom activities: vocabulary quizzes, and discussion involvement. Homework assignments: preparatory topic focus quizzes and follow-up paragraph writing evaluated for coherence, grammar correctness, and grammar variety. Final presentation: volume, clarity, and incorporation of visuals. Final report: essay structure and sentence structures. Independent learning: incorporation of key phrases from text into a learner’s diary.						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle で行う／Loyola / Moodle ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers ・上記以外で行う／other: general comments to whole class about assignments						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions to each other and how we will use the text and on-line systems support	picture – caption match	read newspaper articles about disasters, and complete report
2	Unit 1 Manga Message for the Young- Japanese Manga Artist Succeeds in America	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete a supplementary vocabulary task
3	complete a supplementary vocabulary task	group discussion and paragraph writing	read a manga and then write about it as a diary entry
4	Manga quiz return and feedback Unit 2 Jumping for Victory- Team-Spirit Value	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete a supplementary vocabulary task
5	Language-learning Quiz with feedback	group discussion and paragraph writing	read pp.9-12 and do exercises reviewing key expressions
6	Unit 3 Seeking Quality over Cost- If you have money are you happy to pay for refinement?	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	write summary & opinion (200 words)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Shopping quiz with feedback	group discussion and paragraph writing	convenience stores vs. local shops + prose argument analysis
8	Unit 4 Getting Dads Home Earlier- Should Work-Life Balance Differ for Mums and Dads?	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	read and complete text comprehension tasks pp.21-23
9	Fatherhood discussion	group discussion and paragraph writing	write an opinion paragraph on 'How involved do mothers really want fathers to be?'
10	Unit 5 Plugging Privacy- Value of Solitude outline worksheet for student mini presentation	pair work reading + mini lecture + video	read pp.26-29 comprehension tasks + presentation worksheet
11	Movie Categories Quiz	group discussion and paragraph writing	write a comparative essay, movies compared to TV drama
12	Movie Quiz return and feedback Unit 6 Recycling is a Message of Future Hope	group reading + mini lecture + video	complete a survey and check a presentation worksheet
13	Pros and Cons Quiz with feedback and discussion	group discussion and paragraph writing	read and analyze an advantages and disadvantages essay
14	Unit 7 Housing Design and Safety- Advantages and disadvantages essay	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	Complete comprehension and expressions exercises pp.39-41
15	Living environment Quiz with feedback and answers	discussion and writing presentations session 1	Writing task comparing modern interiors with trad. Japanese
16	Unit 8 A Barrier-free Welcome- Caring by and for People with Disabilities	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete p.44 vocabulary and comprehension exercises
17	Speculating about possible injuries or life if becoming disabled	group discussion and writing presentations session 2	Writing about a hypothetical scenario using conditional and subjunctive patterns
18	Unit 9 Helping in Times of Disaster- Volunteer Interpreters for Foreigners in a Disaster	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete p.50 vocabulary tasks and p.54 key expressions task
19	Writing about an experience of disaster	group discussion + 3rd session of presentations	carry out internet search task + write problem-solution essay
20	Unit 10 Right on Track- Opportunities for Women too in Motorsports	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete page 56
21	Driving Quiz with feedback and discussion	discussion and writing presentations session 4	carry out a driving survey and analyze response data
22	return and feedback on Driving quiz and Survey Unit 11 Refining Japanese Art and Design	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	take a 'What is unique to Japan?' quiz
23	International distinctiveness is important because...? Survey of opinions	group discussion and writing for argument	write an essay arguing for art being emblematic of a nation
24	Unit 12 Japanese Conbini Comes to Dubai- Saturation of Japanese Market Prompts Exports	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	analyze a pros and cons of 'conbini' essay
25	Conbini Quiz	pair work planning paragraph writing	write pros and cons paragraphs working in Japan or, abroad
26	return and feedback for Conbini quiz Unit 13 Mix Masters- Chefs' Machines	pre-reading vocabulary + mini lecture + video	complete a food quiz
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Food quiz answers and feedback Robots	discussion and paragraph writing	reading task about job loss
28	Unit 14 Virtual Connections- Useful Applications for Virtual-Reality Headsets	pre-reading vocabulary + video comprehension	write about your favorite smartphone app

テキスト	Tatsuroh Yamazaki, Stella M. Yamazaki, Erika C. Yamazaki. *What's on Japan 11* (Kinseido). ISBN9784764740303
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201: 英語Ⅲ（4）					担当教員	O. Ilina
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary to discuss various issues related to “Toward a better community”, use problem/solution thinking when expressing their views on these issues; write postcards and emails; express their ideas in a short, well-organized presentation with good delivery; utilize problem/solution thinking in the presentation; create and carry out three-week plans for independent English study; manage one’s time to complete assigned independent learning tasks.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, use of vocabulary studied, content and delivery of speeches; Homework: completed thoroughly, submitted on time, use of vocabulary studied, use of problem/solution thinking; Vocabulary tests: correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions; Final presentation: length, suitability of theme, use of a “preview” in Introduction, organization, delivery, problem/solution thinking; Independent learning (IL): IL Study Plans, IL Reflection Sheets, and IL Journal completed thoroughly and submitted on time, and evidence of timely completion of assigned IL tasks.						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Google Forms で行う／Loyola / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course / World of difference	Explanation by instructor, pair-work	Review Unit 1 textbook content
2	The working week (textbook Unit 2)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 textbook content
3	The working week (supplementary materials), Independent learning (IL), guidelines	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 supplementary materials
4	Good times, bad times (textbook Unit 3) (Recap of Unit 2)	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #1
5	Good times, bad times (supplementary materials), discuss IL Study plan #1	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 3

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Getting it right (textbook Unit 4); Recap of Unit 3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
7	Short speech #1: speech / presentation organization	Speeches, lecture	Prepare speech
8	Getting it right (supplementary materials); explanation of short speech #2	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 4
9	Our changing world (textbook Unit 5); Recap of Unit 5; discuss IL progress	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Write IL Reflection Sheet #1
10	Our changing world (supplementary materials); Discuss IL study plan #2	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL study Plan #2
11	What matters to me (textbook Unit 6); Recap of Unit 5	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
12	What matters to me (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 6
13	Short speech #2	Speeches	Prepare speech
14	Vocabulary test #1; recap of Unit 6; Passions and fashions (textbook Unit 7)	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; prepare a test
15	Passions and fashions (supplementary materials); explanation of short speech #3	Pair-work, small group discussion, listening	Prepare speech
16	No fear! (textbook Unit 8); Recap of Unit 7; discuss study plan #3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #3
17	No fear! (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 8
18	It depends how you look at it (textbook Unit 9); recap of Unit 8; return test #1 and go over results	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
19	It depends how you look at it (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 9
20	All things high tech (textbook Unit 10); recap of Unit 9; explanation of final presentation	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
21	Short speech #3; Discuss IL progress	Pair-work, small group discussion, listening	Prepare speech; Write IL Reflection Sheet #2
22	All things high tech (supplementary materials); discuss IL Study Plan #4	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Study Plan #4
23	Seeing is believing (textbook Unit 11); recap of Unit 10	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
24	Seeing is believing (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 11
25	Vocabulary test #2; Telling is how it is (textbook Unit 12); recap of Unit 11	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
26	Return Test #2 and go over results; course evaluation; discuss IL progress; final pres. prep.	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Reflection Sheet #4; Prep. IL Journal (submit today)
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations	Presentations	Prepare presentation
28	Final presentations	Presentations	Prepare presentation

テキスト	Lis and John Soars, Amanda Maris. *New Headway Intermediate* 4th edition (Oxford).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201: 英語Ⅲ（5）					担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to ・expand their vocabulary relevant to social issues, and use them to form sentences while writing and speaking, ・express their ideas clearly and justify their reasons in group discussions and pair works, ・develop critical thinking, ・make presentations effectively with consideration for delivery, content and visual aids, ・write coherent, grammatically correct paragraphs.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).						
評価基準	To be distributed at the first class.						
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation to the course, explaining class policies. Unit 1. Lesson A	lecture, listening, pair work	Read syllabus, purchase textbook
2	Unit 1. Lesson B. Can you repeat that, please? Unit 1. Lesson C. Do you play sports?	lecture, listening, pair work	Do ex. 1D on p. 8, ex. 3B on p. 9, and ex. 3A on p. 11
3	Unit 1. Lesson D. Free time. Unit Wrap-up	lecture, listening, group discussion, writing	Do ex. 2A on p. 13
4	Unit 2. Lesson A. He’s talkative and friendly. Unit 2. Lesson B. I don’t think so.	lecture, listening, pair work	Do ex. 2A on p. 16, ex. 3A&B on p. 19
5	Unit 2. Lesson C. What do they look like? Unit 2. Lesson D. People’s profiles	lecture, listening, pair work	Do ex. 1A on p. 20, ex. 2A&B on p. 23
6	Unit 3. Lesson A. It’s extremely cold. Unit 3. Lesson B. In my opinion.	lecture, listening, group discussion	Do ex. 1A on p. 26, ex. 4A&B on p. 27, ex. 2A&B on p. 29

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 3. Lesson C. I'd like to play chess. Unit 3. Lesson D. Where would you like to go?	lecture, listening, pair work	Do ex. 1A on p. 30, ex. 3A on p. 31
8	Unit 4. Lesson A. There's a lot of light. Unit 4. Lesson B. Can you turn down the music?	lecture, pair work, student presentation	Do ex. 1A on p. 36, ex. 3A&B on p. 39
9	Unit 4. Lesson C. I always hang up my clothes! Unit 4. Lesson D. What a home!	lecture, pair work, student presentation	Do ex. 1A on p. 40, ex. 2A&B on p. 43
10	Unit 5. Lesson A. Breathe deeply. Unit 5. Lesson B. I'm not feeling well.	lecture, pair work, student presentation	Do ex. 1A on p. 46, ex. 2A on p. 46, ex. 3A&B on p. 49
11	Unit 5. Lesson C. How healthy are you? Unit 5. Lesson D. Don't stress out!	lecture, pair work, student presentation	Do ex. 1A on p. 50, ex. 2A&B on p. 53
12	Unit 6. Lesson A. I love watching game shows. Unit 6. Lesson B. I don't really agree.	lecture, pair work, student presentation	Do ex. 1A on p. 56, ex. 2A&B on p. 59
13	Unit 6. Lesson C. I'm recording a documentary. Unit 6. Lesson D. Popular TV.	lecture, pair work, student presentation	Do ex. 1A on p. 60, ex. 1B on p. 62
14	Unit 7. Lesson A. It's lighter and thinner. Unit 7. Lesson B. Would you take $10?	lecture, pair work, student presentation	Do ex. 1A on p. 66, ex. 3A&B on p. 69
15	Unit 7. Lesson C. This hat is too small. Unit 7. Lesson D. A shopper's paradise.	lecture, pair work, listening, writing	Do ex. 1A on p. 70, ex. 1A&B on p. 72
16	Unit 8. Lesson A. You shouldn't miss it! Unit 8. Lesson B. I'd recommend going...	lecture, pair work, listening	Do ex. 1A on p. 76, ex. 2 on p. 79
17	Unit 8. Lesson C. The best and the worst. Unit 8. Lesson D. The best place to go.	lecture, discussion listening, writing	Do ex. 1A&B on p. 80, ex. 4B on p. 81, ex. 1B on p. 82
18	Unit 9. Lesson A. Where was he born? Essay writing	lecture, pair work, listening	Do ex. 1A on p. 86, read chapter 7 – English Essentials
19	Unit 9. Lesson B. I'm not sure, but I think… Essay writing	lecture, pair work, listening	Do ex. 2A&B on p. 89, write essay (first draft)
20	Unit 9. Lesson C. People I admire. Essay writing	lecture, pair work, listening	Do ex. 1A on p. 90, rewrite essay (first draft)
21	Unit 9. Lesson D. Making a difference. Essay writing	lecture, pair work, listening, writing	Do ex. 1A&B on p. 92, write essay (final copy)
22	Unit 10. Lesson A. The ice cream is fantastic! Unit 10. Lesson B. I'll have the fish please.	lecture, pair work, listening	Do ex. 1A on p. 96, ex. 2A&B on p. 99
23	Unit 10. Lesson C. Have you ever…? Unit 10. Lesson D. Restaurant experiences	lecture, pair work, listening	Do ex. 1A on p. 100, ex. 1A on p. 102, ex. 2A&B on p. 103
24	Unit 11. Lesson A. I'm not a fan of dramas. Unit 11. Lesson B. Any suggestions?	lecture, pair work, listening, writing	Do ex. 1A on p. 106, ex. 2A&B on p. 109
25	Unit 11. Lesson C. All of us love music., Unit 11. Lesson D. Singing shows around the world.	lecture, pair work, listening	Do ex. 1A on p. 110, ex. 2A&B on p. 113
26	Unit 12. Lesson A. Personal change. Unit 12. Lesson B. I'm happy to hear that!	lecture, pair work, listening, writing	Do ex. 1A on p. 116, ex. 2B&C on p. 119
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 12. Lesson C. I think I'll get a job.	lecture, listening, pair work, pair work	Do ex. 1A on p. 120, prepare the final report
28	Unit 12. Lesson D. Dreams and aspirations. Course wrap-up.	lecture, listening, pair work, pair work	Do ex. 1B on p. 122, submit the final report.

テキスト	Jack C. Richards & David Bohlke. *Four Corners 2* (Cambridge).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201: 英語Ⅲ（6）					担当教員	J. Zhang
開講期	春	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to discuss and write about several social issues faced in and out of Japan. Also, students will be able to think about these issues critically by watching videos, listening to world news, studying vocabulary, having group discussions, giving presentations, writing paragraphs, and acquiring knowledge about them. Additionally, students will be able to conduct research and give presentations collaboratively and individually. In this way, students will build the confidence to speak out in public.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%: eight output tasks including writing and speaking tasks); Testing and assessment (25%: eight review quizzes (5%); a final presentation (10%); a final report (10%)); Independent learning (15%).						
評価基準	・Participation and performance in class: Actively engage in classroom discussions and activities; ・Homework assignments: Submit assignments on time with a focus on quality and effort; ・Testing and assessment: Demonstrates accurate understanding and appropriate application of the content covered in the review quizzes; ・Independent learning: Dedication to study outside of class (e.g., preview; make and follow a plan)						
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う／Moodle ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview; explain the evaluation criteria; ice-breaking	Course orientation; pair/group work	Buy textbook; preview textbook pp. 8-9
2	Unit 1 Utilization of ChatGPT in Society: Warming up; vocabulary building	Lecture; video; exercise; discussion	Review vocabulary; preview textbook pp. 10-13
3	Unit 1: Watch the news and take dictation; learn grammar/listening/pronunciation points	Listening; exercise; dictation; lecture	Review textbook pp. 10-13; preview pp. 14-15
4	Unit 1: Review quiz 1; output task; critical thinking about the use of AI	Quiz; lecture; speech; pair/group work	Review Unit 1; preview pp. 112-113
5	Unit 14 Warnings about the Use of AI: Warming up; vocabulary building	Lecture; video; exercise; discussion	Review vocabulary; preview textbook pp. 114-117

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Unit 14: Watch the news and take dictation; learn grammar/listening/pronunciation points	Listening; exercise; dictation; lecture	Review textbook pp. 114-117; preview pp. 118-119
7	Unit 14: Review quiz 14; output task; critical thinking about the use of deepfake	Lecture; speech; pair/group work	Review Unit 14; preview pp. 80-81
8	Unit 10 Praying for Peace in Hiroshima: Warming up; vocabulary building	Lecture; video; exercise; discussion	Review vocabulary; preview textbook pp. 82-85
9	Unit 10: Watch the news and take dictation; learn grammar/listening/pronunciation points	Listening; exercise; dictation; lecture	Review textbook pp. 82-85; preview pp. 86-87
10	Unit 10: Review quiz 10; critical thinking about how to communicate with Gaza students	Lecture; speech; pair/group work	Review Unit 10; preview pp. 16-17
11	Unit 2 Making a Business Out of Art: Warming up; vocabulary building	Lecture; video; exercise; discussion	Review vocabulary; preview textbook pp. 18-21
12	Unit 2: Watch the news and take dictation; learn grammar/listening/pronunciation points	Listening; exercise; dictation; lecture	Review textbook pp. 18-21; preview pp. 22-23
13	Unit 2: Review quiz 2; output task; critical thinking about your future occupation	Quiz; lecture; speech; pair/group work	Review Unit 2; preview pp. 24-25
14	Unit 3 Relaxing the Dress Code: Warming up; vocabulary building	Lecture; video; exercise; discussion	Review vocabulary; preview textbook pp. 26-29
15	Unit 3: Watch the news and take dictation; learn grammar/listening/pronunciation points	Listening; exercise; dictation; lecture	Review textbook pp. 26-29; preview pp. 30-31
16	Unit 3: Review quiz 3; output task; critical thinking about school uniforms	Quiz; lecture; speech; pair/group work	Review Unit 3; preview pp. 32-33
17	Unit 4 The Okinawan Coffee Dream: Warming up; vocabulary building	Lecture; video; exercise; discussion	Review vocabulary; preview textbook pp. 34-37
18	Unit 4: Watch the news and take dictation; learn grammar/listening/pronunciation points	Listening; exercise; dictation; lecture	Review textbook pp. 34-37; preview pp. 38-39
19	Unit 4: Review quiz 4; output task; critical thinking about crops affected by climate change	Quiz; lecture; speech; pair/group work	Review Unit 4; preview pp. 40-41
20	Unit 5 Reality or Illusion: Warming up; vocabulary building	Lecture; video; exercise; discussion	Review vocabulary; preview textbook pp. 42-45
21	Unit 5: Watch the news and take dictation; learn grammar/listening/pronunciation points	Listening; exercise; dictation; lecture	Review textbook pp. 42-45; preview pp. 46-47
22	Unit 5: Review quiz 5; output task; critical thinking about attractive illusion	Quiz; lecture; speech; pair/group work	Review Unit 5; preview pp. 64-65
23	Unit 8 Keeping Traditional Bookstore Alive: Warming up; vocabulary building	Lecture; video; exercise; discussion	Review vocabulary; preview textbook pp. 66-67
24	Unit 8: Watch the news and take dictation; learn grammar/listening/pronunciation points	Listening; exercise; dictation; lecture	Review textbook pp. 66-67; preview pp. 68-69
25	Unit 8: Review quiz 8; output task; critical thinking about how to keep traditional bookstore	Quiz; lecture; speech; pair/group work	Review Unit 8; prepare Final Presentation
26	Final Presentation (FP); comment and feedback; work on Final Report	Oral presentation; comments; writing	Revise and complete Final Report
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	FP (make-up day); feedback to Final Report; prepare self-report on independent learning	Oral presentation; comments; discussion	Prepare self-report on independent learning
28	Independent learning report; course summary	Lecture; self-report; comments; discussion	Review the course

テキスト	Asuka Yamagishi-YONEYAMA. *JAPAN QUEST from NHK WORLD-JAPAN's NEWSLINE* (KINSEIDO).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG201: 英語Ⅲ（再）					担当教員	神谷　雅仁
開講期	秋	開講時限	月木2限			研究室	4215
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English III. Social issues in Japan: Toward a better community** In this course, students will explore a range of issues that are found locally, regionally, or throughout Japan. While the issues covered are not necessarily unique to Japan, the class will focus on how the issues are manifest in Japan and experienced by people in Japan.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	Students will improve both their receptive skills including reading and listening skills, and productive skills such as speaking and writing skills with special focus on public speaking skills, as they learn about various social issues and events in Japan. They will also build their vocabulary and understand not only sentence structures, but also paragraph/essay organizations, which will enhance their speaking and writing effectively. In the end, they will be able to become more competent users of English.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%).
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Overview and how to study English	Lecture, reading, discussion, Q&A	Review the syllabus and check the class assignments.
2	Oral practice: talking about yourself and getting to know each other; review course assignments	Discussion, oral activities, Q&A	Prepare to talk about yourself by filling out an exercise sheet.
3	Paragraph organization①: basic structure	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read class syllabus and Units 5 & 6 of *English Essentials.*
4	Paragraph organization②: topic sentence and supporting sentences	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read Units 5 & 6 of *English Essentials* and do homework.
5	Paragraph organization③: writing paragraphs	Reading, discussion, lecture & doing exercises	Read Units 5 & 6 of *English Essentials*.
6	Unit 1: Studying in the Metaverse - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 1 of *Newsline 7*.
7	Unit 2: Japanese Firms Switching to English Amid Engineer Shortage - practice 4 skills	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 2 of *Newsline 7*.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 3: Recycling Car Parts into Fashion Treasure - practice 4 skills and learn vocab.	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 3 of *Newsline 7*.
9	Unit 4: Japanese Family Steps Up to Support Evacuee - practice 4 skills; vocabulary quiz 1	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 4 of *Newsline 7*; prep. for quiz.
10	Unit 5: Mixing Art with Online Meetings - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 5 of *Newsline 7*.
11	Unit 6: Deer Ramen - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 6 of *Newsline 7*.
12	Unit 7: Making Sure the Message is Heard - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 7 of *Newsline 7*.
13	Review of the first half - practice 4 skills and learn vocab. and grammar; vocabulary quiz 2	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Review Units 1 to 7 of *Newsline 7*; prep. for quiz.
14	Prep. 1 for speech: talking about evaluation and outline and reviewing speech organization, etc.	Lecture, pair work, Q&A / discussion	Read Units 2 & 5 of *English Essentials.*
15	Unit 8: Think Globally, Graze Locally - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 8 of *Newsline 7*.
16	Prep. 2 for speech: writing and editing a manuscript, reviewing speech organization	Lecture, pair work, discussion (Q&A)	Prepare outline; review Units 2 & 5 of *English Essentials.*
17	Speech to be given by all the students; comments and reflections; continue Unit 9	Students' speeches, Q&A and evaluation	Write outline; practice and rehearse for speech.
18	Unit 9: A Sea Turtle's Tale - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 9 of *Newsline 7*.
19	Unit 10: "Robot Café" Showcases AI's Potential - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 10 of *Newsline 7*.
20	Unit 11: More Than Just a Cafe; - practice 4 skills and learn vocab.; vocabulary quiz 3	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 11 of *Newsline 7*; prep. for quiz.
21	Unit 12: Heeding the Words of Younger People for a Better Future - practice 4 skills	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 12 of *Newsline 7*.
22	Unit 13: Wood Would Do - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 13 of *Newsline 7*.
23	Unit 14: Bon Appétit! Ekiben - practice 4 skills and learn vocab. and grammar	Lecture, oral practice, pair work, do exercises	Do exercises in Unit 14 of *Newsline 7*.
24	Book Report: a brief presentation about the book they read; discussion; vocabulary quiz 4	Students' presentations, discussion / Q&A	Prepare for presentation about Book Report; prep. for quiz.
25	Prep. 1 for Final Presentation (evaluation, outline, learning about visual aids, etc.)	Lecture, pair work, discussion / Q&A	Read Units 2 & 5 of *English Essentials*.
26	Prep. 2 for Final Presentation (structure of a presentation to be reviewed; rehearsing)	Lecture, pair work, discussion / Q&A	Write an outline for in-class group discussion.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentation: deliver presentation and give feedback	Students' presentations, Q&A and evaluation	Prepare for presentation: script, outline, practice and rehearsal.
28	Course review: revisit the course themes and English learning	Lecture, discussion, and comment	Review the syllabus and course themes.

テキスト	Tatsuroh Yamazaki and Stella Yamazaki『NHK NEWSLINE 7：映像で学ぶ NHK 英語ニュースが伝える日本 7』（金星堂）
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG202: 英語IV（1）					担当教員	P. McQuilling
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to use the key vocabulary they have learned to discuss a variety of social issues; express their ideas clearly and justify their reasons in group discussions; structure and organize written reports, speeches and presentations and deliver speeches and presentations effectively with consideration for delivery, content and visual aids.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment including a final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
評価基準	**Participation and performance:** active participation in class activities, worksheets will be evaluated for content and effort, discussions will be evaluated for content and contribution, presentations will be evaluated for content and delivery; **Homework:** completed thoroughly and submitted on time; **Testing and assessment:** final report (research, organization, content) final presentation (content, delivery); **Independent Learning:** background research completed thoroughly before each report, discussion or presentation.						
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle / Google Forms ・Orally ・Comments made on returned papers						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation. Introduction to the course, evaluation criteria explanation.	Course orientation, pair and group work.	Complete learner profile.
2	Unit 1. Ice Cream: A New Heritage Flavour.	Q and A, pair work, group work.	Review Unit 1 content (pp.9-14).
3	Unit 2. Selling Fashion to Help a Community.	Brainstorming, pair work, group work.	Research a fast fashion company.
4	Fast fashion: ideas for sustainability. Worksheet 4.1 Fast Fashion Solutions.	Pair work, group work, discussion.	Write a short paragraph about fast fashion solutions.
5	Unit 3. The Floods of Storm Henk.	Q and A, pair work, group work, discussion	Research a natural disaster event.
6	Natural Disasters Prevention & Relief. Worksheet 6.1 Natural Disasters.	Reading, Q and A, pair work.	Write a short report about natural disaster relief efforts.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 5. Workers from Overseas.	Reading, Q and A, pair work.	Research immigration policy in a chosen country.
8	Population problems & immigration. Worksheet 8.1 Immigration.	Reading, Q and A, pair work, discussion.	Complete worksheet 8.1 exercises.
9	Unit 6. Welsh Place Names: In English or Welsh. Writing Process (WP) 1: Planning.	Reading, Q and A, pair work.	Brainstorm ideas for the WP essay.
10	Global Issues Research Project, WP 2: Writing an Outline.	Writing, pair work.	Write the first draft of the WP essay.
11	Global Issues Research Project draft & revision. WP 3: Writing a First Draft.	Writing, revising.	Complete the final draft of the WP essay.
12	Unit 7. Power from the Scottish Sea. Worksheet 12.1 Sustainable Energy.	Reading, Q and A, pair work, discussion.	Complete Worksheet 12.1 exercises.
13	Unit 10. Eating at the Cornwall Show: Plants or Meat?	Reading, Q and A, pair work, discussion.	Research environmental activism for the presentation.
14	Environmental Activism. Worksheet 14.1 Save the Earth.	Brainstorming, pair work, discussion.	Prepare script and PowerPoint slides for the presentation.
15	Global Issues Presentation.	Presentations, listening, discussion.	Complete the reflections section of the listening worksheet.
16	Unit 11. The Impact of Artificial Awareness.	Reading, Q and A, pair work, discussion.	Research the implications for Artificial Intelligence.
17	Group Discussion: The Implications for A.I. Worksheet 17.1 Our A.I. Future.	Discussion, reflection.	Write a short report about the group discussion.
18	Unit 12. Traditional Skills Needed to Save Old Buildings.	Reading, Q and A, pair work, discussion.	Review Unit 12 content (pp.75-80).
19	Historic Preservation. Worksheet 19.1 The National Trust.	Reading, Q and A, pair work, discussion.	Research historic preservation projects.
20	Unit 13. Antisemitism in the UK.	Reading, Q and A, pair work, discussion.	Review Unit 13 content (pp.81-86).
21	Human Rights & Discrimination. Worksheet 21.1 Human Rights.	Q and A, pair work, discussion.	Write a short report on a human rights issue.
22	Unit 8. Volunteers Preserving the White Horse.	Reading, Q and A, pair work, discussion.	Research a volunteer organization for the discussion.
23	NGOs, NPOs & Volunteer Organizations. Discussion Preparation.	Listening, reading, Q and A, pair work.	Write the research notes for the discussion.
24	Charity Organizations & Volunteerism Discussion.	Group discussion, report.	Write a report of the group discussion.
25	Review of units and topics covered in the course.	Brainstorming, pair work, discussion.	Write the research notes for the final report.
26	Final Report Preparation.	Writing, drafting, revising, proofreading.	Submit final report. Prepare presentation.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentation.	Presentations, Q and A.	Write self-reflection comments on the presentation.
28	Feedback and reflection.	Listening, Q and A, pair work, discussion.	Review the course and reflect on your progress.

テキスト	T. Knowles, M. Tanaka, M. Nakamura, S. Moue. *BRITISH NEWS UPDATE 7* (Kinseido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202: 英語IV（2）					担当教員	M. Wilkinson
開講期	秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of the course students should be able to engage with a number of social issues facing Japanese society and the wider world. Students will be able to think critically about these issues and apply the skills they study in discussions, such as problem solving and responding appropriately to opinions. These skills be applied when giving a presentation and asking and answering questions. Independent learning skills are also developed by writing a weekly journal.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
評価基準	*Participation*: Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks. *Homework assignments*: Completing and submitting assignments by the deadline (Textbook activities). *Testing and assessment*: Talk giving summary of TED talk of choice-fluency (tone, eye contact, loudness, speed), content (clarity); final presentation (5 minutes)- fluency and paralanguage (body language, tone, eye contact, speed, loudness), content, including clarity and quality of PowerPoint slides, organization (introduction, transitions, conclusion), with bonus points for asking questions of peer presentations; peer summary of four presentations (accuracy in summarising key points). *Independent learning*: Weekly journal giving thoughts on current global news and events						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Introduction and Explanation, introductions, Unit 1: Free Therapy	Lecture, group work, discussions	Preview textbook and prepare journal
2	Unit 1: Free Therapy Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 1
3	Unit 1: Free Therapy Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
4	Unit 1: Free Therapy Listening (video), Critical thinking, *English Essentials* Critical thinking	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 2
5	Unit 2: The Right to Know Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
6	Unit 2: The Right to Know Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 3
7	Unit 2: The Right to Know Listening (video), Critical thinking	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Unit 3: Listen Up! Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 4
9	Unit 3: Listen Up! Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
10	Unit 3: Listen Up! Listening (video), Critical thinking	Talks, Q & A	Finish textbook exercises, write journal 5
11	Unit 4: Big Data Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
12	Unit 4: Big Data Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 6
13	Unit 4: Big Data Listening (video), Critical thinking, *English Essentials* Speech	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
14	Talk based on TED Q & A	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 7
15	Unit 5: Fear Factor Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
16	Unit 5: Fear Factor Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 8
17	Unit 5: Fear Factor Listening (video), Critical thinking	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
18	Unit 6: Food for Thought Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 9
19	Unit 6: Food for Thought Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
20	Unit 6: Food for Thought Listening (video), Critical thinking	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 10
21	Unit 7: A Good Reputation Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
22	Unit 7: A Good Reputation Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 11
23	Unit 7: A Good Reputation Listening (video), Critical thinking, *English Essentials* Presentation	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises
24	Unit 8: Life Hacks Discussion, vocabulary, listening	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, write journal 12
25	Unit 8: Life Hacks Critical thinking, speaking, vocabulary	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, prepare presentation
26	Unit 8: Life Hacks Listening (video), Critical thinking, *English Essentials* Visuals	Lecture, group work, discussions	Finish textbook exercises, prepare presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations Q & A	Presentations with Q&A, peer summaries	Complete peer summaries
28	Final presentations Q & A, submit summaries	Presentations with Q&A, peer summaries	Review the course and reflect on progress.

テキスト	Christian Lee. *21st Century Communication: Listening Speaking and Critical Thinking* (Cengage).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202: 英語IV（3）					担当教員	G. Freddes
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to make effective plans for independent learning; individually conduct research; separate facts from opinions; discuss the topic with others; write an essay including facts and a personal point of view; create and deliver a five to seven-minute PowerPoint presentation that includes an effective story message, visual message, and physical message. By making three presentations, students will build the confidence to speak-out in public forums.						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
評価基準	Participation and performance (active involvement in text exercises, discussions, group work and Q&A); Homework (effort in thoroughly completing assignments & timely submission); Assessment: Two Essays 5% each (including facts and a personal point of view; and follow guidelines in English Essentials); and three presentations 5% each (depth and quality of research, separation of facts from opinions, the story message, visual message, physical message, follow guidelines in English Essentials); Independent Learning (15%) 5% for submission IL Plan, two Progress Reports, and Final Report						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・上記以外で行う／other: Google Docs						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: Japanese / Global issues Mingle / Network	Meeting and greeting, Discuss social issues	Write two paragraphs; Read Inspiring Voices pp. 11-12, DVD
2	Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology, Nadiem Makarim (CEO, Gojek)	Networking, form groups, discussion	Read English Essentials pp. 40-45, Begin research
3	The Writing Process	Brainstorming, Clustering, Outlining	Outline; I.V. text pp. 17-18 DVD Independent Learning (IL) plan
4	Bringing Medicine to the African Backcountry: Eri Machii (Chairperson, AfriMedico)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read English Essentials (E.E) pp. 46-50; Continue research
5	Outlining and revising an essay: organization and content	Reading, revising an essay outline	Complete Outline; Read I.V. text pp. 23-24 and watch DVD
6	Saving Children in Poverty Through Music Margaret Martin (Founder, Harmony Project)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Read E.E. text pp. 61-64. Write a paragraph
7	Essay writing: thesis statement, E.E. text pp. 19-23 Speech	Oral presentation, listening, discussion	I.V. text pp. 29-30 and watch the DVD; First draft of essay

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	The Matcha Business: A Maverick Spirit Takeo Sugita President, (Aiya)	Oral presentation, listening, discussion	Submit First Draft of Essay. E.E. text pp. 19-30 (skim)
9	E.E. text Speech; Visuals: Making them outstanding and effective	Vocabulary, listening, discussion, writing	I.V. text pp. 35-36 DVD; begin preparing visuals; (IL Report)
10	French Refugee Integration Ayyam Sureau (Founder, Pierre Claver)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Complete Essay and prepare for Presentation #1
11	Presentation preparation and practice with your group	Integration of skills, group work	Practice for presentation and submit Essay
12	Presentation #1. Women with Others: A Japanese / Global Issue of Personal Interest	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; I.V. text pp. 41-42, DVD
13	The Power of Biologging: Yuuki Watanabe (Marine Biologist: National I. of Polar Research)	Listening, discussion, Form new groups	I.V. text pp. 47-48 and watch the DVD
14	Farming is the Future: Cherrie Atilano (Founding Farmer and CEO, AGREA)	Listening, discussion, topics for Presentation 2	I.V. text pp. 53-54 and watch the DVD
15	New Challenges for a Fashion Giant Luciano Benetton (Co-founder, Benetton Group)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Outline Presentation #2; I.V. text pp. 59-60 and DVD
16	Helping the Socially Vulnerable: Viola Cheng (Entrepreneur, Good Food Enterprise)	Vocabulary, listening, discussion, writing	(IL Report); Prepare 11 visuals for Presentation #2
17	Final preparations and practice for Presentation #2	Concise writing, peer review, practice timing	Practice for presentation, Check your timing
18	Presentation #2 Women for Others: A Positive Contribution Toward Solving a Global Issue	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; I.V. text pp. 65-66, DVD
19	Complete the Self-Evaluation Form; I.V. text pp. 65-66, DVD	Vocabulary, listening, discussion, writing	Begin Outline of your Final Report; I.V. text pp. 71-72, DVD
20	Knitting the Future by Hand: Tamako Mitarai (CEO, Kesennuma Knitting)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Complete Outline of your Final Report; I.V. text pp. 77-78, DVD
21	Towards a Zero-Waste Future Sun Xiaolong (Scientist, Zerowaste Asia)	Vocabulary, listening, discussion, writing	I.V. text pp. 83-84 and watch the DVD
22	The Healing Power of Dogs: Toru Oki (Chairman, International Therapy Dog Assc.)	Vocabulary, listening, discussion, writing	(IL Report); First Draft of Final Report; I.V. text p. 89-90, DVD
23	Uncovering Our Hidden Biases: Mahzarin Banji (Social Psychologist, Harvard University)	Vocabulary, listening, discussion, writing	I.V. text pp. 95-96, watch DVD. Revise your Final Report
24	Space Exploration: Can Private Citizens Play a Role? Bill Nye (CEO, The Planetary Society)	Vocabulary, listening, discussion, writing	Revise your Final Report
25	Preparations for Presentation #3, present to your group	Integration of skills, group work	Practice for Presentation #3
26	Presentation #3. Women for Others, With Others: Global Issue…Your Future (Group 1)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit Final Report; Self-Evaluation Form and P.A.R
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation #3. Women for Others, With Others: Global Issue…Your Future (Group 2)	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit late homework, Prepare for Interview
28	Interview and Portfolio Review	Interviewing skills	Submit late homework

テキスト	Kobayashi, Fujita, Collins. *Inspiring Voices* (Kinseido). Watch TEDTalks, NHK World News, BBC and CNN (all online)
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202: 英語IV（4）					担当教員	O. Massoud
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By the end of this course, the students will be able to: ・clearly express their opinion on world topics or issues ・deliver an interesting and informative two to three-minute presentation ・comprehend the topics or events by answering questions ・recognize and use key vocabulary and phrases from the textbook ・utilize the key phrases and appropriate grammar forms in their presentations use key vocabulary in sentences as their homework						
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
評価基準	1. Participation and performance: Students will be evaluated on their participation in class discussions, their performance in pair and group work, and the quality of their oral presentations. 2. Homework: Students will be evaluated on their ability to complete relevant assignments on time, including textbook exercises, grammar tasks and vocabulary sentences. 3. Testing and assessment: Quizzes will be used to assess understanding of vocabulary and class discussion topics, and the final presentation will be evaluated on interesting and informative topics. The final report, a research project paper in essay form, will evaluate the demonstration of grammatical accuracy, and articulation of a particular global issue. 4. Independent learning: Students will be evaluated on their completion of two independent learning (IL) study plans and reflections.						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers ・上記以外で行う／other: Google Sheets and Google Docs.						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the Course. Japan’s Role in Global Issues.	Meeting, greeting, course overview	Review syllabus, buy textbook: Read pp.1-10: Role of government in global issues.
2	Workplace Ethics and Labor Practices.	Vocabulary, listening, discussion	Unit 1: Living for Work. Read pp.10-20: Annie Griffiths interview.
3	Economic Inequality and the Future of Work.	Listening, group discussion, writing	Unit 1: Living for Work. Read pp.20-30: Becoming a Butler
4	Mental Health and Wellness.	Vocabulary, listening, discussion	Unit 2: Good Times, Good Feelings. Read pp.30-40: Laughter Yoga
5	Health Equity and Post-Pandemic Recovery.	Vocabulary, listening, group work	Unit 2: Good Times, Good Feelings - City Parks. Read pp.40-50: City Parks talk.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Marketing and Advertising.	Lecture, listening, writing, discussion	Unit 3: The Marketing Machine - Newscast. Read pp.50-60: Marketing newscast.
7	Sustainable Business Practices.	Vocabulary, listening, group work	Unit 3: The Marketing Machine. Read pp.60-70: Mascots.
8	Prepare Group Presentations on Global Issues.	Vocabulary, listening, group work	Presentation prep: Supplementary: Presentation strategies.
9	Present Group Presentations on Global Issues.	presentation preparation	Deliver presentation: In-class presentation.
10	Climate Change and Weather.	Oral presentation, Q&A, comments	Unit 4: Wild Weather. Read pp.80-90: Talk on Greenland. Prepare for Quiz #1.
11	Review. Quiz #1. Solving Climate Problems Together.	Vocabulary, listening, group discussion	Quiz #1. Climate solutions case studies: Supplementary.
12	Review. Reporting on Climate Crisis. Research Project Report D1.	Vocabulary, listening, group discussion	Climate change communication: Supplementary.
13	Food Security and Sustainability.	Vocabulary, listening, group discussion	Unit 5: Focus on Food. Read pp.90-100: Ugly food radio show.
14	Urbanization and Sustainable Development.	Vocabulary, listening, group work	Unit 6: Housing for the Future. Read pp.110-120: Housing solutions.
15	Gender Equality.	Vocabulary, listening, group work	Women's rights movement: Supplementary.
16	Human Rights.	Vocabulary, listening, group work	Human rights policies: Supplementary.
17	Exploring Space and Ethics.	Vocabulary, listening, group work	Unit 7: Exploring Space - Space Travel. Read pp.130-140: Space travel
18	Immigration and Refugee Crisis. Research Project Report D2.	Vocabulary, listening, group work	Refugee crisis: Supplementary.
19	Cultural Preservation in a Globalized World.	Vocabulary, listening, group work	Unit 8: Creative Arts - Temporary Art. Read pp.150-160: Lecture on temporary art.
20	Global Education Inequality.	Lecture, listening, group discussion	Education inequality: Supplementary.
21	Fast Fashion and the Environment.	Vocabulary, listening, group work	Fast fashion ethics: Supplementary.
22	Protecting Biodiversity Together.	Vocabulary, listening, group discussion	Unit 9: Our Relationship with Nature. Read pp.180-190: Town in Zimbabwe.
23	Social Media and Privacy.	Lecture, listening, group discussion	Digital ethics: Supplementary. Prepare for Quiz #2.
24	Review. Quiz #2.	Lecture, listening, group discussion	Quiz #2. Supplementary: Global issues review.
25	Research Project Presentation Preparation.	Quiz, presentation preparation	Prepare your presentation.
26	Research Presentations (Day 1). Research Project Report Final Draft.	Oral presentation, Q&A, discussion	Deliver presentation: In-class presentation.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Research Presentations (Day 2).	Oral presentation, comments, discussion	Deliver presentation: In-class presentation.
28	Review & Wrap-Up.		Wrap-up.

テキスト	Becky Tarver Chase. *Pathways: Listening, Speaking, and Critical Thinking 1* (2nd Ed.) (Heinle & Heinle Pub).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202:　英語Ⅳ（5）					担当教員	岩崎　明子
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-①
キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning						
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues.						
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English						
到達目標（学修成果）	By using the Content Language Integrated Learning (CLIL) approach, students can learn to engage in formal discussions. By learning vocabulary and expressions related to the topic in each unit, students not only gain knowledge about the evolving world and guidelines for effective discussion, but also become accustomed to thinking logically, developing ideas, and drawing conclusions both in speech and writing.						
評価方法	1) Participation and performance in classroom activities, including short speeches and presentations (30%); 2) Homework assignments, including “unit reports” (30%); 3) Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); 4) Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
評価基準	1) active involvement, effort to use English, use of new vocabulary, content and delivery of speeches; 2) completion, on-time-submission, logical structure; 3) correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions / length, suitable theme, good organization (from introduction to conclusion); 4) IL study plans, IL reflection sheets, and a few IL journals submitted on time / taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.						
課題等に対するフィードバック方法	・Reports: returned with comments to the folder in Moodle. ・Vocabulary quizzes, review tests: Google Forms, and oral feedback. ・Speeches and presentations: oral feedback and specific comment sheets.						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course	explanation by instructor	review syllabus
2	Ut.1 Artificial Intelligence: How Will Humans Live with AI?	pair work, small group discussion, reading	pp.13-15, submit IL plan①
3	Ut.1 Data analysis: a. line graph, b. bar graph / Discussion strategies (1)	listening, dictation exercises, lecture	pp.16-17, 19
4	Ut.1 short speech, agree or disagree (A or D): AI benefits human life	listening, Q&A, pair discussion, writing	pp.18-20, submit Ut.1 report
5	Ut.2 Business: The Sharing Economy	pair work, small group discussion, reading	pp.29-31
6	Ut.2 Data analysis: a. bar graph, b. chart / Discussion strategies (2)	listening, dictation exercises, lecture	pp.24-25, 27
7	Ut.2 short speech, A or D: furima-apps will create a huge recycling market	listening, Q&A, pair discussion, writing	pp.26-28, submit Ut.2 report

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Ut.4 Environmental Problems: Plastic Waste	pair work, small group discussion, reading	pp.37-39
9	Ut.4 Data analysis: a. bar graph, b. chart / Discussion strategies (3)	listening, dictation exercises, lecture	pp.40-41, 43, submit IL review ① and plan②
10	Ut.4 short speech, (A or D): We should live without using plastic products	listening, Q&A, pair discussion, writing	pp.42-44, submit Ut.4 report
11	Ut.7 Immigration: Foreign Residents in Japan	pair work, small group discussion, reading	pp.61-63
12	Ut.7 Data analysis: a. tables, b. bar graph / Discussion strategies (4)	listening, dictation exercises, lecture	pp.64-65, 67
13	Ut.7 short speech, (A or D): Japan is a convenient place to work and live for foreign residents	listening, Q&A, pair discussion, writing	pp.66-68, submit Ut.7 report
14	Review test #1, explanation of final project, paragraph writing: introduction	lecture, pair work, writing	prepare test#1 (Ut.1, 2, 4, 7) Decide essay topic
15	Ut.8 Education: Online learning should be used / feedback on the review test #1	pair work, small group discussion, reading	pp.69-71
16	Ut.8 Data analysis: a. chart, b. bar graph / Discussion strategies (5)	listening, dictation exercises, lecture	pp.72-73, 75 Write an introduction
17	Ut.8 short speech, (A or D): Online video lectures should be used at schools for higher education	listening, Q&A, pair discussion, writing	pp.74-76, submit Ut.8 report
18	Ut.9 Culture: Entertainment	pair work, small group discussion, reading	pp.77-79, submit IL review② and plan③
19	Ut.9 Data analysis: a. chart, b. bar graph / Discussion strategies (6)	listening, dictation exercises, lecture	pp.80-81, 83 Write a body paragraph
20	Ut.9 short speech (A or D): Customers should play a more active role in the event	listening, Q&A, pair discussion, writing	pp.82-84, submit Ut.9 report
21	Ut.11 The Aging Society: Elderly Drivers	pair work, small group discussion, reading	pp.93-95
22	Ut.11 Data analysis: a. chart, b. bar graph / discussion strategies (7)	listening, dictation exercises, lecture	pp.96-97, 99 Write a conclusion paragraph
23	Ut.11 short speech, (A or D): We should require the elderly to give up their driver's license	listening, Q&A, pair discussion, writing	pp.98-100, submit Ut.11 report
24	Review test #2, Academic writing: revising the body paragraph	pair work, small group discussion, reading	prepare test#2 (Ut.8, 9, 11)
25	Academic writing: outline and peer feedback / feedback on the review test #2	lecture, pair work, writing	Bring the draft essay
26	Academic writing revise the draft essay based on peer feedback	lecture, pair work, writing	prepare for the presentation, submit the final draft
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentation (1)	listening, Q&A, writing, peer assessment	prepare for the presentation, submit the final draft
28	Final presentation (2), recap the course	explanation by instructor pair work	submit all unsubmitted homework, IL review ③

テキスト	Nakaya, Miyako. Yukita, Miyuki. Yamazaki, Masaru. Godfrey, Chad L. (2020) *CLIL: Discuss the Changing World* (SEIBIDO).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG202: 英語IV（6）					担当教員	O. Ilina
開講期	秋	開講時限	火金 1 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-①

キーワード	integrated English skills, critical thinking, content-based learning, theme-based learning
授業の概要	**English IV. Japan and the world: Living in an international community** This class will address significant issues confronting the world today. While not every issue covered will have a strong Japan connection, overall the class will allow students to consider the roles of Japan and Japanese with respect to a variety of globally important issues. In this course we will explore the challenges facing the modern world and Japan. We will discuss global trends and issues in the global community, touch on today's current agenda, and try to understand Japan's place and role in the global community.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “For Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to remember and use key English vocabulary to discuss various topics related to the theme “Facing a global community”, use problem / solution thinking when expressing their views on these issues; do short speeches about common topics; utilize problem / solution thinking in the presentation; create and carry out three-week plans for independent English study; manage one’s time to complete assigned independent learning tasks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment, such as in-class tests, final presentation, and final report (25%); Independent learning (15%), including 10% for taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester.
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, use of vocabulary studied, content and delivery of speeches; Homework: completed thoroughly, submitted on time, use of vocabulary studied, use of problem/solution thinking; Vocabulary tests: correct answers to multiple-choice, matching, and fill-in questions; Final presentation: length, suitability of theme, use of a “preview” in Introduction, organization, delivery, problem/solution thinking; Independent learning (IL) completed thoroughly and submitted on time, and evidence of timely completion of assigned IL tasks.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Google Forms で行う／Loyola / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course / Our land is your land (textbook Unit 1)	Explanation by instructor, pair-work	Review Unit 1 textbook content
2	Never lost for words! (textbook Unit 2)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 textbook content
3	Never lost for words! (supplementary materials), Independent learning (IL), guidelines	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 2 supplementary materials
4	Big business (textbook Unit 3) (Recap of Unit 2)	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #1
5	Big business (supplementary materials), discuss IL Study plan #1	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 3
6	Celebrity (textbook Unit 4); Recap of Unit 3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
7	Short speech #1: speech / presentation organization	Speeches, lecture	Prepare speech

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Celebrity (supplementary materials); explanation of short speech #2	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 4
9	Love is..? (textbook Unit 5); Recap of Unit 4; discuss IL progress	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; Write IL Reflection Sheet #1
10	Love is..? (supplementary materials); Discuss IL study plan #2	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL study Plan #2
11	Newspeak (textbook Unit 6); Recap of Unit 5	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
12	Newspeak (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 6
13	Short speech #2	Speeches	Prepare speech
14	Vocabulary test #1; recap of Unit 6; explanation of short speech #3; Words of wisdom (tb Unit 7)	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
15	Words of wisdom (supplementary materials); Discuss IL progress	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Reflection Sheet #2
16	Altered images (textbook Unit 8); Recap of Unit 7; discuss study plan #3	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap; write IL Study Plan #3
17	Altered images (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 8
18	History lessons (textbook Unit 9); recap of Unit 8; return test #1 and go over results	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
19	History lessons (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 9
20	The body beautiful (textbook Unit 10); recap of Unit 9; explanation of final presentation	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
21	Short speech #3; Discuss IL progress	Speeches, small group discussion	Prepare speech; Write IL Reflection Sheet #3
22	The body beautiful (supplementary materials); discuss IL Study Plan #4	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Study Plan #4
23	The ends of the earth (textbook Unit 11); recap of Unit 10	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
24	The ends of the earth (supplementary materials)	Pair-work, small group discussion, listening	Review Unit 11
25	Vocabulary test #2, Life goes on (textbook Unit 12); recap of Unit 11	Pair-work, small group discussion, listening	Write Unit Recap
26	Return Test #2 and go over results; course evaluation; discuss IL progress; final pres. prep.	Pair-work, small group discussion, listening	Write IL Reflection Sheet #4; Prep. IL Journal (submit today)
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentations	Presentations	Prepare presentations
28	Final presentations	Presentations	Prepare presentations

テキスト	Lis and John Soars, Amanda Maris. *New Headway Advanced* 4th edition (Oxford).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	Taking TOEIC-IP at the end of Fall Semester will count for 10% toward each student's final grade.

科目名	ENG111:　TOEIC 対策講座Ⅰ（再）					担当教員	神谷　雅仁
開講期	春	開講時限	木 2 限			研究室	4215
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-②
キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning						
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. This course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test.						
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・developing effective study skills and study habits for the exam; ・learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・learning effective test-taking strategies for each part of the exam						
到達目標（学修成果）	Through this course, students will be able to do the following: ・to understand various types of texts, especially reading texts; ・to further build vocabulary necessary to understand various types of texts; ・to gain finer points of grammatical knowledge; ・to understand and strengthen strategies to find correct answers by closely examining the tendencies and patterns of questions; and ・to be independent learners of English In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester.						
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning						
評価基準	・Participation in class：active participation in class activities. ・Homework and quizzes： ■Homework: to be evaluated on ①whether the designated listening and reading exercises in the textbook are done outside of classtime and ②whether Book Check sheet for『TOEIC テスト公式問題で学ぶボキャブラリー』are made and submitted in time. ■Quizzes: to be evaluated on students' understanding of vocabulary items taken from "Vocabulary" and "Key Words and Phrases" sections of the textbook. ・Assessment：scores of two in-class tests. They test students' understanding of various types of text,of grammar points in the textbook, and of listening and reading strategies learned in the class. ・Independent learning：through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%).						
課題等に対するフィードバック方法	・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview; introducing basic TOEIC strategies; Lesson 2: The Internet 動詞	Lecture and do exercises	Read Introduction part and explanations of Ch.2
2	Lesson 2: The Internet 動詞（後半の内容）; Lesson 1: Headhunting 消える音（1）	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 11-16)
3	Lesson 4: Corporate Culture 時制 Lesson 3: Weddings 消える音（2）; Quiz ①	Lecture and exercise check, grammar points	Study for the quiz; read and do exercises (pp. 17-22)
4	Lesson 6: Movies 形容詞 Lesson 5: Music 応答の予測	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 23-28)
5	Lesson 8: Recruiting 名詞 Lesson 7: Sightseeing 1つになる音	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 29-34)
6	Lesson 10: Forecasts 分詞構文; Lesson 9: Shopping 音の短縮; Quiz ②	Lecture and exercise check, grammar points	Study for the quiz; read and do exercises (pp. 35-40)
7	In-class test 1 Lesson 12: Crime 不定詞	Administer the test; check the exercises	Read lessons from 1 to 10 again and prepare for the test
8	Return test 1 and go over results; Lesson 12: Crime 不定詞; Lesson 11: Customs つながる音（1）	Review the test. Lecture and exercise check.	Read explanations and do exercises (pp. 41-46)
9	Lesson 14: Global Matters 動名詞 Lesson 13: New Products つながる音（2）	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 47-52)
10	Lesson 16: Parties 主語と動詞の一致 Lesson 15: Health 無声化する音	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 53-58)
11	Lesson 18: Travel 関係詞 Lesson 17: Skiing 有声化する音; Quiz ③	Lecture and exercise check, grammar points	Study for the quiz; read and do exercises (pp. 59-64)
12	Lesson 20: Hospitals 接続詞; Lesson 19: Dating 弱くなる音	Lecture and exercise check, grammar points	Read explanations and do exercises (pp. 71-76)
13	In-class test 2 Lesson 22: Opportunities 仮定法	Administer the test; check the exercises	Read lessons from 11 to 20 again and prepare for the test
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Quiz ④; return the test 2 and go over results; Course Review	Review the test. Wrap-up of the course	Study for Quiz; prepare for test review

テキスト	・Donald Beaver, Michael Walker, & Kei Mihara. *Navigator for the TOEIC Test*（南雲堂）. ・『TOEIC テスト公式問題で学ぶボキャブラリー』（ETS 国際ビジネスコミュニケーション協会）
その他特記事項	・Students with aTOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course; this TOEIC-IP score must be from April 2024 or later.

科目名	ENG111:　TOEIC 対策講座Ⅰ（再）					担当教員	M. Lupas
開講期	秋	開講時限	木 1 限			研究室	4206
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. This course will place emphasis on acquiring crucial knowledge and practical advice related to TOEIC. This may include, for instance, understanding each section of the TOEIC test, understanding one's strengths and weaknesses on the test, and learning how to develop good study habits for the test.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to acquire the skills, strategies, and knowledge that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・better understanding of the TOEIC test and its various parts; ・better understanding of one's own strengths and weaknesses on the exam; ・developing effective study skills and study habits for the exam; ・learning how to build up one's TOEIC-related vocabulary; and ・learning effective test-taking strategies for each part of the exam
到達目標（学修成果）	By the end of this course students should be able to: ・master over 400 high-frequency TOEIC vocabulary words and phrases. ・know the names and features of the different parts of the test and the number of questions in each part. ・be aware of common strategies for approaching each part of the test. ・work through and correctly answer past TOEIC questions. In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・Participation in class: responding to the teacher's questions in class, active participation in group work and pair work ・Homework and quizzes: completion of homework problem sets and vocabulary quizzes ・Assessment: score on test 1 (10%) and test 2 (20%). The tests include questions about the TOEIC test format (information about the parts of the test and possible strategies for answering questions in each part) and past TOEIC questions. ・Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%).
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the class. How to learn and study in view of the TOEIC L&R, e-learning, vocab, past questions. Part 1 photos	Whole group lecture, pair work	After the class do e-learning, review vocab pp. 91-97 and do the quizzes in Moodle
2	Part 2 Short questions, Past questions 1.2 Strategy: beware of distractors	Whole group lecture, pair work	Review day 2 PPT; do vocab pp. 1-29 quizzes in Moodle
3	Part 3 Conversations, Past questions 1.3 Strategy: Skimming the questions, predicting	Whole group lecture, pair work	Review day 3 PPT; do vocab pp. 30-49 quizzes in Moodle
4	Part 4 One-speaker talk, Past questions 1.4 Strategy: Questions follow the order the information is given	Whole group lecture, pair work	Review day 4 PPT; do vocab pp. 50-69 quizzes in Moodle
5	Part 5 Incomplete Sentences, Past questions 1.5 Parts of speech, SV agreement, Verb tenses	Whole group lecture, pair work	Review day 5 PPT; do vocab pp. 173-74 quizzes in Moodle
6	Part 7 Reading Comprehension questions 1.7, Strategy: do the easy questions first; scanning	Whole group lecture, pair work	Review day 6 PPT; do vocab pp. 70-89 quizzes in Moodle
7	Part 6 Text completion Adverbs, gerunds, infinitives, pronouns	Whole group lecture, pair work	Study for test 1; do vocab pp. 108-127 quizzes in Moodle
8	Parts 1 and 2, Past questions 2.1 and 2.2, Test 1	Test, pair work	Review day 8 PPT; do vocab pp. 98-106 quizzes in Moodle
9	Part 5 Incomplete Sentences, Past questions 2.5	Whole group lecture, pair work	Review day 9 PPT; do vocab pp. 108-127 quizzes in Moodle
10	Part 7 Reading Comprehension, Past questions 2.7 (a), Return test 1 and go over the test results	Whole group lecture, pair work	Review day 10 PPT; do vocab pp. 128-147 quizzes in Moodle
11	Parts 3 and 4, Past questions 2.3 and 2.4	Whole group lecture, pair work	Review day 11 PPT; do vocab pp. 168-171 quizzes in Moodle
12	Part 7 Reading Comprehension Questions with graphs and charts	Whole group lecture, pair work	Study for test 2. Review day 12 PPT; do vocab pp. 148-167 quizzes in Moodle
13	Part 6 Text completion. Test 2	Test, pair work	Review day 13 PPT; do vocab pp. 168-171 quizzes in Moodle
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Word study games Return test 2 and go over the test results	Whole group lecture, pair work	Review vocabulary and find official TOEIC test dates

テキスト	①T. 加藤『TOEIC L&R Test 出る単特急 金のフレーズ』（Asahi Shimbun） ②『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 4』（2018, IIBC）
その他 特記事項	・Students with a TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course; this TOEIC-IP score must be from April 2024 or later.

科目名	ENG112:　TOEIC 対策講座Ⅱ（再）					担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	木 1 限			研究室	4211
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. This course will build upon what students have learned in TOEIC 対策講座 I and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from TOEIC 対策講座 I may be reviewed and developed further.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・learning how to overcome one's own weaknesses on the exam; ・applying effective study skills and study habits for the exam; ・increasing one's TOEIC-related vocabulary; and ・applying effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	By the end of course, students should be able to: ・improve their knowledge of the features of TOEIC test; ・improve their knowledge of vocabulary and grammar to answer correctly in TOEIC test; ・learn more test taking strategies for TOEIC test; ・improve their ability to comprehend the main ideas of a paragraph in TOEIC test; In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to syllabus, teaching materials and class policies.	Lecture, self-introduction, pair work	Buy textbook, read syllabus
2	Unit 1 Travel: TOEIC vocabulary, 'WH' questions, TOEIC phrases and collocations	Lecture, pair work, reading	Learn TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 1
3	Unit 2 Dining out: TOEIC vocabulary, questions using 'Where', understanding long sentences	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 2
4	Unit 3 Media: TOEIC vocabulary, questions using 'when', TOEIC expressions	Lecture, pair work, reading, quiz	Learn TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 3
5	Unit 4 Entertainment: TOEIC vocabulary, part 1 activities of persons, questions using 'why'. Assessment test 1	Lecture, pair work, reading	Prepare for Assessment test 1, do listening exercises in Unit 4
6	Unit 5 Purchasing: TOEIC vocabulary, return Assessment test 1 with feedback	Lecture, pair work, reading, quiz	Learn TOEIC vocabulary, do listening exercises in Unit 5
7	Unit 6 Clients: TOEIC vocabulary, use of how often, how long, how many etc.	Lecture, pair work, reading, quiz	Do listening exercises in Unit 6
8	Unit 7 Recruiting: TOEIC vocabulary, TOEIC conversations, TOEIC expressions	Lecture, pair work, reading, quiz	Learn TOEIC vocabulary, do all listening exercises in Unit 7
9	Unit 8 Personnel: TOEIC vocabulary, Yes/No questions	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 8
10	Unit 9 Advertising: TOEIC vocabulary, TOEIC phrases & collocations, comparison. Assessment test 2	Lecture, pair work, reading	Prepare for Assessment test 2, do listening exercises in Unit 9
11	Unit 10 Meetings: TOEIC vocabulary, return Assessment test 2 with feedback	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 10
12	Unit 11 Finance: TOEIC vocabulary, negative questions	Lecture, pair work, reading, quiz	Do listening exercises in Unit 11
13	Unit 12 Offices: TOEIC vocabulary, use of pronouns	Lecture, pair work, reading, quiz	Submit unit homework, do listening exercises in Unit 12
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Unit 13 Daily life, TOEIC vocabulary, conclusion, feedback	Lecture, pair work, reading, discussion	Prepare for feedback

テキスト	Koji Hayakawa, Nobuko Nakamura, Naoyuki Bamba, and Ken Suzuki. *The High Road to the TOEIC Listening and Reading Test* (Kinseido).
その他特記事項	・Students with a TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course; this TOEIC-IP score must be from April 2024 or later.

科目名	ENG112:　TOEIC 対策講座Ⅱ（再）					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	金 4 限			研究室	4205
分類	必修	単位	1	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②

キーワード	TOEIC, study skills, reading and listening skills, vocabulary building, test-taking strategies, independent learning
授業の概要	Overall, this course will offer crucial knowledge, practical advice, and training to help students achieve higher TOEIC scores. In this way the course will provide guidance and support to help each student work toward her own TOEIC-related goals. This course will build upon what students have learned in TOEIC 対策講座 I and will emphasize practical advice and training for TOEIC. This may include, for instance, learning effective test-taking strategies for each part of the exam and doing practice exams or exam sections. As needed, key points from TOEIC 対策講座 I may be reviewed and developed further.
達成目標（授業の目的）	The overall aim of this course is for students to develop further the skills and strategies that they need to attain significantly higher TOEIC scores. These include: ・learning how to overcome one's own weaknesses on the exam; ・applying effective study skills and study habits for the exam; ・increasing one's TOEIC-related vocabulary; and ・applying effective test-taking strategies for each part of the exam.
到達目標（学修成果）	Through taking this course, students should be able to: ・demonstrate knowledge of basic features of the TOEIC test (test sections, question types, etc.); ・correctly answer questions about TOEIC-related vocabulary studied during the semester; ・demonstrate understanding of skills and strategies covered in class; ・use skills and strategies learned to correctly answer TOEIC Listening and Reading questions. In addition, students should be able to: ・manage their time effectively to complete TOEIC e-learning during the semester.
評価方法	・Participation in class (25%) ・Homework and quizzes (30%) ・Assessment (30%) ・Independent learning (15%): study using e-learning
評価基準	・Participation in class: active involvement in everyday class activities ・Homework: completed thoroughly, according to instructions, and on time; homework may not be submitted more than 2 weeks after the due date ・Quizzes: correct answers to questions about TOEIC-related vocabulary, knowledge, skills, and/or strategies covered in class; quizzes may be given at random dates during the semester ・Assessment (two tests): correct answers to TOEIC Listening and Reading questions; correct answers to questions about TOEIC-related vocabulary, knowledge, skills, and/or strategies covered in class ・Independent learning: through e-learning study outside of class, earning 800 or more e-learning points in each of the three e-learning periods during the semester (4% for each period, 12% total); properly completing one full TOEIC practice test or two half-size TOEIC practice tests in the e-learning system between the first day of the semester and the last day of the third e-learning period (3%).
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course; how to access audio files for the textbooks; explanation of Study Goals sheet; explanation of 問題集 homework	lecture, pair work, textbook activities	Get textbook; download all audio files (mp3 files)
2	Unit 1: Traveling	lecture, textbook activities, pair work	Complete Study Goals sheet; study Unit 1 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 1, 3, 5, 7
3	Unit 2: Daily Life & Shopping	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 2 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 2, 4, 6, 7
4	Unit 3: At Restaurants	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 3 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 1, 3, 5, 7
5	Unit 4: Job Hunting & Unit 5: At the Office 1	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 4 & Unit 5 vocab. in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 2, 4, 6, 7
6	Unit 6: At the Office 2	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 6 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 1, 3, 5, 7
7	Test #1; Unit 8: Doing Business Online	test, lecture, textbook activities, pair work	Study for test; study Unit 8 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 1 Parts 2, 4, 6, 7
8	Unit 9: Housing	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 9 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 1, 3, 5, 7
9	Unit 10: Making Deals & Contracts; return Test #1 and go over results	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 10 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 2, 4, 6, 7
10	Unit 11: Public Service	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 11 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 1, 3, 5, 7
11	Unit 12: Banking & Finance	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 12 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 2, 4, 6, 7
12	Unit 13: At Seminars & Workshops	lecture, textbook activities, pair work	Study Unit 13 vocabulary in advance; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 1, 3, 5, 7
13	Test #2; explanation of English Study Vision sheet	test, lecture, pair work	Study for test; complete 問題集 Qs from Test 2 Parts 2, 4, 6, 7
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Return Test #2 and go over results; English Study Vision sheet follow-up	lecture, pair work	Complete English Study Vision sheet

テキスト	① Michiko Ueki et al. *Illuminating the Path to the TOEIC L&R Test* (Kinseido). ②『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 3』（国際ビジネスコミュニケーション協会）
その他特記事項	・Students with a TOEIC-IP score of 800 or above can be exempted from taking this course; this TOEIC-IP score must be from April 2024 or later.

科目名	ENG120:　基礎英語スキルズ（文法・語彙）					担当教員	J. Zhang
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	grammar, vocabulary, critical thinking, collaborative learning, practical application
授業の概要	This course focuses on building students' English grammar and vocabulary through a variety of engaging topics and collaborative classroom activities. Key activities include brainstorming, flashcard creation, listening dictation, group discussions, and peer-supported grammar exercises. By actively participating in these activities, students will expand their vocabulary range and acquire practical grammatical knowledge for effective communication.
達成目標（授業の目的）	This course aims to help students systematically understand the fundamentals of English grammar and vocabulary and apply them in both communication and writing. Through the engaging story of a Japanese university student, Kai, and collaborative classroom activities, students will also develop critical thinking skills and establish effective habits for English learning.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, students are expected to: ・Accurately understand basic English grammar and vocabulary and apply them appropriately in writing and conversations. ・Collaborate effectively with peers during pair and group activities to exchange ideas in English. ・Write concise paragraphs of 100 words or fewer based on class topics, logically expressing their ideas with critical perspectives.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); testing and assessment (30%: 12 review quizzes); homework assignment (30%: 12 short paragraphs); a final report (10%)
評価基準	・Participation and performance: Attend class; actively engage in classroom activities; effort to use learned vocabulary and grammar in classroom interactions; ・Testing and assessment: Demonstrates accurate understanding and appropriate application of the content covered in the review quizzes; ・Homework assignment: Submitted regularly and meeting all requirements; ・Final report: Logically organized; demonstrates appropriate use of vocabulary and grammar learned.
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う／Moodle ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview; explain the evaluation criteria; ice-breaking	Course orientation; pair/group work	Buy textbook; preview textbook pp. 12-14
2	Unit 1 On My Way to Silicon Valley: Warm-up listening; travel vocabulary; grammar: 現在時制	Lecture; group work; listening dictation	Review textbook pp. 12-15; preview textbook pp. 16-17
3	Unit 1: Understanding reading passage; review quiz 1; writing 1 and peer-editing	Lecture; group work; quiz; writing	Review Unit 1; preview textbook pp. 18-20
4	Unit 2 Welcome to San Francisco: Warm-up listening; homestay vocabulary; 代名詞	Lecture; group work; listening dictation	Review textbook pp. 18-21; preview textbook pp. 22-23
5	Unit 2: Understanding reading passage; review quiz 2; writing 2 and peer-editing	Lecture; group work; quiz; writing	Review Unit 2; preview textbook pp. 24-26

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Unit 3 First Day of Internship: Warm-up listening; company vocabulary; 前置詞	Lecture; group work; listening dictation	Review textbook pp. 24-27; preview textbook pp. 28-29
7	Unit 3: Understanding reading passage; review quiz 3; writing 3 and peer-editing	Lecture; group work; quiz; writing	Review Unit 3; preview textbook pp. 30-32
8	Unit 4 Fun Times, but …: Warm-up listening; entertainment vocabulary; 過去時制	Lecture; group work; listening dictation	Review textbook pp. 30-33; preview textbook pp. 34-35
9	Unit 4: Understanding reading passage; review quiz 4; writing 4 and peer-editing	Lecture; group work; quiz; writing	Review Unit 4; preview textbook pp. 36-38
10	Unit 5 They Look Good on You: Warm-up listening; shopping vocabulary; 名詞	Lecture; group work; listening dictation	Review textbook pp. 36-39; preview textbook pp. 40-41
11	Unit 5: Understanding reading passage; review quiz 5; writing 5 and peer-editing	Lecture; group work; quiz; writing	Review Unit 5; preview textbook pp. 42-44
12	Unit 6 Tech Talk: Warm-up listening; technology vocabulary; Wh 疑問文	Lecture; group work; listening dictation	Review textbook pp. 42-45; preview textbook pp. 46-47
13	Unit 6: Understanding reading passage; review quiz 6; writing 6 and peer-editing	Lecture; group work; quiz; writing	Review Unit 6; preview textbook pp. 48-50
14	Unit 7 You're Sitting on It: Warm-up listening; daily life vocabulary; 進行形	Lecture; group work; listening dictation	Review textbook pp. 48-51; preview textbook pp. 52-53
15	Unit 7: Understanding reading passage; review quiz 7; writing 7 and peer-editing	Lecture; group work; quiz; writing	Review Unit 7; preview textbook pp. 54-56
16	Unit 8 Going Green: Warm-up listening; environment vocabulary; 助動詞	Lecture; group work; listening dictation	Review textbook pp. 54-57; preview textbook pp. 58-59
17	Unit 8: Understanding reading passage; review quiz 8; writing 8 and peer-editing	Lecture; group work; quiz; writing	Review Unit 8; preview textbook pp. 60-62
18	Unit 9 Time to Work: Warm-up listening; employment vocabulary; 未来形	Lecture; group work; listening dictation	Review textbook pp. 60-63; preview textbook pp. 64-65
19	Unit 9: Understanding reading passage; review quiz 9; writing 9 and peer-editing	Lecture; group work; quiz; writing	Review Unit 9; preview textbook pp. 66-68
20	Unit 10 Know Your Business: Warm-up; sales & marketing vocabulary; 比較級＆最上級	Lecture; group work; listening dictation	Review textbook pp. 66-69; preview textbook pp. 70-71
21	Unit 10: Understanding reading passage; review quiz 10; writing 10 and peer-editing	Lecture; group work; quiz; writing	Review Unit 10; preview textbook pp. 72-74
22	Unit 11 The Job Interview: Warm-up listening; job interview vocabulary; 現在完了形	Lecture; group work; listening dictation	Review textbook pp. 72-75; preview textbook pp. 76-77
23	Unit 11: Understanding reading passage; review quiz 11; writing 11 and peer-editing	Lecture; group work; quiz; writing	Review Unit 11; preview textbook pp. 78-80
24	Unit 12 Is Your Company Right for You: Warm-up; company culture vocabulary; 接続詞	Lecture; group work; listening dictation	Review textbook pp. 78-81; preview textbook pp. 82-83
25	Unit 12: Understanding reading passage; review quiz 12; writing 12 and peer-editing	Lecture; group work; quiz; writing	Review Unit 12; preview textbook pp. 84-86
26	Unit 13 Email Matters: Warm-up listening; email vocabulary; work on final report	Lecture; group work; writing	Review textbook pp. 84-87; complete final report
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Unit 13: Understanding reading passage; 動名詞＆不定詞	Lecture; group work; quiz; writing	Review Unit 13
28	Course summary; feedback to the final report	Lecture; discussion	Review the course content

テキスト	Robert Hickling & 市川泰弘. *English Booster!* (KINSEIDO).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG126: 基礎英語スキルズ（リーディング・ライティング）					担当教員	岩崎　明子
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	narration, description, definition, comparison and contrast, cause and effect
授業の概要	This course focuses on developing clear and structured writing, along with improving reading comprehension. Students will learn how to analyze texts, express ideas in paragraphs, and write simple essays. By the end of the course, students will confidently write short essays and understand the main ideas in texts.
達成目標（授業の目的）	The goal of this class is to help students learn how to write good paragraphs and understand different types of sentences. This will also help them read and understand passages better.
到達目標（学修成果）	By the end of the class, students will be able to find the main ideas in reading passages and express their ideas in writing. This class will help students improve their reading and writing skills step by step.
評価方法	1) Active participation in class discussions and activities: 30% 2) Timely completion of exercises and assignments: 30% 3) Performance in review quizzes: 15% 4) Quality of the final research writing project: 15%
評価基準	The first class will provide a more detailed explanation of how to evaluate. 評価基準の詳細については初回の授業時に配付する
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle / Google Forms で行う ・口頭で行う ・提出物にコメントをつけて返却する
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Overview 1. What is a Paragraph? (1st)	lecture, pair work	pp.1-11
2	1. What is a Paragraph? (2nd) Paragraph writing	lecture, pair work, writing	pp.1-11, handout
3	2. Narration (1) John Lennon	listen, read, write, grammar, pair work	pp.8-11
4	2. Narration (2) Missing smartphone conjunction, preposition	lecture, reading exercise, writing, pair work	pp.12-13, handout submit writing (1)
5	3. Process (1) School excursion	listen, read, write, grammar, pair work	pp.14-17
6	3. Process (2) How to worship in shrines conjunctions, helping verbs	lecture, reading exercise, writing, pair work	pp.18-19, handout submit writing (2)
7	4. Description of Feeling (1) Mysteries	listen, read, write, grammar, pair work	pp.20-23
8	4. Description of Feeling (2) People's different feelings / adjectives	lecture, reading exercise, writing, pair work	pp.24-25, handout submit writing (3)
9	Review Quiz #1(Ut.1~4) 5. Description of People: My math teacher	listen, read, write, grammar, pair work	pp.26-29
10	5. Description of People: My grandmother appearance, characters	lecture, reading exercise, writing, pair work	pp.30-31, handout submit writing (4)

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	7. Definition: Japanese Culture feedback on the quiz #1	listen, read, write, grammar, pair work	pp.38-41
12	7. Definition: Japanese cuisine relative clause	lecture, reading exercise, writing, pair work	pp.42-43, handout submit writing (5)
13	8. Comparison & Contrast: tablets	listen, read, write, grammar, pair work	pp.44-46
14	8. Comparison & Contrast: My company, similarities and differences	lecture, reading exercise, writing, pair work	pp.47-48, handout submit writing (6)
15	9. Cause and Effect: Bad result of the text	listen, read, write, grammar, pair work	pp.50-53
16	9. Cause and Effect: What brought the team victory?	lecture, reading exercise, pair work	pp.54-55, handout submit writing (7)
17	Review Quiz #2 (Ut.5~9) 10. Problems & Solutions: Taro's	listen, read, write, grammar, pair work	pp.56-59
18	10. Problems and Solutions: School bullying	lecture, reading exercise, pair work	pp.60-63, handout submit writing (8)
19	11. Your Opinion-Agree feedback on the quiz #2	listen, read, write, grammar, pair work	pp.64-67, prepare for the final essay—topic
20	11. Your Opinion-Agree	listen, read, write, grammar, pair work	pp.68-69, submit writing (9)
21	12. Your Opinion-Disagree	lecture, exercise, peer proofreading	pp.70-73, prepare for the final essay—outline
22	12. Your Opinion-Disagree Review Quiz #3 (Ut.10~12)	lecture, exercise, pair tasks, writing tasks	pp.74-76, submit writing (10)
23	Academic writing (1) essay writing: structure of an essay; thesis statement	lecture, exercise, pair tasks, writing tasks	E. Essentials: pp.61-65, prepare for the final essay—start writing
24	Academic writing (2) essay writing: introduction & conclusion / feedback on the quiz #3	lecture, exercise, pair tasks, writing tasks	E. Essentials: pp.65, 66, 69, prep for the final essay-continue
25	Academic writing (3) essay writing: how to write the body of an essay	lecture, exercise, pair tasks, writing tasks	E. Essentials: pp.67-68, prepare for the final essay—complete
26	Academic writing (4): appreciate a good essay; pair editing the final essay	lecture, exercise, pair tasks	Review what you learn, prepare for the final essay—revise
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation of Final Project (1)	Peer-evaluation	Complete final project
28	Presentation of Final Project (2), wrap-up, and review of the course	Peer-evaluation	

テキスト	Nakaya. M, Yoshihira. M, Fallon, R (2024). *Smart Writing – Active Approach to Paragraph Writing, eleventh edition* (Seibido).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*
その他 特記事項	This class is designed for A2-level students to improve their basic writing and reading skills. It is not suitable for students at a higher level.

科目名	ENG150:　標準英語スキルズ（職場の英語）					担当教員	M. Wilkinson
開講期	春	開講時限	月木 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Business English, Email writing, critical thinking, presentation skills
授業の概要	Intermediate English: Workplace English This course aims to give students a foundation in English language skills for the workplace, with a focus on appropriate email writing and presentation skills.
達成目標（授業の目的）	・For students to gain an understanding of a wide range of issues in order to become responsible global citizens who embody the spirit of “Men and Women for Others, With Others” ・For students to acquire critical thinking skills ・For students to acquire abilities to understand others and express themselves effectively in English ・For students to acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to; effectively write emails in English in different levels of formality, with correct structure, and appropriate use of greeting and endings; give well-structured business presentations, with good body language, use of voice, eye contact, appropriate visuals, and be comfortable answering questions.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Presentations (30%); Homework assignments (20%); Email writing (20%)
評価基準	*Participation*: Actively contributing to pair and group discussions and completing in-class tasks. *Presentations*: One pair presentation, and one individual presentation, eye contact, voice, body language, organisation, visuals, content. *Homework assignments*: Completing textbook activities in time, reviewing vocabulary, preparing for presentations. *Email writing*: Write three emails of differing levels of formality, greetings and endings, structure, content.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions and course explanation, Unit 1: Job Interviews: Vocabulary, Reading, Listening	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises, review vocabulary
2	Unit 1: Job interviews Writing, Speaking	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises
3	Unit 2: Socializing with Confidence Vocabulary, Reading, Listening	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises, review vocabulary
4	Unit 2: Socializing with Confidence Writing, Speaking	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises
5	Unit 3: Communicating on the Phone Vocabulary, Reading, Listening	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises, review vocabulary
6	Unit 3: Communication on the Phone Writing, Speaking	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 4: Job Hunting Vocabulary, Reading, Listening	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises, review vocabulary
8	Unit 4: Job Hunting Writing, Speaking	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises
9	Unit 5: Business Writing Vocabulary, Reading, Listening	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises, review vocabulary
10	Unit 5: Business Writing Writing, Speaking	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises
11	Unit 6: Powerful Presentations Vocabulary, Reading, Listening	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises, review vocabulary
12	Unit 6: Powerful Presentations Writing, Speaking	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises, prepare for presentation
13	Pair presentations	Presentations with Q&A	Complete assigned textbook exercises
14	Unit 7: Participating in a Meeting Vocabulary, Reading, Listening	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises, review vocabulary
15	Unit 7: Participating in a Meeting Writing, Speaking	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises
16	Unit 8: Introducing Companies and Products Vocabulary, Reading, Listening	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises, review vocabulary
17	Unit 8: Introducing Companies and Products Writing, Speaking, Email one	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises
18	Unit 9: Negotiating for Success Vocabulary, Reading, Listening	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises, review vocabulary
19	Unit 9: Negotiating for Success Writing, Speaking	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises
20	Unit 10: Traveling on Business Vocabulary, Reading, Listening	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises, review vocabulary
21	Unit 10: Traveling on Business Writing, Speaking, Email two	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises
22	Unit 11: Technology Vocabulary, Reading, Listening	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises, review vocabulary
23	Unit 11: Technology Writing, Speaking	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises
24	Unit 12: Solving Problems Vocabulary, Reading, Listening	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises, review vocabulary
25	Unit 12: Solving Problems Writing, Speaking, Email three	Lecture, pair work, reading, speaking	Finish textbook exercises
26	Presentation preparation	Lecture, group work	Finish preparation for presentation.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentations	Presentations with Q&A, feedback	Complete peer feedback forms
28	Final Presentations	Presentations with Q&A, feedback	Complete peer feedback forms

テキスト	Richard Shearn, Andrew Ferris, Greg Tackett. *English at Work 2* (Cengage).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG158:　標準英語スキルズ（ディスカッション）					担当教員	O. Massoud
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Speaking, Argumentation, Domestic and International Topics, Cultures, Stories
授業の概要	The objective of this course is to help students develop their speaking skills and ability to engage in argumentation on a variety of contemporary issues confronting our lives. Through discussions of cultural differences and the use of the text, students will learn to express their opinions clearly and respectfully, and to consider multiple perspectives on complex issues.
達成目標（授業の目的）	・To enhance students' English proficiency and effective self-expression. ・To foster meaningful conversations, critical thinking, and diverse perspectives. ・To deepen understanding of course topics through integrated skills. ・To build confidence and logical thinking.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, the students should be able to: ・Answer and discuss assigned topics with peers in small groups, demonstrating increased knowledge of these topics. ・Respond to questions fluently and with appropriate grammar during discussions. ・Utilize, demonstrate, and expand upon topics discussed in group discussions, engaging in meaningful conversations about a wide range of contemporary issues confronting our lives. ・Employ argumentation skills to present and defend opinions effectively. Incorporate engaging storytelling into discussions, enhancing the depth and interest of conversations.
評価方法	Participation and performance in classroom activities and discussions (40%); Homework assignments (25%); Testing and assessment, such as in-class quizzes and leading discussions (20%); Independent learning (15%).
評価基準	1. Participation and performance: Students will be evaluated on their level of engagement in class discussions. This includes their willingness to contribute to the discussion, their ability to articulate their thoughts clearly and concisely, and their ability to listen actively to their classmates. 2. Homework: Students will be evaluated on their ability to complete relevant assignments on time, including textbook exercises and vocabulary sentences. 3. Testing and assessment: Quizzes will be used to assess understanding of vocabulary and class discussion topics. Leading discussions, students will be evaluated on their demonstration of effective discussion techniques during class, including the ability to respond to questions fluently and with good grammar. This includes the ability to facilitate discussions, guide the conversation in a productive direction, and engage all participants in the discussion. Independent learning: Students will be evaluated on their completion of two independent learning (IL) study plans and reflections.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・上記以外で行う／other: Google Sheets and Google Docs
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introductions to Each Other. Course Overview. Setup Google and Moodle.	meeting and greeting, course overview	Read the syllabus and course handbook.
2	Points of View. Unit 1: Which is better for a holiday, camping or staying at a hotel?	vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion,* pp. 9-16. Write your opinion.
3	Asking Questions to Deepen Understanding. TED Talk 1. Listening Log #1.	listening, group discussion, writing	Prepare Listening Log #1.
4	Asking for Clarification. Unit 2: Which is better for your health, tea or coffee?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion,* pp. 17-24. Write your opinion.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Debate I. TED Talk 2.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Prepare for Debate I.
6	Agreeing with an Opinion. Unit 3: Which class style is more effective, face-to-face or online?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion,* pp. 25-32. Write your opinion.
7	Expressing (Dis)Agreement. Unit 4: Which do you prefer, buying clothes or renting them?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion,* pp. 33-40. Write your opinion.
8	Expressing Personal Opinion. Unit 5: Should eSports be in the Olympic Games?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion,* pp. 41-48. Write your opinion.
9	Giving Reasons or Evidence. Unit 6: Should food companies abandon best-before dates?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion,* pp.49-56. Write your opinion.
10	Paraphrasing an Idea. Unit 7: Where do you like to watch movies, at a theater or at home?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion,* pp. 57-64. Write your opinion.
11	Asking for Opinions. Unit 8: Should homeowners install solar panels?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion,* pp. 65-72. Write your opinion.
12	Quiz #1. Review.	quiz and comments, lecture, discussion	Review Units 1-8. Prepare for Quiz #1.
13	Quiz feedback. Listening Log #2.	Review, discussion preparation	Prepare Listening Log #2.
14	Interrupting Politely. Unit 9: Should Japan ban the sale of pets?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion,* pp. 73-80. Write your opinion.
15	Prepare Discussion I.	Q&A, discussion	Prepare a discussion topic.
16	Lead Discussion I.	Q&A, discussion	Lead a discussion.
17	Correct Misunderstanding. Unit 10: Should Japan introduce a four-day workweek?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion,* pp. 81-88. Write your opinion.
18	Starting Something as Fact. Unit 11: Should children's video game time be limited by law?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion,* pp. 89-96. Write your opinion.
19	Debate II. Listening Log #3.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Prepare for Debate II. Prepare Listening Log #3.
20	Contrasting Points of View. Unit 12: Should cashless payment be promoted further in Japan?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion,* pp. 97-104. Write your opinion.
21	Make a Counterargument. Unit 13: Should social media companies censor their platforms?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion,* pp. 105-112. Write your opinion.
22	Debate III. Listening Log #4.	Lecture, Listening, writing, group discussion	Prepare for Debate III. Prepare Listening Log #4.
23	Speculating / Hypothesizing. Unit 14: Should Japan invest more in space development?	Vocabulary, listening, discussion, group work	Read *Voice Your Opinion,* pp. 113-120. Write your opinion.
24	Drawing Conclusions. Unit 15: Should public baths and hot springs accept people with tattoos?	Lecture, listening, writing, group discussion	Read *Voice Your Opinion,* pp. 121-128. Write your opinion.
25	Quiz #2. Review.	Vocabulary, listening, discussion, group work	Review Units 9-15. Prepare for Quiz #2.
26	Quiz feedback. Prepare for Discussion II.	Q&A, discussion	Prepare a discussion topic.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Lead Discussion II.	Q&A, discussion	Lead a discussion.
28	Review the Course.	comments, discussion	Review the course content.

テキスト	Atsushi Iino, Sayo Nakamura, Brian Wistner, Toshihiko Wada, Yukiko Yabuta. *Voice Your Opinion* (Kinseido). TED Talks (Online).
参 考 書	*English essentials: An Academic Skills Handbook.*

科目名	ENG161: 標準英語スキルズ（編入対策）					担当教員	岩崎　明子
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	vocabulary, grammar, reading, test-taking strategies
授業の概要	大学編入学試験に対応できる英語力を身につけるために、前半は英検準 1 級の総合問題を解き、後半は試験の過去問題の演習とその解説を中心に授業を進める。Vocabulary & grammar, 長文の Reading, Translation, Summary, Writing エクササイズを繰り返す。また、最後のプレゼンテーションでは、過去問を客観的に分析し解説する課題を行う。
達成目標（授業の目的）	編入学試験の英語問題を解くために必要な教養と表現力を身につける。英語の読解力を高めるため必要なスキルを習得し、試験の得点をあげる。英文を翻訳する力を伸ばし、日本語で要約する力をつける。編入学試験に向けて、過去問を分析し自律学修ができる力を養う。
到達目標（学修成果）	英検準 1 級程度の英文を読める単語力、文法力、読解力を習得する。多様な専門分野のトピックの英文を読み、翻訳や要約ができるようになる。過去問を分析できるようになる。自分で学修計画を立て、計画に沿って学修できる習慣と力が身につくようになる。
評価方法	授業への積極的参加・課題 50 %、Review Test 2 回 20%: #1（9 回目）、Test #2（17 回目）、プレゼンテーション 3 回 30%
評価基準	①Text 演習を必ず予習し、授業内での質疑や解答分析の話合いに積極的に参加し、課題の内容とそれを期日内に提出したかを評価。②Review Test では、授業でやったところをよく復習して身につけたかを評価する。③プレゼンテーションでは、試験問題の構造や難易度、トピックについて的確に分析しているかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview, 大学編入試験とは	Lecture	p.35
2	1. 自然・環境 Reading 1, 2, 3B	Vocabulary, reading	pp.44-51 予習
3	1. 自然・環境 Listening, Writing	Listening, writing	pp.52-57 予習
4	2. 教育・心理 Reading 1, 2, 3A	Vocabulary, reading	pp.80-84 予習
5	2. 教育・心理 Listening, Writing	Listening, writing	pp.86-89 予習
6	3. 健康・医療 Reading 1, 2, 3C	Vocabulary, reading	pp.114-118 予習
7	3. 健康・医療 Listening, Writing	Listening, writing	pp.122-125 予習
8	自然・環境・教育・心理・健康・医療 まとめ、Terminology, Grammar	Review, exercise, Q&A	Review, exercise, Q&A

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	ReviewTest#1、Review Test 返却、講評、大学入試問題 Exercise	Test, lecture, exercise	プリント
10	4. 科学・技術 Reading 1, 2, 3B	Vocabulary, reading	pp.152-157 予習
11	4. 科学・技術 Listening, Writing	Listening, writing	pp.158-161 予習
12	5. 社会・ビジネス Reading 1, 2, 3C	Vocabulary, reading	pp.188-195 予習
13	5. 社会・ビジネス Listening, Writing	Listening, writing	pp.196-199 予習
14	6. 政治・文化 Reading 1, 2, 3A	Vocabulary, reading	pp.226-231 予習
15	6. 政治・文化 Listening, Writing	Listening, writing	pp.232-235 予習
16	科学・技術・社会・ビジネス・政治・文化まとめ Terminology, Grammar	Review, exercise, Q&A	プリント
17	Review Test #2、大学入試問題	Exercise Test, lecture, exercise	プリント
18	過去問演習（長文読解、空所補充）Review Test 返却、講評	Lecture, exercise	プリント配布 予習
19	過去問演習（翻訳、作文）	Lecture, exercise	プリント配布 予習
20	過去問演習（要約、作文）	Lecture, exercise	プリント配布 予習
21	過去問総合 1）	Lecture, exercise	プリント配布 予習
22	過去問総合 2）	Lecture, exercise	プリント配布 予習
23	過去問総合 3）	Lecture, exercise	プリント配布 予習
24	試験問題解説プレゼンテーション①	Presentation, Q&A	Prepare presentation
25	試験問題解説プレゼンテーション②	Presentation, Q&A	Prepare presentation
26	試験問題解説プレゼンテーション③	Presentation, Q&A	Prepare presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	試験問題解説プレゼンテーション④	Presentation, Q&A	Prepare presentation
28	まとめ	Lecture, Q&A	

テキスト	著者：西真理子、他『よく出る 6 テーマ別 英検総合トレーニング準 1 級』（三修社）
参 考 書	2023 年度版『英検準 1 級過去 6 回全問題集』（旺文社）、中原道喜（2000 年）『英語長文問題 精講 新装版』（旺文社）、瓜生豊他『英文法・語法問題 Next Stage 4th』（桐原書店）、風早寛『速読英単語 必修編（改訂第 7 版）』（Z-KAI）
その他 特記事項	学期中に英検準 1 級の単語本 1 冊をマスターする

科目名	ENG166: 標準英語スキルズ（ホスピタリティの英語）					担当教員	R. Burton
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	hospitality, tourism, *omotenashi,* content-based learning, theme-based learning
授業の概要	This course aims to help students considering a career in the hospitality industry develop the skills necessary for success in a variety of tourism fields. Although the textbook focuses mainly on the tour, airline and hotel sectors, the vocabulary and expressions learned can be applied to all areas of tourism. During the semester, each student will do three short presentations and a longer final presentation.
達成目標（授業の目的）	Through this course, students will build up their English vocabulary, improve their ability to listen to, understand and communicate effectively with customers. They will develop skills in writing, verbal communication, research and presentation in relation to their individual sector of the industry.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, students should be able to do the following: ・Vocabulary: understand and use key English vocabulary and expressions provided in the textbook. ・Reading: grasp the main ideas and details in the textbook. ・Writing: make simple, easy to understand travel plans for tourists. ・Communication: engage in simple, natural dialogue with travelers. ・Research: gather information from actual travel websites to meet specific customer needs. ・Presentation: attract and politely sell your itinerary / accommodations / travel, plan to customers.
評価方法	Participation and performance, including 3 short presentations (40%); Homework (35%); Three Quizzes (15%); Final presentation (10%)
評価基準	Participation and performance: active everyday involvement, effort to use English, engagement in role-play and all small-group tasks, use of key vocabulary studied; content, organization and understandability of short presentations. Homework: submitted on time and according to instructions, use of key vocabulary studied. Quizzes: understanding / use of key vocabulary and expressions. Final Presentation: Topic related to a hospitality field, use of general and specific information / details / examples, organization, easy to understand, length.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers ・上記以外で行う／ Loyola / Moodle
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: Syllabus, text, explanation of Short Presentations; Mingle / Network	Meeting and greeting, Discuss hospitality	Write two paragraphs. Text p. 13. Vocabulary - Expressions
2	Unit 1. Recommending a tour: vocabulary, listening, discussion; Form small groups	Discuss your area of interest with group	Unit 1. Traveling Further p. 16
3	Unit 1. Traveling Further: research, writing, presenting	Individual, group work, listening, discussion	Text pp. 18-19 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
4	Unit 2. Taking a tour booking: vocabulary, role-play, reading	Pair / small-group work, listening, discussion	Unit 2. Traveling Further p. 22
5	Unit 2. Traveling Further: research, writing, presenting	Individual, group work, listening, discussion	Text pp. 24-25 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Unit 3. Escorting a tour: vocabulary, role-play, reading	Pair / small-group work, listening, discussion	Prepare presentation
7	Short Presentation #1	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete Self-Evaluation Form Unit 3. Traveling Further
8	Unit 3. Traveling Further: research, writing, presenting	Individual, group work, listening, discussion	Text pp. 30-31 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
9	Unit 4. Welcoming international tourists: vocabulary, role-play, reading	Pair / small-group work, listening, discussion	Unit 4. Traveling Further p. 34; Review Units 1 ~ 4 Vocabulary
10	Unit 4. Traveling Further: research, writing, presenting; Quiz #1: Vocabulary - Expressions	Individual, group work, listening, discussion	Text pp. 36-37 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
11	Unit 5. Taking an airline reservation: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 42-43 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
12	Unit 6. Giving flight information: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 48-49 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
13	Unit 7. Helping passengers check in: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Prepare presentation
14	Short Presentation #2	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete Self-Evaluation Form Text pp. 54-55 Dialogue, vocab.
15	Unit 8. Working at the boarding gate: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 60-61 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
16	Unit 9. Offering in-flight services: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 66-67 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
17	Unit 10. Giving CIQ information: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 72-73 Dialogue, vocab. Review Units 5 ~ 10 Vocabulary
18	Unit 11. Taking a room reservation: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 78-79 Dialogue Study, Review Units 5 ~ 10 Vocabulary
19	Unit 12. Welcoming guests: vocabulary, role-play, reading; Quiz #2: Vocabulary - Expressions	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 84-85 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
20	Unit 13. Helping guests: vocabulary, role-play, reading	Pair / small-group work, listening, discussion	Prepare presentation
21	Short Presentation #3	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete Self-Evaluation Form Unit 13. Traveling Further p. 88
22	Unit 13. Traveling Further: research, writing, presenting	Individual, group work, listening, discussion	Text pp. 90-91 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
23	Unit 14. Dealing with complaints: vocabulary, role-play, reading, research	Pair / small-group work, listening, discussion	Text pp. 96-97 Dialogue Study, Vocabulary - Expressions
24	Unit 15. Sending guests off: vocabulary, role-play, reading	Pair / small-group work, listening, discussion	Unit 13. Traveling Further p. 88 Review Units 11 ~ 15 Vocab.
25	Unit 15. Traveling Further: research, writing, Presenting; Quiz #3 Vocabulary - Expressions	Pair / small-group work, listening, discussion	Begin planning for Final Presentation
26	Textbook review; Discuss ideas for Final Presentation	Individual guidance from instructor; pair work	Prepare for Final Presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final Presentations	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete Self-Evaluation Form Submit late homework
28	Final Presentations Interview / Portfolio review	Presenting…Q & A Interviewing skills	Complete Self-Evaluation Form

テキスト	Reiko Fujita. *English for Tourism Professionals* (National Geographic Learning - Cengage).
参 考 書	Travel Japan – Japan National Tourism Organization: https://www.japan.travel/en/us/ JTB Tourist Information Center: https://www.tourist-information-center.jp/en/

科目名	ENG167: 標準英語スキルズ（日本の文化）					担当教員	宮崎　幸江
開講期	春	開講時限	火金 4 限			研究室	4217
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	茶の湯、日本文化、総合芸術、英語プレゼン力
授業の概要	この授業では、茶の湯を切り口に、英語で日本の文化を語る語彙、会話力、プレゼンテーション力、読解力を学ぶ。茶の湯が総合芸術と言われるのはなぜか、日本において喫茶の習慣がいかに広まったかを理解し、茶道の点前と英語での説明を学ぶ。
達成目標（授業の目的）	この授業では、学生は海外の人々に対し、英語で茶の湯や茶の湯と関係の深い美術や工芸、喫茶の歴史等について説明できるようになることを目的とする。裏千家の作法で盆略点前という基本の抹茶の点て方を習得し、英語でも点前を説明できるようになる。
到達目標（学修成果）	① 茶の湯の歴史やその精神について日英両言語で理解し説明できるようになる。 ② 英語で茶の飲み方など客の作法について説明できるようになる。 ③ 盆略点前で茶を点てて、人をもてなすことができるようになる。
評価方法	① クイズ：30% ② 授業への積極参加：10% ③ プレゼンテーション（個人）：20% ④ プレゼンテーション（グループ）：10% ⑤ レポート：20% ⑥ 実技：10%
評価基準	① クイズ：茶の湯に関連する語彙や表現を習得しているかを評価する。 ② 授業への積極参加：ディスカッションや点前の習得に積極的に参加するかを評価する。 ③ プレゼンテーション（個人）：茶道について英語で説明できるかを評価する。 ④ プレゼンテーション：グループで行う茶会の運営と英語でのナレーションを評価する。 ⑤ レポート：日英バイリンガルで提出し、茶の湯についての理解と表現力を評価する。 ⑥ 実技：盆略点前が正しくできるかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	テキスト A　飲茶の歴史 茶道、Tea Ceremony と茶の湯	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 1-7 の予習
2	テキスト A　わび茶とは お辞儀の種類について	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 8-13 の予習
3	床の間の設え、掛け軸と茶花 茶の湯デモンストレーション	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B pp. 7-8 の復習
4	クイズ 1 武道と茶道の接点	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト B p. 9 復習
5	クイズ 2 割り稽古（帛紗さばきと道具の清め）	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 12-13 の予習 テキスト B pp. 10-11 復習
6	テキスト A クイズ 3	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 15-17 テキスト B p. 13 復習
7	抹茶とは　クイズ 4 割り稽古（帛紗さばきと道具の清め）	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 18-19 の予習 テキスト B pp. 14-17 復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	点前とは　クイズ 5 割り稽古（茶筅通し）	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 12-13 の予習 テキスト B pp. 22-25 復習
9	客振り　テキスト A クイズ 6	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 20-25 の予習 テキスト B pp. 28-31 復習
10	茶室の構造　クイズ 7 割り稽古（茶碗を拭く）	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 26-27 の予習 テキスト B pp. 32-35 復習
11	茶道具　テキスト A クイズ 8	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 28-29 の予習 テキスト B pp. 36-39 復習
12	茶碗と茶杓　クイズ 9 盆略点前	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 30-31 の予習 テキスト B pp. 42-45 復習
13	茶入れと茶筅　テキスト A クイズ 10	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 31-33 の予習
14	床の間 盆略点前	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 34-35 の予習
15	茶の湯と季節	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 36-37 の予習
16	茶席のスタイル 盆略点前	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 38-39 の予習
17	露地とは テキスト A	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 12-13 の予習
18	立礼のもてなし	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 41-43 の予習
19	茶道具に使われるやきもの	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 44-45 の予習
20	漆・漆器	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	盆略点前の復習
21	実技テスト	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	盆略点前の復習
22	実技テスト	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 55-61 の予習
23	茶会と茶事の違い	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	テキスト A pp. 66-69 の予習
24	茶会の計画 茶席の菓子	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	プレゼンテーション準備
25	リハーサル	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	リアクションペーパーを書く 茶会の計画
26	プレゼンテーション 茶会を企画し、英語でもてなす 1	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	プレゼンテーションの準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	プレゼンテーション 茶会を企画し、英語でもてなす 2	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	リアクションペーパーを書く レポート作成
28	まとめ	講義、質疑応答、実技、ペアワーク	レポート作成

テキスト	A　ランディー・チャネル宗榮『バイリンガル茶の湯 BOOK The book of Chanoyu』（淡交社） B　保科眞智子『英語 DE 茶の湯　こんなとき、どうする？！』（淡交社）
参 考 書	抹茶と授業で使うお菓子代は別途徴収。希望者には学期中に上智大学が所有する「紀尾井亭」にて茶の湯体験を行う予定。

科目名	ENG168: 標準英語スキルズ（メディア・ニュースの英語）					担当教員	J. Zhang
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	media literacy, critical analysis and thinking, news and perspectives, digital media and society
授業の概要	This course focuses on media literacy, emphasizing English vocabulary and structures for discussing media topics. Throughout the semester, students will engage with current news stories and critically analyze the messages conveyed by various forms of media, including visual content such as images. By examining how different media outlets report on the same issues, students will enhance their critical thinking and media literacy skills.
達成目標（授業の目的）	・To acquire specialized English vocabulary and grammar for discussing media-related topics. ・To develop a greater interest in national and international news. ・To enhance understanding of the messages and influence conveyed by images. ・To cultivate the habit of asking critical questions when consuming information.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to ・follow news stories regularly and deliver concise presentations about them in English. ・describe images effectively and analyze the messages they convey. ・use specialized vocabulary and grammar to discuss media-related topics and actively participate in English discussions. ・present a comparative analysis showcasing how different media outlets present diverse perspectives on current news stories.
評価方法	Participation in class activities and discussions (30%); Quizzes (20%); Homework (40%); Final presentation (10%).
評価基準	Participation in class activities and discussions: Demonstrates effort to use English actively and incorporates textbook vocabulary and grammar effectively; Quizzes: 12 review quizzes on the textbook vocabulary and grammar; Homework: Regular and timely submission of critical thinking reports (12 pieces) that reflect thoughtful engagement with course content; Final presentation: Content is well-researched and organized, visuals are relevant and enhance the presentation, and delivery effectively engages the audience.
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う／ Moodle ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview; explain the evaluation criteria; ice-breaking	Course orientation; pair/group work	Review the course syllabus; preview textbook, pp. 1-3
2	Lesson 1 Waking up to the Media: Warming up; reading; first comprehension	Lecture; group work; reading; exercise	Review textbook, pp. 1-4
3	Lesson 1: Second comprehension; review quiz 1; critical thinking discussion and report 1	Review; discussion; listening; writing	Review textbook, pp. 1-7; Preview textbook, pp. 8-10
4	Lesson 2 Introducing the Media Jungle: Warming up; reading; first comprehension	Lecture; group work; reading; exercise	Review textbook, pp. 8-11
5	Lesson 2: Second comprehension; review quiz 2; critical thinking discussion and report 2	Review; discussion; listening; writing	Review textbook, pp. 8-13; Preview textbook, pp. 14-16

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Lesson 3 The Truth, the Whole Truth: Warming up; reading; first comprehension	Lecture; group work; reading; exercise	Review textbook, pp. 14-17
7	Lesson 3: Second comprehension; review quiz 3; critical thinking discussion and report 3	Review; discussion; listening; writing	Review textbook, pp. 14-19; Preview textbook, pp. 20-22
8	Lesson 4 In Praise of Books: Warming up; reading; first comprehension	Lecture; group work; reading; exercise	Review textbook, pp. 20-23
9	Lesson 4: Second comprehension; review quiz 4; critical thinking discussion and report 4	Review; discussion; listening; writing	Review textbook, pp. 20-25; Preview textbook, pp. 26-28
10	Lesson 5 In Praise of Books: Warming up; reading; first comprehension	Lecture; group work; reading; exercise	Review textbook, pp. 26-29
11	Lesson 5: Second comprehension; review quiz 5; critical thinking discussion and report 5	Review; discussion; listening; writing	Review textbook, pp. 26-32; Preview textbook, pp. 33-35
12	Lesson 6 Watching TV: Is Seeing Believing: Warming up; reading; first comprehension	Lecture; group work; reading; exercise	Review textbook, pp. 33-36
13	Lesson 6: Second comprehension; review quiz 6; critical thinking discussion and report 6	Review; discussion; listening; writing	Review textbook, pp. 33-39; Preview textbook, pp. 40-42
14	Lesson 7 Watching TV: Is Seeing Believing: Warming up; reading; first comprehension	Lecture; group work; reading; exercise	Review textbook, pp. 40-43
15	Lesson 7: Second comprehension; review quiz 7; critical thinking discussion and report 7	Review; discussion; listening; writing	Review textbook, pp. 40-46; Preview textbook, pp. 47-49
16	Lesson 8 The Internet and Information Age: Warming up; reading; first comprehension	Lecture; group work; reading; exercise	Review textbook, pp. 47-50
17	Lesson 8: Second comprehension; review quiz 8; critical thinking discussion and report 8	Review; discussion; listening; writing	Review textbook, pp. 47-52; Preview textbook, pp. 53-55
18	Lesson 9 The Internet and Information Age: Warming up; reading; first comprehension	Lecture; group work; reading; exercise	Review textbook, pp. 53-56
19	Lesson 9: Second comprehension; review quiz 9; critical thinking discussion and report 9	Review; discussion; listening; writing	Review textbook, pp. 53-59; Preview textbook, pp. 67-69
20	Lesson 11 Lies, Half-truths and Propaganda: Warming up; reading; first comprehension	Lecture; group work; reading; exercise	Review textbook, pp. 67-70
21	Lesson 11: Second comprehension; review quiz 11; critical thinking discussion and report 11	Review; discussion; listening; writing	Review textbook, pp. 67-72; Preview textbook, pp. 73-75
22	Lesson 12 Freedom and Censorship: Warming up; reading; first comprehension	Lecture; group work; reading; exercise	Review textbook, pp. 73-76
23	Lesson 12: Second comprehension; review quiz 12; critical thinking discussion and report 12	Review; discussion; listening; writing	Review textbook, pp. 73-79; Preview textbook, pp. 94-96
24	Lesson 15 Global Communications and Global Citizenship: Warming up; first comprehension	Lecture; group work; reading; exercise	Review textbook, pp. 94-97
25	Lesson 15: Second comprehension; review quiz 15; critical thinking discussion and report 15	Review; discussion; listening; writing	Review textbook, pp. 94-100
26	Preparing the final presentation	Working on presentations	Rehearse the final presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Final presentation; feedback and comment	Individual presentations; lecture; discussion	Rehearse the final presentation (if needed)
28	Final presentation (make-up day); course summary	Lecture; discussion	Review the course content

テキスト	John Bray, 平野靖雄, 高橋優身, 町田なほみ, 高橋みゆき. *Cutting Through the Media Jungle* (SEIBIDO).
参 考 書	*English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	ENG169: 標準英語スキルズ（リーディング・ライティング）					担当教員	P. McQuilling
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Self-expression, Output based on input, Critical thinking skills.
授業の概要	The course develops practical reading and writing skills working towards producing a well-developed piece of writing supported by reading activities across various genres with writing activities that allow students to express views appropriate to both the writing purpose and audience.
達成目標（授業の目的）	・For students to enhance their reading comprehension applying various reading strategies over various genres. ・For students to improve their writing skills by connecting ideas based on the reading materials to utilize organization skills and support their opinions with details through a process of revision & redrafting. ・For students to acquire grammar and vocabulary knowledge while fostering an ability to express ideas effectively in writing for different purposes and audiences. ・For students to build critical thinking skills through focused activities, discussions, group work and peer evaluations.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to understand longer essays, passages & narratives through the use of reading strategies to process important details. Students will be able to write a standard paragraph on a familiar topic that includes a clear topic sentence, supporting details, and a concluding sentence. Students will also be able to expand a paragraph into a short essay with introductory, body and concluding paragraphs. Students will be able to critically review their own written work to make necessary revisions.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (30%); Homework assignments (30%); Testing and assessment (40%) including a final reading test (20%) & final writing test (20%)
評価基準	Participation and performance: active involvement in class, effort to use English, effort and performance on textbook tasks, timed readings & worksheets; Homework: worksheets, writing assignments & textbook tasks completed thoroughly & submitted on time; Final reading test: correct answers to multiple-choice questions; Final writing test: writing test based on textbook units (content, organization, language & grammar).
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle / Google Forms で行う／Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation. Course Introduction. Learner profiles.	Course orientation, pair and group work.	Complete learner profile.
2	Writing Diagnostic. Unit 1 Places - video & exercises.	Writing, listening, Q and A, pair work.	Review Unit 1 Reading 1 Megacities.
3	Unit 1 Readings. Scanning for Meaning.	Reading, writing, pair work.	Complete U.1 Critical Thinking exercises.
4	Unit 1 Write. Organizing ideas.	Writing, pair work.	Complete U.1 Writing Task: Describe where you live.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Unit 2 Festivals & Celebrations - video & exercises.	Listening, Q and A, pair work, group discussion.	Review U.2 Reading 1 Muscat Nights.
6	Unit 2 Readings. Previewing.	Reading, writing, pair work.	Research an international festival.
7	Unit 2 Writing. Paragraph Organization.	Writing, pair work.	Complete U.2 Writing Task: Describe a festival.
8	Unit 3 Internet & Technology - video & exercises.	Listening, Q and A, pair work, group discussion.	Review U.2 Reading 1 Internet cookies.
9	Unit 3 Readings. Skimming.	Reading, writing, pair work.	Complete U.3 Critical Thinking exercises.
10	Unit 3 Write. Topic, Supporting & Concluding Sentences.	Writing, pair work.	Complete U.3 Writing Task: Is the internet a waste of time?
11	Unit 4 Weather & Climate - video & exercises.	Listening, Q and A, pair work, group discussion.	Review U.4 Reading 1 Living in the wettest place on Earth.
12	Unit 4 Readings. Making inferences.	Reading, writing, pair work.	Complete U.4 Critical Thinking exercises.
13	Unit 4 Write. Topic Sentences.	Writing, pair work.	Complete U.4 Writing Task: Compare the weather.
14	Unit 5 Sports & Competition - video & exercises.	Listening, Q and A, pair work, group discussion.	Review U.5 Reading 1 Five Unusual sports.
15	Unit 5 Readings. Reading for Main Ideas.	Reading, writing, pair work.	Complete U.5 Critical Thinking exercises.
16	Unit 5 Write. Supporting Sentences.	Writing, pair work.	Complete U.5 Writing Task Describe a sporting event.
17	Unit 6 Business - video & exercises.	Listening, Q and A, pair work, group discussion.	Review U.6 Reading 1 Are you ready for the world of work?
18	Unit 6 Readings. Using knowledge to predict content.	Reading, writing, pair work.	Research a company's history.
19	Unit 6 Write. Using data to support main ideas.	Writing, pair work.	Complete U.6 Writing Task: Write a company's history.
20	Unit 7 People - video & Exercises.	Listening, Q and A, pair work, group discussion.	Review U.7 Reading 1 Real Life Superheroes.
21	Unit 7 Readings. Scanning to predict content.	Reading, writing, pair work.	Complete U.7 Critical Thinking exercises.
22	Unit 7 Write. Expand a paragraph into short essay.	Writing, pair work.	Brainstorm ideas & write an outline for an essay.
23	Unit 8 The Universe - video & exercises. Essay writing 1st draft.	Listening, Q and A, pair work, writing.	Write the first draft of an essay.
24	Unit 8 Readings. Working out meaning from context.	Reading, writing, pair work.	Review textbook content for the reading test.
25	Reading Test. Essay feedback, revising and redrafting.	Reading test, writing, pair work.	Rewrite the essay based on the feedback.
26	Reading Test Feedback. Writing Test Practice.	Writing, pair work.	Brainstorm ideas & write an outline for the writing test.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Writing Test. Learning goals checklist & self-evaluations.	Planning, writing test.	Make a plan for future learning.
28	Writing Test feedback & course reflection.	Pair work, group work & discussion.	Review the class and reflect on your progress.

テキスト	Richard O'Neill & Michelle Lewis. *Unlock Reading, Writing & Critical Thinking 2 (3rd Ed.)* (Cambridge University Press).

科目名	ENG182: 準上級英語スキルズ（TOEICスピーキング・ライティング対策）					担当教員	P. McQuilling
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-②,3-③

キーワード	TOEIC preparation skills, critical thinking, test item formatting, self-directed learning
授業の概要	This class will provide a structured format to prepare for the TOEIC Speaking and Writing Test. In this course students will explore a range of test content and language usage that are common in TOEIC tests and also in daily life. Original test items will be made by the students based on TOEIC test question formatting.
達成目標（授業の目的）	This course aims to help students develop an understanding of test item formatting and the topics presented on the TOEIC Speaking and Writing Test. Students will learn the formatting of each question type and will work with their peers to critically analyze the answers they provide. TOEIC test strategies will also be discussed with peers and the instructor. English language skills will be developed in parallel to a greater understanding of TOEIC test content.
到達目標（学修成果）	By the end of the course, each student should be able to identify and provide answers for all question types on the TOEIC Speaking and Writing Test. Students will then be able to create original test questions in the appropriate format. Participation will include test item creation (TIC), critical thinking and test strategy activities that will help prepare students for a set of 3 mock TOEIC tests. Preparation for each class will include both homework and TIC tasks.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (20%); Homework assignments drawn from the textbook and worksheets (25%); Test Item Creation, focusing on the creation of properly formatted test questions and performance on student created questions (25%); Testing and assessment, including 3 mock-TOEIC tests – i) Speaking test ii) Writing test & iii) Speaking & Writing tests combined (30%).
評価基準	Participation and performance: active involvement, participation and performance on critical thinking activities which reference TOEIC test question formats, performance on TOEIC test questions in class, effort to use English; Homework: worksheets & assignments completed thoroughly and on time, use of test formatting; Test Item Creation (TIC): completed thoroughly and on time for use in class, performance on student created questions using the strategies studied; Mock-Tests: completion of each test and response to feedback from teacher and peers.
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle / Google Forms ・Orally ・Comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction & orientation. Learner profiles, course goal setting.	Explanation by instructor, pair work.	Read syllabus, complete learner profile.
2	TOEIC Speaking Test overview. Qs.1-2 Reading Announcements practice.	Pair work, group work, peer evaluations	Speaking Test Qs.1-2 practice worksheet.
3	Speaking Test Qs.3-4 Describing Photos explanation and practice.	Presentation, pair work, group work.	Speaking Test Qs.3-4 practice worksheet.
4	Speaking Test Qs.5-7 Responding to Questions explanation and practice.	Pair work, group work & discussion.	Speaking Test Qs.5-7 practice worksheet.
5	Speaking Test Qs.8-10 Responding to Questions using Provided Information.	Pair work, group work, self-recordings.	Speaking Test Qs.9-10 practice worksheet.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Speaking Test Q.11 Expressing your opinion organization tactics and practice.	Pair work, discussion, peer evaluations.	Speaking Test Q.11 practice worksheet.
7	Speaking Test Review – review & practice, self-evaluations, self-improvement strategies.	Peer evaluations, self-recordings.	Review test questions and strategies.
8	Speaking Mock Test explanation – test practice, peer evaluations	Peer evaluations, self-recordings.	Review test questions and strategies for Mock Test 1.
9	Mock Test 1. Speaking Test. Writing Test overview.	Test, record answers, self-evaluation.	Review answers. Identify areas for improvement.
10	Test feedback. Writing Test Qs.1-5. Photo descriptions.	Pair work, group work & discussion.	Writing Test Qs.1-5 practice worksheet.
11	Writing Test. Qs.6-7. Responding to emails. Organizing responses.	Pair work, group work & discussion.	Writing Test Qs.6-7 practice worksheet.
12	Writing Test Q.8 Writing an opinion essay. Organization and supporting opinions.	Pair work, group work & discussion.	Writing Test Q.8 practice worksheet. Essay organization.
13	Writing Test Q.8 Writing an opinion essay. Cohesion and coherence strategies.	Pair work, feedback, self-evaluation.	Writing Test Q.8. Cohesion & coherence worksheet.
14	Writing Test review – review & practice, self-evaluations, self-improvement strategies.	Pair work, group work, peer evaluations.	Review test questions and strategies for Mock Test 2.
15	Mock Test 2. Writing Test. Test Item Creation overview.	Test, self-evaluations.	Review answers. Identify areas for improvement.
16	Test feedback. Test Item Creation: Speaking test Qs.1-2.	Teacher feedback, pair work, research.	Research suitable items for Speaking test Qs.1-2.
17	Test Item Creation: Speaking test. Qs.3-4. Student created question practice.	Pair work & research. Self-recordings.	Record two sets of answers for Speaking test Qs.3-4.
18	Test Item Creation: Writing Test Qs.1-5. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Answer two sets of student created Writing Test Qs.1-5.
19	Test Item Creation: Speaking test Qs.5-7. Student created question practice.	Pair work & research. Self-recordings.	Create a situation and questions for Speaking test Qs.5-7
20	Test Item Creation: Speaking test Qs.8-10. Student created question practice.	Pair work & research. Self-recordings.	Answer two sets of student created Speaking test Qs.8-10.
21	Test Item Creation: Writing test Qs.6-7. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Write 2 appropriate emails for Writing test Qs.6-7.
22	Test Item Creation: Speaking test. Q.11. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Record one answer for Speaking test Q.11.
23	Test Item Creation: Writing test. Q.8. Student created question practice.	Pair work, group work & research.	Create two appropriate questions for Speaking test Q.8.
24	Q.8. Opinion Essay Review. Question Type Practice.	Brainstorming, organizing, writing.	Write an opinion essay.
25	TOEIC test questions review & self-improvement strategies.	Pair work, group work & discussion.	Review test questions and strategies for Mock Test 3.
26	Mock Test 3. Speaking & Writing tests. TOEIC self-evaluations.	Test, record answers, self-evaluations.	Review answers. Identify areas for improvement.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Test feedback. TOEIC strategies and independent learning review.	Pair work, group work & discussion.	Make a plan for future learning.
28	Feedback and course reflection.	Pair work, group work & discussion.	Review the class and reflect on your progress.

テキスト	Educational Testing Service『公式 TOEIC Speaking & Writing ワークブック』（IIBC）

科目名	ENG183:　準上級英語スキルズ（多読速読）					担当教員	M. Lupas
開講期	春	開講時限	火金 5 限			研究室	4206
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。					3-③
キーワード	extensive reading, rapid reading, speed reading, skimming, scanning, levelled readers, graded readers						
授業の概要	Reading improves through reading. This course is designed to make reading an enjoyable habit by allowing students to read many books in English at a level they feel comfortable with and about content which interests them. Students will have access to a virtual library of adventure, mystery, humor, biography, romance, true stories, and social issues books which they can read on their devices or borrow in paper format from the school library. They will also practice rapid reading techniques in class.						
達成目標（授業の目的）	Course Goals: For students to improve their general English reading ability by reading large quantities of texts at a comfortable level. For students to express their understanding of what they have read to others in a clear way. For students to understand written content faster by mastering several common writing patterns. For students to increase their English vocabulary.						
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will acquire the habit of weekly reading of longer texts and books in English, will be able to write a report about non-fiction and fiction books, will be able to orally communicate about what they read by doing book presentations, will be able to use the SQ3R method to read faster, will have learned and be able to recognize 500 common reading vocabulary words, and will reflect on how they read, different ways of reading, and on the process of reading.						
評価方法	Participation 20%; Homework 60%; Vocabulary Quizzes 15%; Presentation 5%						
評価基準	1. Participation: active participation in class activities including book sharing (20%) 2. Homework: 12 book reports evaluated on completeness and timely submission (20%), and total number of words read (40%): 40,000 words= 8pts; 80,000 words=16 pts; 120,000 words=24 pts; 150,000 words= 28 pts; 180,000 words= 32 pts; 210,000 words= 36 pts; 240,000 words= 40 pts 3. Vocabulary Quizzes: Moodle quizzes based on the textbook vocabulary lists (15%) 4. Presentation: 1 presentation on “How I Read” evaluated on organization, delivery, and content (5%)						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally						
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Class introduction. What are rapid reading (RR) and extensive reading (ER)?	lecture, video, resources	Review class notes; review vocabulary.
2	RR: readings 42-44 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz.
3	RR: readings 45-47 ER: book report 1	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
4	RR: readings 48-50 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
5	RR: readings 51-53 ER: book report 2	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	RR: readings 54-56 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
7	RR: readings 57-59 ER: book report 3	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
8	RR: readings 60-62 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
9	RR: readings 63-65 ER: book report 4	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 2,000 words or more; Do the Moodle quiz
10	RR: readings 66-68 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
11	RR: readings 69-71 ER: book report 5	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
12	RR: readings 72-74 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
13	RR: readings 77-79 ER: book report 5	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
14	RR: readings 80-82 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
15	RR: readings 83-85 ER: book report 6	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 3,000 words or more; Do the Moodle quiz
16	RR: readings 86-88 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 4,000 words or more; Do the Moodle quiz
17	RR: readings 89-91 ER: book report 7	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 4,000 words or more; Do the Moodle quiz
18	RR: readings 92-94 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 4,000 words or more; Do the Moodle quiz
19	RR: readings 95-97 ER: book report 8	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 4,000 words or more; Do the Moodle quiz
20	RR: readings 98-100 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
21	RR: readings 101-103 ER: book report 9	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
22	RR: readings 104-106 ER: sustained silent reading	review, RR drills, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
23	RR: readings 107-109 ER: book report 10	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
24	RR: readings 110-112 ER: student presentations	review, RR drills, reading	Read your book(s); Do the vocab; Prepare presentations
25	RR: readings 113-115 ER: book report 11	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
26	RR: readings 116-118 ER: student presentations	review, RR drills, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	RR: readings 119-121 ER: book report 12	review, RR, group work, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz
28	RR: readings 122-124 ER: reading celebration	review, RR drills, reading	Read your book(s) 5,000 words or more; Do the Moodle quiz

テキスト	(1) 松本茂『TOEIC TEST 速読速聴・英単語 STANDARD 1800 ver.2』（Z-Kai） (2) “Xreading.com” 6-month student subscription.
参 考 書	Day, R., and Julian Bamford. *Extensive Reading in the Second Language Classroom* (Cambridge). Nation, I. S. P., and Rob Waring. *Teaching Extensive Reading in Another Language* (Routledge).

科目名	ENG189: 準上級英語スキルズ（ライティング・文法）					担当教員	R. Burton
開講期	秋	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Writing through reading, grammar study, language analysis and rhetorical patterns of paragraphs.
授業の概要	This course will give students substantial practice of reading texts analytically, such that the grammar, concepts and details within those texts can then be used to help create essays. Obviously, this means a regular routine of reading and writing. It also means learning or revising the grammar that helps express the analytical thinking appropriate to each paragraph within an essay. The course will involve regular grammar tasks and writing practice with guided feedback. There will also be much discussion and constructive peer review.
達成目標（授業の目的）	This course will provide students with the conceptual framework of the key rhetorical modes involved in descriptive, narrative and opinion paragraphs/essays. The reading texts also serve as input for language development of vocabulary and grammar. However, none of the many language practice exercises is merely a language analysis. Instead, it is preparation guiding students to incorporate that vocabulary and those items of grammar into their writing. As such, students' general writing abilities will evolve and gain the extra competence and precision that characterizes clear writing and thinking.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will have practiced enough grammar construction to quickly identify how it is being used in texts, and to incorporate it into their own writing. This means they will be able to write sufficient variety of sentence types to construct clear paragraphs or essays on any topic they choose to explore. The descriptive writing will cover definitions, classifications and comparisons. The narrative writing will include problem-solution, cause-effect and reason-result. The opinion pieces will show clear support from data, experts in the field and examples of details, as well as anecdotal accounts. Those students heading for university will be encouraged to reach to reading a simplified and condensed research paper in order to show how to go about expressing attribution, citation, and referencing.
評価方法	Participation and performance in classroom/Zoom discussions (15%); Grammar Tasks (15%); Homework (20%); x7 final drafts of Written Essays/paragraphs (35%); Individual 5-minute Presentation of Essay (15%) – each student to choose one of their own, already submitted essays to present to the class.
評価基準	Participation and performance in classroom/Zoom discussions: The amount of participation and performance in classroom/Zoom discussions will depend on a student's language level, but it is also dependent on how much preparation students do. Grammar Tasks: each unit (x5) has a 20-question grammar quiz giving 100 points scaled to a 15% contribution. Homework: The Homework is mostly language development exercises in sentence construction or preparation for vocabulary tests. Some preparation exercises must be submitted for grading. Written Essays/Paragraph Construction: grading criteria being x4 equal proportions of marks for vocabulary choice, sentence variety, paragraph cohesion & essay structure. Presentation of Essay: with assessment 50% based on pronunciation (clarity and continuity), and 50% based on effective paraphrasing from formal written register to more approachable/social spoken register.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle で行う／Loyola / Moodle ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers ・上記以外で行う／other: general comments made to the whole class for each task
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course and textbook. Unit 1 "Paragraphs"	Group Discussion – Paragraph sentence types	Reading 1.1- topic sentences and controlling ideas tasks
2	"Paragraphs" - Reading Analysis check reading 1.1, "Types of Explorers"	Lecture/Readings 1.2-1.4 Focus on topic sentences	Brainstorming exercises 8 & 9 fragments vs sentence writing
3	"Paragraphs" - deriving supporting sentences from question forms	Group + pair work tasks- sentences vs fragments	Grammar task on noun forms & transition phrases for conclusion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	“Paragraphs” - Analysis of paragraph purpose, and keeping to it	Paragraph/essay purpose: analysis & discussion	Activities 27 & 28 paragraph writing and peer editing
5	Unit 2 “Features of Good Writing” - clarity, cohesion, purpose and audience	Group Discussion, with paragraph example 2.1	Writing conclusions with transition phrases
6	“Features of Good Writing” - unity through clear pronoun reference	Lecture/Readings 2.2-2.3 Grammar of pronoun use	Paragraph 2.4 editing reference pronouns in a paragraph
7	“Features of Good Writing” - word forms	Group + pair work tasks word forms activity 18	Building better sentences and combining them - activity 21/22
8	“Features of Good Writing” - the importance of proofreading and how to do it in 5 steps	Paragraph/essay- analysis & discussion	Activity 23 paragraph writing peer editing, and proofreading
9	Unit 3 “Types of Paragraphs” - cause-effect	Group Discussion, with paragraph example 3.1	Analysis of cause-effect paragraph with activities 1 & 2
10	“Types of Paragraphs” - comparison-contrast	Lecture/Readings 3.2 Subject-verb agreement	Analysis of comparison-contrast paragraph with activities 3 & 4
11	“Types of Paragraphs” - classification	Lecture/Readings 3.3 Categories & word forms	Analysis of classification paragraph 3.3 activity 5
12	“Types of Paragraphs” - problems-solutions	Paragraph/essay- 3.6 brainstorming solutions	Activity 20 paragraph writing one of each type
13	Unit 4 “Classification Essays - Moving from Paragraph to Essay”	Discussion, paragraphs compared to essays	Activities 1 & 2 paragraph analysis if transformed to essay
14	“Classification Essays” - the introduction has a hook and a thesis statement	Lecture/Readings 4.1 Focus on outlining	Activity 3 is a comprehensive outlining task
15	“Classification Essays” - subject adjective clauses	Group + pair work tasks- on essay writing process	Activity 7 the five-paragraph essay
16	“Classification Essays”	Paragraph/essay-pronoun + subject adjective clause	Activities 20-23 writing a classification essay
17	Unit 5 “Cause-Effect Essays”	Group Discussion, how to organize cause-effect	Activity 1-3 outlining a cause-effect essay
18	“Cause-Effect Essays” compared to a cause-effect paragraph	Lecture/Readings 5.1 Noun + preposition mix	Activities 9-11 ways of expressing past events
19	“Cause-Effect Essays” - hooks	Group + pair work tasks- hook + connector choices	Activity 15 using connectors and transitions
20	“Cause-Effect Essays” - using connectors and transitions	Paragraph/essay- 5.2 Student presentations 1	Activity 26-28 writing of cause-effect essays
21	Unit 6 “Comparison-Contrast Essays” Across time, space, point of view, etc.	Group Discussion, Student presentations 2	Activity 1 is an exercise in constructing a block method
22	“Comparison-Contrast Essays” - more than one outline is available	Outlining options Student presentations 3	Activity 2 is an exercise in constructing a point-by-point
23	“Comparison-Contrast Essays” - paragraph expanded and compared with 5-paragraph essay	Grammar Tasks: superlative + comparative	Activity 4 is an exercise writing parallel structures into an essay
24	“Comparison-Contrast Essays” - parallel structures	Essay- analyze use of adverbial clauses	Activities 6-8 superlative and writing of a comparison essay
25	Unit 7 “Problem-Solution Essays” - what are they exactly?	Discussion to define problem solution essays	Activity 1 coming up with possible solutions
26	“Problem-Solution Essays”	Lecture/Readings Focus on topic sentences	Activity 2 using subordinating conjunctions
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	“Problem-Solution Essays” - development from paragraph to essay	Pair work task analyzing essay 7.1 and conclusion	Activity 6 identifying x20 different sentence types/styles
28	“Problem-Solution Essays”	Paragraph/essay- analysis & discussion	Activity 17 writing a problem-solution essay.

テキスト	Keith S. Folse, Elena Vestri, David Clabeaux. *Great Writing 3 – From Great Paragraphs to Great Essays* (Cengage). ISBN 978-0-357-02107-1

科目名	ENG225: 上級英語スキルズ（編入対策）					担当教員	永野　良博
開講期	春	開講時限	月木4限			研究室	4218
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Vocabulary, grammar, reading, writing, structure, logical and analytical thinking, test-taking strategies
授業の概要	上級レベルの大学編入学英語試験に対応した、語彙、文法、読解、作文等の訓練を行う。特に長文読解とそれに伴う構造や論理に重点を置き、内容として時事問題、一般教養、学問等を扱う多様な文章を読む。言語技能獲得の際に、高度な文章理解を可能とするため、文章の背後に在る考えに対する理解力や、論理的かつ分析的思考力を伸ばす。また設問に的確に解答出来るよう、出題の意図の理解を中心としたストラテジーも学ぶ。
達成目標（授業の目的）	上級レベルの編入学英語試験問題に効果的に解答するための、語彙、文法、読解、作文等の知識・技能を修得出来る。複雑な文脈内に置かれた語彙及び高度な文法・文構造の正確な理解力、主題の論理的かつ分析的理解力、それらに基づく文章表現力を修得出来る。どのような言語力・思考力が上級レベルで求められるのか理解した上で、解答出来るようになる。
到達目標（学修成果）	上級レベルの語彙、文法、読解、作文等の問題、及び過去の編入学試験問題に的確に解答出来るようになる。文章内に置かれた単語の品詞、正確な意味とニュアンス、発音、そして文法や文構造の複雑なパターンに慣れ親しみ、理解出来るようになる。長文の内容を、主題の明確な理解に基づき、論理的、分析的、発展的に捉えて理解出来るようになる。作文問題にも、的確な語彙、文法、文構造、そして論理的かつ分析的思考力を活用して対応出来るようになる。また出題の意図を読み解き、時事問題、教養、学問等の知識を基に思考し、適切な解答を導くことが出来るようになる。
評価方法	授業参加 40%，授業内試験 30%，定期試験 30%
評価基準	授業参加については、単語、文法、構文、読解等の英語理解に関わる質疑応答において、十分な予習を基に正確に解答出来ること。テキストに既に記載されている設問のみならず、テキストの内容全体そしてハンドアウト等の配布物全体に関する質疑応答においても、同評価基準があてはめられる。授業内試験及び定期試験では、語彙、文法、構文、読解、作文、出題の意図等について、授業内で扱った内容に基づき、時事問題、教養、学問等の背景的知識と論理的かつ分析的思考力を示しながら正確に解答出来ること。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	基本的な文構造 根幹をなす SV から SVOC へ	講義、質疑応答	教科書 pp.1-14 を読む
2	基本的な文構造 文型 SVOC から文の中の文へ	講義、質疑応答	教科書 pp.14-32 を読む
3	基本的な文構造 文の中の文	講義、質疑応答	教科書 pp.32-42 を読む
4	基本的な文構造復習、過去問題	講義、質疑応答、過去問題解答	教科書 pp.1-42、ハンドアウトを読む
5	情報の流れと特殊な語順 入れ替わる語順	講義、質疑応答	教科書 pp.43-56 を読む
6	情報の流れと特殊な語順 前に移動する名詞、後ろに移動する名詞	講義、質疑応答	教科書 pp.56-74 を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	情報の流れと特殊な語順 文法的な倒置	講義、質疑応答	教科書 pp.75-81 を読む
8	情報の流れと特殊な語順復習	講義、質疑応答	教科書 pp.43-81 を読む
9	情報の流れと特殊な語順復習、過去問題	講義、質疑応答、過去問題解答	教科書 pp.43-81、ハンドアウトを読む
10	情報の流れと特殊な構文 受動態、there を用いた構文	講義、質疑応答	教科書 pp.82-95 を読む
11	情報の流れと特殊な構文 代名詞 it を用いた構文	講義、質疑応答	教科書 pp.95-115 を読む
12	情報の流れと特殊な構文復習、過去問題	講義、質疑応答、過去問題解答	教科書 pp.82-115、ハンドアウトを読む
13	文構造における省略 並列、何を比較しているか	講義、質疑応答	教科書 pp.116-138 を読む
14	文構造における省略復習 【中間試験（授業内試験）】	講義、質疑応答、試験	教科書 pp.116-138 を読む、試験準備
15	構文の擬態 品詞は何	講義、質疑応答	教科書 pp.139-147 を読む
16	構文の擬態 例の構文	講義、質疑応答	教科書 pp.147-158 を読む
17	構文の擬態復習、過去問題 試験の返却、および解説	講義、質疑応答、過去問題解答	教科書 pp.139-158、ハンドアウトを読む
18	上級読解英文法 名詞句、関係詞節	講義、質疑応答	教科書 pp.159-179 を読む
19	上級読解英文法 特殊な so~that 構文、挿入表現	講義、質疑応答	教科書 pp.179-191 を読む
20	上級読解英文法 Use と mention の違い	講義、質疑応答	教科書 pp.191-202 を読む
21	上級読解英文法復習、過去問題	講義、質疑応答、過去問題解答	教科書 pp.159-202、ハンドアウトを読む
22	破格的な構造 冗長な繰り返し、構造のブレンド	講義、質疑応答	教科書 pp.203-222 を読む
23	文章の構造 文章構成の基本	講義、質疑応答	教科書 pp.223-236 を読む
24	文章の構造 列挙と分類	講義、質疑応答	教科書 pp.236-247 を読む
25	文章の構造 比較と対象、文章の構造復習	講義、質疑応答	教科書 pp.247-260 を読む
26	文章の構造復習、過去問題	講義、質疑応答	教科書 pp.223-260、ハンドアウトを読む
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	まとめ前半	講義、質疑応答	教科書選択個所、ハンドアウトを読む
28	まとめ後半 試験の返却、および解説	講義、質疑応答	教科書選択個所、ハンドアウトを読む

テキスト	北村一真『英文解体新書　構造と論理を読み解く英文解釈』（研究社） 過去問題ハンドアウト（指定された回及びそれ以外にも必要に応じて配布）

科目名	ENG229:　上級英語スキルズ（SDGs）					担当教員	G. Freddes
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択必修	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。	3-③

キーワード	Sustainable Development Goals, The United Nations, critical thinking, theme-based learning
授業の概要	In this course students will explore a range of issues relevant to the SDGs. They will improve their reading, discussion, critical thinking and academic essay writing skills. Additionally, with the aim of students becoming autonomous learners, emphasis will be place on development of presentation skills.
達成目標（授業の目的）	Through the SDGs text, students will build up their vocabulary, better understand the SDGs though reading, listening and discussing a range of issues. Through the English Essentials text, they will develop their academic essay writing and presentation skills. Through independent research for the essays and presentations, they will develop critical thinking skills by analyzing / evaluating online sources.
到達目標（学修成果）	By the end of this semester, students should be able to do the following: ・Vocabulary: understand and use key English vocabulary provided by the textbook. ・Reading: grasp main ideas and details in moderately difficult text passages and brief news stories. ・Discussion: engage in discussion of topics covered in the textbook, using key vocabulary. ・Writing: create a properly formatted problem-solution academic essay. ・Research: critically analyze and evaluate credible online sources, separating facts from opinions. ・Presentation: deliver a (3-5 min.) PowerPoint presentation with an effective physical, story and visual message.
評価方法	Participation and performance in classroom activities (40%); Homework assignments (35%); Testing and assessment (25%)
評価基準	Participation and performance: active involvement in text exercises, discussions, group work and Q&A. Homework: efforts in thorough completion of assignments and on-time submissions. Assessment: Two Essays 5% each (including use of key vocabulary, quality / depth of research, facts and a personal point of view, following the guidelines in English Essentials); and three presentations 5% each (clear separation of facts from opinions, the story message, visual message, physical message, following the guidelines in English Essentials).
課題等に対するフィードバック方法	・Google Forms / Docs で行う／Google Forms / Docs ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 45 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course introduction: Syllabus, SDGs, Textbook. Mingle / Network	Meeting and greeting Discuss the SDGs	Write two paragraphs; Read SDGs text pp. 10-11
2	Unit 1. Waste and Recycling (SDG 12): vocabulary, listening, discussion	Networking, form groups, discussion	Read English Essentials (E.E) pp. 40-45, Begin research
3	Unit 1. Read and share, research, discuss. The Writing Process: brainstorming, clustering	Small-group work, Individual work	Outline; SDGs text pp. 18-19
4	Unit 2. Sustainable Cities (SDG 11): vocabulary, listening, discussion	Pair / Small-group work, listening, discussion	Read E.E. pp. 46-50; Continue research

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Unit 2. Sustainable Cities (SDG 11); Read and share; Outlining and revising an essay	Individual, group work, listening, discussion	Complete Outline; Read SDGs text pp. 26-27
6	Unit 3. Energy (SDG 1) vocabulary, listening, discussion	Small-group work, listening, discussion	Read E.E. text pp. 61-64.
7	Unit 3. Energy (SDG 1) Read and Share. Essay writing: thesis statement	Small-group work, Individual work	Read SDGs text pp. 34-35. First draft of Essay
8	Unit 4. Climate Change (SDG 13) vocabulary, listening, discussion	Pair / Small-group work, listening, discussion	E.E. text pp. 19-30 (skim)
9	Unit 4. Climate Change: Read and Share. E.E. text Speech; Visuals	Pair / Small-group work, listening, discussion	SDGs text pp. 42-43. Begin preparing visuals
10	Unit 5. Endangered Species (SDG 14, 15) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	Complete Essay and prepare for Presentation #1
11	Presentation preparation and practice with your group	Integration of skills, group work	Practice for presentation and submit Essay
12	Presentation #1: Issues and SDGs of personal interest.	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; SDGs text pp. 50-51
13	Unit 6. Tropical Rainforests (SDG 15) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	SDGs text pp. 56-57
14	Unit 7. Tourism (SDG 8) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	SDGs text pp. 64-65
15	Unit 8. Developing Countries (SDG 1, 2, 3, 4, 8 and 17) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	Script Presentation #2. SDGs text pp. 74-75
16	Unit 9. Peace and Conflict (SDG 16) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	Prepare 11 visuals for Presentation #2
17	Final preparations and practice for Presentation #2. ½ Pecha-kucha format (3:20)	Concise writing, peer review, practice timing	Practice for presentation, Check your timing
18	Presentation #2: Positive contributions though the SDGs	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Complete the Self-Evaluation Form; SDGs text pp. 84-85
19	Unit 10. Refugees and Migrants (SDG 8, 10) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	Begin Outline of your Final Report; SDGs text pp. 92-93
20	Unit 11. The United Nations (SDG 17) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	Complete Outline of your Final Report; SDGs text pp. 100-101
21	Unit 12. Human Rights (SDG 16) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	SDGs text pp. 106-107
22	Unit 13. Gender Issues (SDG 5) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	First Draft of Final Report SDGs text pp. 112-113
23	Unit 14. Health and Longevity (SDG 3) vocabulary, read and share	Pair / Small-group work, listening, discussion	Revise your Final Report; Select a current news story.
24	Current Issues: read and share current news stories of interest to you	Small-group work, listening, discussion	Revise your Final Report
25	Preparations for Presentation #3, present to your group	Integration of skills, group work	Practice for Presentation #3
26	Presentation #3. Problem / Solution	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit Final Report. Submit Self-Evaluation Form
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation #3. Problem / Solution	Presenting, listening, note-taking, Q & A	Submit Self-Evaluation Form
28	Interview and Portfolio Review	Interviewing skills	Submit late homework

テキスト	David Peaty. *You, Me and the World: 3rd Edition featuring SDGs* (Kinseido). *English Essentials: An Academic Skills Handbook*

科目名	SCH100:　人間学Ⅰ（再）					担当教員	（春）丹木　博一 （秋）小林　宏子
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）月 2 限 （秋）月 1 限			研究室	4214（丹木） 4204（小林）
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味
授業の概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、「人間とは何か」という問いについて、「かかわり」という視点から学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを模索し、各人固有の存在意義を実現するための道しるべを探求する。
達成目標（授業の目的）	「人間とは何か」という問いと向き合い、自分自身、家族、他者、社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することによって、「人格的主体」として生きる人間の「尊厳」の意味を理解できるようになる。併せて今後の研究のための基礎学力を養う。
到達目標（学修成果）	① テキストを正確に理解する読解力と、自分の考えを分かりやすく筋道立てて表現する文章力を身につけることができる。 ② 人間学のキーワードの意味内容を正確に理解し、それらの語句を適切に用いることができる。 ③ 人間の間に生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者とともに生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。 ④ 社会や自然、そして神とのかかわりの諸相に関心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い、それを自分自身の課題として表現できる。生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問いについて自分の考えを表現できる。
評価方法	①毎回の事前課題の提出（22%），②授業毎のリアクションペーパー（28%），③中間課題（1,000～1,200 字の小レポート）（20%），④期末課題（1,800～2,000 字の小論文）（30%）
評価基準	① 毎回の事前課題の提出：課題となる準備学修を行い、成果物を毎回提出する。以下の「準備学修」欄に記載の「要約」の課題（400 字程度）を授業前日までに Moodle にて提出。（2%×11 回） ② リアクションペーパー：授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること。（2%×14 回） ③ 中間課題：1,000～1,200 字のレポート。「他者との共生」について人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。執筆に際し、配布資料に記した指示に従うこと。（20%） ④ 期末課題：1,800～2,000 字の小論文。人間に「生老病死」の苦しみがあることを踏まえ、「希望の在り処」について、事前に最低一冊の「参考文献」（書誌データを明記）を読み、内容のポイントを簡潔に要約した上で、自分の考えを分かりやすく展開できること。執筆に際し、配布資料に記した指示に従うこと。（30%）
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う／ Moodle ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	**人間学Ⅰの概要・目的・進め方・評価法** キリスト教的人間観の特徴・「愛」	講義・グループ分け リアクションペーパー	事前に教科書 pp.1～27 を通読しておく。
2	**テーマ１　いのちを支えるものとのかかわり** ① 私たちのいのちは何によって支えられているか?	講義・話し合い	教科書 pp.29～44 を通読し、「人間のいのちを尊重すべき理由」を要約する。
3	**テーマ１　いのちを支えるものとのかかわり** ② 生きるために必要なことを満たすために私たちは何をなすべきか?	講義・視聴覚教材・話し合い・リアクションペーパー	教科書 pp.45～50 を通読し、「マズローの 5 段階ニード論」を要約する。
4	**テーマ２　成長発達を促すものとのかかわり** ① 成長の過程にはどのようなかかわりがあるだろうか?	講義・視聴覚教材・話し合い・リアクションペーパー	教科書 pp.51～66 を通読し、「青年期の発達課題」に関する筆者の意見を要約する。
5	**テーマ２　成長発達を促すものとのかかわり** ② かかわりをとおして自分はどのような成長を遂げたのだろうか?	講義・視聴覚教材・話し合い・リアクションペーパー	教科書 pp.67～71 を通読し、「アドラーの共同体感覚」の意義を要約する。
6	**テーマ３　他者へのかかわりと自己理解の形成**　① 私たちのアイデンティティはどのように形成されるのだろうか?	講義 ・視聴覚教材・話し合い・リアクションペーパー	教科書 pp.73～84 を通読し、「ジェンダーアイデンティティ」について要約する。
7	**テーマ３　他者へのかかわりと自己理解の形成**　② 差別にどう向き合えばよいのだろうか?	講義・視聴覚教材・話し合い・リアクションペーパー	教科書 pp.85～96 を通読し、「差別撤廃に関する議論」を要約する。
8	**テーマ４　他者へのかかわりにおける自由と責任**　① 自由にはどのような種類があるか?	講義・視聴覚教材・話し合い・リアクションペーパー	教科書 pp.97～113 を通読し、「自由の多様性」について要約する。 中間課題（レポート）提出。
9	**テーマ４　他者へのかかわりにおける自由と責任**　② 自由と責任はいかなる関係にあるか?　中間課題に対する講評	講義・視聴覚教材・話し合い・リアクションペーパー	教科書 pp.102～104 に基づき、「ギヨメの自由」について要約する。
10	**テーマ４　他者へのかかわりにおける自由と責任**　③ 人間は環境に対していかなる責任を持つのか?	講義・視聴覚教材・話し合い・リアクションペーパー	教科書 pp.114～117 を通読し、「環境に対する責任」について要約する。
11	**テーマ５　人生の苦しみの意味と希望** ① 人間は、いかなる苦しみに対し、どのように向き合っているか?	講義・視聴覚教材・話し合い・リアクションペーパー	教科書 pp.119～131 を通読し、「死に対する態度」について要約する。
12	**テーマ５　人生の苦しみの意味と希望** ② 人生に苦しみがあることは何を意味するのだろうか?	講義・視聴覚教材・話し合い・リアクションペーパー	教科書 pp.132～138 を通読し、「苦しみの経験の意味」を要約する。
13	**テーマ５　人生の苦しみの意味と希望** ③ 希望を持って生きていく可能性はどこに求められるだろうか?	講義・視聴覚教材・話し合い・リアクションペーパー	期末課題（小論文）提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	**総まとめ** ※期末課題（小論文）に対する講評	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書 pp.8～27 をもう一度ていねいに読んでおく。

テキスト	上智大学短期大学部編『かかわりの人間学』
参 考 書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』（みすず書房） エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛するということ』（紀伊國屋書店） キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』（中公文庫）

科目名	SCH101: 人間学Ⅱ					担当教員	小林 宏子
開講期	春	開講時限	火4限			研究室	4204
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

キーワード	神の似姿としての人間、自己概念、優越感と劣等感、使命感、隣人愛、信頼、希望、愛
授業の概要	人間学Ⅰに引き続きかかわりの中で成長する人間の諸側面を、キリスト教人間観に照らして考察する。競争原理が強く働く社会において、「他者のために、他者とともに」というモットーの下で隣人愛の実践を目指す本学の建学精神の根本には、どのような生命観や人間観があるのか。自分とのかかわり、他者とのかかわり、人生とのかかわり、神とのかかわりについて教科書からの問いかけとディスカッション、及び、動画の視聴を通して考察する。
達成目標（授業の目的）	キリスト教を信仰する立場の人にとっての人生の意味や人間の価値に関する理解の仕方と、社会一般の人々の考え方とを対照させながら、自分自身の生き方の方向性を定める上で必要となる使命感や価値観について考え、どのような基準に基づいて行動選択をしているのかを振り返り、人生に不可欠となる信頼、希望、愛についての考察を深めることができる。
到達目標（学修成果）	①キリスト教信仰の基本にある生命観・人間観について理解したことを言葉で表現できる。 ②キリスト教信仰に照らした自分自身及び他者とのかかわり方、及び、社会が抱える課題を論理的な文章にまとめ、発表し、議論に参加することができる。 ③キリスト教信仰に基づく人生観を踏まえ、自分の人生に向き合う際の信念を論理的、かつ分かりやすく述べることができる。
評価方法	①事前課題（3%×11=33%）の提出 ②授業内での発表（8%×2=16%）、ディスカッションへの積極的参加（1%×14=14%） ③期末課題（25%）と発表（12%）
評価基準	①毎回の指定されたテキスト箇所を読み、事前課題を Moodle 上に提出する。 ②テキスト2冊について担当箇所の発表を行い、毎回の意見交換に積極的に参加する。 ③テキスト2冊と参考書を読み、「何を信じて生きるのか」という問いに対して、キリスト教人間観を踏まえて考察し、自分なりの見解を2,000～2,200字の小論文にまとめ、発表する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要　テキスト① 一．自分を信じる　1～2	講義、意見交換、動画視聴	テキスト①pp.5-30 を読み考察のまとめを提出する。
2	一．自分を信じる　3～6	発表、意見交換、動画視聴、講義	テキスト①pp.30-53 を読み考察のまとめを提出する。
3	二．人を信じる　1～5	発表、意見交換、動画視聴、講義	テキスト①pp.55-85 を読み考察のまとめを提出する。
4	二．人を信じる　6 三．明日を信じる　1～3	発表、意見交換、動画視聴、講義	テキスト①pp.85-108 を読み考察のまとめを提出する。
5	三．明日を信じる　4～6 四．信じる心を育てる　1	発表、意見交換、動画視聴、講義	テキスト①pp.109-134 を読み考察のまとめを提出する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	四．信じる心を育てる　2〜6	発表、意見交換、動画視聴、講義	テキスト①pp.134-169 を読み考察のまとめを提出する。
7	テキスト②プロローグ、第一部　見るとき（1）周辺に追いやられた人々の視点	発表、意見交換、動画視聴、講義	テキスト②pp.14-48 を読み考察のまとめを提出する。
8	第一部　見るとき（2）インテグラル・エコロジー	発表、意見交換、動画視聴、講義	テキスト②pp.48-68 を読み考察のまとめを提出する。
9	第二部　選ぶとき（1）二つの声の識別	発表、意見交換、動画視聴、講義	テキスト②pp.69-101 を読み考察のまとめを提出する。
10	第二部　選ぶとき（2）シノドス的アプローチ	発表、意見交換、動画視聴、講義	テキスト②pp.101-130 を読み考察のまとめを提出する。
11	第三部　行動するとき（1）民の尊厳	発表、意見交換、動画視聴、講義	テキスト②pp.131-160 を読み考察のまとめを提出する。
12	第三部　行動するとき（2）民の尊厳の回復	発表、意見交換、動画視聴、講義	テキスト②pp.160-182 を読む。期末課題の準備
13	エピローグ 期末課題の提出	発表、意見交換、動画視聴、講義	テキスト②pp.183-206 を読む。期末課題の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	期末課題の発表、講評、科目のまとめ	発表、意見交換、講評	期末課題発表の準備

テキスト	①片柳弘史『何を信じて生きるのか』（PHP 研究所） ②教皇フランシスコ『コロナの世界を生きる』（PHP 研究所）
参 考 書	教皇フランシスコ『回勅　信仰の光』（以下 URL よりダウンロード） https://www.vatican.va/content/dam/francesco/pdf/encyclicals/documents/papa-francesco_20130629_enciclica-lumen-fidei_ja.pdf

科目名	HST201:　歴史学 A					担当教員	森下　園
開講期	春	開講時限	木 3 限			研究室	4202
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	歴史学の歴史、近代歴史学の成立、歴史理論
授業の概要	学問としての「歴史学」が近代にどのように成立したのか、「歴史学」は西欧の哲学や思想とどのような関係にある学問なのかを学ぶ。歴史はどのように記録され活用されてきたのか、歴史を記述するとはどういうことかを考えていく。「世界史」の講義ではないので、注意すること。
達成目標（授業の目的）	① 歴史学とはどのような学問でありどのように成立したのかを理解するために予習し、積極的に質問・発言できる。 ② 指定したテーマについてのレポートを適切な資料をつかってまとめることができる。
到達目標（学修成果）	① 次回授業プリントや参考資料を読み、事典・参考書で調べ、不明な点の質問や意見表明を授業でできるようになる。 ② 専門用語・学問的な概念・適切な資料を用いてレポートを書くことができるようになる。
評価方法	① 授業内での質問・発言（最終回を除く）：4%×13 回＝52% ② Moodle 提出の期末レポート（約 2000 字）：48%
評価基準	① 授業内での質問・発言：予習の上で質問をしているか、積極的に意見を述べているか ② 期末レポート：提出期限と書式を守っているか、適切な資料を用いてまとめてあるか 研究倫理を守らない（友達の課題を写す、またはネット情報や事典類などから無断引用する）場合は 0 点とする。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	歴史学の歴史（1）前近代のヨーロッパの歴史記述、研究倫理について	講義、質疑応答	Moodle 登録、 第 2 回授業プリントの予習
2	歴史学の歴史（2）中国の史書	講義、質疑応答	第 3 回授業プリントの予習
3	歴史学の歴史（3）日本の史書	講義、質疑応答	第 4 回授業プリントの予習
4	歴史学の歴史（4）ランケ史学	講義、質疑応答	第 5 回授業プリントの予習
5	歴史学の歴史（5）アナール派と社会史	講義、質疑応答	第 6 回授業プリントの予習
6	歴史学の作法－史料と先行研究の用い方、レポートについて	講義、質疑応答	第 7 回授業プリントの予習
7	研究紹介　網野善彦『異形の王権』 レポートの書き方	講義、質疑応答、意見交換	第 8 回授業プリントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	理論（1）構造主義とポスト構造主義－西欧は世界をどうとらえてきたか	講義、質疑応答	第 9 回授業プリントの予習
9	理論（2）言語論的転回が歴史学につきつけたもの	講義、質疑応答	第 10 回授業プリントの予習
10	理論（3）文学とポストコロニアリズム－記述する権力は誰にあるのか	講義、質疑応答	第 11 回授業プリントの予習
11	理論（4）歴史修正主義と社会構築主義－「私たちの歴史」はどうあるべきなのか	講義、質疑応答	第 12 回授業プリントの予習
12	理論（5）ジェンダーと歴史学－歴史記述者のジェンダーギャップ	講義、質疑応答	第 13 回授業プリントの予習 レポート（定期試験期間に提出）の準備
13	研究紹介　マルク・ブロック『王の奇跡』とナタリー・Z・デーヴィス『帰ってきたマルタン・ゲール』	講義、質疑応答、意見交換	レポート（定期試験期間に提出）の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	歴史学の諸問題のまとめ、レポートの講評	講義、質疑応答	これまでの復習

テキスト	なし。授業内容に関するプリントを Moodle の「2025　短大部　歴史学 A」にアップロードする。なお、希望者には印刷したプリントを教室で配布する。
参 考 書	リン・ハント『なぜ歴史を学ぶのか』（岩波書店）

科目名	HST202:　歴史学 B					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	木 4 限			研究室	4202
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	歴史学、史料論、メディアと歴史、国際歴史認識問題、歴史教育
授業の概要	学問としての「歴史学」が近代にどのように成立したのか、「歴史学」はどんな史料をどのように用いて研究されるのか、歴史認識をめぐりどんな問題がおきているのか、歴史教育はどうあるべきかなどについて学ぶ。特に近代国家のための「物語」として創出された「他者を排除する歴史」の問題について考えていく。「世界史」の講義ではないので、注意すること。
達成目標（授業の目的）	① 歴史学とはどのような学問であるのかを理解するために予習し、積極的に質問・発言できる。 ② 史料を読み込むために何が必要なのか理解し、史料の解読を試みることができる。 ③ 発表内容を適切な引用元を表記して文章にまとめることができる。
到達目標（学修成果）	① 次回授業プリントや参考資料を読み、事典・参考書で調べ、授業で不明な点の質問や意見表明をできるようになる。 ② 近世日本または近世英国の手書き史料（トランスクリプト付き）について、時代背景や史料の性質を調べ、自分なりの解釈をつけて発表できるようになる。 ③ 発表した内容を引用元を明記したレポートにまとめられるようになる。
評価方法	① 授業内での質問・発言（最終回を除く）：4%×13 回＝52% ② 史料についての口頭発表：28%（日本史・英国史から史料を選択して行う） ③ 発表内容をまとめたレポート：20%
評価基準	① 授業内での質問・発言：予習の上で質問をしているか、積極的に意見を述べているか。 ② 史料についての発表：割り当てられた史料（トランスクリプト、解説付き）の性質や時代背景を調べ、何が書かれているのか説明したうえで、この史料から何がわかるかを説明できているか。 ③ 発表内容のレポート：発表した内容を適切な書式で、引用元などを明記して自分の言葉でまとめているか。研究倫理を守らない（友達の課題を写す、またはネット情報や事典類などから無断引用する）場合は 0 点とする。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	歴史学とはどんな学問か、研究倫理について	講義、質疑応答	Moodle 登録、 第 2 回授業プリントの予習
2	史料を読むために（1）古書体学 発表する史料の選択	講義、質疑応答	第 3 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
3	史料を読むために（2）古書冊学、文書形式学、史料を読む練習	講義、質疑応答	第 4 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
4	史料を読むために（3）暦について	講義、質疑応答	第 5 回授業プリントの予習 史料についての発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	史料を読むために（4）図像解釈学と絵画資料	講義、質疑応答	第 6 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
6	史料を読むために（5）オーラルヒストリーの問題、レポート作成についての説明	講義、質疑応答	第 7 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
7	歴史とメディア（1）写本からマス・メディアの登場まで	講義、質疑応答	第 8 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
8	歴史とメディア（2）現代メディアがもたらす問題点	講義、質疑応答	第 9 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
9	歴史教育（1）国際歴史教科書問題　－ヨーロッパ	講義、質疑応答	第 10 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
10	歴史教育（2）国際歴史教科書問題　－日本と韓国 史料についての発表①	講義、質疑応答、発表と講評	第 11 回授業プリントの予習 史料についての発表準備
11	歴史教育（3）英国の歴史教育 史料についての発表②	講義、質疑応答、発表と講評	第 12 回授業プリントの予習 レポート作成
12	震災と歴史 史料についての発表（予備日）	講義、質疑応答	第 13 回授業プリントの予習 レポート作成
13	史料紹介　『ジャンヌ・ダルク処刑裁判』『ジャンヌ・ダルク復権裁判』記録を読む	講義、質疑応答	授業プリントの復習 レポート作成（定期試験期間中に Moodle に提出）
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	歴史学と史料および歴史教育問題のまとめ、レポートの講評	講義、質疑応答、レポートの講評	授業の振り返り、まとめ

テキスト	なし。授業内容に関するプリントや資料を Moodle の「2025　短大部　歴史学 B」にアップロードする。なお、希望者には印刷したプリントを教室で配布する。
参 考 書	リン・ハント『なぜ歴史を学ぶのか』（岩波書店）

科目名	PHL203:　哲学 A					担当教員	丹木　博一
開講期	春	開講時限	火 5 限			研究室	4214
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	世界の始原、存在と生成、魂への配慮、イデアと世界、自然のロゴス、魂のはたらき
授業の概要	西洋古代哲学の基本的特徴について理解を深めるとともに、古典的テキストを一つ取り上げ、意見交換を行いながらていねい読み進めることで哲学的思考に慣れ親しむ。
達成目標（授業の目的）	西洋古代における哲学的思考の多様な展開を理解することによって、世界と自己に対する哲学的問いを自覚できるようになる。
到達目標（学修成果）	・西洋古代哲学の多様な思想について、その基本を理解し、表現できる。 ・アリストテレスのテキストに関心を持ち、テキストの意味を探求できる。 ・自ら哲学的問いを提起し、その問いについて論理的に考察を進めることができる。
評価方法	①　授業毎の課題（20%） ②　授業毎のリアクションペーパー（14%） ③　中間レポート（30%） ④　期末レポート（36%）
評価基準	①　授業毎の課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。 ②　リアクションペーパー：講義内容を正しく理解し、問題関心を明記できるかどうか。 ③　中間レポート：1,200 字～1,400 字。アリストテレスの「自然観」について哲学的問いを提起し、その問いに対しアリストテレスがどのように考えているかを自分の言葉で論理的に論述展開できるかどうか。 ④　期末レポート：2,000 字～2,200 字。アリストテレス『心とは何か』について哲学的な問いを提起し、その問いについてアリストテレスがどう考えているかを自分の言葉で考察する。問いが哲学的であり、考察に説得力があるかどうか。
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う／Moodle ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	世界の始原への問い タレスの「水」	講義・DVD 視聴・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 1-14 をていねいに読んでおく。
2	世界の現れに潜む謎 ヘラクレイトスの「火」	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 15-28 をていねいに読み、要約を提出。
3	存在の思考 パルメニデスの「ある」	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 29-42 をていねいに読み、要約を提出。
4	自己を形成する知の意味 ソクラテスの「無知の知」	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 58-76 をていねいに読み、要約を提出。
5	存在と知の根拠への問い プラトンの「イデア」	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 77-96 をていねいに読み、要約を提出。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	生成変化をめぐる謎 アリストテレスの「自然とエートス」	講義・絵本朗読・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 97-116 をていねいに読み、要約を提出。
7	アリストテレス『心とは何か』講読第 1 回 心についての探究法、先人たちの見解	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp. 10-45 をていねいに読んでおく。
8	アリストテレス『心とは何か』講読第 2 回 先人たちの見解への批判	講義・話し合い・リアクションペーパー	中間レポート提出。教科書②pp. 45-75 を読んでおく。
9	アリストテレス『心とは何か』講読第 3 回 心の定義、心の諸能力、栄養能力 中間レポートに対するコメント	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp. 75-104 についてポイントを整理し、提出。
10	アリストテレス『心とは何か』講読第 4 回 諸感覚とその対象	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp. 104-134 についてポイントを整理し、提出。
11	アリストテレス『心とは何か』講読第 5 回 共通感覚、理性	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp. 136-165 についてポイントを整理し、提出。
12	アリストテレス『心とは何か』講読第 6 回 運動能力、欲求能力、生存に対する能力	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp. 166-194 についてポイントを整理し、提出。
13	ストア派の倫理と「アパテイア」	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 117-132 をていねいに読んでおく。 期末レポート提出。
	定期試験は実施しない　Final Exam will not be held		
14	時間への問い アウグスティヌス の「内面への還帰」 期末レポートに対するコメント	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 165-184 についてポイントを整理し、提出。

テキスト	① 熊野純彦『西洋哲学史―古代から中世へ』（岩波新書） ② アリストテレス『心とは何か』（桑子敏雄訳）（講談社学術文庫）
参 考 書	荻野弘之『哲学の饗宴―ソクラテス・プラトン・アリストテレス』（NHK ライブラリー） 内山勝利編『哲学の歴史　第 1 巻　哲学誕生』（中央公論新社）
その他 特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。

科目名	PHL204:　哲学 B					担当教員	丹木　博一
開講期	秋	開講時限	火 5 限			研究室	4214
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	私と世界、主観と客観、経験と理性、原因と自由
授業の概要	西洋近代哲学の基本的特徴について理解を深めるとともに、古典的テキストを一つ取り上げ、意見交換を行いながらていねい読み進めることで哲学的思考に慣れ親しむ。
達成目標（授業の目的）	西洋近代における哲学的思考の多様な展開を理解することによって、世界と自己に対する哲学的問いを自覚できるようになる。
到達目標（学修成果）	・西洋近代哲学の多様な思想について、その基本を理解し、表現できる。 ・スピノザのテキストに関心を持ち、テキストの意味を探求できる。 ・自ら哲学的問いを提起し、その問いについて論理的に考察を進めることができる。
評価方法	①　事前課題（20%＝2%×10 回） ②　授業毎のリアクションペーパー（14%＝1%×14 回） ③　中間レポート（30%） ④　期末レポート（36%）
評価基準	①　事前課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。 ②　リアクションペーパー：講義内容を正しく理解し、問題関心を明記できるかどうか。 ③　中間レポート：1,200～1,400 字。デカルトとロックの哲学的立場の違いについて正しく論述できるかどうかを基準に評価する。 ④　期末レポート：2,000 字～2,200 字。スピノザ『エチカ』で議論されている事柄について哲学的な問いを提起し、その問いについてスピノザがどのように考えているかを自分の言葉で展開する。問いが哲学的であり、考察に説得力があるかどうかを基準にする。
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う／Moodle ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入：近代と哲学への問い	講義・DVD 視聴・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 1-20 をていねいに読んでおく。
2	私と世界はいかに関係しているか?（1）デカルトの「コギト」	講義・絵本・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 1-20 をていねいに読み、要約を提出。
3	私と世界はいかに関係しているか?（2）スピノザの「様態」	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 21-38 をていねいに読み、要約を提出。
4	私と世界はいかに関係しているか?（3）ロックの「タブラ・ラサ」	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 39-56 をていねいに読み、要約を提出。
5	私と世界はいかに関係しているか?（4）ライプニッツの「モナド」	講義・写真鑑賞・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 57-74 をていねいに読み、要約を提出。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	私と世界はいかに関係しているか?（5） ヒュームの「知覚の束」と「習慣」	講義・DVD 視聴・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 91-106 をていねいに読み、要約を提出。
7	私と世界はいかに関係しているか?（6） カントの「因果性のカテゴリー」	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 123-133 を読んでおく。
8	私と世界はいかに関係しているか?（7） カントの「自由」論	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp. 123-133 をていねいに読み、要約を提出。
9	スピノザ『エチカ（下)』講読第 1 回 善悪の認識と感情の力	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp. 7-35 をていねいに読んでおく。中間レポート提出。
10	スピノザ『エチカ（下)』講読第 2 回 自己保存の努力と徳	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp. 35-62 についてポイントを整理し、提出。
11	スピノザ『エチカ（下)』講読第 3 回 感情の分類	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp. 62-87 についてポイントを整理し、提出。
12	スピノザ『エチカ（下)』講読第 4 回 理性と自由 中間レポートに対するコメント	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp. 88-115 についてポイントを整理し、提出。
13	スピノザ『エチカ（下)』講読第 5 回 精神の認識による感情の制御	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp. 117-140 を読んでおく。 期末レポート提出。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	スピノザ『エチカ（下)』講読第 6 回 第三種認識と神への愛 期末レポートに対するコメント	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp. 140-167 についてポイントを整理し、提出。

テキスト	① 熊野純彦『西洋哲学史―近代から現代へ』（岩波新書） ② スピノザ『エチカ（下)』（畠中尚志訳）（岩波文庫）
参 考 書	國分功一郎『スピノザ ―読む人の肖像』（岩波新書） 小林道夫編『哲学の歴史　第 5 巻　デカルト革命』（中央公論新社）
その他 特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。

科目名	REL201: 宗教学 A					担当教員	小林　宏子
開講期	春	開講時限	月 1 限			研究室	4204
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

キーワード	聖書、創造、神の似姿、原罪、契約、信仰、約束の地、過越、バビロン捕囚、メシア待望
授業の概要	旧約聖書と呼ばれる部分に記されたイスラエル民族の歴史を、イエス・キリストの到来を準備する神の救いの働きかけの展開として理解する立場から学ぶ。神の語りかけを信じ、その成就に人生を賭ける人々が切り拓いた信仰共同体の歩みは、どのような困難や誘惑を乗り越えて続いてきたのかを考察する。
達成目標（授業の目的）	キリスト教における旧約聖書理解の基礎的知識を得る。西洋キリスト教文化圏においては常識として語られることの多い聖書の登場人物や用語について、その社会的背景や聖書思想上の解釈を学ぶことによって、時として発想の転換を必要とする異文化理解の障壁に気づくことができる。
到達目標（学修成果）	①旧約聖書における有名な人物や出来事に関する基礎的知識を得られる。 ②聖書の言葉をその字面だけではなく歴史的、文化的背景を含めて理解し、神概念や信仰にまつわる事柄を自分の言葉で表現できる。 ③聖書中の人物や出来事について、人間の本質的傾向とその救いの意味について考察した事柄と自分の意見を、聖書解釈に関連づけながら分かりやすく論述できる。
評価方法	①授業参加における積極性（1%×14 回＝14%） ②リアクションペーパー（3%×11 回＝33%）と復習課題（4%×3 回＝12%）の提出 ③期末課題：設問への解答（20%）と小論文（21%）
評価基準	①準備学修として指定されたテキスト及び聖書箇所を予習したうえで授業に臨み、授業において積極的に発言できること。 ②授業を通して深めた理解を反映させた形でリアクションペーパーに自分の見解を記述できること。また、旧約聖書に登場する人物や用語を正しく理解した上で、復習課題のテーマについて自分の意見を記述できること。 ③テキストと聖書に関する設問に答えられること、及び「旧約聖書の登場人物やエピソードの中で、神への信仰の観点からもっとも興味を引く人物や出来事」について 1200 字以内の小論文が書けること。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要と旧約聖書の基礎知識	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 10-12, 76-79 の予習、配布プリントの復習
2	創世記 1 章 天地創造と人間の召命	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 34-37, 80-85 と該当聖書箇所の予習
3	創世記 2-3 章 人間の創造、禁断の実と人間の罪	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 50-51, 86-87 と該当聖書箇所の予習
4	創世記 4 章 カインとアベルの物語	講義、意見交換、復習課題①	テキスト pp. 88-89 と該当聖書箇所の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	創世記 6-11 章 ノアの箱舟の物語、バベルの塔の物語	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 90-93 と該当聖書箇所の予習
6	創世記 12、15、17 章 アブラハムの召命、契約の思想	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 94-95 と該当聖書箇所の予習
7	創世記 18、21 章 信仰の試練	講義、意見交換、復習課題②	テキスト pp. 44-45, 14-17 と該当聖書箇所の予習
8	出エジプト記 1-3 章 モーセの召命	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 96-97 と該当聖書箇所の予習
9	出エジプト記 12 章 過越祭	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 98-99 と該当聖書箇所の予習
10	出エジプト記 20 章 十戒	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 100-101 と該当聖書箇所の予習
11	サムエル記上 8 章 王たちの物語、サムエル記下 11-12 章 ウリヤの妻バト・シェバ	講義、意見交換、復習課題③	テキスト pp. 102-107 と該当聖書箇所の予習
12	列王記上 21 章 土地の意味と王の権力、アモス書 預言者の社会批判	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 108-109 と該当聖書箇所の予習
13	イザヤ書 52-53 章 預言者の苦しみ	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 110-111 と該当聖書箇所の予習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	エルサレムへの帰還、メシアニズムの成長 期末課題の講評	講義、意見交換、リアクションペーパー	科目のまとめ、授業資料の復習

テキスト	月本昭男（監修）『超図解 一番わかりやすいキリスト教入門』（東洋経済新報社）
参 考 書	雨宮慧『（図解雑学）旧約聖書』（ナツメ社） 越川弘英『旧約聖書の学び』（キリスト教新聞社）

科目名	REL202:　宗教学 B					担当教員	小林　宏子
開講期	春	開講時限	木 1 限			研究室	4204
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	1-①, 2-①

キーワード	ローマ・カトリック、聖書、契約、神の国、信仰、救い、罪の赦し、隣人愛、永遠の生命
授業の概要	新約聖書の中の福音書を中心に講読し、1 世紀のユダヤ社会に登場したイエスの生涯とそのメッセージの意味を学ぶ。なぜ、イエスが救い主と信じられたのか、どのような人々がイエスの中に神の救いの意思を見出したのか、イエスの十字架上での死に、神の愛が現われているとはどのような意味なのかなど、キリスト教信仰を理解するための基礎知識を学ぶ。
達成目標（授業の目的）	福音書の講読を通して、キリスト教信仰を理解するための基本的な用語とエピソードの知識を得る。特に、西洋文化圏において常識的に使用される聖書起源の用語やたとえ話が、聖書の中ではどのような文脈において語られているのか、そして、その背景にはどのような社会状況や救いへの希求が存在していたのかを考察することを通して、現代社会において信仰を持つ人びとを理解する助けとする。
到達目標（学修成果）	①新約聖書やキリスト教の基本的用語やエピソードの意味内容を理解できる ②聖書の記述をその字面だけでなく歴史的・文化的背景を含めて理解し、信仰の視点からのイエスの宣教内容の意味やエピソードの解釈を自分の言葉で表現できる ③福音書に描かれたイエスの行動や態度の選択が当時の民族や社会に与えた影響について、人間の本質的傾向と神が備えている救いへの道の内容を踏まえて考察し、分かりやすく論述できる
評価方法	①授業参加における積極性（1%×14 回=14%） ②リアクションペーパー（3%×11 回＝33%）と復習課題（4%×3 回=12%）の提出 ③期末課題：設問への解答（20%）と小論文（21%）
評価基準	①準備学修として指定されたテキストと聖書の該当箇所を読んだ上で授業に臨み、授業において積極的に発言できること。 ②授業を通して深めた理解を反映させた形でリアクションペーパーに自分の見解を記述できること。また、福音書に書かれた出来事やたとえ話の解釈を正しく理解した上で、復習課題のテーマについて自分の意見を記述できること。 ③テキストと授業内容を正しく理解した上で設問に答えられることと、「新約聖書の登場人物或いは、たとえ話やエピソードの中で最も興味を引く事柄」について、1,200 字程度の小論文が書けること。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要 新約聖書の基礎知識	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 114-117 の予習
2	新約聖書の世界（1）ユダヤ教の宗派、神の国の宣教	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 118-123 及びマタイ 20：1-16 の予習
3	新約聖書の世界（2）イエスの弟子たち、ファリサイ派と徴税人	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 124-125 及びルカ 18：9-14 の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	イエスの宣教（1）奇跡物語、罪の赦し	講義、意見交換、復習課題①	テキスト pp. 126-127 及びマタイ 8：23-9：8 の予習
5	イエスの宣教（2）山上の説教	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 128-129 及びマタイ 5 章、6：25-7：12 の予習
6	イエスの宣教（3）慈しみ深い神、放蕩息子のたとえ話、主の祈り	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 130-131 及びルカ 15：1-32 の予習
7	イエスの宣教（4）永遠の命、隣人愛の掟、善きサマリア人のたとえ	講義、意見交換、復習課題②	マタイ 25：31-46、ルカ 10：25-37 の予習
8	イエスの受難（1）エルサレム入城、最後の晩餐、新しい契約	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 132-135 及びマタイ 21 章、26 章の予習
9	イエスの受難（2）死刑判決、十字架の道行き	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 136-138 及びルカ 23 章の予習
10	イエスの受難（3）十字架上の死、イエスの受難と死の意味	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト p. 139 及びヨハネ 19 章の予習
11	イエスの復活（1）復活者イエスとの出会い	講義、意見交換、復習課題③	テキスト pp. 140-141 及びマタイ 28 章、ルカ 24 章の予習
12	イエスの復活（2）使徒たちに受け継がれる宣教の使命	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 142-143 及びヨハネ 20 章の予習
13	イエスの復活（3）パウロの召命	講義、意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 144-146 及び使徒言行録 8-9 章の予習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	キリスト教の広まり 期末課題の講評	講義、意見交換、講評、リアクションペーパー	科目のまとめ、授業資料の復習

テキスト	月本昭男（監修）『超図解 一番わかりやすいキリスト教入門』（東洋経済新報社）
参 考 書	越川弘英『新約聖書の学び』（キリスト教新聞社） 秋山憲兄（監修）『聖書辞典』（新教出版社）

科目名	MUS201:　音楽 A					担当教員	北村　さおり
開講期	春	開講時限	木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	音楽　歌　芸術
授業の概要	上智大学の「校歌」、短期大学部学生歌「緑の丘」「叡智の丘」を歌う。 曲の成り立ちや背景を受講者で分担して調べ授業で発表する。歌詞や曲の分析や考察を行う。実際に歌を練習して歌唱表現を模索する。最終的に授業で学んだことから自分でテーマを設定し、レポートを提出する。
達成目標（授業の目的）	校歌や学生歌の背景を知り、作詞者や作曲家の思いに触れることで、曲への理解を深める。校歌や学生歌を通して、歌の役割や効果を探る。作品の解釈・演奏を試みることにより、自己と芸術との関わりを考え、自己の感性を磨き、表現の幅を広げる。
到達目標（学修成果）	調べたいテーマを設定し、資料の収集・整理を行い、発表する。曲の分析・考察の意見交換をする。曲に対する想いや気持ちを共有し、歌唱をとおして、コミュニケーション能力を高め、音楽の持つ「伝える・感じる」力を体験する。
評価方法	①授業への積極的参加（1%×14＝14%）②リアクションペーパーの提出（2%×10＝20%）③発表（30%）④期末課題：小論文（36%）
評価基準	①準備学習として与えられたテーマについて準備して授業に臨み、積極的に意見交換に参加できているか。歌唱に積極的に取り組んでいるか。②発表や意見交換で深めた理解をリアクションペーパーにまとめられているか。③資料の収集・整理ができていて、端的に発表ができたか。④授業で学んだ内容から自由なテーマでレポート提出。調べ学習にとどまらず、授業を踏まえた内容で、自身の考えを論述すること。（引用や参考文献など、レポートの形式が整っているもののみ採点対象とする）
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要　楽譜の配布　楽譜の譜読み	講義、歌唱練習	発表準備と授業のまとめ①
2	校歌とは　学生歌とは 歌唱練習①	発表、講義、歌唱練習 リアクションペーパー	発表準備と授業のまとめ②
3	上智大学校歌の成り立ちについて 歌唱練習②	発表、講義、歌唱練習 リアクションペーパー	発表準備と授業のまとめ③
4	上智大学校歌の歌詞について 歌唱練習③	発表、講義、歌唱練習 リアクションペーパー	発表準備と授業のまとめ④
5	上智大学校歌の解釈と演奏法の考察 歌唱練習④	発表、講義、歌唱練習 リアクションペーパー	発表準備と授業のまとめ⑤
6	学生歌「叡智の丘」の成り立ちについて 歌唱練習⑤	発表、講義、歌唱練習 リアクションペーパー	発表準備と授業のまとめ⑥
7	学生歌「叡智の丘」の歌詞について 歌唱練習⑥	発表、講義、歌唱練習 リアクションペーパー	発表準備と授業のまとめ⑦

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	学生歌「叡智の丘」の解釈と演奏法の考察 歌唱練習⑦	発表、講義、歌唱練習 リアクションペーパー	発表準備と授業のまとめ⑧
9	学生歌「緑の丘」の成り立ちについて 歌唱練習⑧	発表、講義、歌唱練習 リアクションペーパー	発表準備と授業のまとめ⑨
10	学生歌「緑の丘」の歌詞について 歌唱練習⑨	発表、講義、歌唱練習 リアクションペーパー	発表準備と授業のまとめ⑩
11	学生歌「緑の丘」の解釈と演奏法の考察 歌唱練習⑩	発表、講義、歌唱練習 リアクションペーパー	レポートの準備と授業のまとめ①
12	レポートのテーマ設定について 歌唱練習⑪	発表、講義、歌唱練習	レポートの準備と授業のまとめ②
13	レポートの経過報告と意見交換 歌唱練習⑫	発表、講義、歌唱練習	レポートの準備と授業のまとめ③
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	レポートの発表と意見交換 歌唱練習⑬	発表、講義、歌唱練習	授業の振り返り

テキスト	なし。楽譜や資料は配布する。
参 考 書	なし。必要な資料は授業内で紹介する。
その他 特記事項	第 1 回授業の前に Moodle に登録し、授業準備の確認をすること。

科目名	MUS202:　音楽 B					担当教員	北村　さおり
開講期	秋	開講時限	木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	西洋音楽史、芸術、音楽、舞台、オペラ、クラシック、ヨーロッパ
授業の概要	映像資料を用いてオペラを鑑賞する。受講生それぞれの視点で作曲家や作品の背景、演出や出演者などについてのレポートを作成し、授業中にレジュメやパワーポイントを使って発表する。レポートを共有、討論を行うことで知識を深める。
達成目標（授業の目的）	総合芸術と言われるオペラ作品を、音楽、文学、美術、歴史など様々な視点を通して学ぶ。楽典の知識を用いた専門的な分析にこだわらない。「好き・嫌い」といった趣向に左右された感想に終始せず、多角的な視点から考察や討論を試みて、必要な情報を端的にまとめ、発表し、討論を導く。最終的に、発表した内容で期末レポート（小論文）が書けることを目標とする。
到達目標（学修成果）	鑑賞の楽しみ方を知り、芸術に関心を持てるようになる。自己と芸術との関わりを考え、自己の感性を磨き、表現の幅を広げることができるようになる。
評価方法	①発表の評価：30% ②他者の発表に対するリアクションペーパーや鑑賞の感想などの提出：40% ③発表に対する質問や発言など授業内の評価：10% ④期末レポート（小論文）：20%
評価基準	①必要な情報を正しく収集し、端的にまとめ、自身の考察、論述ができているか。（ネット検索や辞書を 1 つだけ参照し、丸写しすることは認めない。レポート作成のルールに準じる） ②他の発表を精査して聞き、疑問点などをまとめることができているか。能動的に鑑賞できているか。 ③授業の進行に有意義な発言や相手の考えを引き出すような質問ができているか。 ④発表したテーマについて、授業を踏まえた考察を深め、小論文の形式に従って論述できているか。（引用や参考文献など、レポートの形式が整っているもののみ採点対象とする）
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義概要 オペラとは	講義、リアクションペーパー	予習・復習：西洋史の概要
2	オペラの成り立ち	講義、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：オペラ史
3	モーツァルト「フィガロの結婚」1 鑑賞 1 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-1
4	モーツァルト「フィガロの結婚」2 鑑賞 2 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-2
5	モーツァルト「フィガロの結婚」3 鑑賞 3 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-3

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	モーツァルト「フィガロの結婚」4 発表①	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-4
7	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」1 鑑賞 1 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-5
8	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」2 鑑賞 2 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-6
9	ドニゼッティ「ランメルモールのルチア」3 発表②	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-7
10	ヴェルディ「椿姫」1 鑑賞 1 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-8
11	ヴェルディ「椿姫」2 鑑賞 2 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-9
12	ヴェルディ「椿姫」3 鑑賞 3 幕	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習：あらすじ 復習：鑑賞のまとめ-10
13	ヴェルディ「椿姫」4 発表③	講義、発表、鑑賞、リアクションペーパー	予習・復習：鑑賞のまとめ-11
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	現在のオペラシーンについて。まとめ。	講義	復習：まとめ

テキスト	授業に関する資料は Moodle にアップする。初回授業の前に確認すること。
参 考 書	水谷彰良『新 イタリア・オペラ史』（音楽の友社） 加藤浩子『オペラでわかるヨーロッパ史』（平凡社新書）
その他 特記事項	発表準備のために自宅で DVD やブルーレイを鑑賞できると望ましい。機材を持っていない者は、学校の施設を利用して映像の鑑賞等の自習を行うこと。 基礎的な西洋（音楽）史の知識がある方が望ましいが、未習の者は各自で予習復習すること。楽典の専門知識は不要。初回授業の前に必ず Moodle に登録し連絡等の確認をすること。

科目名	SOC201: 社会学 A					担当教員	ミカロヴァー・ズザナ
開講期	春	開講時限	金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	社会学の基本概念、社会学理論、社会構造、個人と社会
授業の概要	本講義では、社会学理論を中心に「社会学とは何か」について考察する。社会学的想像力、社会構造、文化、集団、ジェンダー、権力、組織、機能、社会的相互作用、地位と役割などの社会学の基本的な概念について学ぶ。そして、身近な社会現象をどのように理解するのか、すなわち、個人的な経験がどのようにして社会過程によって作られるのかについて学習する。本講義は、配布資料を解説する講義形式で進める。
達成目標（授業の目的）	社会学の基本概念と考え方に慣れ親しみ、日常生活で経験する個人的な出来事を社会学的な視点で読み解く力を学習することを目的とする。日々の生活の中で、様々な社会現象を社会学的に考えてみるという訓練、そして、社会関係を構築するための実践的な思考力を身につけることを達成目標とする。
到達目標（学修成果）	1. 学生が日常生活で経験する身近な社会現象を社会学的な視点で考えることができる。 2. 学生が社会学の基本概念を理解し、様々な社会現象に対する社会学的視点を身に付けることができる。 3. 学生が社会学理論の様々なアプローチを学習し、様々な社会問題に適用できる。
評価方法	1. 授業参加（質問・コメントの用意、またディスカッションへの参加、11 回）：10% 2. 課題提出（12 回）：30% 3. ミニテストと定期試験：15%＋45%
評価基準	1. 学生が読んだ資料、あるいは授業での解説を元に、自分の考えたことを言語化し、質問やコメントができる能力を評価する。 2. 毎回、授業内容に関する課題（記述問題）を出す。提出された課題をみて講義内容をきちんと学習し理解しているかどうかを評価する。 3. 1 回のミニテスト（選択式問題：適切な解答を選択する問題）と定期試験（①選択式問題、②記述式問題：提示された問題について簡潔に記述し、授業で習ったことを応用する問題）を通して、社会学の基本概念と各理論、社会学用語を学習しているかどうかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・授業参加のフィードバックは口頭で行う ・課題提出に対するフィードバックは Moodle で行う （Moodle に提出された課題に対し、コメントのフィードバックを行う）
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：社会学的想像力、そのメリット、日常的な使い方について	講義、Q&A、1 回目の課題の提起	テキストの序章（pp.1-19）を読んでおくこと
2	理論とは何か：社会学と科学、理論、概念、命題、仮説	講義、Q&A とディスカッション、2 回目の課題提起	テキストの 2 章（pp.41-53）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
3	社会学理論：①機能理論	講義、Q&A とディスカッション、3 回目の課題提起	テキストの 3 章（pp.55-62）を読んでおくこと、質問・コメントの用意

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	社会学理論：②紛争理論	講義、Q&Aとディスカッション、4回目の課題提起	テキストの3章（pp.62-67）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
5	社会学理論：③象徴的相互作用論	講義、Q&Aとディスカッション、5回目の課題提起	テキストの3章（pp.67-75）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
6	社会学理論：④交換理論	講義、Q&Aとディスカッション、6回目の課題提起	テキストの3章（pp.75-87）を読んでおくこと、質問・コメントの用意、今までの復習
7	ミニテスト 文化：文化の特性、文化遅滞、エスノセントリズム、下位文化、文化と消費	講義、Q&Aとディスカッション、7回目の課題提起	テキストの4章（pp.89-112）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
8	ミニテスト問題の解説 集団、地位と役割：社会集団のタイプ、地位群と役割群、役割葛藤	講義、Q&Aとディスカッション、8回目の課題提起	テキストの5章（pp.113-127）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
9	家族：家族とは何か、結婚と夫婦関係、権力関係、役割分担	講義、Q&Aとディスカッション、9回目の課題提起	テキストの8章（pp.165-178）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
10	ジェンダー：性とジェンダー、ジェンダー役割と社会化、日本におけるジェンダーの階層化、ジェンダー役割意識	講義、Q&Aとディスカッション、10回目の課題提起	テキストの10章（pp.197-215）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
11	組織：官僚制の特徴（ウェーバー、マートン）、専門化、非人間性、官僚制の逆機能	講義、Q&Aとディスカッション、11回目の課題提起	テキストの9章（pp.179-196）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
12	逸脱：デュルケム、マートンのアノミー概念、ラベリング理論	講義、Q&Aとディスカッション、12回目の課題提起	テキストの12章（pp.231-247）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
13	社会学のまとめ	授業の復習を行う	テキストの復習
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
14	試験の解説 OR/AND 個人研究の紹介	試験問題の解説・講義、学生とのQ&A	試験の振り返り

テキスト	李侖姫・渡辺深（2022）『入門社会学』（ミネルヴァ書房）
参考書	クリストファー・ソープ（2018）『社会学大図鑑』（三省堂）
その他特記事項	講義は、パワーポイントを用いて行う。学生が読んできた資料、そしてその解説に基づいた学生からの質問とコメントに対応し、ディスカッションをする。授業の終了後に、Moodle にて課題を提出すること。

科目名	SOC202:　社会学 B					担当教員	ミカロヴァー・ズザナ
開講期	秋	開講時限	金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	社会学の基本概念、社会調査法、個人と社会
授業の概要	本講義では、様々な社会現象を社会学的視点から理解する。例えば、社会化、ライフコース、ネットワーク、社会階層、宗教、社会変動など、社会現象の各領域について考察する。また、本講義では、基本的な調査法（サーベイ、実験、観察、文書分析）について理解し、どのようにして社会現象を観察し分析するのかを学習する。本講義は、配布資料を解説する講義形式で進める。
達成目標（授業の目的）	日々の生活の中で、様々な社会現象を社会学的に考えてみるという訓練、そして、社会関係を構築するための実践的な思考力を身につけることを目的とする。本講義では、特に社会学の各領域に関する基本的な概念によって具体的な内容を理解し、そして、調査方法全般について勉強する。
到達目標（学修成果）	1. 学生が日常生活で経験する身近な社会現象を社会学的な視点で考えることができる。 2. 学生が社会学の各領域に関する基本概念を理解し、様々な社会現象に対する社会学的視点を身に付けることができる。 3. 学生が調査方法の全般について学習し、様々な社会問題を分析し、考察することができる。
評価方法	1. 授業参加（質問・コメントの用意、またディスカッションへの参加、11 回）：10% 2. 課題提出（12 回）：30% 3. ミニテストと定期試験：15%＋45%
評価基準	1. 学生が読んだ資料、あるいは授業での解説を元に、自分の考えたことを言語化し、質問やコメントができる能力を評価する。 2. 毎回、授業内容に関する課題（記述問題）を出す。提出された課題をみて講義内容をきちんと学習し理解しているかどうかを評価する。 3. 1 回のミニテスト（選択式問題：適切な解答を選択する問題）と定期試験（①選択式問題、②記述式問題：提示された問題について簡潔に記述し、授業で習ったことを応用する問題）を通して、社会学の基本概念と各理論、社会学用語を学習しているかどうかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・授業参加のフィードバックは口頭で行う ・課題提出に対するフィードバックは Moodle で行う （Moodle に提出された課題に対し、コメントのフィードバックを行う）
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：社会学的視点、そのメリット、日常的な使い方について	講義、Q&A とディスカッション、1 回目の課題提起	テキストの 1 章（pp.21-39）を読んでおくこと
2	社会化：家族・学校・同輩・マスメディアという社会化のエージェント、自己の発達段階、成人の社会化	講義、Q&A とディスカッション、2 回目の課題提起	テキストの 7 章（pp.151-164）を読んでおくこと、質問・コメントの用意

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
3	ライフコース：個人の人生と歴史的出来事、社会構造との関係	講義、Q&A とディスカッション、3 回目の課題提起	テキストの 11 章（pp.217-229）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
4	ネットワーク：連帯の内容と強さ・密度、閉鎖型と開放型のネットワーク	講義、Q&A とディスカッション、4 回目の課題提起	テキストの 6 章（pp.129-149）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
5	社会階層：生活機会、社会移動と不平等、日本の不平等	講義、Q&A とディスカッション、5 回目の課題提起	テキストの 13 章（pp.249-256）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
6	宗教：宗教の定義、宗教と社会秩序、宗教と近代化、プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神	講義、Q&A とディスカッション、6 回目の課題提起	テキストの 14 章（pp.263-283）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
7	ミニテスト 社会変動：古典理論（マルクス、ウェーバー、デュルケム）	講義、Q&A とディスカッション、7 回目の課題提起	テキストの 15 章（pp.285-290）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
8	ミニテスト問題の解説 社会変動：現代理論（世界システム理論、マックドナルド化）、社会変動の要因	講義、Q&A とディスカッション、8 回目の課題提起	テキストの 15 章（pp.290-300）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
9	現代社会はリスク社会：ベックとギデンズ、不確実性と不安定性への適応、再帰的自己、グローバル化	講義、Q&A とディスカッション、9 回目の課題提起	『社会学大図鑑』のベックとギデンズの章（pp.148-149, 158-161）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
10	社会調査法：調査過程とサーベイ法、統計による嘘に気をつけよう	講義、Q&A とディスカッション、10 回目の課題提起	テキストの 16 章（pp.301-316）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
11	社会調査法：実験法・観察法・調査倫理	講義、Q&A とディスカッション、11 回目の課題提起	テキストの 16 章（pp.316-332）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
12	社会調査法：文書分析法	講義、Q&A とディスカッション、12 回目の課題提起	テキストの 16 章（pp.332-345）を読んでおくこと、質問・コメントの用意
13	社会学のまとめ	授業の復習を行う	テキストの復習
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
14	試験の解説 OR/AND 個人研究の紹介	試験問題の解説・講義、学生との Q&A	試験の振り返り

テキスト	李侖姫 ・渡辺深（2022）『入門社会学』（ミネルヴァ書房）
参 考 書	クリストファー・ソープ（2018）『社会学大図鑑』（三省堂）
その他 特記事項	講義は、パワーポイントを用いて行う。学生が読んできた資料、そしてその解説に基づいた学生からの質問とコメントに対応し、ディスカッションをする。授業の終了後に、Moodle にて課題を提出すること。

科目名	LAW211:　日本国憲法 A					担当教員	ヒトロフ　美月
開講期	春	開講時限	金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	憲法、法学、統治機構、天皇、平和主義
授業の概要	本講義は、日本国憲法のうち、主に統治機構論と呼ばれる部分について講じる。統治機構論は、国家の政治を実現するために設置されている様々な機関にまつわる諸問題やその関係を論じるものであるが、本講義は、わが国における統治機構の法的位置づけを日本国憲法という法規範を基に講じるものである。なお、本講義では、講師作成のレジュメを基に、受講生との対話型にて進行する。
達成目標（授業の目的）	本講義では、学生が日本の統治機構の構造を理解し、その固有の任務や機関の相互関係について正確に説明ないし描写することができるようになることを第一の目的とする。併せて、現実の政治について、自ら憲法的観点からの分析が可能となることを目指す。
到達目標（学修成果）	まず、日本の統治機構の各部について、誤りなく理解している。また、それぞれの機関やその関係について、自らの言葉で正確に説明・描写することができるようになる。その上で、学習したことに照らし、憲法と現状の政治の位置関係を日本語で説明し、かつその問題点を指摘できるようになる。
評価方法	①授業時の参加態度：20%（授業内での積極的な発言） ②中間レポート（第 6 回から 7 回辺りに課題を示す）：30% ③期末レポート：50%
評価基準	①授業時の参加態度：自身の知識、経験、思考力を用いて、問いに対して真摯に向き合っているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：課題内容を正確に理解した上で、当該課題に対し、多角的、かつ論理的な記述がなされているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション 憲法とは	講義、質疑応答	第 1 回レジュメの検討
2	憲法の基礎 日本国憲法の制定と改正	講義、質疑応答	第 2 回レジュメの検討
3	選挙と参政権 国民主権	講義、質疑応答	第 3 回レジュメの検討
4	立法権 国会の役割	講義、質疑応答	第 4 回レジュメの検討
5	行政権 内閣の役割	講義、質疑応答	第 5 回レジュメの検討
6	司法権 裁判所の役割	講義、質疑応答	第 6 回レジュメの検討

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	比較憲法 世界各国の憲法との比較	講義、質疑応答	第 7 回レジュメの検討 中間レポートの作成
8	判決を読んでみよう (判決の探し方、読み方)	講義、質疑応答	第 8 回レジュメの検討
9	レポート返却・講評／ 第 8 回で取り上げた判決についての議論	講義、質疑応答、グループディスカッション	第 9 回レジュメの検討
10	天皇制 象徴天皇制とは	講義、質疑応答	第 10 回レジュメの検討
11	平和主義① 平和主義の成立	講義、質疑応答	第 11 回レジュメの検討
12	平和主義② 憲法 9 条の解釈	講義、質疑応答	第 12 回レジュメの検討
13	違憲審査制 違憲判決とその効果	講義、質疑応答	第 13 回レジュメの検討
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	期末レポートに対する解説・講評、 学期の総括	グループディスカッション、質疑応答	憲法の基本的な発想がどのようなものか振り返る。

テキスト	講師作成のレジュメ（各講義のレジュメおよびそれに関連する条文、判例をまとめた資料を各講義 1 週間前を目安に Moodle にアップする）
参 考 書	駒村圭吾『プレステップ憲法（第 4 版）』（弘文堂）

科目名	LAW212:　日本国憲法 B					担当教員	ヒトロフ　美月
開講期	秋	開講時限	金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	憲法、法学、基本的人権、表現の自由、平等
授業の概要	本講義は、日本国憲法のうち、主に人権論と呼ばれる部分について講じる。人権や自由、平等というものは、ある種の誤解を招きやすい概念でもある。本講義は憲法学における人権の概念を、実際の裁判例なども参照しながら講じるものである。なお、本講義は、講師作成のレジュメを基に、受講生との対話型にて進行する。
達成目標（授業の目的）	本講義では、学生が、人権・自由の概念を理解し、なぜ法的・社会的に重要視されているのかを深く理解することを第一の目標とする。併せて、身の回りの出来事について、自ら憲法的観点からの分析が可能となることも目指す。
到達目標（学修成果）	人権がなぜ重要であるのかを本質的に理解できるようになる。その上で、それぞれの人権の保障根拠を正確に理解できるようになる。その上で、学習したことに照らし、憲法と現代社会における問題について日本語で説明し、かつその問題点を指摘できるようになる。
評価方法	①授業時の参加態度：20%（授業内での積極的な発言） ②中間レポート（第 6 回から 7 回辺りに課題を示す）：30% ③期末レポート：50%
評価基準	①授業時の参加態度：自身の知識、経験、思考力を用いて、問いに対して真摯に向き合っているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：課題内容を正確に理解した上で、当該課題に対し、多角的、かつ論理的な記述がなされているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション 憲法とは	講義、質疑応答	第 1 回レジュメの検討
2	人権の基礎① 理念と特質	講義、質疑応答	第 2 回レジュメの検討
3	人権の基礎② 歴史	講義、質疑応答	第 3 回レジュメの検討
4	人権総論 人権の性質と対象	講義、質疑応答	第 4 回レジュメの検討
5	信教の自由 政教分離	講義、質疑応答	第 5 回レジュメの検討
6	表現の自由 ヘイトスピーチ	講義、質疑応答	第 6 回レジュメの検討
7	比較憲法 世界各国の憲法との比較	講義、質疑応答	第 7 回レジュメの検討 中間レポートの作成

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	判決を読んでみよう (判決の探し方、読み方)	講義、質疑応答	第 8 回レジュメの検討
9	レポート返却・講評／ 第 8 回で取り上げた判決についての議論	講義、質疑応答、グループディスカッション	第 9 回レジュメの検討
10	経済的自由 職業選択の自由、財産権	講義、質疑応答	第 10 回レジュメの検討
11	人身の自由 適正手続	講義、質疑応答	第 11 回レジュメの検討
12	社会権 健康で文化的な最低限度の生活とは	講義、質疑応答	第 12 回レジュメの検討
13	幸福追求権／ 法の下の平等と差別	講義、質疑応答	第 13 回レジュメの検討
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	期末レポートに対する解説・講評、 学期の総括	グループディスカッション、質疑応答	憲法の基本的な発想がどのようなものか振り返る。

テキスト	講師作成のレジュメ（各講義のレジュメおよびそれに関連する条文、判例をまとめた資料を各講義 1 週間前を目安に Moodle にアップする）
参 考 書	駒村圭吾『プレステップ憲法（第 4 版）』（弘文堂）

科目名	LAW201:　法学 A					担当教員	ヒトロフ　美月
開講期	春	開講時限	金 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	法学、私法、民事法、比較法、家族法、同性婚、夫婦別姓、契約
授業の概要	本講義は、法学のうち、民事法と呼ばれる分野を概観する。特に、私たちの生活にさまざまな面で関係してくる民法を中心とする。現代社会において議論となっている、民事法上のいくつかの問題をトピック的に取り扱う。したがって、講義全体としては緩やかな流れをもちながらも、体系性にはこだわらないものとなっている。なお、本講義は、講師作成のレジュメ・設問を基に、受講生との対話型にて展開される。
達成目標（授業の目的）	学生がさまざまな社会問題について、自ら考え、法を用いて、法的観点からの解決策を提示できる。
到達目標（学修成果）	当該事実に適切な条文を見つけ、摘示することができるようになる。日本の民法の基本的な考え方を正確に理解し、説明することができるようになる。
評価方法	①授業時の参加態度：20%（授業内での積極的な発言） ②中間レポート（第 6 回から 7 回辺りに課題を示す）：30% ③期末レポート：50%
評価基準	①授業時の参加態度：自身の知識、経験、思考力を用いて、問いに対して真摯に向き合っているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：課題内容を正確に理解した上で、当該課題に対し、多角的、かつ論理的な記述がなされているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション 六法の扱い方	講義、質疑応答	第 1 回レジュメの検討
2	法の分類 憲法？民法？刑法？	講義、質疑応答	第 2 回レジュメの検討
3	裁判手続（民事訴訟） 訴訟？調停？	講義、質疑応答	第 3 回レジュメの検討
4	民法総論 民法の基本的概念	講義、質疑応答	第 4 回レジュメの検討
5	家族法① 婚姻法（同性婚、夫婦別姓、国際結婚）	講義、質疑応答	第 5 回レジュメの検討
6	家族法② 離婚法（親権、夫婦財産制）	講義、質疑応答	第 6 回レジュメの検討
7	相続法 法定相続人、遺言、特別の寄与	講義、質疑応答	第 7 回レジュメの検討 中間レポートの作成
8	判決を読んでみよう （判決の探し方、読み方）	講義、質疑応答	第 8 回レジュメの検討

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	レポート返却・講評／ 第 8 回で取り上げた判決についての議論	講義、質疑応答、グループディスカッション	第 9 回レジュメの検討
10	財産法① 総則	講義、質疑応答	第 10 回レジュメの検討
11	財産法② 物権（所有権）	講義、質疑応答	第 11 回レジュメの検討
12	財産法③ 債権（不法行為）	講義、質疑応答	第 12 回レジュメの検討
13	国際私法 国境を跨いだ私人間の法律上の問題	講義、質疑応答	第 13 回レジュメの検討
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	期末レポートに対する解説・講評、 学期の総括	グループディスカッション、質疑応答	民法の基本的な発想がどのようなものか振り返る。

テキスト	講師作成のレジュメ（各講義のレジュメおよびそれに関連する条文、判例をまとめた資料を各講義 1 週間前を目安に Moodle にアップする）
参 考 書	潮見佳男『民法（全）』（有斐閣）

科目名	LAW202:　法学 B					担当教員	ヒトロフ　美月
開講期	秋	開講時限	金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	刑事法、刑法、刑事訴訟法、私人逮捕、闇バイト、ウクライナ侵攻、ガザ侵攻
授業の概要	本講義は、法学のうち、刑事法と呼ばれる分野を概観する。特に、私たちの生活にさまざまな面で関係してくる刑法を中心とする。現代社会において議論となっている、刑事法上のいくつかの問題をトピック的に取り扱う。したがって、講義全体としては緩やかな流れをもちながらも、体系性にはこだわらないものとなっている。なお、本講義は、講師作成のレジュメ・設問を基に、受講生との対話型にて展開される。
達成目標（授業の目的）	学生がさまざまな社会問題について、自ら考え、法を用いて、法的観点からの解決策を提示できる。
到達目標（学修成果）	当該事実に適切な条文を見つけ、摘示することができるようになる。日本の刑法および国際法の基本的な考え方を正確に理解し、説明することができるようになる。
評価方法	①授業時の参加態度：20%（授業内での積極的な発言） ②中間レポート（第 6 回から 7 回辺りに課題を示す）：30% ③期末レポート：50%
評価基準	①授業時の参加態度：自身の知識、経験、思考力を用いて、問いに対して真摯に向き合っているか（正答かどうかは問わない）。 ②中間レポート・③期末レポート：課題内容を正確に理解した上で、当該課題に対し、多角的、かつ論理的な記述がなされているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス・イントロダクション 六法の扱い方	講義、質疑応答	第 1 回レジュメの検討
2	法の分類 刑法？刑事訴訟法？国際法？	講義、質疑応答	第 2 回レジュメの検討
3	裁判手続（刑事訴訟） 捜査、起訴、公判	講義、質疑応答	第 3 回レジュメの検討
4	刑法総論 ① 刑罰の意義	講義、質疑応答	第 4 回レジュメの検討
5	刑法総論② 刑法の基本原則	講義、質疑応答	第 5 回レジュメの検討
6	刑法各論① 闇バイト	講義、質疑応答	第 6 回レジュメの検討
7	刑法各論② 名誉毀損	講義、質疑応答	第 7 回レジュメの検討 中間レポートの作成
8	判決を読んでみよう （判決の探し方、読み方）	講義、質疑応答	第 8 回レジュメの検討

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	レポート返却・講評／ 第 8 回で取り上げた判決についての議論	講義、質疑応答、グループディスカッション	第 9 回レジュメの検討
10	国際法総論① 国際法の歴史	講義、質疑応答	第 10 回レジュメの検討
11	国際法総論② 国際法の性質、国内法との関係	講義、質疑応答	第 11 回レジュメの検討
12	国際法各論① ウクライナ侵攻	講義、質疑応答	第 12 回レジュメの検討
13	国際法各論② ガザ侵攻	講義、質疑応答	第 13 回レジュメの検討
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	期末レポートに対する解説・講評、 学期の総括	グループディスカッション、質疑応答	刑法の基本的な発想がどのようなものか振り返る。

テキスト	講師作成のレジュメ（各講義のレジュメおよびそれに関連する条文、判例をまとめた資料を各講義 1 週間前を目安に Moodle にアップする）
参 考 書	山口厚『刑法〔第 4 版〕』（有斐閣）

科目名	EDU201:　教育学 A					担当教員	櫛桁　祐哉
開講期	春	開講時限	火 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	教育の歴史、教育の思想、人間学、学校と社会
授業の概要	教育思想および教育の歴史を探究しながら、「教育とは何か」「教育学とは何か」を問うことで、教育学の基礎理論を学ぶ。とりわけ、「よい教育とは何か」「子どもが育つとは何か」などの教育の背後にある基盤となる考えを問い直しながら、西洋および日本での子ども観、教育観の変遷、今日の教育問題を批判的に検討するための概念を学ぶ。
達成目標（授業の目的）	教育という営みを、思想的、歴史的側面から探究することを通じて、教育学の基礎的な理論、歴史を理解し、教育学の事象をその背後にある思想を含めて論理的、批判的に問い直すための視点、道具を獲得することを目標とする。
到達目標（学修成果）	①教育の歴史およびその背後にある思想、理論、概念を理解し、それらを用いて教育学的な問いに取り組むことができるようになる。 ②教育学についてのレポートを作成し、教育の事象について論理的、批判的に検討することができるようになる。
評価方法	①授業内で課すリアクション・ペーパー（50%） ②レポート（50%）
評価基準	①リアクション・ペーパー：授業の内容を理解し、学んだ理論、概念を用いながら、自分の言葉で論述されているか。 ②期末レポート：自ら問いを立て、授業および参考文献の内容を用いながら、論理的および教育学的な論述が行えているか。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	本講義の目的と概要―「教育」「学」とはいかなる学問か―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習
2	教育と人間への問い（I）―「よい教育とは何か」を問うということ―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.41-49（第 3 節は除く）
3	教育と人間への問い（II）―「子どもが育つ」ということ―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.45-46, 51-54
4	西洋教育思想史（I）―古代ギリシア―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.49-51
5	西洋教育思想史（II）―中世から近世―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.110-112

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	西洋教育思想史（III）―近代―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.110-112
7	西洋教育思想史（IV）―公教育の歴史―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.113-120
8	西洋教育思想史（V）―新教育と子ども中心主義―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.120-123
9	日本教育史（I）―江戸時代の教育―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.96-97
10	日本教育史（II）―近代教育制度の確立―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.97-100
11	日本教育史（III）―戦時中の教育―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.100-104
12	日本教育史（IV）―学習指導要領の変遷①―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.68-81, 104-109
13	日本教育史（V）―学習指導要領の変遷②―	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習、教科書 pp.68-81, 104-109
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	レポートの講評、総括	講義、グループディスカッション、リアクションペーパー	配布プリントの復習

テキスト	内海﨑貴子 編著『新・教職のための教育原理』（八千代出版）
参 考 書	勝野正章・庄井良伸『問いからはじめる教育学』（有斐閣）

科目名	EDU202:　教育学 B					担当教員	黒田　協子
開講期	春	開講時限	月 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2, 5	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	2-①, 5-①

キーワード	外国につながる児童生徒、貧困と教育格差、教育格差と学力格差、不登校、教師の役割
授業の概要	人間や社会にとって「教育とは何か」を問う。教育社会学を中心に、教育現場の視点を様々な角度から探究することで、教育学の基礎理論を学ぶ。具体的には、外国につながる児童生徒の実態、貧困が教育に与える影響、いじめや不登校、ジェンダーと教育、今日の教育改革や教員を取り巻く環境などの諸問題を取り上げ、その要因や社会的背景、さらには課題解決の方途を探る。
達成目標（授業の目的）	教育という営みについて、教育社会学を中心に、様々な学問領域や教育現場等の視点から探究することを通して、教育学の基礎理論を理解し、教育現場の諸問題を教育学的視点から客観的かつ論理的、批判的に考察することができるようになることを目的とする。
到達目標（学修成果）	①教育学の諸分野や基礎理論について的確に理解し、概要を説明することができる。 ②現代の教育を取り巻く諸問題の背景や現状を理解し、課題を論述することができる。 ③教育事象に関するレポートの作成を通して、教育学的視点から教育事象を客観的かつ論理的、批判的に考察し、その結果を効果的に発表することができる。
評価方法	①授業参画（30%）、②授業時に課すリアクション・ペーパーあるいはミニレポート（40%） ③授業内試験（30%）
評価基準	①授業参画：積極的に発言や質問を行っているか。 ②リアクション・ペーパー、ミニレポート：論題について授業内容をふまえて論理的に考察できているか。 ③授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に答えられているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	教育とはなにか・教育学とはなにか ―学問としての教育を捉える―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	配布プリントの復習
2	教育をめぐる現代的課題（家庭教育）(1) ―家族とは―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.2-7 の一読 配布プリントの復習
3	教育をめぐる現代的課題（家庭教育）(2) ―家庭の貧困と教育―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.7-15 の一読 配布プリントの復習
4	教育をめぐる現代的課題（家庭教育）(3) ―家庭の DV と教育―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.7-15 の一読 配布プリントの復習
5	教育をめぐる現代的課題（学校）(1) ―学校は何をする場所か―	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト p.16 の一読 配布プリントの復習
6	教育をめぐる現代的課題（学校）(2) ―不登校といじめ―・ミニテスト	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.17-24 の一読 配布プリントの復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	教育をめぐる現代的課題（学校）(3) ―いじめ― 試験の返却、および解説	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.17-24 の一読 配布プリントの復習
8	教育をめぐる今日的課題（1） 外国につながる児童生徒（1）学校文化	講義・ディスカッション リアクションペーパー	（予習）配布プリントの一読 配布プリントの復習
9	教育をめぐる今日的課題（2） 外国につながる児童生徒（2）・学習	講義・ディスカッション リアクションペーパー	（予習）プリントの一読 配布プリントの復習
10	教育をめぐる今日的課題（3） ジェンダー問題	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.157-164 の一読 配布プリントの復習
11	教育をめぐる今日的課題（4） 性教育のとらえ方	講義・ディスカッション リアクションペーパー	（予習）プリントの一読 配布プリントの復習
12	教育をめぐる今日的課題（5） コロナ禍が第四次産業に与えたもの	講義・ディスカッション リアクションペーパー	（予習）プリントの一読 配布プリントの復習
13	「教師の役割」を問う ミニテスト	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.126-130 の一読 配布プリントの復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	生徒指導の煩雑さと教職 総括 試験の返却、および解説	講義・ディスカッション リアクションペーパー	テキスト pp.130-137 の一読 配布プリントの復習

テキスト	内海﨑貴子 編著『新・教職のための教育原理』（八千代出版）
参 考 書	酒井朗編著『アクティベート教育学 03 現代社会と教育』（ミネルヴァ書房） 東洋館出版社編『ポスト・コロナショックの学校で教師が考えておきたいこと』（東洋館出版社）

科目名	ECN201: 経済学 A					担当教員	溝口　佳宏
開講期	春	開講時限	火 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	経済学、ミクロ経済学、トレードオフ、インセンティブ、市場、効率性
授業の概要	経済学とは、個人や企業、政府が、どのように選択（意思決定）を行い、その選択（意思決定）を通じて社会に存在する資源がどのように用いられるのかを分析する手法です。この授業では、経済学の入門的な内容について講義します。主な内容として、まず、経済学的な考え方を取り上げます。その後、需要と供給や、市場の効率性といった、ミクロ経済学の入門的な内容を取り上げます。
達成目標（授業の目的）	この授業での達成目標は、次の 2 点です。 1. 経済学的な考え方について習得している。 2. 現実の経済の状況や経済問題について、経済学的な考え方を用いて理解しようとする姿勢を身につけている。
到達目標（学修成果）	この授業での到達目標は、次の 2 点です。 1. 授業で取り上げた経済学の用語や理論に関する知識が定着している。 2. 日常生活や社会でのいろいろな場面において生じる物事について、経済学的な考え方を用いながら分析や説明を行い、その内容を文章で記述できる。
評価方法	この授業での評価方法は、次の 2 点です。 1. 授業内試験（50%）（2 回実施）（到達目標 1 に対応） 2. レポート（50%）（授業の進度に応じて複数回出題）（到達目標 2 に対応）
評価基準	授業内試験については、単位取得に値する水準の点数を獲得できているかどうかで評価します。レポートについては、出題された課題に対して、履修者それぞれの言葉で、経済学的な考え方を用いながら分析や説明を記述できているかどうかで評価します。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス 経済学とは	授業、質疑応答	予習：シラバスの確認 復習：授業内容の振り返り
2	経済学での基本的な考え方、第 1 回レポート出題	授業、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：レポート課題への対応
3	経済学での分析手法	授業、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り
4	費用に関する考え方、第 2 回レポート出題	授業、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：レポート課題への対応
5	市場と競争	授業、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り
6	需要と供給、価格の役割	授業、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	市場均衡、均衡の変化	授業、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り
8	市場の効率性、政府の役割	授業、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り
9	授業内試験、これまでの内容のまとめ	試験、講評、質疑応答	予習：授業内試験の準備 復習：授業内容の振り返り
10	需要供給分析（1）課税の効果	授業、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り
11	弾力性の概念、第 3 回レポート出題	授業、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：レポート課題への対応
12	需要供給分析（2）価格規制、数量制限	授業、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り
13	授業内試験 独占市場の分析（1）独占市場における企業	試験、授業、質疑応答	予習：授業内試験の準備 復習：試験内容の振り返り
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	独占市場の分析（2）経済厚生への影響 全体のまとめ	授業、講評、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り

テキスト	マンキュー・N・グレゴリー 著、足立英之、石川城太、小川英治、地主敏樹、中馬宏之、柳川隆 訳『マンキュー入門経済学（第 3 版）』（東洋経済新報社）
参 考 書	・スティグリッツ、ウォルシュ 著、藪下他 訳、『スティグリッツ　入門経済学』（東洋経済新報社） ・八田達夫 著『ミクロ経済学 I 市場の失敗と政府の失敗への対策』（東洋経済新報社）
その他 特記事項	・レポート課題の出題は、授業進度によって、日程や回数が前後する可能性があります。 ・テキストは、授業資料のベースとなる書籍として記しています。ついては、テキストの購入は必須ではありません。

科目名	ECN202:　経済学 B					担当教員	溝口　佳宏
開講期	春	開講時限	火 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	経済学、マクロ経済学、国内総生産、物価指数、財政政策、金融政策
授業の概要	この授業では、経済全体の動きを集計量に注目しながら分析する手法である、マクロ経済学の入門的な内容を講義します。主な内容は、まず、景気について取り上げ、国内総生産・物価指数・失業率といった主要な経済指標について説明します。そののち、マクロ経済に大きな影響を及ぼす、財政と金融の役割を取り上げます。
達成目標（授業の目的）	この授業での達成目標は、次の 2 点です。 1. マクロ経済学の入門的な内容を習得している。 2. 現実の経済問題について、経済学的な考え方や授業で取り上げたマクロ経済学の入門的な内容を用いながら理解できる。
到達目標（学修成果）	この授業での到達目標は、次の 2 点です。 1. 授業で取り上げた内容に関する用語や理論についての知識が定着している。 2. 社会で生じている経済問題について、経済学的な考え方や授業で取り上げた内容を踏まえて分析や説明を行い、その内容を文章で記述できる。
評価方法	この授業での評価方法は、次の 2 点です。 1. 授業内試験（50%）（2 回実施）（到達目標 1 に対応） 2. レポート（50%）（授業の進度に応じて複数回出題）（到達目標 2 に対応）
評価基準	授業内試験については、単位取得に値する水準の点数を獲得できているかどうかで評価します。レポートについては、出題された課題に対して、履修者それぞれの言葉で、経済学的な考え方を用いながら分析や説明を記述できているかどうかで評価します。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス マクロ経済学とは	講義、質疑応答	予習：シラバスの確認 復習：授業内容の振り返り
2	景気とは	講義、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り
3	国内総生産（1）国内総生産とは、三面等価の原則	講義、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り
4	国内総生産（2）名目と実質、第 1 回レポート出題	講義、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：レポート課題への対応
5	物価指数	講義、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り
6	失業に関する経済指標、第 2 回レポート出題	講義、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：レポート課題への対応
7	財政の仕組みと機能	講義、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	貨幣と金融の役割	講義、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り
9	授業内試験、これまでの内容のまとめ	試験、講評、質疑応答	予習：授業内試験の準備 復習：講評内容の振り返り
10	国民所得の決定（1）総需要、総供給	講義、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り
11	国民所得の決定（2）均衡生産量、乗数、財政政策の効果、第 3 回レポートの出題	講義、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：レポート課題への対応
12	貨幣市場の導入、金融政策の効果	講義、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り
13	授業内試験 開放経済における財政金融政策	試験、講義、質疑応答	予習：授業内試験の準備 復習：講評内容の振り返り
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	経済成長に関する議論、全体のまとめ	講義、講評、質疑応答	予習：授業資料の確認 復習：授業内容の振り返り

テキスト	マンキュー・N・グレゴリー 著、足立英之、石川城太、小川英治、地主敏樹、中馬宏之、柳川隆 訳『マンキュー入門経済学（第 3 版）』（東洋経済新報社）
参 考 書	スティグリッツ、ウォルシュ 著、藪下他 訳『スティグリッツ　入門経済学』（東洋経済新報社）
その他 特記事項	・レポート課題の出題は、授業進度に応じて、日程や回数が前後する可能性があります。 ・テキストは、授業資料のベースとなる書籍として記しています。ついては、テキストの購入は、必須ではありません。

科目名	BUS201: 経営学 A					担当教員	
開講期	春	開講時限				研究室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	
授業の概要	シラバスは本学公式 web サイトの シラバスページにて公開します。 詳細については、 Loyola「上智大学短期大学部掲示板」にて お知らせします。
達成目標（授業の目的）	
到達目標（学修成果）	
評価方法	
評価基準	
課題等に対するフィードバック方法	
準備学修の時間	

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
	定期試験を実施する Final Exam will be held ／ 定期試験を実施しない Final Exam will not be held		

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
14			

テキスト	
参 考 書	
履修条件、前提科目	
その他特記事項	

科目名	BUS202:　経営学 B					担当教員	
開講期	秋	開講時限				研究室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	
授業の概要	
達成目標（授業の目的）	
到達目標（学修成果）	
評価方法	
評価基準	
課題等に対するフィードバック方法	
準備学修の時間	

シラバスは本学公式 web サイトの
シラバスページにて公開します。
詳細については、
Loyola「上智大学短期大学部掲示板」にて
お知らせします。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
	定期試験を実施する Final Exam will be held　／　定期試験を実施しない Final Exam will not be held		

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
14			

テキスト	
参 考 書	
履修条件、前提科目	
その他特記事項	

科目名	SWF201:　社会福祉入門 A					担当教員	西牧　由起
開講期	春	開講時限	木 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	教養としての社会保障と社会福祉（シチズンシップの観点からの社会福祉・社会保障）
授業の概要	日本の社会保障や社会福祉の問題を幅広い見方でとらえていく。特に諸外国の社会福祉を学ぶことで、日本のあり方を考える。市民として知っておくべき社会保障や社会福祉について国際比較の視点を持ちながら学んでいく。
達成目標（授業の目的）	本講は、社会福祉を専門としている学生の理解する社会福祉よりも、より幅広い視点をもって、福祉や生活を考えることができるようにすることを目標とする。また、市民として知っておくべき社会保障や社会福祉について理解し、自分自身で説明できるようにする。
到達目標（学修成果）	学生が新聞やテレビを見る際に、現代の社会問題に関わる記事やニュースを、社会政策の観点から、より正確に、深く理解できるとともに、正しく説明できるようになる。
評価方法	①授業毎のリアクションペーパー（30%） ②授業への積極的参加（20%） ③レポート課題（2 回）（50%）
評価基準	①テキストや授業の内容を的確に理解し、要約できているかどうか。 ②授業内容の質疑応答、議論に参加しているかどうか。（特に、教員からの質問や意見について求められた際に、応えることができる。） ③社会問題について、参考文献等を用いてきちんと調べた上で自分の意見を論理的に記述できているかどうか。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要 -社会福祉とは何か	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書序章を予習 Moodle の掲載資料を復習
2	社会福祉の基礎概念について -アルムス、アリメント、カリタス	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 1 章 1、3、4 節を予習、配布資料の復習
3	日本における社会福祉の歴史的変遷	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 1 章 2 節を予習 配布資料の復習
4	諸外国における社会福祉の歴史的変遷 -日本の福祉の仕組みを客観的に考える	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 1 章 5 節を予習 配布資料の復習
5	認知症に関する映像を通じて、日本の福祉について考える	講義、意見交換、リアクションペーパー	Moodle の掲載資料を予習、復習
6	社会福祉の動向について -少子高齢社会、人口減少社会	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 2 章 1、2、3 節を予習、配布資料の復習
7	幸福・豊かさと福祉（Q.O.L、Q.o.Death&Dying）安心の基盤とは	講義、意見交換、リアクションペーパー	Moodle の掲載資料を予習 配布資料の復習、レポート課題①提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	ヤングケアラーに関する映像を通じて、日本の福祉について考える	講義、意見交換、リアクションペーパー	Moodle の掲載資料を予習、復習
9	社会福祉に関する法制度 -社会保障、社会保障制度の体系、社会政策	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 3 章 1、2 節を予習 配布資料の復習
10	福祉行財政 -社会福祉の行政、社会保障の財源と費用	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 3 章 3、4 節を予習 配布資料の復習
11	社会福祉制度 -低所得者に対する支援と生活保護制度	講義、意見交換、リアクションペーパー	Moodle の掲載資料を予習、復習
12	社会福祉を支える組織と担い手 -社会福祉専門職	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 5 章 1、2、3 節を予習、配布資料の復習
13	社会福祉を支える組織と担い手 -供給体制作り	講義、意見交換、リアクションペーパー	教科書第 4 章 1、2、4 節を予習、配布資料の復習、レポート課題②提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめ、レポート課題への講評	講義、意見交換、リアクションペーパー	第 1 回～13 回の授業の復習

テキスト	栃本一三郎編『新しい視点で学ぶ社会福祉－保育士を志す人のために』（光生館）
参 考 書	岩田正美・上野谷加代子・藤村正之『ウェルビーイング・タウン　社会福祉入門改訂版』（有斐閣アルマ）

科目名	SWF202:　社会福祉入門 B					担当教員	西牧　由起
開講期	秋	開講時限	木 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	社会福祉の広がりと深さ、社会政策、主体としての社会福祉、客体としての社会福祉
授業の概要	社会福祉についての基礎的理解のための入門的な授業を行う。テキストに沿って基本的な概念や枠組みを理解していくことが中心となるが、正確で確実な知識の取得、およびその取得方法、そして社会で生活していく上で必須となる社会福祉、社会保障についての知識を身につける。
達成目標（授業の目的）	社会保障も視野においた広義の社会福祉についての現状、制度、法律について基礎的知識を得る。自己と社会との関係を自分の言葉で説明できるようになる。新聞で取り上げられる社会福祉や社会保障、社会問題の記事について、専門的な視点からある程度読み解くことができるようになる。
到達目標（学修成果）	授業および教科書に書かれている事柄を、新聞記事を利用して自分で調べ、理解し、さらに他者に説明出来るようになる。また、社会福祉や社会保障を自分や家族の生活に結びつけて自分の言葉で語れるようになる。
評価方法	①毎回の新聞の切り抜きとコメント（20%）、②授業毎のリアクションペーパー（30%）、③期末課題（2,000 字以上のレポート）（50%）
評価基準	①国内外の社会福祉や社会保障、社会問題の新聞記事を切り抜いて提出、かつコメント（200 字以上）を付ける。提出回数とコメントの妥当性によって評価する。②自分なりにその回の学習内容やキーワードが何であったかを確認しながら記述する。③配布資料や紹介した文献をもとに、自身が関心を寄せるテーマについて、講義を通じて学んだことを生かしながら自分の考えを論理的に述べることができるかを判断し評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション -講義の進め方、社会福祉とは	講義、意見交換 リアクションペーパー	教科書序章を予習 Moodle の掲載資料を復習
2	社会福祉とは何か① -社会福祉の基礎概念について	講義、新聞切り抜き提出（以下「新聞」）	教科書第 1 章 1、3 節を予習、配布資料の復習
3	社会福祉とは何か② -現金給付と現物給付、普遍主義と選別主義	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	教科書第 1 章 4、5 節を予習、配布資料の復習
4	社会福祉とは何か③ -日本における社会福祉の歴史的変遷	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	教科書第 1 章 2 節を予習、配布資料の復習
5	社会福祉の動向① -少子高齢社会、人口減少社会	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	教科書第 2 章 1 節を予習、配布資料の復習
6	社会福祉の動向② -地域福祉の推進	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	教科書第 2 章 2、3、4 節を予習、配布資料の復習
7	豊かさと福祉について （Q.O.L、Q.o.Death＆Dying）	講義、意見交換、新聞 リアクションペーパー	Moodle の掲載資料を予習 配布資料の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	社会福祉の法と行財政① -社会福祉の法制度、社会保障、社会政策	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	教科書第3章1、2節を予習 配布資料の復習
9	社会福祉の法と行財政② -社会福祉の行政、社会保障の財源と費用	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	教科書第3章3、4節を予習 配布資料の復習
10	社会福祉制度 -低所得者に対する支援制度	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	Moodleの掲載資料を予習、復習
11	社会福祉制度 -児童福祉に関する制度	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	Moodleの掲載資料を予習、復習
12	社会福祉を支える担い手 -社会福祉の人材	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	教科書第5章1、2、3節を予習 配布資料の復習
13	社会福祉の供給体制	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	教科書第4章1、2、4節を予習、配布資料の復習、期末課題提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめ、期末課題への講評	講義、意見交換、新聞リアクションペーパー	第1回～13回の授業の復習

テキスト	栃本一三郎編『新しい視点で学ぶ社会福祉－保育士を志す人のために』（光生館）
参考書	岩田正美・上野谷加代子・藤村正之編『社会福祉入門』（有斐閣アルマ）

科目名	JRN202:　マスメディア論 A					担当教員	吉武　希
開講期	春	開講時限	月 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					2-①
キーワード	コミュニケーション論、マス・コミュニケーション論、ジャーナリズム史						
授業の概要	現在まで、メディアがどのように発展してきたか、社会的にどのような役割を担ってきたかといったマスメディアに関する歴史とコミュニケーション研究の基礎的な概説を行う。その上で、現代社会におけるメディア別の特徴やその役割、影響について検証する。						
達成目標（授業の目的）	メディアの歴史や基礎的な理論、現代社会におけるメディアの役割や影響について理解する。その上で、メディアが関係する現代社会の諸問題について、分析を行い、批判的に考えることができるようになる。						
到達目標（学修成果）	本科目を通じて、メディアの歴史や理論を理解することで、客観的視点から現代社会における諸問題の批判的思考と考察能力を身につける。						
評価方法	①　Reaction Paper（30%） ②　授業への積極的参加（10%） ③　期末レポート（30%） ④　授業内試験 2 回（30%）						
評価基準	①講義内容を踏まえて自分の意見を論理的に述べられているか。②グループワーク等に積極極的に参加しているか。③講義内容でもあるマスメディア論を題材としたテーマについて、参考文献を用いる等、データに基づいて論理的に述べられているか。④授業内容を理解し、設問に対して適切に回答ができているか。						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally						
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション マスメディア論の概論	講義、Reaction Paper	第 1 回授業内容の復習
2	コミュニケーション研究の概論	講義、Reaction Paper	第 2 回授業内容の復習
3	メディアの進化とマス・コミュニケーション	講義、Reaction Paper	第 3 回授業内容の復習
4	メディアの日本史①：近代	講義、Reaction Paper	第 4 回授業内容の復習
5	メディアの日本史②：戦後	講義、Reaction Paper	第 5 回授業内容の復習
6	メディアの日本史③：まとめ（映像学習）	ディスカッション、 Reaction Paper	第 6 回授業内容の復習
7	第 1 回　授業内試験　解答・解説 メディア理論への導入	授業内試験 講義	第 1～6 回授業内容の総復習
8	メディア理論①：メディア効果論	講義、Reaction Paper	授業内試験の振り返り 第 8 回授業内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	メディア理論②：メディアと政治	講義、Reaction Paper	第 9 回授業内容の復習
10	メディア理論③：カルチュラルスタディーズ	講義、Reaction Paper	第 10 回授業内容の復習
11	メディアの現在①：新聞・出版・放送	講義、Reaction Paper	第 11 回授業内容の復習
12	メディアの現在②：通信・SNS	講義、Reaction Paper	第 12 回授業内容の復習
13	第 2 回　授業内試験　解答・解説 メディア理論・現在の復習	授業内試験 講義	第 8～12 回授業内容の総復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	「メディアの現在」まとめ、期末レポート提出、総括	講義	授業内試験の振り返り まとめ学習

テキスト	特定のテキストを指定しない。講義内容によっては参考書や講義中に紹介する追加の参考書を基に作成したレジュメを公開する。
参 考 書	春原昭彦・武市武雄［編］『ゼミナール 日本のマス・メディア第 3 版』（日本評論社） 水越伸『21 世紀メディア論』（放送大学大学院教材） 田中正人（編）『社会学用語図鑑』（プレジデント社）

科目名	JRN203:　マスメディア論 B					担当教員	吉武　希
開講期	秋	開講時限	月 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	コミュニケーション論、マス・コミュニケーション論、ソーシャルメディア論、メディア・リテラシー
授業の概要	マス・コミュニケーション論の基礎的な概論と、マスメディアやインターネットの普及がもたらした社会問題等を概説する。その上で、現代社会における諸課題について、マスメディアが社会に対して果たす、または果たすべき責任と役割について考察する。
達成目標（授業の目的）	メディアの発展と社会のコミュニケーションの関係性を理解し、現代におけるマスメディアやグローバルメディアの社会的責任について意識し、批判的に考えることができるようになる。
到達目標（学修成果）	本科目を通じて、メディアとコミュニケーションの関係を理解することで、マスメディアやインターネット上に流れている情報について、正確な情報を読み取る能力や、批判的思考を身につける。
評価方法	①　Reaction Paper（30%） ②　授業への積極的参加（10%） ③　テーマ発表評価（30%） ④　期末レポート（30%）
評価基準	①講義内容を踏まえて自分の意見を論理的に述べられているか。②グループワーク等に積極的に参加しているか。③指定テーマについて学術的なプレゼンテーションができているか。④講義内容でもあるマスメディア論を題材としたテーマについて、参考文献を用いる等、根拠のあるデータに基づいて論理的に述べられているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	イントロダクション マスメディア概論	講義、Reaction Paper	第 1 回授業内容の復習
2	表現の自由とジャーナリズム	講義、Reaction Paper	第 2 回授業内容の復習
3	世論とメディア	講義、Reaction Paper	第 3 回授業内容の復習
4	社会的コミュニケーションとメディア①：概論	講義、Reaction Paper	第 4 回授業内容の復習
5	社会的コミュニケーションとメディア②：まとめ（映像学習）	ディスカッション、Reaction Paper	第 5 回授業内容の復習
6	パーソナルコミュニケーションとメディア	講義、Reaction Paper	第 6 回授業内容の復習
7	国際コミュニケーションとメディア①：概論	講義、Reaction Paper	第 7 回授業内容の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	国際コミュニケーションとメディア②：まとめ（映像学習）	ディスカッション、Reaction Paper	第 8 回授業内容の復習
9	ソーシャルメディア・コミュニケーション①：概論	講義、Reaction Paper	第 9 回授業内容の復習
10	ソーシャルメディア・コミュニケーション②：まとめ（映像学習）	講義、Reaction Paper	第 10 回授業内容の復習 期末レポートの準備
11	メディア・リテラシー	ディスカッション、Reaction Paper	プレゼンテーションの準備 期末レポートの準備
12	発表テーマ：「世論」・「戦争・国際社会」	プレゼンテーション、Reaction Paper	プレゼンテーションの準備・振り返り
13	発表テーマ：「教育」・「フェイクニュース」	プレゼンテーション、Reaction Paper	プレゼンテーションの振り返り
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	発表テーマの振り返り、期末レポート提出、総括	講義、Reaction Paper	振り返りアンケート調査 まとめ学習

テキスト	特定のテキストを指定しない。講義内容によっては参考書や講義中に紹介する追加の参考書を基に作成したレジュメを公開する。
参 考 書	春原昭彦・武市武雄［編］『ゼミナール 日本のマス・メディア第 3 版』（日本評論社） 水越伸『21 世紀メディア論』（放送大学大学院教材） 田中正人（編）『社会学用語図鑑』（プレジデント社） 田島泰彦、右崎正博、服部孝章編『現代メディアと法』（三省堂） 白土由佳『はじめてのソーシャルメディア論』（三和書籍）

科目名	COM101:　基礎コンピューター演習					担当教員	坂本　明子
開講期	春	開講時限	金 3 限 金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-②

キーワード	コンピュータ、情報リテラシー、情報処理、Office、Word、Excel、PowerPoint
授業の概要	コンピュータを利用して、情報を収集・処理し、文書にまとめ、プレゼンテーションを行うための基礎的な技法について実習を通じて学ぶ。ネット上におけるマナーや、情報リテラシーについて学ぶ。
達成目標（授業の目的）	①　タッチタイピングを身につける ②　Word、Excel、PowerPoint の基本的な操作を身につける ③　大学生そして社会人として要求される情報リテラシーおよびコンピュータを利用した情報処理の基本を身につける
到達目標（学修成果）	①　短時間に正確な入力作業を行うことができる ②　Word、Excel、PowerPoint の基本的な機能を用いた資料の作成を行うことができる ③　ネット上におけるセキュリティの意識付けやマナーを身につけ、実践できるようにする
評価方法	①　授業ごとの演習課題（合計 10 回）：30% ②　Word を用いたレポートの作成（総合演習）：20% ③　Excel を使用したデータ処理（総合演習）：30% ④　PowerPoint を使用した資料作成と相互評価（総合課題）：20%
評価基準	①　授業ごとの演習課題：その日の授業内容がどれだけ理解できたか ②　レポート作成：必要な情報を収集し、適切な書式や表現でまとめられているか ③　データ処理：様々なデータに対して意図した処理が実現できるかどうか ④　プレゼンテーションの相互評価：集めた情報をもとに資料を作成し、他者にどれだけ伝えることができるかどうか
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	PC の基本操作	解説、PC 実習	実習で使用するアカウント等の準備
2	キーボード操作とタイピング Word による文書作成（1）	解説、PC 実習	第 2 回授業の演習課題
3	Word による文書作成（2） 文書の作成、書式設定	解説、PC 実習	第 3 回授業の演習課題
4	Word による文書作成（3） 表の作成・編集、図の挿入等、総合演習	解説、PC 実習	第 4 回授業の演習課題
5	Excel による表計算（1） 基本操作	解説、PC 実習	Word のレポート提出
6	Excel による表計算（2） 相対参照、絶対参照、複合参照	解説、PC 実習	第 6 回授業の演習課題

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Excel による表計算（3） グラフの作成	解説、PC 実習	第 7 回授業の演習課題
8	Excel による表計算（4） データベース機能	解説、PC 実習	第 8 回授業の演習課題
9	Excel による表計算（5） ピボットテーブル機能	解説、PC 実習	第 9 回授業の演習課題
10	Excel による表計算（6） 総合演習	解説、PC 実習	第 10 回授業の演習課題
11	PowerPoint による資料作成（1） 基本的な操作など	解説、PC 実習	第 11 回授業の演習課題 Excel のレポート提出
12	PowerPoint による資料作成（2） 応用操作	解説、PC 実習	第 12 回授業の演習課題
13	PowerPoint による資料作成（3） 資料作成	解説、PC 実習	PowerPoint のレポート提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめ（総合演習）	相互評価、PC 実習	総合演習の提出

テキスト	『情報リテラシー 入門編（Windows 11 ／ Office 2021 対応）』（FOM 出版 2022）

科目名	MTH201:　数学 A					担当教員	坂本　明子
開講期	春	開講時限	金 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	数学，適性検査，SPI，非言語能力，数的処理
授業の概要	①　適性検査・SPI において出題される非言語能力（数学）の演習と解説を行う ②　英語で書かれた数学の問題（中学校 1～3 年程度：数学検定）の演習と解説を行う
達成目標（授業の目的）	①　適性検査・SPI において必要とされる数学の知識が何であるかを知る ②　英語の数学用語に慣れる
到達目標（学修成果）	①　適性検査・SPI の数学の問題を短時間で解くことができるようになる ②　中学の範囲までの英語で書かれた数学の問題を解くことができるようになる
評価方法	①　演習課題（8 回）：40% ②　事前予習（4 回）：20% ③　適性検査・SPI 対策授業内試験（2 回）：40%
評価基準	①　演習課題・事前予習：その日の授業内容がどれだけ理解できたか ②　適性検査・SPI 対策の問題を用いた試験を 2 回行い、考え方の確認、途中計算と説明の記述の確認を行う
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う ・口頭で行う
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス、数学について	解説、演習	Moodle の確認 演習課題①
2	コツをつかんで計算シリーズ 集合、順列・組合せ、確率	講義、演習、質疑応答	ここまでの内容の復習 演習課題②
3	英語での問題演習① 基本用語、英語版数学検定 5 級 1 次	講義、演習、質疑応答	配布プリントの事前予習①
4	身近な計算シリーズ 代金清算、割引計算、仕事算、分割払い	講義、演習、質疑応答	ここまでの内容の復習 演習課題③
5	速さシリーズ 速さ、旅人算、通過算	講義、演習、質疑応答	ここまでの内容の復習 演習課題④
6	英語での問題演習② 英語版数学検定 5 級 2 次	講義、演習、質疑応答	配布プリントの事前予習②
7	第 1 回適性検査・SPI 対策授業内試験 試験問題の解説	試験、試験問題の解説	ここまでの内容の復習
8	割合シリーズ 割合、濃度算、損益算	講義、演習、質疑応答	ここまでの内容の復習 演習課題⑤
9	英語での問題演習③ 英語版数学検定 3/4 級 1 次	講義、演習、質疑応答	配布プリントの事前予習③

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	推論シリーズ 推論	講義、演習、質疑応答	ここまでの内容の復習 演習課題⑥
11	初めましてかもシリーズ① 表の読み取り、物の流れと比率	講義、演習、質疑応答	ここまでの内容の復習 演習課題⑦
12	英語での問題演習④ 英語版数学検定 3/4 級 2 次	講義、演習、質疑応答	配布プリントの事前予習④
13	初めましてかもシリーズ② 不等式の領域	講義、演習、質疑応答	ここまでの内容の復習 演習課題⑧
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	第 2 回適性検査・SPI 対策授業内試験 試験問題の解説	試験、試験問題の解説	ここまでの内容の復習

テキスト	西川マキ著『1 週間で SPI3 の解き方がわかるテキスト＆問題集』（インプレス）、2023 ISBN: 9784295018155
参 考 書	SPI ノートの会『これが本当の SPI3 だ！』（講談社）2025、ISBN: 9784065383896

科目名	MTH202:　数学 B					担当教員	
開講期	秋	開講時限				研究室	
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	シラバスは本学公式 web サイトの シラバスページにて公開します。 詳細については、 Loyola「上智大学短期大学部掲示板」にて お知らせします。
授業の概要	
達成目標（授業の目的）	
到達目標（学修成果）	
評価方法	
評価基準	
課題等に対するフィードバック方法	
準備学修の時間	

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
	定期試験を実施する Final Exam will be held　／　定期試験を実施しない Final Exam will not be held		

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
14			

テキスト	
参 考 書	
履修条件、前提科目	
その他特記事項	

科目名	PSY201:　心理学 A					担当教員	眞田　英弥
開講期	春	開講時限	木 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	心理学、認知心理学、教育心理学、発達心理学、社会心理学、精神的健康、社会科学
授業の概要	心理学と一口に言っても、細かく見ると様々な領域に分かれます。本講義では、複数の領域を概観しながら、心の仕組みや働きについて理解を深められるように授業を進めます。基本的には講義形式ですが、テーマや履修人数によっては、視聴覚教材を使用したり、学生のみなさんに簡単なアンケートに回答したりしてもらったり、ディスカッション等の活動の時間を設けたりする可能性があります。
達成目標（授業の目的）	心理学の様々な分野では、それぞれ異なるレンズを通して研究がなされています。それぞれの分野で、どのようなレンズで世界を見ているのか、体感し、自らのレンズとの違いに気づき、学生のみなさんが心理学のレンズを日常的な場面に応用できるようになることを目標としています。
到達目標（学修成果）	①　心理学の諸分野のレンズによる見え方の違いを理解することができる ②　心理学で学んだレンズと自らのレンズの違いに気づき、心理学のレンズを日常的な人の行動や心に応用して考えることができる
評価方法	①　毎授業のリアクションペーパー：50% ②　レポート課題 2 回：50% ※レポート課題においては、授業期間中に、自らの選んだ2つのテーマについてレポートを随時提出する（テーマについては初回授業の際に連絡する） ※レポートについては、フィードバックを行う。フィードバックに基づいて再提出をすることも、各レポートにつき 1 度まで許可する
評価基準	①　学んだ心理学のレンズを踏まえながら、感想をまとめることを通して、授業に積極的に参加しているかどうか ②　学んだ心理学のレンズと自らのレンズの違いに気づき、心理学のレンズを日常的な人の行動や心に適切に応用して記述できているかどうか
課題等に対するフィードバック方法	・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション 授業の進め方、心理学のイメージを掴む	講義、質疑応答、リアクションペーパー	Moodle 登録
2	認知心理学 感覚、知覚、思考、推論	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
3	教育心理学（1） 記憶、学習	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
4	教育心理学（2） 教授法、学習支援	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
5	教育心理学（3） 動機づけ、モチベーション	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	発達心理学（1） 乳幼児期の発達	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
7	発達心理学（2） 生涯発達	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
8	発達心理学（3） 発達の多様性	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
9	社会心理学（1） ステレオタイプ、偏見、差別	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
10	社会心理学（2） 関係性	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
11	精神的健康（1） メンタルヘルス、不安、ストレス	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
12	精神的健康（2） 認知行動療法	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
13	精神的健康（3） 幸福	講義、質疑応答、リアクションペーパー	前回の授業の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	全体のまとめ、レポートの解説、質疑応答、補足	講義、質疑応答、リアクションペーパー	授業全体の振り返り

テキスト	指定しない。授業に関連する資料を Moodle に掲載する。
参 考 書	長谷川寿一他『はじめて出会う心理学　第 3 版』（有斐閣） その他授業中に紹介する。

科目名	PSY202:　心理学 B					担当教員	佐藤　那美
開講期	秋	開講時限	火 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-①

キーワード	生涯発達、乳幼児期の発達、愛着
授業の概要	人の生涯における発達についての知識を修得し、子どもの発達を捉える視点、生涯における発達を見通す視点について理解することを目指します。具体的には、乳児期から老年期までの発達の特徴や各ステージおける課題等について、講義や視聴覚教材、個人ワーク等を通して学んでいきます。
達成目標（授業の目的）	発達心理学の基本的な用語の理解、発達に関する概念や理論についての知識を修得し、人の発達のメカニズムやプロセスについて理解することが目的です。またそのことにより、子どもの発達を理解すると同時に、自身のこれまでの出来事を理解し、将来へ見通しを持ち生活に生かすことを目標とします。
到達目標（学修成果）	① 人の発達のメカニズムやプロセスを理解し、人の発達を捉える視点を持てるようになる。 ② 子どもの発達的特徴について理解し、行動背景について発達的視点から説明できるようになる。 ③ 生涯発達の視点を持ち、自分自身のこれまでと照らし合わせて理解したうえで、これからを展望することに役立てることができる。
評価方法	① レポート課題 2 回：60% ② 平常点（毎授業におけるリアクションペーパー、授業態度、ワークの取り組み具合等）：40%
評価基準	① レポート課題 ・授業時に説明した発達の用語や概念、理論について正しく理解しているか。 ・自身の経験や身近な他者を関連付けながら授業内容を理解し、自分なりの考察を示すことができているか。 ② 平常点 ・リアクションペーパーでは、毎授業ごとの講義内容に沿って、自分自身の経験と紐づけたり、自分なりの考察ができるか。 ・自分なりに疑問を抱いたり、新しい視点を持ったりするなど授業への参加度はどうであるか。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション：授業の進め方の説明 生涯発達心理学とは？	講義、個人ワーク、リアクションペーパー	Moodle 登録、発達のイメージについて考える
2	発達を捉える視点① 遺伝と環境、初期経験の重要性、環境	講義、リアクションペーパー、事例提供	前回の授業について復習、発達のプロセスを予習
3	発達を捉える視点② 発達のメカニズム・プロセス、発達段階	講義、リアクションペーパー	前回の授業について復習、子どもの身体発達の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	子どもの発達過程① 乳幼児期の身体発達・運動機能の発達	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業について復習、子どもの言語発達の予習
5	子どもの発達過程② 乳幼児期の言語発達	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業について復習、子どもの情動発達の予習
6	子どもの発達過程③ 乳幼児期の気質と情動発達	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業について復習、子どもの認知発達の予習
7	子どもの発達過程④ 乳幼児期の認知発達	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業について復習、発達における愛着の予習
8	子どもの発達過程⑤ 基本的信頼感および愛着形成	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業について復習、第1～8回のレポートの作成
9	青年期の発達過程 発達課題、恋愛、アイデンティティ獲得	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業について復習、成人期の社会的課題を考える
10	成人期の発達過程 発達課題、結婚、世代継承性	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業について復習、老年期の社会的課題を考える
11	老年期の発達過程 発達課題、人生の統合	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業について復習、父親の育児参加について予習
12	子育て環境について 子育てにまつわる謎とイクメン	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	前回の授業について復習、発達障害について予習
13	発達のつまずきについて 発達障害の特徴と支援	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	第9～13回授業について復習、レポート作成準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	全体のまとめと振り返り	講義、視聴覚教材、リアクションペーパー	第1～13回授業についてまとめと振り返り

テキスト	指定しない。授業に関連するレジュメおよび補足資料は Moodle に掲載する。 ※場合によっては当日資料配布する。
参 考 書	・鈴木忠・飯牟礼悦子・瀧口のぞみ『生涯発達心理学』（有斐閣アルマ） ・谷田貝公昭監修・藤田久美・瀧口綾編『保育士を育てる②子ども家庭支援の心理学』（一藝社）
その他 特記事項	これまでの自分や、将来の自分像と照らし合わせながら、前向きな姿勢で受講することを期待します。

科目名	PED100:　体育理論（ウエルネスと身体）					担当教員	若松　健太
開講期	春 / 秋	開講時限	火 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-③

キーワード	健康、スポーツ、疾病・傷害予防
授業の概要	「ウエルネス」とは、健康を身体の側面だけではなく、より広範囲の視点から捉えた健康観である。本講義では、「ウエルネス」の観点から豊かな生涯を生きるために健康と身体についての基礎的知識を学び、自らの健康および周囲の人の健康に向き合い行動することを学ぶ。
達成目標（授業の目的）	健康の保持・増進に必要な基礎的知識を獲得し、自らの健康観および生活習慣を顧みて健康観を構築するとともに、身体および運動に関する知識と理解を深めることを目的とする。
到達目標（学修成果）	・自らの「健康」に関連する問題を発見・整理できるようになる。 ・「ウエルネス」の観点から豊かな社会生活を送るために、本講義で得た知識を日常生活に導入し、さらに周囲の人に伝えられるようになる。
評価方法	①授業態度・モラル、授業への積極的参加：50% ②リアクションペーパー：20% ③グループワーク・プレゼンテーション：20% ④確認テスト：10%
評価基準	①授業態度・モラル、授業への積極的参加 　授業の受講態度・モラル、発言、ディスカッションでの積極性。 ②リアクションペーパー 　授業内容を理解し、自らの考察を踏まえて記述されているか。 ③グループワーク・プレゼンテーション 　授業で学んだことに加えて、独自の考察がなされているか。 　積極的にグループワークに参加しているか。 ④確認テスト 　授業内容を理解し、知識として身についているか。 　自らの考えや意見を記述できているか。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス	講義、ディスカッション	シラバスを熟読し、授業内容を確認
2	“健康”について	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
3	“生活習慣”について①（運動が健康に及ぼす影響）	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
4	“生活習慣”について②（肥満が健康に及ぼす影響）	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
5	“生活習慣”について③（食事が健康に及ぼす影響）	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
6	“生活習慣”について④（食事から病気を予防しよう）	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
7	“ヒト”の身体とは？	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	トレーニング	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
9	ストレス、休養（睡眠）	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
10	スマホ、ネット依存	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
11	がん	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
12	感染症	講義、ディスカッション、リアクションペーパー	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
13	確認テスト、テストの解説	講義、記述試験、解説	配布資料の復習（自筆ノートのまとめ）
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめ	講義、ディスカッション	全授業の振り返り

テキスト	指定しない、授業時に教員が作成したプリントを配布する。
参 考 書	深代千之ほか著『スポーツでのばす健康寿命』（東京大学出版会） 大山卞圭悟『アスリートのための解剖学』（草思社）
その他 特記事項	自らの「健康」に関心を持ち、日々の健康管理に努める中で周囲の人の「健康」にも目を向け、多くの人が心身ともに「健康」に過ごせるような働きを心がけながら授業に望んで欲しい。

科目名	PED113: 体育 A					担当教員	若松　健太
開講期	春	開講時限	火 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-③

キーワード	体育、健康、スポーツ
授業の概要	本授業は、ラケットやバットなど道具操作を伴うスポーツを中心とした実技授業である。健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び目的に応じた方法を理解することで、生涯にわたってスポーツや運動を親しむための資質や能力を育む。また、「体育理論（ウェルネスと身体)」の講義内容と併せることで、自らの健康の維持および増進、生活習慣病に関する理解を深める。
達成目標（授業の目的）	スポーツをする上で重要となる種目の専門性に応じた競技特性を学び、スポーツおよび運動を通じて豊かなスポーツライフを継続するために必要な資質や能力を高める。また協同学習を通じてコミュニケーションスキルやリーダー&フォローワーシップの重要性を考え、創意工夫するとともに、運動技能の習熟に合わせてより優れた状態を目指すことを目的とする。
到達目標（学修成果）	・体調を管理して万全な状態で授業に臨み、周囲の環境に応じて行動をとることができる。 ・授業に対して目標や目的を明確にして学びを深めることができる。 ・健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解することができる。 ・運動技能の習熟とともに、より優れた状態を目指して努力することができる。 ・設定された課題をもとに、自身の態度、行動、発言に加えて、自身のこころと身体の変化に関して振り返ることができる。
評価方法	①授業への積極的参加 ・授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性　40% ・協調性　40% ②体育実技能力 ・技能習得への向上心、創意工夫　20%
評価基準	①授業への積極的参加 ・授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性 運動に適した服装で受講し、ウォーミングアップ・クーリングダウンを行い健康管理に努めることができる。また準備・後片付けなど円滑な授業運営に対し積極的に行動することができる。 ・協調性 仲間とのコミュニケーションやリーダー&フォローワーシップの重要性を考え、行動することができる。 ②体育実技能力 ・技能習得への向上心、創意工夫 運動技能習熟とともにより優れた状態を目指して努力することができる。また運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解し創意工夫することができる。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス （授業概要、注意事項、評価基準の説明）	ペアワーク グループワーク	シラバスを熟読、資料にて授業内容を復習する。
2	競技全般 （体力技術スキルチェック）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
3	バドミントン① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
4	バドミントン② （応用ルール、応用動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
5	バドミントン③ （シングルス・ダブルスゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
6	テニス① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
7	テニス② （応用ルール、応用動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
8	卓球① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
9	卓球② （応用ルール、応用動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
10	卓球③ （シングルスゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
11	卓球④ （ダブルスゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
12	ベースボール① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
13	ベースボール② （応用ルール、応用動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総復習（各種競技）	ペアワーク グループワーク	半期すべての授業内容を復習し、今後の生活について考察する。

テキスト	資料を適宜配布する。
参 考 書	東根明人『コーディネーション運動　ボール運動編』（明治図書） 池田延行『すぐ使える体ほぐしの運動 136 選』（明治図書）
その他 特記事項	スポーツウェア、スポーツシューズを必ず着用すること。 天候や様々な状況などによりスポーツ種目が変更になる場合がある。

科目名	PED114: 体育 B					担当教員	若松　健太
開講期	秋	開講時限	火 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-③

キーワード	体育、健康、スポーツ
授業の概要	本授業は、大小様々なボール操作を伴うネット型およびゴール型スポーツを中心とした実技授業である。健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び目的に応じた方法を理解することで、生涯にわたってスポーツや運動を親しむための資質や能力を育む。また、「体育理論（ウェルネスと身体）」の講義内容と併せることで、自らの健康の維持および増進、生活習慣病に関する理解を深める。
達成目標（授業の目的）	スポーツをする上で重要となる種目の専門性に応じた競技特性を学び、スポーツおよび運動を通じて豊かなスポーツライフを継続するために必要な資質や能力を高める。また協同学習を通じてコミュニケーションスキルやリーダー&フォローワーシップの重要性を考え、創意工夫するとともに、運動技能の習熟に合わせてより優れた状態を目指すことを目的とする。
到達目標（学修成果）	・体調を管理して万全な状態で授業に臨み、周囲の環境に応じて行動をとることができる。 ・授業に対して目標や目的を明確にして学びを深めることができる。 ・健康づくりや運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解することができる。 ・運動技能の習熟とともに、より優れた状態を目指して努力することができる。 ・設定された課題をもとに、自身の態度、行動、発言に加えて、自身のこころと身体の変化に関して振り返ることができる。
評価方法	①授業への積極的参加 ・授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性　40% ・協調性　40% ②体育実技能力 ・技能習得への向上心、創意工夫　20%
評価基準	①授業への積極的参加 ・授業への出席態度、発言、円滑な授業運営に対する積極性 運動に適した服装で受講し、ウォーミングアップ・クーリングダウンを行い健康管理に努めることができる。また準備・後片付けなど円滑な授業運営に対し積極的に行動することができる。 ・協調性 仲間とのコミュニケーションやリーダー&フォローワーシップの重要性を考え、行動することができる。 ②体育実技能力 ・技能習得への向上心、創意工夫 運動技能習熟とともにより優れた状態を目指して努力することができる。また運動の仕組み、各種目のルールを学び、目的に応じた方法を理解し創意工夫することができる。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス （授業概要、注意事項、評価基準の説明）	ペアワーク グループワーク	シラバスを熟読、資料にて授業内容を復習する。
2	競技全般 （体力技術スキルチェック）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
3	ソフトバレーボール① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
4	ソフトバレーボール② （応用ルール、応用動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
5	バレーボール① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
6	バレーボール② （応用ルール、応用動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
7	バスケットボール① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
8	バスケットボール② （応用ルール、応用動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
9	バスケットボール③ （ゲーム中心）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
10	ベースボール① （基本的なルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
11	ベースボール② （応用ルール、応用動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
12	他のボール型・ネット型競技① （基本的ルール、基本動作、ミニゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
13	他のボール型・ネット型競技② （応用ルール、応用動作、ゲーム）	ペアワーク グループワーク	授業内容を復習し、個人的に可能な限り練習をする。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総復習（各種競技）	ペアワーク グループワーク	半期すべての授業内容を復習し、今後の生活について考察する。

テキスト	資料を適宜配布する。
参 考 書	東根明人『コーディネーション運動　ボール運動編』（明治図書） 池田延行『すぐ使える体ほぐしの運動 136 選』（明治図書）
その他 特記事項	スポーツウェア、スポーツシューズを必ず着用すること。 天候や様々な状況などによりスポーツ種目が変更になる場合がある。

科目名	REL210:　キリスト教文化入門					担当教員	小林　宏子
開講期	秋	開講時限	月木 4 限			研究室	4204
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 4	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	1-①, 4-②

キーワード	聖書、イエス・キリスト、神の愛、典礼音楽、教会美術、聖人、聖母マリア、宗教間対話
授業の概要	複数講師による輪講形式でキリスト教文化の諸相を概観する。イエスは何を語り、何を行ったのか、そのイエスがキリストであると信じる人々の信仰理解と表現がどのような思想、行動様式、生活習慣を生み出し、社会や歴史に影響を及ぼしてきたのかについて学ぶ。現在も世界の人々に様々なインスピレーションを与えているキリスト教文化を多面的に考察する。
達成目標（授業の目的）	キリスト教とはどのようなことを目指している宗教であるのかを正しく理解するとともに、そのキリスト教が世界の歴史的出来事や社会、文化、芸術から受けた影響と与えた影響について幅広い関心を持って理解し、自ら考察を進め、その結果を現代文化と関連づけて論じることができるようになることを目標とする。
到達目標（学修成果）	テキスト及び授業資料を通して、非キリスト教徒であっても教養として理解しておくことが望ましいキリスト教文化の知識、及び、信者以外の人々はあまり知ることのない教会活動の習慣や行動様式を学ぶことを通して、その文化的表現の内容について自分自身の視点や見解を論理的に記述できるようになる。また、キリスト教文化に関する項目の中から自らの選んだテーマについて研究成果を論述し、わかりやすく口頭発表できるようになる。
評価方法	①　リアクションペーパー（2%×28 回＝56%） ②　中間課題（15%） ③　期末課題（24%）と研究発表（5%）
評価基準	①　リアクションペーパー：授業資料を正しく理解し学んだことの要点をまとめ、自分の関心や問題意識を反映させた見解を論理的に記述できているか。 ②　中間課題：テキストや授業を通して学んだ内容を正しく理解し、興味をもったテーマについての問いを立て、考察した内容を 1,200 字程度の小論文にまとめられるかどうか。 ③　期末課題：テキスト及び授業資料で扱った分野の中で関心を持ったテーマについて、最低一冊の参考文献を探して読み、自分なりの問いを提起し、文献の内容と自分の考えを区別した書き方で 2,500 字程度の小論文にまとめられるかどうか。また、その期末レポートの成果を、分かりやすくまとめて口頭発表できるかどうか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業資料のための授業資料外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス：講義内容と課題 ユダヤ教とキリスト教	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキストはじめに-p. 18、授業資料の予習
2	ナザレのイエス　イエスの生涯と福音書	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 18-38、授業資料の予習
3	キリスト教の典礼、ミサ聖祭・教会の暦	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 38-58、授業資料の予習
4	キリスト教の歴史（1）イエスの復活とキリスト教の成立	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 59-92、授業資料の予習
5	キリスト教と音楽（1）神の民の賛美と教会音楽	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 1-92 の復習、授業資料の予習
6	キリスト教の歴史（2）ローマ帝国下での迫害とキリスト教の国教化	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 93-108, 111-125 授業資料の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	キリスト教と音楽（2）典礼音楽と楽譜の関わり	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 93-108, 111-125 の復習、授業資料の予習
8	修道生活の成立と修道院の文化的貢献	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 108-111, 127-154 授業資料の予習
9	カトリック教会の法律（1）バチカンとローマ教皇	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 127-154 の復習、授業資料の予習
10	キリスト教と哲学（1）知解を求める信仰とその系譜	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 93-125 の復習、授業資料の予習
11	キリスト教と哲学（2）真理への愛 エディット・シュタインの思想と生涯	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 93-125 の復習、授業資料の予習
12	カトリック教会の法律（2）公会議と教会法	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 127-154 の復習、授業資料の予習
13	三位一体の神とは何を表してるのか	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 98-106 の復習 授業資料の予習
14	キリスト教のシンボル・美術	講義・意見交換、リアクションペーパー	中間課題の準備 授業資料の予習
15	聖母マリアの教義、中間課題の提出	講義・意見交換、リアクションペーパー	中間課題の提出 授業資料の予習
16	教会堂建築の変遷と意味	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 155-176、授業資料の予習
17	キリスト教ヒューマニズム（1）東西の文化交流（マテオ・リッチの影響）	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 177-206、授業資料の予習
18	カトリック教会の結婚観	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 155-176 の復習、授業資料の予習
19	キリスト教ヒューマニズム（2）19 世紀の中国思想に対するキリスト教の影響	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 206-220、授業資料の予習
20	キリスト教の倫理（1）いのちの倫理	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 221-236、授業資料の予習
21	キリスト教と仏教（1）＜十牛図＞に見る己事究明	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト pp. 221-236 の復習 授業資料の予習
22	キリスト教の倫理（2）平和への歩み	講義・意見交換、リアクションペーパー	テキスト全体の見直し 期末課題の準備
23	キリスト教と仏教（2）宗教とは何か＜問われた者＞として生きる	講義・意見交換、リアクションペーパー	期末課題の準備
24	カトリックとプロテスタントの歴史と現在 諸宗教との対話	講義・意見交換、リアクションペーパー	期末課題の準備
25	時代の必要に応えた人びと（1） アシジの聖フランチェスコ	発表と講評、リアクションペーパー	期末課題の提出
26	時代の必要に応えた人びと（2） コルカタの聖テレサ研究発表	発表と講評、リアクションペーパー	研究発表の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	研究発表	発表と講評、リアクションペーパー	研究発表の準備
28	キリスト教と現代、講評	発表と講評、リアクションペーパー	テキスト pp. 221-236 の復習

テキスト	山我哲雄『キリスト教入門』（岩波ジュニア新書）
参考書	越川弘英『キリスト教史の学び（上）』（キリスト教新聞社） 越川弘英『キリスト教史の学び（下）』（キリスト教新聞社）

科目名	IDS210:　異文化間コミュニケーション					担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4205
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-②

キーワード	intercultural communication, linguistics, social psychology, anthropology, critical thinking
授業の概要	This course provides an introduction to intercultural communication as an area of study. Readings and lectures will cover basic definitions, concepts, and issues related to intercultural communication. As regular homework, students will keep a record of their own intercultural communication experiences. We will also carry out one lengthy intercultural simulation in class. Lectures, readings, homework, and tests for this course will be in English.
達成目標（授業の目的）	Students will learn to understand “intercultural communication” (ICC) using concepts coming from linguistics, social psychology, and anthropology; to describe and analyze their own experiences of ICC; and to think critically about ICC in relation to problems in modern societies.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, students will be able to understand key concepts related to ICC drawn from linguistics, social psychology, and anthropology and how they apply to specific examples; factually describe their own recent experiences of ICC and relate those experiences to concepts discussed in class; and explain, in writing, ways in which specific situations of ICC found in the world today are related to broader social and historical contexts and issues.
評価方法	Participation 20%, Homework 40%, Tests 40%.
評価基準	・Participation: active participation in everyday class activities, including lectures and discussions; responses in in-class writing activities that demonstrate engagement with class content. ・Homework: submitted on time and according to instructions, thoroughly completed, provides factual description where required, demonstrates appropriate application of concepts covered in class. Homework may not be submitted more than 2 weeks after the due date. ・Tests: demonstrate ability to understand key concepts related to ICC and how they apply to specific examples, demonstrate ability to explain ways that specific situations of intercultural communication are related to broader social and historical contexts and issues.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview	lecture	Read course syllabus thoroughly, review class notes
2	Defining intercultural communication	lecture, pair work	Read p. 34, review syllabus & class notes
3	“Culture” in intercultural communication	lecture, pair work	Read pp. 9-10, 12-13; skim pp. 13-27; review class notes
4	Features of human communication: basic concepts	lecture, pair work	Read pp. 54-57, 68-71; review class notes
5	Features of human communication: meaning and context	lecture, pair work	Read pp. 54-57, 68-71; review class notes
6	Communication and language: language and thought	lecture, pair work	Write “ICC Experience” homework; read pp. 77-79, 83
7	Communication and language: aspects of meaning	lecture, pair work	Read pp. 77-79, 83; review class notes

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Non-verbal communication: silence	lecture, pair work	Read pp. 86-87, 91-93; skim other pages in Ch. 9
9	Non-verbal communication: functions	lecture, pair work	Read pp. 86-87, 91-93; skim other pages in Ch. 9
10	Edward T. Hall: the first interculturalist	lecture, pair work	Read pp. 49-50, 56, 96, 133; Write “ICC Experience” HW
11	Stereotypes: basic concepts	lecture, pair work	Read pp. 152-153; review class notes
12	Stereotypes: aspects and effects	lecture, pair work	Read pp. 152-153; review class notes
13	Values: basic concepts	lecture, pair work	Read pp. 16-19, 42-49; review class notes
14	Values: kinds of values	lecture, pair work	Write “ICC Experience” HW & “values” HW
15	Culture shock: definition, symptoms, varieties	lecture, pair work	Read pp. 158-165; review class notes
16	Communication “events”: basic concepts; preparation for Test #1	lecture, pair work	Write “culture shock” homework; review class notes
17	Review; Test #1	lecture, written exam	Study for test
18	Empathy and understanding others	lecture, pair work	Write “ICC Experience” homework; review class notes
19	Intercultural training: principles and methods	pair work, lecture	Read Ch. 16, especially pp. 186-187; review class notes
20	Intercultural simulation: do in class	small-group discussion	Read handouts about simulation
21	Intercultural simulation: follow-up discussion	small-group discussion, lecture	Review class notes
22	Social and historical contexts of intercultural communication: Quebec	lecture, pair work	Write “ICC Experience” homework; review class notes
23	Social and historical contexts of intercultural communication: U.S. South	lecture, pair work	Review class notes
24	Return Test #1 and go over results; preparation for Test #2	lecture, pair work	Review textbook pages covered, handouts, class notes
25	Social and historical contexts of intercultural communication: American Indians	lecture, pair work	Review class notes
26	Practical implications for the study of ICC; paths toward better understanding of others	lecture, small-group discussion	Write “ICC Experience” homework; review class notes
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Review; Test #2	lecture, written exam	Study for test
28	Return Test #2 and go over results; semester recap, including course evaluation	lecture, small-group discussion	Write “ICC Experience” homework

テキスト	Hidasi Judit. *Intercultural Communication: An Outline*（三元社）.
参 考 書	石井 敏，久米 昭元，長谷川 典子，桜木 俊行，& 石黒 武人『はじめて学ぶ異文化コミュニケーション』（有斐閣）
その他 特記事項	Lectures, readings, homework, and tests for this course will be in English.

科目名	LIT201: 英文学概論					担当教員	飯田　純也
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）火金 3 限 （秋）火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-②

キーワード	物語、聖書、思想史、エンディング、パラブル、歴史、社会、政治経済、貧困、暴力、女性
授業の概要	文学の裾野を広げ、広義の物語を通して人間と社会の関係性を研究する。物語の意義は問題提起にある。提起される問題は複数の学問領域に横断的にかかわる。授業では、英語圏を代表する小説を取り上げ、現代とのかかわりで、物語が描く人間と社会を批判的に分析する。小論文を書くためには、準備学習と授業を通してまとめられたノート作成が重要になる。
達成目標（授業の目的）	物語論の視点から、文学研究の意義と方法を学び、文学研究を通じて英語文化圏の歴史や社会を理解し、同時に文化を批判的に見る視座を獲得することを目標とする。さらに、毎回の講義内容を基に、自らの意見を事前配布資料と照らし合わせながら、小論文にまとめる能力を身につける。
到達目標（学修成果）	1. 英語文化圏を代表する文学作品を物語として分析、批判、評価することができる 2. 作品が描く歴史的・社会的問題や課題を理解することができる 3. 作品で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる 4. 問題意識をもって文学作品を見る習慣ができる 5. 議論をまとめる能力を身につけることができる
評価方法	①小論文（5 回提出で計 40%）では作品の背景を理解した上で、作品を分析、批判、評価できているか。②定期試験（30%）では何が問題か理解できているか、問題を分析的･批判的に、根拠を示し自分のことばで論述できるか。③授業参加状況（計 30%）では問題意識をもって文学作品を見る習慣ができているか。
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う ・口頭で行う ・提出物にコメントをつけて返却する
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業紹介　ジャンルではなく物語 研究倫理の説明	講義、質疑応答、ペアワーク	課題 DVD の入手先を検討、入手困難のとき応相談
2	物語論：エンディングは問題提起（1） *Citizen Kane* (1941 movie)	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
3	物語論：エンディングは問題提起（2） *Black Orpheus* (1959 movie)	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
4	物語論：エンディングは問題提起（3） *A Man and a Woman* (1966 movie)	講義、質疑応答、ディスカッション	小論文 No. 1 の準備（提出は次回授業時）
5	聖書と文学 パラブルとは何か	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料下調べ、筋と要点をノート
6	聖書のパラブル アブサロム（サミュエル記下）	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料下調べ、筋と要点をノート
7	聖書のエンディング 預言書	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料下調べ、筋と要点をノート

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	暴力を繰り返す社会のパラブル *Romeo and Juliet, Tristan and Isolde*	講義、質疑応答、ディスカッション	小論文 No. 2 の準備（提出は次回授業時）
9	作品研究 *A Passage to India*（1） 分析の手がかり	講義、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
10	作品研究 *A Passage to India*（2） 討論	質疑応答、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
11	作品研究 *Vanity Fair*（1） 分析の手がかり	講義、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
12	作品研究 *Vanity Fair*（2） 討論	質疑応答、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
13	作品研究 *Tess of the d'Urbervilles*（1） 分析の手がかり	講義、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
14	作品研究 *Tess of the d'Urbervilles*（2） 討論	質疑応答、ペアワーク、ディスカッション	小論文 No. 3 の準備（提出は次回授業時）
15	作家研究 Charles Dickens: *David Copperfield*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
16	作家研究 Charles Dickens: *Nicholas Nickleby*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
17	作家研究 Charles Dickens: *Oliver Twist*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
18	作家研究 Jane Austen: *Sense and Sensibility*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
19	作家研究 Jane Austen: *Pride and Prejudice*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
20	作家研究 Jane Austen: *Mansfield Park*	講義、質疑応答、ディスカッション	小論文 No. 4 の準備（提出は次回授業時）
21	英国社会研究（1） 奴隷貿易と *Jane Eyre*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
22	英国社会研究（2） 奴隷制度廃止運動と *Wuthering Heights*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
23	米国社会研究（1） ピューリタン社会と *The Scarlet Letter*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
24	米国社会研究（2） 資本主義社会と *The Great Gatsby*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題 DVD 視聴、関連資料下調べ、筋と要点をノート
25	英米社会研究 プロテスタンティズムの世界観	講義、質疑応答、ディスカッション	小論文 No. 5 の準備
26	英米社会研究 総論	講義、質疑応答、ディスカッション	小論文 No. 5 の準備（提出は次回授業時）
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	文学研究の応用「学際（interdisciplinary）とは」「予型論（typology）の罪」	講義、質疑応答、シャトルカード返却	課題資料下調べ、要点をノート
28	定期試験の返却と講評	講義、ペアワーク、ディスカッション	シャトルカードの読み返しと学修内容の振り返り

テキスト	テキストは特に使用しない。授業で扱う作品の英文資料（課題資料）を事前に配布する。
参考書	Herman, David, ed. *The Cambridge Companion to Narrative* (Cambridge University Press, 2007).
その他特記事項	この授業では世界史の知識が前提となるので、特に英米を中心とする歴史を復習することが求められる。

科目名	LNG200:　言語学概論					担当教員	近藤　佐智子
開講期	春	開講時限	月木 4 限			研究室	4208
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-②

キーワード	言語、英語史、音素、語形成、生成文法、文／発話の意味、言語のバリエーション
授業の概要	本講を通じて学生は普段何気なく使っている「ことば」を客観的に観察・分析することで、その本質を考察する。具体的には言語学の中心的なテーマである「言語構造」に関する内容と、言語とその他の分野との接点を、指定テキストと担当者の準備した資料（様々な練習問題を含む）をもとに講義およびディスカッション形式で学んでいく。また理解促進のため毎授業時に既習内容に関する復習を質疑応答の形で行う。
達成目標（授業の目的）	本講の目標は学生が英語の音声・音韻の体系、語形成、文構造、文や発話の意味といった基本的な言語構造、および英語史やことばのバリエーション、言語と文化の接点や言語習得といった関連分野に関する基本的概念・理論の理解を深めることである。
到達目標（学修成果）	学生は言語学という学問分野の中で音、語、句・文、談話、そして意味のそれぞれがどのような体系／構造を有しているのかを理解し、それを自らの言語生活（日本語と英語）に照らし合わせ、考察することができるようになる。同様にその他の関連テーマについても内容の理解だけにとどまらず、そこから自らがどのように日々言語を使用し、また学んでいるのかについて様々な発見や気付きを得ることができる。
評価方法	授業内テスト①（30%）授業内テスト②（40%）ブックレポート（20%）授業参加度（10%） （授業内テスト①と②は資料持込可）
評価基準	・授業内テスト①（30%）：学期の 4 割の内容についての理解と定着度を確認する。 ・授業内テスト②（40%）：授業内テスト①以降の内容についての理解と定着度を確認する。 ・ブックレポート（20%）：ブックリストにある指定図書の中から一冊を読み、内容の要約（記述内容を理解した上で、要点がまとめられているかどうか）と自分の見解（本から学んだことを踏まえ、どのよう新たな発見があったか、どのような疑問が浮かんできたか、どのような課題が見つかったかなどについて論述できているかどうか）を含めたブックレポートを作成する。 ・授業参加度（10%）：授業内（復習時、グループディスカッション）での発言回数と内容、ブックレポートの口頭発表で分かりやすく伝えることができたか。
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う ・口頭で行う
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview & the study of language 本講を概観する＆言語を研究するとは？	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト全体に目を通す
2	What is Language? 人間にとって言語とは何か？	講義、ビデオ視聴、ディスカッション	テキスト（ch. 1-2）、レジュメの予習・復習
3	What is Language? 言語の定義・特性	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 1-2）、レジュメの予習・復習
4	What is Linguistics? 言語学という分野	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 1-2）、レジュメの予習・復習
5	History of English 英語の歴史 古英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 3-5）、レジュメの予習・復習
6	History of English 英語の歴史 中英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 3-5）、レジュメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	History of English 英語の歴史 近代英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 3-5）、レジュメの予習・復習
8	Phonetics 音声学 言語音	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 8-9）、レジュメの予習・復習
9	Phonology 音韻論 音素	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 8-9）、レジュメの予習・復習
10	Phonology 音韻論 超分節音素	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 8-9）、レジュメの予習・復習
11	Morphology 形態論 形態素とは？	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 10）、レジュメの予習・復習
12	Morphology 形態論 語形成	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 10）、レジュメの予習・復習
13	授業内テスト①（50 分）（資料持込可）、 ブックレポートの書き方、復習（50 分）	テスト実施 講義、質疑応答	テキスト（ch. 1-10）、レジュメの予習・復習、テスト準備
14	Syntax 統語論 伝統文法、アメリカ構造主義言語学	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 11-12）、レジュメの予習・復習
15	Syntax 統語論 生成変形文法：言語観・アプローチ、テストの返却と講評	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 11-12）、レジュメの予習・復習
16	Syntax 統語論 生成変形文法：句構造規則と変形規則	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 11-12）、レジュメの予習・復習
17	Semantics 意味論 語の意味	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 13-16）、レジュメの予習・復習
18	Semantics 意味論 句・文の意味	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 13-16）、レジュメの予習・復習
19	Pragmatics 語用論 語用論とは：基本概念	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 17-20）、レジュメの予習・復習
20	Pragmatics 語用論 発話行為、会話の含意、ポライトネス	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 17-20）、レジュメの予習・復習
21	Communication and culture コミュニケーションと文化	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 21-22）、レジュメの予習・復習
22	Sociolinguistics 社会言語学 言語のバリエーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 6 & 23-24）、レジュメの予習・復習
23	Sociolinguistics 社会言語学 言語政策	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 23-24）、レジュメの予習・復習
24	Second Language Acquisition 第二言語習得 様々な第二言語習得理論	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 25）、レジュメの復習、テスト準備
25	Second Language Acquisition 第二言語習得 外国語教授法	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト（ch. 25）、レジュメの予習・復習
26	授業内テスト②（60 分）（資料持込可）、 レポートについて確認（40 分）	テスト実施 講義、質疑応答	テスト準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation ブックレポート口頭発表	口頭発表 ディスカッション	ブックレポート提出
28	Presentation ブックレポート口頭発表 Test review テストの返却、および解説	口頭発表 講義、質疑応答	テスト問題の復習

テキスト	長谷川瑞穂（編著）『はじめての英語学』（研究社）
参考書	黒田龍之介『はじめての言語学』（講談社現代新書） 大津由紀雄『探検！ことばの世界』（ひつじ書房）

科目名	LNG200:　言語学概論					担当教員	神谷　雅仁
開講期	秋	開講時限	月木 5 限			研究室	4215
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-②

キーワード	人間言語の特性、英語史、音素、語形成、統語論、文／発話の意味、言語のバリエーション
授業の概要	本講を通じて学生は普段何気なく使っている「ことば」を客観的に観察・分析することで、その本質を考察する。具体的には言語学の中心的なテーマである「言語構造」に関する内容と、言語とその他の分野との接点を、指定テキストをまとめたレジュメおよび担当者の準備したハンドアウト（練習問題を含む）をもとに講義形式で学んでいく。また理解促進のため毎授業時に既習内容に関する review を行う。
達成目標（授業の目的）	本講は学生が対象言語となっている英語の音声・音韻の体系、語形成、文構造、文や発話の意味といった基本的な言語構造、および歴史やことばのバリエーション、言語と文化の接点や言語習得といった関連分野に関する基本的概念・理論に触れ、その理解を深めることを目標とする。
到達目標（学修成果）	学生は言語学という学問分野の中で音、語、句・文、談話、そして意味のそれぞれがどのような体系／構造を有しているのかを理解し、それを自らの言語生活（母語、第二言語、および学習言語）に照らし合わせ、考察することができるようになる。同様にその他の関連テーマについても内容の理解だけにとどまらず、そこから自らがどのように日々言語を使用し、また学んでいるのかについて様々な発見や気付きを得ることができる。さらに理解したことを整理立てて、用語の定義や言語例を含めたかたちで説明することができるようになる。
評価方法	▸授業内試験①（中間試験）（30%）、授業内試験②（期末試験）（40%）、▸Book Report（20%）、▸授業参加度（10%）
評価基準	▸授業内試験①、②（客観式）：試験までの学修内容について、用語、概念、理論的枠組みなどが言語例とともに理解され、定着しているかを問う。 ▸Book Report：Booklist にある指定図書の中から一冊を読み、内容の要約と自分の意見や見解が論理的に、分析的に、そして批判的に述べられているかを問う。 ▸授業参加度：受講態度や授業内での積極的・自発的な発言、また指定単元の Unit Review や練習問題などがトータルに判断される。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview & the study of language 本講を概観する＆言語を研究するとは？	講義、ディスカッション、質疑応答	テキスト全体に目を通す 「はじめに」を読む
2	What is Language? 人間にとって言語とは何か？	講義、ビデオ視聴、ディスカッション	テキストを読む（ch.1-2）、レジュメの予習・復習
3	What is Language? 言語の定義	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.1-2）、レジュメの予習・復習
4	What is Language? 言語の特性	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、 Unit Review の作成
5	What is Linguistics? 言語学という分野	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、 Unit Review の作成
6	History of English 英語の歴史：古英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3-5）、レジュメの予習・復習
7	History of English 英語の歴史：中英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3-5）、レジュメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	History of English 英語の歴史：近代英語	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Review の作成
9	Phonetics 音声学：言語音の分類－子音	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.8-9）、レジュメの予習・復習
10	Phonetics 音声学：言語音の分類－母音	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの復習、練習問題をやる
11	Phonology 音韻論：音素、音節	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.8-9）、レジュメの予習・復習
12	Phonology 音韻論：超分節音素　Review 前半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの復習、練習問題をやる
13	Mid-term Test 授業内試験①（中間試験） Morphology 形態論：形態素とは	試験実施、講義、質疑応答	前半内容の復習、テキストを読む（ch.10）
14	Test review 試験結果の返却、および解説 Morphology 形態論：異形態	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.10）、レジュメの予習・復習、
15	Morphology 形態論：語形成	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの復習、練習問題をやる、Unit Review の作成
16	Syntax 統語論 伝統文法と構造主義言語学	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.11）、レジュメの予習・復習
17	Syntax 統語論 生成変形文法：基本的概念、句構造規則	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.11）、レジュメの予習･復習、練習問題
18	Syntax 統語論 生成変形文法：変形規則	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、Unit Review の作成
19	Semantics 意味論：言語学における意味とは	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.13-16）、レジュメの予習・復習
20	Semantics 意味論：語の意味	講義、ディスカッション、質疑応答	練習問題をやる、Unit Review の作成
21	Pragmatics 語用論 語用論の基本概念	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.17-20）、レジュメの予習・復習
22	Pragmatics 語用論 発話行為、会話の含意	講義、ディスカッション、質疑応答	練習問題をやる、Unit Review の作成
23	Communication and culture 文化と文脈、コミュニケーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.21-22）、レジュメの予習・復習
24	Sociolinguistics 社会言語学 言語のバリエーション・言語政策／計画	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.6 & 23-24）、Book Report の作成
25	Second Language Acquisition 第二言語習得：教授法　Review 後半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.25）、レジュメの予習・復習
26	Final Test 授業内試験②（期末試験） SLA 第二言語習得：教授法（続き）	試験実施、講義、質疑応答	後半内容の復習、テキストを読む（ch.25）
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Test review 試験結果の返却、および解説 SLA 第二言語習得－その他の関連テーマ	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.25）、レジュメの予習・復習
28	「言語とは」を再考する Course review 全体のまとめ	講義、質疑応答	授業全体の学修内容を見直す、全レジュメの復習

テキスト	長谷川瑞穂（編著）『はじめての英語学』（研究社）
参 考 書	飯野公一ほか（著）『新世代の言語学』（くろしお出版）
その他 特記事項	本講は言語研究領域に属する基礎科目であり、言語系のゼミナール受講への基礎知識を与えるものである。

科目名	EDU205: 児童英語教育概説					担当教員	狩野　晶子
開講期	春 / 秋	開講時限	月 4 限			研究室	4203
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-②, 5-②

キーワード	児童英語教育、小学校外国語活動・外国語（英語）、第二言語習得、実践
授業の概要	児童英語教育及び小学校英語教育の背景や知識について、関連する様々な分野（児童心理学、第二言語習得理論、教育学、社会学、英語教授法など）に触れながら学ぶ。授業ではグループワークや発表を通し、学習した内容を実践・体験する。
達成目標（授業の目的）	児童英語教育の基本的知識を学び、児童英語教育の位置づけや児童期の特性を理解しながら児童期にふさわしい教授法について学ぶ。授業の中で指導の練習や実践を積み、児童英語指導者としての基礎力を身に付けることを目的とする。
到達目標（学修成果）	児童英語の教授法の基礎知識と応用アクティビティを実践する体験を通して、指導の際の実際の観点を知る。さらに学生相互の実践演習を通じて、効果的な実践方法を体験的に学び、児童英語教育において実際の指導に活かすことができるような基本的知識を得る。
評価方法	①授業への積極的な参加（20%）②リアクションペーパー（20%）③実践発表の準備と成果（30%）④レポートなどの課題（30%）
評価基準	①グループワークなども含め自発的に授業に取り組んでいるか。②学習した内容を踏まえ、自身の言葉で考えを述べているか。③実践発表の準備、練習が十分になされ、協同的に取り組んでいるか。④提示された課題に即した適切な内容であり、自分の言葉で具体的に表現しているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教育と小学校外国語教育が目指すものとは：異文化理解・多文化共生	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
2	学習指導要領、児童期の特性、認知発達を踏まえた指導とは、児童や学校の多様性	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
3	第二言語習得理論とコミュニカティブな外国語教育	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
4	外国語の指導法 1：音声から文字へ、「読む」「書く」の指導と実践例	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
5	外国語の指導法 2：Classroom English, small Talk、教師の発話とインプット	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解
6	外国語の指導法 3：歌、チャンツ、手遊び、リズム活動、絵本	講義、グループワーク、リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解 発表の準備
7	理論と実践［発表］：アルファベット、歌、チャンツ、絵本を題材に	学生による指導実践発表、相互評価、講義	相互評価による総括 復習：ポイントを整理理解
8	理論と実践：発表総括 歌、チャンツ、絵本の実践例と理論的背景	講義、グループワーク、リアクションペーパー	相互評価による総括 復習：ポイントを整理理解

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	レッスンプラン作成方法・言語活動・ アクティビティ組み立てのポイント	講義、グループワーク、 リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解 アクティビティ発表準備
10	言語活動を見据えたアクティビティ実践 ［第 1 回発表］	講義、学生による指導 実践発表、相互評価	アクティビティ発表準備 相互評価をもとに総括
11	言語活動を見据えたアクティビティ実践 ［第 2 回発表］	講義、学生による指導 実践発表、相互評価	アクティビティ発表準備 相互評価をもとに総括
12	言語活動を見据えたアクティビティ実践 ［第 3 回発表］	講義、学生による指導 実践発表、相互評価	アクティビティ発表準備 相互評価をもとに総括
13	アクティビティ実践：発表総括 言語活動を軸にした学びと指導者の資質	講義、グループワーク、 リアクションペーパー	相互評価による総括 復習：ポイントを整理理解
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	グループディスカッション・質疑応答・ 全体のまとめ・省察	講義、グループワーク、 リアクションペーパー	復習：ポイントを整理理解

テキスト	指定しない。 LMS 等を活用して必要な資料やサイトに関する情報を随時共有する。
参 考 書	上智大学 CLT プロジェクト・編『コミュニカティブな英語教育を考える：日本の教育現場に役立つ理論と実践』（アルク）

科目名	GMN101:　ドイツ語 I					担当教員	工藤　花野
開講期	春	開講時限	月木 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	基礎ドイツ語、初級ドイツ語文法
授業の概要	初心者にとっての「読む・書く・聞く・話す」力の基礎となる文法を中心に、丁寧に時間をかけて進めていく。対話文やドリルを用いた「読む・書く」練習や、ペアワーク等による会話形式の「聞く・話す」練習を通じて、総合的な基礎力を身につける。
達成目標（授業の目的）	「読む・書く・聞く・話す」力の総合的な訓練により、ドイツ語の発音、基礎的文法力、基礎的表現力を合理的に身につける。
到達目標（学修成果）	・ドイツ語の読みと発音がきちんとできる。 ・文の構造と動詞の活用の仕組み・名詞の格の働きを理解する。 ・簡単な会話や文章を理解し、作文できる。 ・日常で用いる基本的な語彙を身につける。
評価方法	授業参加の積極性（20%）、授業毎の課題提出（20%）、授業内試験（30%）、定期試験（30%）
評価基準	・授業参加（個人やペア等での発表により、表現・発音・聞き取る力を確認する） ・課題提出（授業毎の短い課題提出により、授業内容・文法事項・進出語彙を確認する） ・試験（授業内試験と定期試験により、文法・読み・書きの力を確認する）
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う（Moodle 上の課題） ・口頭で行う（授業内の発表） ・提出物にコメントをつけて返却する（紙媒体の提出物）
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入、授業概要の説明 アルファベットと発音・挨拶・数字	演習（発音）	テキスト（以下略）S.7-9 の整理、次回提出用課題準備 1
2	［Lektion 1］ 不定詞・動詞の現在人称変化（語順 1）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.10, 13 の整理 次回提出用課題準備 2
3	［Lektion 1］ 動詞の位置・sein の現在人称変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.11, 13 の整理 次回提出用課題準備 3
4	［Lektion 1］出会いと自己紹介 会話と作文・会話表現 1（自己紹介）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.12, 13, 23 の整理 次回提出用課題準備 4
5	［Lektion 2］ 名詞の性と定冠詞の格変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.14, 17 の整理 次回提出用課題準備 5
6	［Lektion 2］ 不定冠詞の格変化と haben の現在人称変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.15, 17 の整理 次回提出用課題準備 6
7	［Lektion 2］ 会話と作文・会話表現 2（家族について）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.16, 17 の整理 次回提出用課題準備 7
8	［Lektion 3］ 不規則動詞の現在人称変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.18, 21 の整理 次回提出用課題準備 8
9	［Lektion 3］ 人称代名詞の格変化・3 格と 4 格の語順	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.19, 21 の整理 次回提出用課題準備 9

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	［Lektion 3］明日の予定を尋ねる 会話と作文・会話表現 3（明日の予定）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.20, 21 の整理 次回提出用課題準備 10
11	［Lektion 4］ 定冠詞類	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.24, 27 の整理 次回提出用課題準備 11
12	［Lektion 4］ 不定冠詞類・所有冠詞・否定冠詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.25, 27 の整理 次回提出用課題準備 12
13	［Lektion 4］ 会話と作文・会話表現 4（買い物）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.26, 27 の整理 試験準備（S. 7-27,36）
14	Lektion 1-4 の総括・質疑応答（30 分） 授業内試験（60 分）	質疑応答 試験	S.7-27, 36 の整理
15	Lektion 1-4 の総括・試験解答 ［Lektion 5］2 格・3 格・4 格支配の前置詞	試験解答、試験返却、演習	S.28, 31 の整理 次回提出用課題準備 13
16	［Lektion 5］ 3・4 格支配の前置詞・定冠詞との融合形	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.29, 31 の整理 次回提出用課題準備 14
17	［Lektion 5］ 会話と作文・会話表現 5（週末の予定）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.30, 31, 37 の整理 次回提出用課題準備 15
18	［Lektion 6］ 複数形・形容詞の格変化（無冠詞型）	試験解答、試験返却、演習	S.32, 33, 35 の整理 次回提出用課題準備 16
19	［Lektion 6］ 形容詞の格変化（定冠詞・不定冠詞）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.33, 35, 36 の整理 次回提出用課題準備 17
20	［Lektion 6］ 会話と作文・会話表現 6（趣味について）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.34, 35 の整理 次回提出用課題準備 18
21	［Lektion 7］ 話法の助動詞と現在人称変化と助動詞構文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.38, 41, 50 の整理 次回提出用課題準備 19
22	［Lektion 7］ 話法の助動詞・分離動詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.39, 41, 50 の整理 次回提出用課題準備 20
23	［Lektion 7］ 会話と作文・会話表現 7（駅で尋ねる）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.40, 41, 50, 51 の整理 次回提出用課題準備 21
24	［Lektion 8］ Zu 不定詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.42, 45 の整理 次回提出用課題準備 22
25	［Lektion 8］ 従属接続詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.43, 45, 50 の整理 次回提出用課題準備 23
26	［Lektion 8］ 会話と作文・会話表現 8（休暇の計画）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.44, 45 の整理 試験準備（S.28-45, 50-51）
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Lektion 5-8 の総括・試験講評、返却 ［Lektion 8］再起代名詞	試験解答、試験返却、演習	S.43, 45 の整理 次回提出用課題準備 24
28	時刻と日付の表現 道案内の表現	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.50, 51 及び配布物の整理

テキスト	上野成利・本田雅也『パノラマ・エクスプレス初級ドイツ語ゼミナール』（白水社）
参 考 書	橋本政義・橋本淑恵・Heike Pinnau『CD 付き　使ってみよう！ドイツ語　文法＋4 技能のトレーニング』（三修社）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。
その他特記事項	できるだけ余裕をもって進行に努めるが、欠席が続くと習得度が下がる上、ペアワークやグループワークが滞るので毎回の出席が望ましい。また、辞書の用意を推奨する。

科目名	GMN102:　ドイツ語Ⅱ					担当教員	工藤　花野
開講期	春 / 秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	基礎ドイツ語、基礎ドイツ語文法の完成
授業の概要	ドイツ語 I に引き続き、「読む・書く・聞く・話す」力の基礎となる文法を中心に、丁寧に時間をかけて進めていく。対話文やドリルを用いた「読む・書く」練習や、ペアワーク等による会話形式の「聞く・話す」練習を通じて、バランスのとれた基礎力を鍛えながら、より複雑な表現方法を修得する。
達成目標（授業の目的）	ドイツ語 I で習得した語彙力・文法力を再確認しながら、さらに学習を進めて、ドイツ語の「書く・読む・聞く・話す」力の総合的な訓練により、ドイツ語の発音、基礎的文法力、基礎的表現力の完成を目指す。
到達目標（学修成果）	・ドイツ語の読み方と発音がきちんとできる。 ・文の構造と動詞の仕組み・名詞の格の働きを理解する。 ・より複雑な構文の文章を理解し、作文することができる。 ・新出語彙を身につける。
評価方法	授業参加の積極性（20%）、授業毎の課題提出（20%）、授業内試験（30%）、定期試験（30%）
評価基準	・授業参加（個人やペア等での発表により、表現・発音・聞き取る力を確認する） ・課題提出（授業毎の短い課題提出により、授業内容・文法事項・新出語彙を確認する） ・試験（授業内試験と定期試験により、文法・読み・書きの力を確認する）
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う（Moodle 上の課題） ・口頭で行う（授業内の発表） ・提出物にコメントをつけて返却する（紙媒体の提出物）
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ドイツ語 I を振り返る［Lektion1－4］ 動詞の活用と語順・冠詞と冠詞類の格変化	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	テキスト（以下略）S.10-25 の整理、次回提出用課題準備 1
2	ドイツ語 I を振り返る［Lektion5－6］ 複数形・人称代名詞の格・前置詞の格支配	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.26-33 の整理 次回提出用課題準備 2
3	ドイツ語 I を振り返る［Lektion7－8］ 形容詞・話法の助動詞と未来形の構文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.34-47 の整理 次回提出用課題準備 3
4	［Lektion 9］駅の窓口で尋ねる 分離動詞・非分離動詞と分離動詞の構文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.48, 51 の整理 次回提出用課題準備 4
5	［Lektion 9］駅の窓口で尋ねる 従属接続詞と複文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.49, 51 の整理 次回提出用課題準備 5
6	［Lektion 9］駅の窓口で尋ねる 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.50, 51 の整理 次回提出用課題準備 6
7	［Lektion 10］休暇の計画を尋ねる zu 不定詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.52, 55 の整理 次回提出用課題準備 7
8	［Lektion 10］休暇の計画を尋ねる 再帰代名詞・再帰動詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.53, 55 の整理 次回提出用課題準備 8
9	［Lektion 10］休暇の計画を尋ねる 会話と作文・会話表現 6（計画）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.54, 55, 80 の整理 次回提出用課題準備 9
10	［Lektion 11］旅の体験を語る（1） 動詞の 3 基本形	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.56, 59 の整理 次回提出用課題準備 10

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
11	［Lektion 11］旅の体験を語る（1） 動詞の過去人称変化・分離動詞の過去形	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.57, 59 の整理 次回提出用課題準備 11
12	［Lektion 11］旅の体験を語る（1） 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.58, 59 の整理 次回提出用課題準備 12
13	［Lektion 12］旅の体験を語る（2） 現在完了形・他動詞と自動詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.60, 63 の整理 次回提出用課題準備 13
14	［Lektion 12］旅の体験を語る（2） 非人称表現	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.61, 63 の整理 次回提出用課題準備 14
15	［Lektion 12］旅の体験を語る（2） 会話と作文・会話表現 7（体験）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.62, 63, 81 の整理 試験準備（S.48-63, 80, 81）
16	Lektion 9-12 の総括・質疑応答（30 分） 授業内試験（60 分）	質疑応答 試験	S.48-63, 80, 81 の整理
17	Lektion 9-12 の総括・試験解答 ［Lektion 13］意見を交換する（1）受動態	試験解答、演習	S.64, 67 の整理 次回提出用課題準備 15
18	［Lektion 13］意見を交換する（1） 形容詞と副詞の比較級	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.65, 67 の整理 次回提出用課題準備 16
19	［Lektion 13］意見を交換する（1） 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.66, 67 の整理 次回提出用課題準備 17
20	［Lektion 14］意見を交換する（2） 定関係代名詞・関係文の構文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.68, 71 の整理 次回提出用課題準備 18
21	［Lektion 14］意見を交換する（2） 不定関係代名詞・関係副詞	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.69, 71 の整理 次回提出用課題準備 19
22	［Lektion 14］意見を交換する（2） 会話と作文	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.70, 71 の整理 次回提出用課題準備 20
23	［Lektion 15］別れと再会の約束 接続法 I 式の形態と用法	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.72, 75 の整理 次回提出用課題準備 21
24	［Lektion 15］別れと再会の約束 接続法 II 式の形態と用法	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.73, 75 の整理 次回提出用課題準備 22
25	［Lektion 15］別れと再会の約束 会話と作文・会話表現 8（意見交換）	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.74, 75, 81 の整理 次回提出用課題準備 23
26	受動態・関係文・接続法の練習問題	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	S.64-75, 81・配布物の整理 試験準備（S.64-75, 81 ）
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Lektion 13-15 の総括・試験講評、返却 受動文・関係文・接続法の練習問題	質疑応答、演習	配布物の整理 次回提出用課題準備 24
28	再帰動詞の練習問題	演習（発音、ペアワーク、ドリル、作文）	配布物の整理

テキスト	上野成利・本田雅也『パノラマ初級ドイツ語ゼミナール［三訂版］（CD 付）』（白水社）
参 考 書	橋本政義・橋本淑恵・Heike Pinnau『CD 付き　使ってみよう！ドイツ語　文法＋4 技能のトレーニング』（三修社）
履修条件、前提科目	「ドイツ語 I 」の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。（P.59～P.60 を参照のこと）
その他特記事項	できるだけ余裕をもって進行に努めるが、欠席が続くと習得度が下がる上、ペアワークやグループワークが滞るので毎回の出席が望ましい。また、辞書の用意を推奨する。

科目名	FRN101:　フランス語Ⅰ					担当教員	鈴木　彩絵
開講期	春	開講時限	火金4限			研究室	4号館2階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	フランス語入門
授業の概要	フランス語入門者を対象としたクラスである。日常のさまざまなシーンを想定したやり取りを中心に学習しながら、自然にフランス語に馴染んでいく。さらに、音楽、映画等の鑑賞や文化にかんする知識の習得によって、フランスという国そのものへの理解を深めていく。
達成目標（授業の目的）	フランス語特有の発音や表現に触れながら、フランス語をコミュニケーションツールのひとつとして使うための土台を作る。
到達目標（学修成果）	①　フランス語で簡単な自己紹介ができるようになる。 ②　簡単な日常表現について、フランス語で書く、言う、聞き取るができるようになる。 ③　フランスについての理解を深める。
評価方法	①　授業内課題（個別の会話力、発音チェック、練習問題）、授業中に行うペアワークへの積極参加 50% ②　小テスト 50%
評価基準	①　学びを楽しもうとする意欲を持って授業に参加しているか。 ②　フランス語での基本的な質問に、正しく答える力が身に付いているか。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス（授業の進めかた、勉強のしかた）、フランス語のあいさつ、自己紹介	講義、ペアワーク	あいさつ表現、自己紹介の仕方の復習
2	名前を言う、訊く、住んでいるところ、職業について言う	講義、ペアワーク	住んでいるところや職業の言い方の復習
3	アルファベ、「～をください」の言い方	講義、ペアワーク 小テスト	アルファベと不定冠詞の復習
4	クラスメイトを紹介する、人についてたずねる、小テスト解説	講義、ペアワーク	人を紹介する方法の復習
5	話せる言語、専攻について言う	講義、ペアワーク 小テスト	言語や専攻にかんする表現の復習
6	好きなものや好きなことを言う、どちらがより好きかについて言う、小テスト解説	講義、ペアワーク	動詞 aimer, adorer, préférer と定冠詞の復習
7	お気に入りについて話す	講義、ペアワーク 小テスト	所有形容詞＋名詞＋préféré（e）（s）の復習
8	欲しいものやしたいことについて話す 小テスト解説	講義、ペアワーク	準助動詞 vouloir、部分冠詞の復習
9	人を誘う	講義、ペアワーク 小テスト	si tu veux「よかったら」等の表現の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	ものの貸し借りをする、年齢を言う、兄弟がいるかいないかを訊く、小テスト解説	講義、ペアワーク	動詞 avoir の復習
11	店で食べ物、飲み物を注文する	講義、ペアワーク 小テスト	食べ物や飲み物にかんする単語、注文の仕方の復習
12	あるもの、ないものについて言う 小テスト解説	講義、ペアワーク	il y a...「～がある」の復習
13	着ているものについて言う	講義、ペアワーク 小テスト	色の形容詞の復習
14	人を描写する 小テスト解説	講義、ペアワーク	目の色や髪の色、髪の長さにかんする表現の復習
15	店で服を買う	講義、ペアワーク 小テスト	店員とのやり取りで使われる基本の表現の復習
16	習慣について話す 小テスト解説	講義、ペアワーク	直接目的補語人称代名詞と頻度の表現の復習
17	コメディ映画 “Comme un chef” を観よう！	映画観賞会	映画を通して学んだ表現、文化等の復習
18	家族について話す	講義、ペアワーク	家族にかんする単語の復習
19	道順を説明する	講義、ペアワーク 小テスト	道順の説明の仕方の復習
20	探し物をする、小テスト解説	講義、ペアワーク	位置関係にかんする語彙、表現の復習
21	交通手段について訊く、言う	講義、ペアワーク 小テスト	交通手段にかんする表現の復習
22	したばかりのことについて話す 小テスト解説	講義、ペアワーク	近接過去（venir de ＋不定詞）の復習
23	近い未来の予定について話す	講義、ペアワーク 小テスト	近接未来（aller＋不定詞）の復習
24	住んでいる国や都市について言う 小テスト解説	講義、ペアワーク	「～に」の前置詞の復習
25	飼っているペットや持ち物について言う	講義、ペアワーク 小テスト	中性代名詞 en の復習
26	毎日することについて話す 小テスト解説	講義、ペアワーク	「起きる」、「寝る」といった表現の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	動詞 avoir（持っている）を使ったさまざまな表現	講義、ペアワーク 小テスト	avoir を使った表現「～するのが面倒だ」等の復習
28	授業全体のまとめ 小テスト解説	講義、ペアワーク	

テキスト	オリジナルスライドと配布資料
参 考 書	鈴木文恵『ゼロからスタートフランス語 会話編』（ジェイ・リサーチ出版, 2012）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。
その他特記事項	① フランス語、ないしフランスの文化に関心を持ったうえでの受講が望ましい。 ② 授業の進行の妨げとなる私語、食べ物を机に置く行為（発音練習やペアでの会話練習を行うため、飲み物は可）、授業中に特別に許可した場合を除く携帯電話の使用を禁ずる。

科目名	FRN102:　フランス語Ⅱ					担当教員	鈴木　彩絵
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）火金 3 限 （秋）火金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	フランス語初級
授業の概要	「フランス語Ⅰ」履修者を主な対象とするクラスである。「フランス語Ⅰ」で学んだ基本要素を復習しながら、さらに複雑な表現を学んでいく。授業は会話を軸に進めるが、同時に、絵本『リサとガスパール』の読解や、動画の視聴によって、読む、聞く、書く力も養う。
達成目標（授業の目的）	「フランス語Ⅰ」で学んだ基本要素を実際に運用できるように強化する。 より複雑な構文を読み、書き、聞き、話す能力を身に付ける。
到達目標（学修成果）	① はじめて聞く・読む単語や文の意味を、学んだことを手がかりに、想像力を働かせて理解できるようになる。 ② 日常のさまざまなシーンで使用する表現を、フランス語で書く、言う、聞き取るができるようになる。
評価方法	① 授業内課題（個別の会話力、発音チェック、練習問題）、授業中に行うペアワークへの積極参加 50% ② 小テスト 50%
評価基準	① 学びを楽しもうとする意欲を持って授業に参加しているか。 ② フランス語での基本的な質問に、正しくかつスムーズに答える力が身に付いているか。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス（授業の進めかた、勉強のしかた）、フランス語のあいさつ、自己紹介	講義、ペアワーク	あいさつ表現、自己紹介の仕方の復習
2	足し算と引き算、不等式、背比べ	講義、ペアワーク	フランス語の数とフランス語を使った計算式の復習
3	時刻を訊く、答える① 色々なものを比べる①	講義、ペアワーク	比較級の復習
4	時刻を訊く、答える② 色々なものを比べる②	講義、ペアワーク 小テスト	最上級の復習
5	時刻を訊く、答える③ 色々なものを比べる③、小テスト解説	講義、ペアワーク	特別な比較級、最上級の復習
6	過去の出来事について話す①	講義、ペアワーク 小テスト	複合過去の復習
7	過去の出来事について話す② 小テスト解説	講義、ペアワーク	複合過去の復習
8	過去の出来事について話す③	講義、ペアワーク 小テスト	代名動詞の複合過去の復習
9	過去の習慣、状態について話す① 小テスト解説	講義、ペアワーク	半過去の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	過去の習慣、状態について話す②	講義、ペアワーク 小テスト	半過去の復習
11	しなければならないことを言う① 小テスト解説	講義、ペアワーク	準助動詞 devoir と非人称構文 il faut…の復習
12	ミュージカル映画 “Les Parapluies de Cherbourg” を観よう！	映画観賞会	映画を通して学んだ表現、文化等の復習
13	しなければならないことを言う②	講義、ペアワーク	非人称構文 il faut…を使ったさまざまなフレーズの復習
14	受け身の行為について言う①	講義、ペアワーク 小テスト	受動態の復習
15	受け身の行為について言う② 小テスト解説	講義、ペアワーク	受動態の複合過去の復習
16	“Les Parapluies de Cherbourg” の最も有名なシーンのテクストを見てみよう！	講義、ペアワーク 小テスト	単純未来の復習
17	未来の予定について話す 小テスト解説	講義、ペアワーク	単純未来の復習
18	未来の実現可能性が低い予定について話す①	講義、ペアワーク 小テスト	条件法現在の復習
19	未来の実現可能性が低い予定について話す②、小テスト解説	講義、ペアワーク	条件法現在の復習
20	後悔の感情を表現する	講義、ペアワーク 小テスト	条件法過去の復習
21	人にさせる行為について言う 小テスト解説	講義、ペアワーク	使役動詞 faire, laisser の復習
22	ある要素を強調して言う	講義、ペアワーク 小テスト	強調構文の復習
23	直前の名詞の内容を詳しく説明する① 小テスト解説	講義、ペアワーク	関係代名詞 qui, que の復習
24	直前の名詞の内容を詳しく説明する②	講義、ペアワーク 小テスト	関係代名詞 dont, où の復習
25	直前の名詞の内容を詳しく説明する③ 小テスト解説	講義、ペアワーク	前置詞＋関係代名詞の復習
26	前に述べた人や物を指す	講義、ペアワーク 小テスト	指示代名詞の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	「～しながら」、「～することで」、「～であるにもかかわらず」の言い方、小テスト解説	講義、ペアワーク	ジェロンディフの復習
28	授業全体のまとめ	講義、ペアワーク	

テキスト	オリジナルスライドと配布資料 Anne Gutman et Georg Hallensleben. *Lisa prend le train* (Paris, Hachette Jeunesse, 2003). （コピーを毎回配布する）
参考書	吉田泉『フランス語会話 話しかけ&返事のバリエーションを増やす 音声 DL 付』（ベレ出版）
履修条件、前提科目	「フランス語Ⅰ」の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。（P.59～P.60 を参照のこと）
その他特記事項	① 得意と感じているか、不得意と感じているかは問わない。純粋にフランス語が好きで、フランス人が実際に使う表現を学ぶことに関心を持っている学生の受講が望ましい。 ② 授業の進行の妨げとなる私語、食べ物を机に置く行為（発音練習やペアでの会話練習を行うため、飲み物は可）、授業中に特別に許可した場合を除く携帯電話の使用を禁ずる。

科目名	SPN101:　スペイン語 I					担当教員	A. Gilabert
開講期	春	開講時限	火金 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語、スペイン語、スペイン、ラテンアメリカ、スペイン語圏の文化
授業の概要	スペイン語の基礎を学ぶ。スペイン語の文法構造、音声体系、表記法を理解し、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能を初級レベルまで習得する。各回の授業では、習得した知識の運用・実践に加え、スペイン語圏の文化・習慣についても学ぶ。
達成目標（授業の目的）	これまで英語が外国語学習の中心であった学生を対象とする本授業では、次の 2 点を授業の目的とする。①スペイン語とスペイン語圏の文化を学習し、英語圏以外の西欧諸国の言語的・文化的広がりを実感・理解することで、異なる言語文化や習慣に対する理解力と寛容さを身に付ける。②授業内外で学習した文法、語彙、フレーズを活用しつつスペイン語での意思疎通を楽しむことで、英語と日本語以外でのコミュニケーションに対する積極性を養う。
到達目標（学修成果）	①スペイン語の習得において非常に重要な「動詞の活用」と「名詞と形容詞の性数一致」の規則をしっかり理解する。②並行して語彙を増やし、基礎的なスペイン語で「読み」「書き」できるようになる。③挨拶や簡単な日常会話を「聞いて」理解し、ゆっくりではあるがはっきりと「話す」ことができるようになる。
評価方法	①期末発表：30%、②筆記試験：30%、③面接の質問：30%、④授業への積極参加：10%。
評価基準	①最終プレゼンテーション：スペイン語で、出身地、住んでいる場所などの自己紹介をする。Word や PowerPoint で発表原稿を作成し、授業で発表する。提出された原稿をもとに、授業で学んだ文法事項を用いてスペイン語を使用する能力が身に付いているかどうかを評価する。評価基準は「スペイン語の知識を積極的に活用できているか」（15%）、「内容が整理されているか」（5%）、「自分の考えを表現する努力をしているか」「意見を言うようにしているか」（5%）、「物事を明確に発音しようとしているか」（5%）。 ②筆記試験：授業外で予習・復習した内容を評価する試験を 3 回実施する。 ③教師は簡単な日常会話を真似しながら学生一人ひとりにインタビューする。 ④教師は学生の授業への参加度やレベルを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	スペイン語とスペイン語圏の紹介	講義、質疑応答	シラバスの確認
2	**Unidad 1** 挨拶、アルファベット、発音	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 2 講の学習項目の予習、アクセント規則の予習
3	**Unidad 1** 発音、アクセントと記号のきまり、スペイン語を話す国々	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 3 講の学習項目の予習、第 2 講の復習
4	**Unidad 1** クラスで使う表現、数字（0–10）挨拶	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 4 講の学習項目の予習、第 3 講の復習
5	**Unidad 1** 挨拶の表現（名前の自己紹介）、カードに書き込む	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 5 講の学習項目の予習、第 4 講の復習
6	**Unidad 2**　主語になる人称代名詞、動詞 SER	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	Unidad 1 の総復習、第 6 講の予習
7	**Unidad 2**　国籍を表す語の性と数、国名と国籍	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 7 講の学習項目の予習、第 6 講の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	**Unidad 2**　職業を表す語、個人の情報	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 8 講の学習項目の予習、第 7 講の復習
9	**Unidad 2**　疑問詞 1、指示詞 1、自己紹介	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 9 講の学習項目の予習、第 8 講の復習
10	**Unidad 3**　小筆記試験、定冠詞と不定冠詞、スペインの都市	試験、プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	Unidad 2 の総復習、第 10 講の学習項目の予習
11	**Unidad 3**　所有詞 1、試験を返して結果を確認する	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 11 講の学習項目の予習、第 10 講の復習
12	**Unidad 3**　形容詞、大学について話す、イスパのアメリカの国々	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 12 講の学習項目の予習、第 11 講の復習
13	**Unidad 3**　動詞 SER と存在・位置を表す	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 13 講の学習項目の予習、第 12 講の復習
14	**Unidad 4**　動詞の現在形、言語	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	Unidad 3 の総復習、第 14 講の学習項目の予習
15	**Unidad 4**　疑問詞 2、日常生活	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 15 講の学習項目の予習、第 14 講の復習
16	**Unidad 4**　数字（11-30）、時刻、スケジュール	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 16 講の学習項目の予習、第 15 講の復習
17	**Unidad 4**　前置詞、曜日、スペインの若者の生活	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 17 講の学習項目の予習、第 16 講の復習
18	**Unidad 5**　小筆記試験、指示詞 2、動詞 TENER	試験、プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	Unidad 4 の総復習、第 18 講の学習項目の予習
19	**Unidad 5**　所有詞 2、試験を返して結果を確認する、数字（30-100）	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 19 講の学習項目の予習、第 18 講の復習
20	**Unidad 5**　動詞 TENER、人の記述	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 20 講の学習項目の予習、第 19 講の復習
21	**Unidad 5**　指示詞 2、家族の紹介	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 21 講の学習項目の予習、第 20 講の復習
22	**Unidad 6**　hay と estar の用法、動詞 IR、有名な場所	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	Unidad 5 の総復習、第 22 講の学習項目の予習
23	**Unidad 6**　月と季節、ir a + 不定詞、理由と目的	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 23 講の学習項目の予習、第 22 講の復習
24	**Unidad 6**　querer + 不定詞、tener que + 不定詞、旅行のプラン、スペイン旅行	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 24 講の学習項目の予習、第 23 講の復習
25	**Unidad 6**　語幹母音変化活用 e>ie、おすすめ	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 25 講の学習項目の予習、第 24 講の復習
26	第 25 回までの授業内容のまとめ、筆記試験	試験、プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	総復習、筆記試験対策。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	期末発表、試験を返して結果を確認する	授業内でプレゼンの文章を読み、覚える。	プレゼンテーション準備
28	面接の質問、期末発表の結果を返して結果を確認する	先生との会話	面接の準備

テキスト	スペイン語教材研究会『¡Muy bien! Compacto 1 – 2a edición –』（朝日出版社）
参 考 書	Atsuko Wasa『Gramática elemental del español - 3a edición』（朝日出版社）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。
その他特記事項	継続的に予習・復習し、授業中は積極的に発言することが望ましい。教科書は毎回持参すること。

科目名	SPN102:　スペイン語Ⅱ					担当教員	A. Gilabert
開講期	春 / 秋	開講時限	月木 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語、スペイン語、スペイン、ラテンアメリカ、スペイン語圏の文化
授業の概要	スペイン語 I の復習をしながら、スペイン語の習得を進めていく。スペイン語の基本的な文法事項を習得し、より表現豊かなスペイン語の運用能力を身に付ける。言語の習得とともにスペイン語圏の文化・習慣について理解を深める。
達成目標（授業の目的）	スペイン語 I を履修済みの学生に対して開講されている本授業では、次の 2 点を授業の目的とする。①スペイン語とスペイン語圏の文化を学習し、英語圏以外の西欧諸国の言語的・文化的広がりを実感・理解することで、異なる言語文化や習慣に対する理解力と寛容さを身に付ける。②授業内外で学習した文法、語彙、フレーズを活用しつつスペイン語での意思疎通を楽しむことで、英語と日本語以外でのコミュニケーションに対する積極性を養う。③スペイン語 I よりさらに発展したスペイン語を学び、その後も継続して学び続けることのできる自律的な学習者を目指す。
到達目標（学修成果）	①スペイン語の習得において非常に重要な「動詞の活用」と「名詞と形容詞の性数一致」の規則をしっかり習得する。②並行して語彙を増やし、基礎的なスペイン語で「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能を実践できるようになる。③慣用表現なども用いて日常の出来事や自分の意見・感情などを、豊かな言語表現で正確に伝えることができるようになる。
評価方法	①期末発表：30%、②筆記試験：30%、③面接の質問：30%、④授業への積極参加：10%。
評価基準	①最終プレゼンテーション：Word または PowerPoint でプレゼンテーション原稿を作成し、クラスでスペイン語で自分の好きなものを伝えて発表する。提出された原稿をもとに、授業で学んだ文法事項を用いてスペイン語を使用する能力が身に付いているかどうかを評価する。評価基準は「スペイン語の知識を積極的に活用しているか」(15%)、「内容は整理されているか」(5%)、「自分の考えを表現する努力をしているか」「自分の意見を表現しようとしているか」(5%)、「はっきりと発音するように努めているか」(5%)。 ②筆記試験：授業外で予習・復習した内容を評価する試験を 3 回実施する。 ③教師は簡単な日常会話を真似しながら学生一人ひとりにインタビューする。 ④教師は学生の授業への参加度やレベルを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	スペイン語とスペイン語圏の紹介 現在形の動詞を用いた表現の復習	講義、質疑応答、ペアワークス	シラバスの確認、スペイン語 I の復習
2	**Unidad 7**　前置詞を伴う人称代名詞、動詞 gustar、好み	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 2 講の学習項目の予習
3	**Unidad 7**　好みの一致と不一致、日本とメキシコの若者	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 3 講の学習項目の予習、第 2 講の復習
4	**Unidad 7**　動詞 encantar, interesar、予定と招待	ペアワーク、ロールプレイ	第 4 講の学習項目の予習
5	**Unidad 7**　動詞＋不定詞、ソーシャルネットワーク	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 5 講の学習項目の予習、第 3、4 講の復習
6	**Unidad 8**　不規則活用する動詞 1、マーケットで	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	Unidad 7 の総復習、第 6 講の予習
7	**Unidad 8**　直接目的人称代名詞、デパートで	ペアワークアク、ロールプレイ	第 7 講の学習項目の予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	**Unidad 8**　数字（100－999 999）、ブティックで、不定単語	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 8 講の学習項目の予習、第 6、7 講の復習
9	**Unidad 8**　不定単語、直接目的人称代名詞、序数、スペインの市場	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 9 講の学習項目の予習、第 8 講の復習
10	**Unidad 9**　小筆記試験、不規則活用する動詞 2、食べ物と料理	試験、プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	Unidad 8 の総復習、第 10 講の学習項目の予習
11	**Unidad 9**　試験返却・結果確認、直接目的人称代名詞と間接目的人称代名詞	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 11 講の学習項目の予習、第 10 講の復習
12	**Unidad 9**　不規則活用する動詞 2、動詞 saber と poder、レストランを決める	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 12 講の学習項目の予習、第 11 講の復習
13	**Unidad 9**　直接目的人称代名詞と間接目的人称代名詞、動詞 ser, estar＋形容詞	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 13 講の学習項目の予習、第 12 講の復習
14	**Unidad 10**　代名動詞、日常生活	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	Unidad 9 の総復習、第 14 講の学習項目の予習
15	**Unidad 10**　代名動詞、スペイン、メキシコ、日本の日常生活	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 15 講の学習項目の予習、第 14 講の復習
16	**Unidad 10**　代名動詞、天気、天候についてのやり取り	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 16 講の学習項目の予習、第 15 講の復習
17	**Unidad 10**　代名動詞、動詞 estar＋形容詞（体調や気分）、祭りや行事	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 17 講の学習項目の予習、第 16 講の復習
18	**Unidad 11**　小筆記試験、代名動詞、動詞 estar＋形容詞（体調や気分）	試験、プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	Unidad 10 の総復習、第 18 講の学習項目の予習
19	**Unidad 11**　試験を返して結果を確認する、動詞＋副詞、体調表現と気分、詩	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 19 講の学習項目の予習、第 18 講の復習
20	**Unidad 11**　動詞 tener＋名詞（感覚）、動詞 doler、アドバイス	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 20 講の学習項目の予習、第 19 講の復習
21	**Unidad 11**　形容詞、動詞、名詞の修飾語、接続詞、健康的な生活	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 21 講の学習項目の予習、第 20 講の復習
22	**Unidad 12**　過去の時を表す表現、行った場所	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	Unidad 11 の総復習、第 22 講の学習項目の予習
23	**Unidad 12**　動詞 ir 点過去、旅行	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 23 講の学習項目の予習、第 22 講の復習
24	**Unidad 12**　点過去規則活用、日帰り旅行	ペアワーク、ロールプレイ	第 24 講の学習項目の予習
25	**Unidad 12**　2 つの過去（点過去と線過去）、今年度の出来事	プレゼン、ペアワーク、ロールプレイ	第 25 講の学習項目の予習、第 23、24 講の復習
26	第 25 回までの授業内容のまとめ、筆記試験	試験実施、プレゼン、ペアワーク	総復習、筆記試験対策。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	期末発表、試験を返して結果を確認する	授業内でプレゼンの文章を読み、覚える。	プレゼンテーション準備
28	面接の質問、期末発表の結果を返して結果を確認する	先生との会話	面接の準備

テキスト	スペイン語教材研究会『¡Muy bien! Compacto 1 – 2a edición –』（朝日出版社）
参 考 書	Atsuko Wasa『Gramática elemental del español - 3a edición』（朝日出版社）
履修条件、前提科目	「スペイン語Ⅰ」の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。（P.59～P.60 を参照のこと）
その他特記事項	継続的に予習・復習し、授業中は積極的に発言することが望ましい。教科書は毎回持参すること。

科目名	CHN101:　中国語Ⅰ					担当教員	廣重　聖佐子
開講期	春	開講時限	月木4限			研究室	4号館2階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語・入門中国語・ピンイン習得
授業の概要	この授業では入門中国語に必要不可欠なピンイン習得を目指し、音読と会話練習を中心に授業を進める。今年度の授業では教科書前半部分を使用し各課2回の授業で1課を終了する。 1回目の授業では、単語と文法の解説後、各自本文とドリルをやり提出する。2回目の授業では、復習として音読や会話練習をする。各自事前に教科書の音声を必ずダウンロードしておくこと。
達成目標（授業の目的）	中国語学習に必要不可欠なピンイン、入門程度の基礎的な文法事項、挨拶などを反復練習によって習得する。
到達目標（学修成果）	・ピンインを習得し本文の音読ができる。 ・教科書の基本的な単語や文法事項が理解できる。 ・練習問題や復習プリント等で簡単な和文中訳ができる。
評価方法	①　筆記試験：中間・期末の2回の筆記試験と音声データの提出（60%） ②　課題提出：筆記課題を次回授業時に提出。音読データをMoodleに提出（20%） ③　授業参加：授業内容の確認と音読チェック（10%） ④　音読テスト：28回目に実施する音読テスト（10%）
評価基準	①　筆記試験：学習したことが理解できているか。 ②　課題提出：次回の授業までに課題が提出されているか。提出遅れは減点。 ③　授業参加：授業内容が理解できているか。本文が正確に読めるか。 ④　音読テスト：指定された本文が一人で正確に読めるか。
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle：音声データ ・口頭で行う：授業時の音読チェック ・提出物にコメントをつけて返却する：筆記課題
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均45分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	第1課　発音（1）音節・声調 第2課　発音（2）短母音・複母音	解説と発音練習	第1課・2課復習と発音練習 ドリル
2	第3課　発音（3）子音（1）	解説と発音練習	第3課復習と発音練習 ドリル
3	第4課　発音（4）子音（2）	解説と発音練習	第4課復習と発音練習 ドリル
4	第5課　姓のたずね方・答え方　①解説	単語と文法の解説	第5課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
5	第5課　姓のたずね方・答え方　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
6	第6課　動詞“是”・助詞“的”　①解説	単語と文法の解説	第6課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
7	第6課　動詞“是”・助詞“的”　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
8	第7課　基本語順S＋V＋O連動文①解説	単語と文法の解説	第7課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
9	第7課　基本語順S＋V＋O連動文②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	第 8 課　動詞“想”・動詞“有”の用法 指示代名詞　①解説	単語と文法の解説	第 8 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
11	第 8 課　動詞“想”・動詞“有”の用法 指示代名詞　②練習　中間試験の告知	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
12	授業内試験験の告知 前半の復習	提出物・音読チェックの期限	第 1 課～8 課までの復習
13	第 1 回授業内試験の実施 提出物・課題の確認	筆記試験 音声データの提出	第 1 課～8 課までの復習 音読データの準備
14	第 9 課　動詞“在”方向詞の用法 前置詞“从・往”①解説	試験の講評 単語と文法の解説	第 9 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
15	第 9 課　動詞“在”方向詞の用法 前置詞“从・往”②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
16	第 10 課　数の言い方　お金・値段のたずね方　形容詞述語文　①解説	単語と文法の解説	第 10 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
17	第 10 課　数の言い方　お金・値段のたずね方　形容詞述語文　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
18	第 11 課　年月日，曜日の言い方　年齢の言い方　①解説	単語と文法の解説	第 11 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
19	第 11 課　年月日，曜日の言い方　年齢の言い方　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
20	第 12 課　量詞　動詞の重ね型　①解説	単語と文法の解説	第 12 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
21	第 12 課　量詞　動詞の重ね型　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
22	第 13 課　時刻の言い方　発生や状況の変化を表す“了”①解説	単語と文法の解説	第 13 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
23	第 13 課　時刻の言い方　発生や状況の変化を表す“了”②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
24	第 14 課　時間の長さの言い方　動作完了の“了”　①解説	単語と文法の解説	第 14 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
25	第 14 課　時間の長さの言い方　動作完了の“了”②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
26	授業内試験の告知 後半の復習	提出物・音読チェックの期限	第 9 課～14 課の復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	第 2 回授業内試験の実施 提出物・課題の確認	筆記試験 音読テストの準備	第 9 課～14 課の復習 音読テストの準備
28	試験の講評 音読テスト	講評 音読テスト	音読テストの準備

テキスト	陳淑梅・劉光赤『しゃべっていいとも中国語　トータル版』（2025 年改定版）（朝日出版社）
参 考 書	守屋宏則・李軼倫『やさしくくわしい中国語文法の基礎』（東方書店）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。
その他特記事項	就職活動、編入等で欠席する場合は、事前に連絡すること。 私用による 20 分以上の遅刻は欠席とする。

科目名	CHN102:　中国語Ⅱ					担当教員	廣重　聖佐子
開講期	春 / 秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語・初級中国語
授業の概要	今年度は初級過程の完了を目指す。前年度使用した教科書の後半部分を引き続き学習し、各課 2 回で 1 課を終了する。1 回目の授業では文法、単語、本文の説明後に、各自練習、ポイントチェック、ドリルを提出する。2 回目の授業では、本文の音読練習と音読チェックをし、会話練習をする。授業終了後に音声データと練習問題を提出する。
達成目標（授業の目的）	・中国語の初級過程を完了するとともに、学習した構文等を自分で分析し、和訳や中訳ができるようにする。 ・音読練習と初級過程の成果として、今までに学んだ構文を用いて中国語でスピーチする。
到達目標（学修成果）	・本文の音読が正確にできる。 ・文法事項が理解でき、和訳や中訳や練習問題ができる。 ・例文等を用いて中国語で表現ができる。
評価方法	①　筆記試験：中間・期末 2 回の筆記試験（60%） ②　課題提出：筆記課題を次回授業時に提出。音読データを Moodle に提出（20%） ③　授業参加：授業内容の確認と音読チェック（10%） ④　スピーチ：10 センテンス以上を発表（10%）
評価基準	①　筆記試験：学習したことが理解できており、かつ身についているか。 ②　課題提出：授業内容が理解できており提出期限に提出できるか。提出遅れは減点。 ③　授業参加：授業内容を理解しており、本文を正確に読めるか。 ④　スピーチ：25 回目の授業に原稿を提出し、28 回目の授業に発表。翻訳アプリ等による転載は不可。
課題等に対するフィードバック方法	・ Moodle ：音声データ ・口頭で行う：授業時の音読チェック ・提出物にコメントをつけて返却する：筆記課題
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	第 15 課　動作の対象を表す前置詞“给” 助動詞“可以”“能”　①解説	単語と文法の解説	第 15 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
2	第 15 課　動作行為の進行を表す表現 助動詞“可以”“能”　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
3	第 16 課　動作行為の進行を表す表現 助動詞“会”　①解説	単語と文法の解説	第 16 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
4	第 16 課　動作行為の進行を表す表現 助動詞“会”　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
5	第 17 課　前置詞“在”の用法 二重目的語をとる動詞　①解説	単語と文法の解説	第 17 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
6	第 17 課　前置詞“在”の用法 二重目的語をとる動詞　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
7	第 18 課　経験を表す“过”の用法 選択疑問文　①解説	単語と文法の解説	第 18 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
8	第 18 課　経験を表す“过”の用法 選択疑問文　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	第 19 課　助動詞“得”の用法 “一～就”の構文　①解説	単語と文法の解説	第 19 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
10	第 19 課　助動詞“得”の用法 “一～就”の構文　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
11	第 20 課　結果補語　様態補語　①解説	単語と文法の解説	第 20 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
12	第 20 課　結果補語　様態補語　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
13	授業内試験の告知 前半の復習・課題の確認	提出物・音読チェック の期限	第 15 課～20 課までの復習
14	第 1 回授業内試験の実施 提出物・課題の確認	筆記試験 21 課の準備	第 15 課～20 課までの復習 第 21 課の準備
15	第 21 課　“是～的”の構文 比較表現－前置詞“比”①解説	単語と文法の解説 試験の講評	第 21 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
16	第 21 課　“是～的”の構文 比較表現－前置詞“比”②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
17	第 22 課　方向補語（1）単純方向補語 “有点儿”と“一点儿”①解説	単語と文法の解説	第 22 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
18	第 22 課　方向補語（1）単純方向補語 “有点儿”と“一点儿”②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
19	第 23 課　“把”構文 方向補語（2）　複合方向補語　①解説	単語と文法の解説	第 23 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
20	第 23 課　“把”構文 方向補語（2）　複合方向補語　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
21	第 24 課　程度補語　可能補語　①解説	単語と文法の解説	第 24 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
22	第 24 課　程度補語　可能補語　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
23	第 25 課　主述述語文　受身表現　①解説	単語と文法の解説	第 25 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
24	第 25 課　主述述語文　受身表現　②練習	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
25	第 26 課　“就要～了”使役表現　①解説	単語と文法の解説	第 26 課の単語と文法の確認 本文とドリルの提出
26	第 26 課　“就要～了”使役表現　②練習 授業内試験の告知	音読練習とチェック 会話練習	音読練習と会話練習 音声データと練習問題の提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	第 2 回授業内試験の実施 提出物・課題の確認	筆記試験 スピーチの準備	第 21 課～26 課までの復習 スピーチの準備
28	期末試験の講評 スピーチ	試験の講評 スピーチ	スピーチの準備

テキスト	陳淑梅・劉光赤『しゃべっていいとも中国語　トータル版』（朝日出版社）
参 考 書	守屋宏則・李軼倫『やさしくくわしい中国語文法の基礎』改訂版（東方書店）
履修条件、前提科目	「中国語Ⅰ」の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。（P.59～P.60 を参照のこと）
その他特記事項	就職活動、編入等で欠席する場合は事前に連絡すること。 私用による 20 分以上の遅刻は欠席とする。

科目名	KOR101:　韓国語 I					担当教員	丁　美貞
開講期	春	開講時限	火金 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語、韓国語、韓国、ハングル圏の社会と文化
授業の概要	韓国語は、語順が日本語とほぼ同じであり、漢字文化圏の言語であるため、日本語母語話者や日本語学習経験者にとって、非常に学びやすい言語である。この授業は、韓国語をはじめて学習する学生を対象に、入門及び初級文法前半レベルまでの習得を目標とする。韓国語の文字（ハングル）の書き方、読み方から始め、韓国の社会、文化などにも触れながら、基礎的な文法と日常会話の表現を学ぶ。
達成目標（授業の目的）	初級レベルの「読む・書く・聞く・話す」の 4 技能習得が目標である。ハングル文字の仕組みや韓国語の発音、基礎的な文法を習得した上で、簡単な日常会話が可能になるレベルを目指す。さらに、授業内で韓国の社会や文化について触れ、韓国語の世界を知るために必要な知識を身につける。
到達目標（学修成果）	①ハングルの仕組みを理解できる。②韓国語の正しい発音を身につける。③韓国語の基礎的な文法を理解できる。④韓国語で挨拶、自己紹介、簡単な日常会話ができる。⑤韓国に対する興味、関心、理解を深める。
評価方法	①平常点評価（30%）、②レポート課題の発表（20%）、③定期試験（50%）
評価基準	①平常点評価（30%）：授業内容の理解度、4 技能の学習度、授業態度と参加度を評価する。 ・授業内試験（小テスト）（10%）：授業開始時に 5 分程度の簡単な小テストを行う。 ・授業毎の課題（10%）：毎回の授業では、復習課題、予習課題を示す。 ・授業態度と参加度（10%）：出席、授業中に行うペアワークおよびレポート課題発表時のグループワークへの積極的参加と協調性などを評価する。 ②レポート課題の発表（20%）：グループで韓国の社会や文化について調べ、発表を行う。 ③定期試験（50%）：筆記試験
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle / Google Forms で行う／ Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス　シラバス・授業の進め方説明 入門 Lesson1　基本母音、子音①（平音）	講義、質疑応答	シラバスの確認 文字と発音の復習
2	入門 Lesson2 小テスト、子音②（激音）	講義、質疑応答、ペアワーク	文字と発音の復習
3	入門 Lesson3 小テスト、子音③（濃音）	講義、質疑応答、ペアワーク	文字と発音の復習
4	入門 Lesson4 小テスト、バッチム、連音化、日本語のハングル表記	講義、質疑応答、ペアワーク	文字と発音の復習
5	入門 Lesson5 小テスト、合成母音	講義、質疑応答、ペアワーク	文字と発音の復習
6	入門まとめ① 小テスト、挨拶など決まり文句	講義、質疑応答、ペアワーク	文字と発音の復習、挨拶の復習
7	入門まとめ② 小テスト、発音の変化	講義、質疑応答、ペアワーク	文字と発音の復習
8	入門まとめ③ 小テスト、発音の変化	講義、質疑応答、ペアワーク	文字と発音の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	第 1 課「私は日本人です」小テスト、名詞文の疑問形、自己紹介、分かち書き	講義、質疑応答、ペアワーク	名詞文の復習 質問の仕方と答え方の復習
10	第 2 課「日本人ではありません」小テスト、名詞文の否定形	講義、質疑応答、ペアワーク	名詞文の否定形の復習
11	第 3 課「それは何ですか」小テスト、指示詞の叙述形と疑問形、指示詞	講義、質疑応答、ペアワーク	指示詞の復習
12	第 4 課「約束があります」小テスト、存在詞の叙述形と疑問形、存在詞	講義、質疑応答、ペアワーク	存在詞の復習
13	第 5 課「会社はどこにありますか」小テスト、位置・方向・場所の指示代名詞	講義、質疑応答、ペアワーク	位置・方向・場所の指示代名詞の復習
14	第 1 課－第 5 課の復習	講義、質疑応答、ペアワーク	学習内容（5 回分）の復習
15	第 6 課「週末は何をしますか」小テスト、用言の丁寧形①（ハムニダ体）	講義、質疑応答、ペアワーク	「ハムニダ体」の復習
16	第 7 課「そんなに遠くありません」小テスト、形容詞文の否定形	講義、質疑応答、ペアワーク	形容詞文の否定形の復習
17	第 8 課「いつ行きますか」小テスト、漢字語数詞、感嘆・共感	講義、質疑応答、ペアワーク	漢字語数詞、感嘆・共感を表す表現の復習
18	第 9 課「釜山までどうやって行きますか」小テスト、用言の丁寧形②「ヘヨ体」、平音の濃音化	講義、質疑応答、ペアワーク	「ヘヨ体」の復習
19	第 10 課「何時からですか」小テスト、固有語数詞、時間・時刻	講義、質疑応答、ペアワーク	固有語数詞、時間・時刻を表す表現の復習
20	第 6 課－第 10 課の復習	講義、質疑応答、ペアワーク	学習内容（5 回分）の復習
21	第 11 課「いつ日本へ来ましたか」小テスト、過去の出来事、年月日と曜日	講義、質疑応答、ペアワーク	過去の出来事、年月日と曜日を表す表現の復習
22	第 12 課「お名前は？」小テスト、名前などを年上の方に尋ねる表現、尊敬形	講義、質疑応答、ペアワーク	尊敬形の復習
23	第 13 課「どちらへ行っていらっしゃいましたか」小テスト、敬語の過去形	講義、質疑応答、ペアワーク	敬語の過去形の復習
24	第 14 課「韓国と日本は似ているけど、けっこう違うでしょう？」小テスト、逆接・確認	講義、質疑応答、ペアワーク	逆接・確認を表す表現の復習
25	第 15 課「温泉に行きたいです」小テスト、願望・希望（したい事、したくない事）	講義、質疑応答、ペアワーク	願望・希望を表す表現の復習
26	第 11 課－第 15 課の復習	講義、質疑応答、ペアワーク	学習内容（5 回分）の復習
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	韓国の社会と文化について発表（1）	グループワーク、レポート課題発表	プレゼンテーション準備及び発表
28	韓国の社会と文化について発表（2）	グループワーク、レポート課題発表	プレゼンテーション準備及び発表

テキスト	李志暎『〔新装版〕できる韓国語初級 I 』（アスク出版 2010） 李志暎『できる韓国語初級 I ワークブック』（アスク出版 2011）
参 考 書	① 文法参考書『実用韓国語文法初級』（IBC パブリッシング 2021） ② 練習問題集『超入門!書いて覚える韓国語ドリル』（ナツメ社 2017）
履修条件、前提科目	初学者、初級者向けであり、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。
その他特記事項	① 提出が必要な課題は、必ず期限を守ること。 ② 講義中の私語、飲食を禁止とする。

科目名	KOR102:　韓国語Ⅱ					担当教員	丁　美貞
開講期	春 / 秋	開講時限	火金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	第二外国語、韓国語、韓国、ハングル圏の社会と文化
授業の概要	この授業は、韓国語の基礎学習を終えた学生を対象に、「韓国語Ⅰ」を通して身につけた「読む・書く・聞く・話す」の韓国語4技能をよりバランスよく発展させることを目標とする。韓国の社会、文化などにも触れながら、総合的な口頭・聴解・作文の学習活動を通して、「過去や未来のことを語る」「依頼する」「婉曲に言う」などの実践的な表現力を培う。
達成目標（授業の目的）	初中級レベルの文法や文型を習得し、それらを用いて会話や作文ができるようになることを目指す。また、授業内で韓国の社会や文化について触れ、韓国語の世界を知るために必要な知識を身につける。
到達目標（学修成果）	①初中級レベルの文法を理解できる。②韓国語で現在連体形と過去連体形を用いた会話ができる。③仮定、許可、願望、禁止などの実践的な表現力を身につけている。④韓国に対する興味、関心、理解を深める。
評価方法	①平常点評価（30%）、②レポート課題の発表（20%）、③定期試験（50%）
評価基準	①平常点評価（30%）：授業内容の理解度、4 技能の学習度、授業態度と参加度を評価する。 ・授業内試験（小テスト）（10%）：授業開始時に 5 分程度の簡単な小テストを行う。 ・授業毎の課題（10%）：毎回の授業では、復習課題、予習課題を示す。 ・授業態度と参加度（10%）：出席、授業中に行うペアワークおよびレポート課題発表時のグループワークへの積極的参加と協調性などを評価する。 ②レポート課題の発表（20%）：グループで韓国の社会や文化について調べ、発表を行う。 ③定期試験（50%）：筆記試験
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 45 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ガイダンス シラバス・授業の進め方説明 ウォーミングアップ「韓国語Ⅰ」学習内容の復習① 過去の出来事、年月日と曜日	講義、質疑応答、ペアワーク	シラバスの確認 第 11 課－第 15 課の復習①
2	ウォーミングアップ「韓国語Ⅰ」学習内容の復習② 尊敬形、敬語の過去形	講義、質疑応答、ペアワーク	第 11 課－第 15 課の復習②
3	［初級Ⅰ］第 16 課「プレゼントを買うのでお金をたくさん使います」理由・原因	講義、質疑応答、ペアワーク	理由・原因を表す表現の復習
4	第 17 課「結婚式に何を着ていけばいいですか」小テスト、アドバイス・許可・仮定・条件	講義、質疑応答、ペアワーク	アドバイス・許可を求める表現、仮定・条件の表現の復習
5	第 18 課「食事でも一緒にしましょうか」小テスト、勧誘・目的	講義、質疑応答、ペアワーク	勧誘・目的を表す表現の復習
6	第 19 課「写真をちょっと撮っていただけますか」小テスト、依頼・お願い	講義、質疑応答、ペアワーク	依頼を表す表現の復習
7	第 20 課「自転車に乗ることができますか」小テスト、能力・可能、不可能、現在進行	講義、質疑応答、ペアワーク	能力・可能、不可能を表す表現、現在進行形の復習
8	第 16 課－第 20 課の復習・初級Ⅰのまとめ	講義、質疑応答、ペアワーク	学習内容（5 回分）の復習
9	［初級Ⅱ］第 1 課「食べ方が結構違いますね」①動詞の現在連体形 ②して	講義、質疑応答、ペアワーク	動詞の現在連体形、先行動詞の用法の復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	第 2 課「韓国へ行ったことがありますか」小テスト、①動詞の過去連体形 ②～したことがある	講義、質疑応答、ペアワーク	動詞の過去連体形、経験を表す表現の復習
11	第 3 課「卒業したら何をするつもりですか」小テスト、①動詞の未来連体形 ②～するつもりです	講義、質疑応答、ペアワーク	動詞の未来連体形、予定・意志を表す表現の復習
12	第 4 課「背の高い男は誰ですか」小テスト、①形容詞の現在連体形 ②名詞文の現在連体形	講義、質疑応答、ペアワーク	形容詞の現在連体形、名詞文の現在連体形の復習
13	第 5 課「お忙しいところすみません」小テスト、①～するのですが / ～するのに ②並立表現	講義、質疑応答、ペアワーク	後ろの内容の前提を表す表現、並立表現の復習
14	第 1 課－第 5 課の復習	講義、質疑応答、ペアワーク	学習内容（5 回分）の復習
15	第 6 課「熱いから気を付けてください」小テスト、①不規則活用 ②理由	講義、質疑応答、ペアワーク	ㅂ不規則活用、理由を説明する表現の復習
16	第 7 課「外国語は毎日聞かなければなりません」小テスト、①不規則活用 ②～しなければならない	講義、質疑応答、ペアワーク	ㄷ不規則活用、義務を表す表現の復習
17	第 8 課「風邪はすっかり治りましたか」小テスト、①不規則活用 ②～するために / ～するため	講義、質疑応答、ペアワーク	ㅅ不規則活用、理由・原因を表す表現の復習
18	第 9 課「A 型と O 型はどう違いますか」小テスト、①不規則活用 ②～するじゃないですか	講義、質疑応答、ペアワーク	ㄹ不規則活用、相手も既知の理由を言う表現の復習
19	第 10 課「赤い色はありませんか」小テスト、①不規則活用 ②～してみる	講義、質疑応答、ペアワーク	ㅎ不規則活用の復習
20	第 6 課－第 10 課の復習	講義、質疑応答、ペアワーク	学習内容（5 回分）の復習
21	第 11 課「私もメールを送ります」①意志・約束・決意 ②不規則活用	講義、質疑応答、ペアワーク	ㄹ不規則活用、意志・約束・決意を表す表現の復習
22	第 12 課「人々が並んでいます」小テスト、①完了状態の継続 ②～しないで下さい／～しないで	講義、質疑応答、ペアワーク	完了状態の継続、禁止や行為の否定を表す表現の復習
23	第 13 課「雨が降りそうですね」小テスト、①過去・現在・未来の推量 ②不確実	講義、質疑応答、ペアワーク	過去・現在・未来の推量を表す表現の復習
24	第 14 課「新年の挨拶をした後、お墓参りに行きます」小テスト、①～する前に ②～した後	講義、質疑応答、ペアワーク	動作の時間的な前後関係を表す表現の復習
25	第 15 課「辛くして食べる方です」小テスト、①～する方だ ②副詞化 ③～になる	講義、質疑応答、ペアワーク	形容詞の副詞化の復習
26	第 11 課－第 15 課の復習・総まとめ	講義、質疑応答、ペアワーク	学習内容（5 回分）の復習
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	韓国の社会と文化について発表（1）	グループワーク、レポート課題発表	プレゼンテーション準備及び発表
28	韓国の社会と文化について発表（2）	グループワーク、レポート課題発表	プレゼンテーション準備及び発表

テキスト	【第 1 回～第 9 回】李志暎『〔新装版〕できる韓国語初級 I 』（アスク出版）、李志暎『できる韓国語初級 I ワークブック』（アスク出版）【第 10 回～第 27 回】李志暎『〔新装版〕できる韓国語初級Ⅱ』（アスク出版）、李志暎『できる韓国語初級Ⅱ ワークブック』（アスク出版）【全回】李志暎『〔新装版〕できる韓国語初級 単語集』（アスク出版 2016）
参 考 書	① 文法参考書『実用韓国語文法初級』（IBC パブリッシング 2021） ② 練習問題集『超入門!書いて覚える韓国語ドリル』（ナツメ社 2017）
履修条件、前提科目	「韓国語 I 」の単位を修得済みであるか、またはそれと同等のレベルであること。ただし、この言語を母語とする学生、および日常会話ができるレベルに達している学生の履修は、原則として不可とする。（P.59～P.60 を参照のこと）
その他特記事項	① 提出が必要な課題は、必ず期限を守ること。 ② 講義中の私語、飲食を禁止とする。

科目名	JPN250:　日本語表現法					担当教員	鷲見　あつみ
開講期	春 / 秋	開講時限	（春）月 3 限 （秋）金 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	学術的文章、表現者と理解者の両輪、構成、説得力のある論拠、ことばの表現、要約と引用
授業の概要	・学術的文章を書く上での基礎的なルールを学ぶ。 ・序論・本論・結びの 3 つの構成に従い、基礎的な語彙力や表現力を養い、3 つのテーマで学術的文章を完成させていく。 ・学生間および教師による議論やフィードバックを通じて客観的に自身の文章を振り返る。
達成目標（授業の目的）	・読み手の立場から新聞の要約をし、書き手の立場からテキストのワークで論理的な文章の組み立てを考える。 ・事実文と意見文の違いを理解し、説得力のある文章が書けること。 ・序論から結論まで一貫性のある主張を述べること。
到達目標（学修成果）	1 回目の課題では「構成」、2 回目の課題では「構成・内容・引用」、最終課題では相応しい表現を用いて説得力のある学術文章が 1600 字程度で書けるようになること。
評価方法	①　授業態度　：積極的な発言をし、責任ある授業参加をする。　25% ②　授業課題　：第 1 回課題「構成」第 2 回課題「構成・内容・引用」　35% ③　小論文　：Word で作成し、学期末の指定期間内に Moodle に提出　40%
評価基準	①　授業態度　：他者の発言を聞き、グループ内の議論に主体的に参加してフィードバックしているか。 ②　授業課題　：指定された課題と提出期限を守る。 ③　小論文　：授業で学んだ論文構成や相応しい表現を用いているか。 内容に合致したデータを用いて正しく引用しているか。 論文に相応しい論拠と考察を述べているか。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned paper
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	［基礎編①］ よく使われる文の形、語と表現	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 1-8 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
2	［基礎編②］ 引用、要約、句読点、表記規則	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 9-21 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
3	［論文編 I-①］書いてみよう① 論文について、構成の作り方、まとめ方	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 24-42 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
4	［論文編 I-②］ 論文のモデル	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 43-50 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
5	［論文編 II-①］ 序論の役割、背景説明、先行研究紹介	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 52-63 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
6	［論文編 II-②］書いてみよう② 問題提起、方向づけ、全体の予告	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 64-78 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	［論文編 III-①］ 本論の役割、論拠提示	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 80-84 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
8	［論文編 III-②］ データの提示、事柄データ	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 85-87 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
9	［論文編 III-③］書いてみよう③ 数量データ、文章データ	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 88-93 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
10	［論文編 III-④］ 意見提示、データ解釈、考察	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 94-99 頁を読む。 タスク・練習問題を解く。
11	［論文編 III-⑤］ 結論提示、論の展開、結論提示	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 100-124 頁を読む。 発表準備
12	発表と聞き手からの質疑応答①	プレゼンテーション 聞き手はシート記述	発表準備 質疑応答の再考
13	発表と聞き手からの質疑応答②	プレゼンテーション 聞き手はシート記述	発表準備 質疑応答の再考
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	発表と聞き手からの質疑応答③ 本科目のフィードバック	プレゼンテーション 聞き手はシート記述	質疑応答の再考 まとめノートの作成

テキスト	浜田麻里・平尾得子・由井紀久子『大学生と留学生の論文ワークブック』（くろしお出版）
その他 特記事項	互いに積極的で建設的なフィードバックをする姿勢をもって授業に臨むこと。 発表者の資料は事前に教員がコピーし、当日聞き手のシートと同時に配布する。 発表後、コピー資料は教員が回収する。

科目名	SEF200:　キャリアプランニング					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	月 5 限			研究室	4202
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-①

キーワード	キャリアデザイン、ライフコース、社会保障、労働法、卒業生との交流、職場での実務
授業の概要	本学ソフィア会（同窓会）の支援により、社会の様々な分野で「for Others, with Others」を実践している卒業生の方々による講演・質疑応答を通して、卒業後のキャリアプランをどう組み立てるか考える。また、あわせて労働法などの基礎知識についても学ぶ。同窓生以外のゲスト講師（秦野市役所）の講義を含む。
達成目標（授業の目的）	①　卒業後の人生設計について様々な可能性やその実現に向けて必要なステップを考え、 ②　社会人として必要な労働法の知識を身につけ、 ③　各自のキャリアプランを組み立てることが目標である。
到達目標（学修成果）	①　現在の社会情勢と女性のライフコースの問題を各自で考え、卒業生の講演内容を通して将来の多様な可能性について考察できるようになる。 ②　労働法や社会人として求められる基礎知識を身につけることができる。 ③　各自のキャリアプランを設計できるようになる。
評価方法	①　リアクションペーパー：授業後 Moodle に提出、最終回を除く。5%×13 回＝65% ②　小テスト：労働法に関する小テスト：授業期間中に Moodle で行う、15%。 ③　キャリアプランの作成：定期試験期間中に Moodle に提出、20%。
評価基準	①　リアクションペーパー：同窓生講師の話から学んだことや考えたことを適切な文でまとめているか ②　労働法小テスト：社会人として求められる労働法の基礎知識が身についているか ③　キャリアプラン：書式・期限を守り現実的なプランを作成しているか
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	女性のキャリアとライフコース、研究倫理	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出①
2	同窓生：フリーランスの働き方、デザイン 同窓生：大学職員として	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出②
3	同窓生：心療内科と精神保健福祉士について 同窓生：市役所勤務から法務省へ	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出③
4	同窓生：放送業界、アパレル、リフレクソロジスト 同窓生：金融系企業、留学	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出④
5	同窓生：アメリカでの生活と仕事 同窓生：米軍基地アルバイト体験、児童英語教材会社でのテキスト執筆	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑤
6	ゲスト講師：秦野市の取り組みと現状、地方公務員の仕事とキャリア	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑥

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	労働法について、労働法テストについて、キャリアプランについての意見交換	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑦
8	同窓生：YMCA 英語講師、YouTuber、シンガー活動 同窓生：損害保険会社、編入、英語通訳、大学教員	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑧
9	同窓生：会社員、子育て、闘病、民生委員 同窓生：国立大学への編入、大学院	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑨
10	同窓生：編入、留学、国際機関でのインターン キャリアプラン作成についての説明	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑩
11	同窓生：編入、デパート勤務、小中学校での外国語教育 同窓生：留学、海外で日本語教師、JICA	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑪
12	同窓生：国立大学職員、スピーチライター、大学教員 同窓生：青年海外協力隊、海外支援コンサルティング会社から現地派遣で支援活動	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑫ 労働法の勉強
13	同窓生：大手食品メーカー、通信制大学、育児休暇 同窓生：留学、転職、大手 IT 企業	講義、質疑応答	リアクションペーパー提出⑬ キャリアプランの作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	同窓生：医療技術専門学校、言語聴覚士 まとめ、労働法小テスト、キャリアプランの総括	講義、質疑応答、講評	振り返り

テキスト	なし、パワーポイントスライドなどを用いての講義となる。
参 考 書	厚生労働省、「令和 4（2022）年版　働く女性の実情」（https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/josei-jitsujo/22.html）、インターネットで閲覧可
その他 特記事項	本講座は上智大学短期大学部ソフィア会（同窓会）の協力による寄付講座であり、社会で活躍されている卒業生の方々がボランティアで講師をご担当下さるものである。担当講師のスケジュールは当該年度夏以降でないと確定しないため上記の授業計画は 2024 年度実施のものであり、2025 年度の授業計画の確定版は 9 月 10 日頃に Moodle「2025　短大部　キャリアプランニング」にアップする。 なお、同窓生の講義はリアルタイムの Zoom でコーディネータ教員が教室 PC から教室スクリーンに映し、学生からの質問は教室マイクで受け付ける予定である。

科目名	SES100:　基礎ゼミナール（再）					担当教員	（春）丹木　博一 （秋）杉村　美佳
開講期	春 / 秋	開講時限	水 5 限			研究室	4214（丹木） 4220（杉村）
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	2	学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。	2-④

キーワード	導入教育、アカデミックスキル、プレゼンテーションの方法、小論文の書き方、研究倫理
授業の概要	本学の教育理念である“For Others, With Others”を目指す学生生活への導入となる授業です。大学での学びに必要なアカデミックスキルを身につけ、将来のキャリア形成を視野に入れた大学生活のプランをたてていきます。
達成目標（授業の目的）	大学での自律した学びに必要なアカデミックスキルが身につきます。具体的には、さまざまな分野の問題を論じるために必要となる専門的な情報や知識をどのように得て、プレゼンテーションや小論文としてどのように発信していくかを実践しながら学びます。また大学生が知っておくべき研究倫理についても学びます。
到達目標（学修成果）	①視聴動画の要点を文章にし、②専任教員による Moodle 上のショートレクチャーのノートテイキングから要約の仕方を学び、③プレゼンテーションと質疑応答による発信力を磨き、④調べた内容に基づき小論文を書く技術を実践的に身につけます。
評価方法	①課題：6%×6 回＝36%、②Moodle 教材のノートテイキング：4%×3 回＝12%、③プレゼンテーション：22%（発表 15%、司会 7%）、④小論文作成と発表：30%（小論文 25%、発表 5%）
評価基準	①課題：提出期限、内容および書式を遵守できているか。 ②ノートテイキング：3 つのレクチャーについて自分の言葉で要点をまとめ、論理的にコメントを書いているか。 ③プレゼンテーション：内容が整理されていて効果的な資料が提示されているか、声の大きさやスピードが適切でわかりやすく表現しているか。 ④小論文作成と発表：小論文は論点が明確でパラグラフライティングができているか。発表は要点をまとめて説明できているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	他者のために、他者とともに生きる、自己を知り、自己を確立する、アカデミックスキルと研究倫理・生成 AI について	テキスト 1、2 章講読、自己紹介、ディスカッション、動画視聴	本学の三つのポリシーとテキストの学長のメッセージを読む
2	世界に目を向け、異文化に心を開く、ポートフォリオで自主的な学修	動画視聴、グループディスカッション	テキスト 4 章講読、課題①視聴動画内容の要約
3	学ぶ姿勢を見直そう―大学での学び、ノートの取り方のこつ、スケジュール管理、インターネット・SNS 利用上の留意点	動画視聴、ノートテイキング、グループディスカッション	テキスト 5 章講読、課題②視聴動画内容の要約
4	最初の一歩を踏みだそう―質問の仕方、レポート作成時の注意事項、プレゼンの準備、研究倫理について	動画視聴、グループディスカッション、質疑応答	テキスト 6 章講読、課題③視聴動画内容の要約

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	文章のパラグラフ構造―要約と文章の中心文	動画視聴、グループディスカッション	Moodle 教材ノートテイキング①、課題④、プレゼンテーションの準備
6	ゼミでの学修と進路選択―卒業までの計画、進路決定のために何をするか＋プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト 7 章講読、課題⑤ノートテイキング②、プレゼンテーションの準備
7	編入への道―編入試験の概要、進学のために何をすべきか＋プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト 8 章講読、ノートテイキング③、プレゼンテーションの準備
8	就職への道―働くとはどういうことか、企業は学生に何を求めているのか＋プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト 9 章講読、プレゼンテーションの準備
9	女性のキャリアとライフコース―働く女性の状況、あなたのライフプラン＋プレゼンテーション	動画視聴、ディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト 10 章講読、課題⑥プレゼンテーションの準備
10	キャリア・パスを考える―なぜ進学／就職するのか、理由を説明する＋プレゼンテーション	グループディスカッション、プレゼンテーションと質疑応答	テキスト 11 章講読、プレゼンテーションの準備
11	将来の夢を実現するためのリサーチ、情報リテラシー―リサーチプランを作成する	グループディスカッション、情報収集の仕方	テキスト 12 章、15 章講読小論文のためのリサーチ
12	論点をまとめる―リサーチしたことをグループでシェア、小論文の骨組みをつくる、引用の仕方	グループディスカッション、アウトライン作成	テキスト 13 章講読、小論文のためのリサーチ
13	小論文を書く―先行研究や得た情報を踏まえてメイン・パラグラフを作成、学修ポートフォリオの書き方	小論文の相互チェック、講評	小論文のアウトライン作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	小論文の発表、学修ポートフォリオ作成	プレゼンテーションと質疑応答	小論文作成

テキスト	上智大学短期大学部編『Essentials ―A Guide to Finding the Right Career Path for You』
その他 特記事項	「基礎ゼミナール」の単位未修得者を対象とする。

科目名	SES150:　プレ・ゼミナール（再）					担当教員	杉村　美佳
開講期	春	開講時限	水 2 限			研究室	4220
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-③

キーワード	国際教育学研究、国際教育協力、開発教育、参加型学習の歴史と現状、総合学習
授業の概要	途上国への国際教育協力の状況を検討した上で、先進国における参加型学習の歴史や現状を理解し、途上国の問題解決に参加できる能力と態度を養う教育のあり方を考察する。前半はテキストに基づいてグループ研究発表を行い、国際教育学研究の基礎理論を学ぶ。後半では英文原書の講読を進め、途上国の女子教育について理解を深めるとともに、 2 年生のゼミ論文の発表に参加し、論文の書き方を学ぶ。
達成目標（授業の目的）	国際教育協力や開発教育のあり方、参加型学習の歴史や現状を理解するとともに、教育学の英文原書を読む力を身につける。さらに国際的視点から日本の教育政策や教育実践などの方向性を探ることを通して、国際教育学研究の基礎的な理論と方法論を習得する。
到達目標（学修成果）	①国際教育協力や開発教育のあり方、参加型学習の歴史や現状に関する知識を習得し、国際的視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、考察することができる。 ②テキストの内容を整理してレジュメを作成し、相手に効果的に伝わる発表や議論をすることができる。 ③英文講読を通して教育学の専門用語を学び、途上国の女子教育の現状と課題について理解し、教育学の英文原書を読む力を身につける。
評価方法	①討論への参画（10%）、②テキスト発表（30%）、③英文講読（20%）、④リアクションペーパー（30%）、⑤ブックレポート（10%）
評価基準	①討論への参画：研究発表や論点に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 ②テキスト発表：テキストの内容を的確に整理してレジュメを作成し、効果的な発表を行っているか。討論の論点を提示しているか。 ③英文講読：英文原書の内容を的確に把握し、途上国の女子教育の現状と課題を理解できているか。 ④リアクションペーパー：論題について授業内容をふまえ論理的に考察できているか。 ⑤ブックレポート：内容を的確に要約し、国際教育学の視点から意見を論理的、批判的に論述できているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	国際教育学の理論と研究倫理	講義、討論	テキスト序章の講読 発表・討論の準備
2	援助と開発の歴史	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 1 章の要約 発表・討論の準備
3	開発プロジェクトのタイプ	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 3 章の要約 発表・討論の準備
4	参加型開発とは	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 4 章の要約 発表・討論の準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	日本の NGO と参加型開発	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 5 章の要約 発表・討論の準備
6	日本の開発教育	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 6 章の要約 発表・討論の準備
7	開発教育ワークショップ	ワークショップ・解説・振り返りシート	配布資料の講読 発表・討論の準備
8	総合学習と ESD	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 7 章の要約 発表・討論の準備
9	参加型学習の歴史的系譜	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 8 章の要約 発表・討論の準備
10	これからの国際協力と開発教育	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト終章の要約 発表の準備
11	*Women's Education in Developing Countries* の講読（1）	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.1-3 の翻訳 発表の準備
12	*Women's Education in Developing Countries* の講読（2）	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.4-6 の翻訳 発表の準備
13	*Women's Education in Developing Countries* の講読（3）	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト pp.7-10 の翻訳 発表の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミ論文構想発表	発表・討論・解説・リアクションペーパー	発表の準備 リアクションペーパーの作成

テキスト	田中治彦『国際協力と開発教育―「援助」の近未来を探る』（明石書店） King, Elizabeth M. *Women's Education in Developing Countries* (World Bank).
参 考 書	小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書） 菅野琴・西村幹子・長岡智寿子編著『ジェンダーと国際教育開発 ―課題と挑戦―』（福村出版）
履修条件、前提科目	「プレ・ゼミナール」の単位未修得者を対象とする。
その他特記事項	発表の 1 週間前までに教員にレジュメを提出し、指導を受けること。 ゼミ生には討議への活発な参加を求める。

科目名	SES200: ゼミナールⅠ					担当教員	永野　良博
開講期	春	開講時限	水 4 限			研究室	4218
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	アメリカ小説、自己、分身、自由意志、自己決定、人種、ジェンダー、共同体
授業の概要	アメリカ小説及び関連する第二次資料を読み、小説の研究に必要な知識を身に付ける。中心的主題は自己の問題であり、それを軸として自己同一性、分身、自由意志、自己決定等をめぐる考察を行い、社会的な問題である人種、ジェンダー、共同体論等へと議論を広げる。作品読解を通して多様な生の在り方を分析し、独自の主題発見を基に論文作成を行い、また英文読解力の向上を目指す。学生同士の議論と学生による研究発表が中心となる。
達成目標（授業の目的）	小説が示す登場人物の自己に関わる問題と、彼等が持つ他者、社会、文化、歴史との複雑な関係を理解することが主な目的である。また様々な文学的主題への理解を深め、それらを文学研究者達がどのように論じ、人間性や彼等を取り巻く世界に関する発見へと繋げてきたのか理解する。また文学作品の読み取り方、そしてそれらに関する研究論文の書き方を習得する。同時に発表力、質問力、そして意見交換を通した建設的な議論実行力を身に付ける。また文学作品の英文を読み解く力を身に付ける。
到達目標（学修成果）	登場人物の考えや行動について理解を深め、彼等を取り巻く世界について、出来るだけ多くの主題を読み取り、独自の主題発見が出来る。他の学生との意見交換を通して、自らの議論の問題点や可能性について知り、議論を発展させることが出来る。独自の主題に基づく文学論を作成し、効果的に口頭発表出来る。英語の文学作品の読解を通して比喩的かつ重層的な文章の読解力を伸ばすことが出来る。
評価方法	授業参加（文学作品に関する議論）（40%）、論文（30%）、研究発表（30%）
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を授業で提示出来ること。また他人の意見に対して建設的な意見を与えられること。論文作成では、文学的主題の発見力、独自の意見の構築力、論理的議論発展力が求められる。発表は主題を適切にまとめたレジュメを基に行い、質問に対して周到な調査と熟考に基づいた答えを与えることが必要。発表内の英文解説では、第一次資料から選んだ英文について、語彙、文法、意味の解説を的確に行うことが出来ること。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	作品解説および研究展望の発表導入、論文作成の方法、大学生の研究倫理	講義、質疑応答	論文作成に関するハンドアウトを読む
2	Paul Auster, *Ghosts* 自己同一性と他者、自己と分身、生の再考	議論、質疑応答	*Ghosts*、研究書、論文を読む
3	Paul Auster, Ghosts 古き自己との決別、不安、共謀の疑い	議論、質疑応答	*Ghosts*、研究書、論文を読む
4	Paul Auster, Ghosts 分身との対立、他者の秘密、共依存	議論、質疑応答	*Ghosts*、研究書、論文を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Truman Capote, *Breakfast at Tiffany's* 自己確立と自由の追求、所有意識の拒絶	議論、質疑応答	*Breakfast at Tiffany's*、研究書、論文を読む
6	Truman Capote, *Breakfast at Tiffany's* 理想郷、アカの恐怖、他者との軋轢	議論、質疑応答	*Breakfast at Tiffany's*、研究書、論文を読む
7	Truman Capote, *Breakfast at Tiffany's* 孤児、反社会性の問題、自由への逃走	議論、質疑応答	*Breakfast at Tiffany's*、研究書、論文を読む
8	Toni Morrison, *The Bluest Eye* 自己同一性、異人種の美の基準、歪んだ生	議論、質疑応答	*The Bluest Eye*、研究書、論文を読む
9	Toni Morrison, *The Bluest Eye* 共同体内での差別、機能不全家族の過去	議論、質疑応答	*The Bluest Eye*、研究書、論文を読む
10	Toni Morrison, *The Bluest Eye* 青い目の幻想、共同体による放棄	議論、質疑応答	*The Bluest Eye*、研究書、論文を読む
11	A. Walker, *The Color Purple* ウーマニズム、 J. Barth, *The End of the Road* 自己決定	講義、質疑応答	レジュメを読む
12	S. Plath, *Bell Jar* 女性の社会参加、J. Okada, *No-No Boy* 日系人の自己同一性	講義、質疑応答	レジュメを読む
13	学期末論文概要発表	発表、質疑応答	論文・レジュメ作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	学期末論文概要発表	発表、質疑応答	論文・レジュメ作成

テキスト	ポール・オースター『幽霊たち』柴田元幸訳（新潮文庫） トゥルーマン・カポーティ『ティファニーで朝食を』村上春樹訳（新潮文庫） トニ・モリスン『青い目が欲しい』大社淑子訳（早川文庫） 上記の小説の原書も必要に応じて参照する。他の小説に関する資料は担当教員が配布する。

科目名	SES300: ゼミナールⅡ					担当教員	永野　良博
開講期	秋	開講時限	水 4 限			研究室	4218
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	アメリカ小説の自律的研究、独自の主題の発見とそれへのアプローチ
授業の概要	アメリカ小説を第一次資料とし、小説に学生自らが興味を持つ主題を関連させながら研究を進め、その成果を報告し、討論を行い、研究論文を作成する。学期前半には学生が研究対象として選択した小説の意義とその後に追求する研究課題を口頭発表により明らかにする。それを基に、多様な第二次資料の読解と理解を基に研究を発展させ、その成果を発表し、論文にまとめる。学生同士の議論そして学生による研究発表が中心となる。
達成目標（授業の目的）	文学作品の登場人物の心理に関わる問題と、彼等が持つ他者、社会、文化、歴史との複雑な関係を深く理解することが主な目的である。また様々な文学的主題に慣れ親しみ、それらを文学研究者達がどのように論じ、人間性や彼等を取り巻く世界に関する発見へと繋げてきたのか深く理解し、独自の発見に繋げる。春学期に修得した知識を活かし、より幅広く調査、研究を行い、自らの研究主題を発展させ、学期末に充実した研究論文としてまとめる。また文学作品の英文を読み解く力を身に付ける。
到達目標（学修成果）	登場人物の考えや行動について理解を深め、彼等を取り巻く世界について、多くの主題を読み取り、独自の課題発見を基に主題設定することが出来る。他の学生との意見交換を通して、自らの議論の問題点や可能性について知り、議論を発展させることが出来る。独自の文学論を作成し、それを効果的に口頭発表し、充実した研究論文を提出する。英語の文学作品の読解を通して比喩的かつ重層的な文章の読解力を伸ばすことが出来る。
評価方法	授業参加（文学作品に関する議論）（30%）、論文（40%）、研究発表（30%）
評価基準	授業参加に関しては事前に資料を読み、それを基に洞察力と説得力のある自らの意見を授業で提示出来ること。また他人の意見に対して建設的な意見を与えられること。論文作成では、文学的主題の発見力、独自の意見の構築力、論理的議論発展力、そして主に人間性について新たな発見を示すことが求められる。発表は主題を適切にまとめたレジュメを基に行い、質問に対して、周到な調査と熟考に基づいた答えを与えることが必要である。発表内の英文解説では、第一次資料から選んだ英文について、語彙、文法、意味の解説を的確に行うことが出来ること。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	論文作成の方法、大学生の研究倫理	講義、質疑応答	課題論文・論文作成重点事項に関するハンドアウトを読む
2	作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表①	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
3	作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表②	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
4	作品解説、研究テーマ、研究の展望の発表③	発表、質疑応答	第一次資料読解、研究テーマの設定、第二次資料渉猟
5	作品に関する議論①	議論	第一次資料読解
6	作品に関する議論②	議論	第一次資料読解
7	作品に関する議論③	議論	第一次資料読解
8	ゼミナール論文概要発表①	発表、質疑応答	レジュメ作成
9	ゼミナール論文概要発表②	発表、質疑応答	レジュメ作成
10	ゼミナール論文概要発表③	発表、質疑応答	レジュメ作成
11	作品及び論文概要に関する議論①	議論	第一次資料、第二次資料、論文概要読解
12	作品及び論文概要に関する議論②	議論	第一次資料、第二次資料、論文概要読解
13	作品及び論文概要に関する議論③	議論	第一次資料、第二次資料、論文概要読解
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	論文完成に向けたまとめ	報告、質疑応答	論文最終段階確認

テキスト	学生が各自第一次資料及び第二次資料を選ぶ。また学生が研究発表用の資料を授業で配布する。その他、担当教員が論文作成や発表に関わる資料を必要に応じて配布する。

科目名	SES200: ゼミナールⅠ					担当教員	近藤　佐智子
開講期	春	開講時限	水 4 限			研究室	4208
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	社会言語学、言語変種、言語変化、アイデンティティー、多言語主義、ジェンダー
授業の概要	主に英語と日本語を対象に、社会生活と言語のダイナミックな関係を社会言語学、語用論、心理言語学の観点から研究する。言語変種、ポライトネス、ジェンダー、バイリンガリズム、言語政策などについて英語で書かれた文献を読み、具体的な事象に照らし合わせてディスカッションを行う。学期の最後には各自選択した研究テーマについて文献研究を行い論文にまとめ、秋学期に執筆するゼミ論文の計画を立てる。
達成目標（授業の目的）	社会の中で言語がどのように使用されているのかを分析できるようになるために、社会言語学の理論および先行研究の内容を理解し、それらの研究結果が妥当であるかを判断できるようになる。幅広い文献を使って研究ができるようになるために、英語で書かれた入門書を読む力をつける。各自選択したテーマについて秋学期に実証研究を行う素地を作るために、文献研究を行う。
到達目標（学修成果）	英語の入門書を読み、要約や発表用レジメを作成し、内容を日本語で口頭発表することができるようになる。理論、専門用語、先行研究の内容を理解し、具体例をあげて説明やディスカッションができるようになる。各自が選択したテーマに沿った文献を探し読む、論文の形式でまとめることができるようになる。実証研究計画を立てることができるようになる。
評価方法	文献研究論文（30%）、発表（30%）、要旨の提出（30%）、授業時の積極参加（10%）
評価基準	文献研究論文（30%） 　複数の文献を読み、引用などの規則を適切に守り、論理的に論文が構成されているか。論点が整理され、自分の考えが明確に述べられているか。 発表（30%）（英語テキストの発表 25%、読んだ論文の内容を発表 5%） 　レジメの構成、レジメの内容が的確に要点を捉えているかどうか。発表の内容（理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたかどうか）、発表の態度（声の大きさ、話し方など） 要旨の提出（30%） 　英語テキスト各章の要約の提出（内容のポイントを捉え疑問点と調べ学習の内容を明記しているかどうか、全回提出したか） 授業時の積極参加（10%） 　授業への参加度、ディスカッションにおける発言の質と量
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う ・口頭で行う
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入、英語文献の読み方、要約方法、研究の進め方、文献研究論文の書き方	講義 ディスカッション	テキスト全体を概観
2	Ch. 1: The social study of language	講義 ディスカッション	テキスト 3-13 頁読み日本語要約

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
3	Ch. 2: The ethnography of speaking and the structure of conversation	学生の発表 ディスカッション	テキスト 14-23 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
4	Ch. 3: Locating variations in speech	学生の発表 ディスカッション	テキスト 24-30 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
5	Ch. 4: Styles, gender, and social class	学生の発表 ディスカッション	テキスト 31-43 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
6	Ch. 5: Bilinguals and bilingualism	学生の発表 ディスカッション	テキスト 44-50 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
7	個人研究の進め方：文献の探し方、文献研究論文の書き方、研究倫理教育	講義 演習	個人テーマの論文作成（論文提出日まで継続）
8	Ch. 6: Societal multilingualism	学生の発表 ディスカッション	テキスト 51-65 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
9	Ch. 7: Applied sociolinguistics	学生の発表 ディスカッション	テキスト 66-77 頁読み日本語要約、発表者はレジメ作成
10	実証研究の計画：リサーチとは何か？ なぜ先行研究を調べるのか？引用方法	講義 ディスカッション	テキスト（田中）1-18 頁読む
11	実証研究の計画：リサーチクエスチョンと調査方法	講義 ディスカッション	テキスト（田中）21-24 頁読む
12	読んだ論文の内容を発表（グループ①）	学生の発表 ディスカッション	発表レジメの作成
13	読んだ論文の内容を発表（グループ②）	学生の発表 ディスカッション	発表レジメの作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総括	講義 ディスカッション	文献研究論文提出

テキスト	Bernard Spolsky. *Sociolinguistics* (Oxford University Press). 田中典子『はじめての論文：語用論的な視点で調査・研究する』（春風社）
参 考 書	井上史雄ほか『社会言語学の枠組み』（くろしお出版） 岡本真一郎（編）『コミュニケーションの社会心理学』（ナカニシヤ出版）
その他 特記事項	英語の予習と復習が必要である。

科目名	SES300: ゼミナールⅡ					担当教員	近藤　佐智子
開講期	秋	開講時限	水 4 限			研究室	4208
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	社会言語学、語用論、言語のバリエーション、言語と文化、会話分析、実証研究
授業の概要	ゼミナールⅠで得た社会言語学および語用論に関する知識を基に、個人で研究テーマを設定し、実際に調査研究を行い、成果を「ゼミ論文」としてまとめ、口頭でも発表する。その過程で論文の書き方、研究倫理、調査方法、分析方法、発表方法について学び、論文の完成に向けて段階的に準備を行う。
達成目標（授業の目的）	言語の分析能力を身に付けるために、学生は自ら実証研究を行い、その研究の妥当性や先行研究との関連を判断できるようになることを目標とする。また、他の学生の研究発表を聞き、ディスカッションをすることによって、論理的思考をし、論理的に他者を説得することができるようになる。
到達目標（学修成果）	社会言語学や語用論の理論や先行研究をふまえて、実証研究ができるようになる。研究にあたっては、先行研究論文を批判的に読み、仮説が検証できるような研究計画を立て、データを分析し、その結果を先行研究結果と比較考察し、結論を導き出すことができるようになる。また、論理的に文章を組み立てて論文を書き、その内容を効果的な視覚的補助を用いて発表することができるようになり、他者の発表に対しても分析的な発言ができるようになる。
評価方法	実証研究論文（40%）、5 回の発表（30%）、5 回の発表のレジメ提出（20%）、授業時の積極参加（10%）
評価基準	実証研究論文（40%） テーマや仮説の設定が適切か、仮説が検証できる調査方法か、データ分析が適切か、研究結果が論理的に説明できているか、研究結果を先行研究と比較して検証しているか、定められた書式にそって書かれているか 5 回の発表（30%） 研究計画、読んだ論文の報告、中間発表 1、中間発表 2、最終発表（計 5 回）の発表における発表の内容（理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたかどうか、的確に要点を提示しているかどうか）、発表の態度（声の大きさ、話し方などが効果的か） 5 回の発表のレジメ提出（20%） 研究計画、読んだ論文の報告、中間発表 1、中間発表 2 のレジメと最終発表のパワポ（内容のポイントを分かり安く提示したかどうか、全回提出したかどうか） 授業時の積極参加（10%） 授業への参加度、ディスカッションにおける発言の質と量
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う ・口頭で行う
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	研究の進め方、研究倫理教育、研究計画の発表、論文の書き方	講義、学生の発表 ディスカッション	研究計画提出、個人研究データ分析
2	読んだ論文の内容発表　グループ A	学生の発表 ディスカッション	各自論文を 1 本読み発表の準備、個人研究データ分析

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
3	読んだ論文の内容発表　グループ B	学生の発表 ディスカッション	各自論文を 1 本読み発表の準備、個人研究データ分析
4	研究中間報告発表（1）グループ A	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
5	研究中間報告発表（1）グループ B	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
6	研究中間報告発表（2）グループ A	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
7	研究中間報告発表（2）グループ B	学生の発表 ディスカッション	中間報告の準備
8	最終研究発表　　グループ① ゼミ論文作成	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成
9	最終研究発表　　グループ② ゼミ論文作成	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成
10	最終研究発表　　グループ③ ゼミ論文作成	学生の発表 ディスカッション	最終発表の準備、ゼミ論文作成
11	ゼミ論文の書式など最終確認	講義 ディスカッション	ゼミ論文初稿提出
12	ゼミ論文講評、ゼミ論文修正、Abstract の書き方	講義 論文修正	ゼミ論文の直し
13	ゼミ論文修正	論文修正	ゼミ論文の直し Abstract を書く
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	総括	ディスカッション	ゼミ論文最終稿提出

テキスト	田中典子『はじめての論文：語用論的な視点で調査・研究する』（春風社） オリジナル資料『論文テーマの決定と仮説の立て方』『論文の書き方』
参 考 書	戸田山和久『新版論文の教室：レポートから卒論まで』（NHK 出版） 『近藤ゼミ論文集』（図書館リザーブブック）

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	丹木　博一
開講期	春	開講時限	水 4 限			研究室	4214
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味、人間の尊厳
授業の概要	哲学及び倫理学の分野に関する諸問題について、学生が自らテーマを選び、研究を進める。古典を読む力を身につけ、ブックレポートを行い、互いにディスカッションを通して、テーマに関する理解を深めていく。この積み重ねによって、研究方法と発表方法を学び、文献読解、問題提起、論述の論理展開、討論に関する基礎力を身につける。
達成目標（授業の目的）	哲学及び倫理学における基本的な研究能力を身につけることが達成目標である。
到達目標（学修成果）	・毎回の授業において建設的に問いを提起し、討論を繰り広げることができる。 ・古典的著作を読み解く力をつけ、自ら問いを立て、理解を深めることができる。 ・研究に必要な文献を探して正しく読解し、理解内容を分かりやすく表現できる。 ・文献を批判的に読解し、自身の考えを筋道立てて研究論文の形に仕上げることができる。
評価方法	①　提出課題（20%＝2%×10 回） ②　授業参画（14%＝1%×14 回） ③　ブックレポート（26%） ④　小論文（4,000 字以上）（40%）
評価基準	①　提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。 ②　授業参画：積極的に授業に参加し、議論の深化発展に寄与できるかどうか。 ③　ブックレポート：自らの問いを練り上げ、その問いに関する適切な研究文献を選び、その文献を正確に読解し、理解内容を分かりやすく表現するとともに、批判的に吟味し、自身の意見を提示できるかどうか。 ④　小論文：自らの思考の軌跡を、研究論文の形式に仕上げ、分かりやすく論述できるかどうか。
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う／Moodle ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション・文献検索の方法・テキスト批評の方法	講義・話し合い・リアクションペーパー	春休みの宿題（ブックノート）の提出
2	ブックレポートの方法・小論文の書き方・研究倫理・次週から読むテキストの紹介	講義・話し合い・リアクションペーパー ディスカッション	研究テーマについてのアンケート提出・文献検索
3	「エレクトラ」前半の講読・テキスト批評	講義・話し合い・リアクションペーパー ディスカッション	教科書①pp.219-264 を要約し、問いを提起する。
4	「エレクトラ」後半の講読・テキスト批評	講義・話し合い・リアクションペーパー ディスカッション	教科書①pp.264-300 を要約し、問いを提起する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	「オイディプス王」前半の講読・テキスト批評	講義・話し合い・リアクションペーパー ディスカッション	教科書①pp.301-344 を要約し、問いを提起する。
6	「オイディプス王」後半の講読・テキスト批評	講義・話し合い・リアクションペーパー ディスカッション	教科書①pp.344-374 を要約し、問いを提起する。
7	「コロノスのオイディプス王」前半の講読・テキスト批評	講義・話し合い・リアクションペーパー ディスカッション	教科書①pp.453-497 を要約し、問いを提起する。
8	「コロノスのオイディプス王」後半の講読・テキスト批評	講義・話し合い・リアクションペーパー ディスカッション	教科書①pp.497-540 を要約し、問いを提起する。
9	「アンティゴネー」前半の講読・テキスト批評	発表・話し合い・リアクションペーパー ディスカッション	教科書①pp.147-181 を要約し、問いを提起する。
10	「アンティゴネー」後半の講読・テキスト批評	発表・話し合い・リアクションペーパー ディスカッション	教科書①pp.181-218 を要約し、問いを提起する。
11	ブックレポート　第 1 回	発表・話し合い・リアクションペーパー	発表準備
12	ブックレポート　第 2 回	発表・話し合い・リアクションペーパー	発表準備
13	論文作成のエクササイズ	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②を読んでおく。 小論文を提出。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	小論文に対する講評 論文作成のエクササイズ	講義 ディスカッション	ゼミ論についての研究計画を提出

テキスト	①『ギリシア悲劇 II ソポクレス』（ちくま文庫） ②河野哲也『レポート・論文の書き方入門』（慶應義塾大学出版会）
参 考 書	①丹下和彦『ギリシア悲劇』（中公新書） ②バーナード・ウィリアムズ『恥と運命の倫理学』（慶應義塾大学出版会）
その他 特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げ、わかりやすく伝えようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。

科目名	SES300: ゼミナールⅡ					担当教員	丹木　博一
開講期	秋	開講時限	水 4 限			研究室	4214
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	哲学、倫理学、人間のいのちの意味、人間の尊厳
授業の概要	自らが選んだ研究テーマをさらに絞り込み、ゼミナールⅠの研究発表において確認した各自の課題を解決することできるように、さらに研究を進めていく。各自一回研究発表を行い、時間をかけて議論をし、テーマに関する理解を深め、足りない点を自覚しながら、最終的に首尾一貫した研究論文を作成する。
達成目標（授業の目的）	哲学及び倫理学の分野における研究発表能力及び論文作成能力を身につけることが達成目標である。
到達目標（学修成果）	・毎回の授業において建設的に問いを提起し、討論を繰り広げることができる。 ・自らが提起した問いを研究的に追求し、古典を含む幅広い文献の読解に基づいて、説得力のある研究発表を行う力を身につける。 ・他の学生からの問いに応答する力を養い、適切な批判であればそれを受け入れ、粘り強く自らの論考を練り直し、説得力のある研究論文の形に仕上げることができる。
評価方法	①　提出課題（16%＝2%×8 回） ②　授業参画（14%＝1%×14 回） ③　研究発表（20%） ④　ゼミ論文（18,000～20,000 字）（50%）
評価基準	①　提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出したかどうか。 ②　授業参画：授業中のディスカッションに積極的に参加し、議論の創造的発展に寄与できるかどうか。 ③　研究発表：自身の哲学的・倫理学的な問いを練り上げ、先行研究を踏まえて、その問いに説得力のある回答を与えようと努めた成果を、分かりやすく発表できるかどうか。 ④　ゼミ論文：自分が提起した哲学的・倫理学的な問いについて、多様な議論に耳を傾けながら自分の立場を提示し、その妥当性について理由を挙げて論述できるかどうか。
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う／Moodle ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション・研究能力育成のためのエクササイズ・研究倫理・研究発表方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	夏休みの課題（ブックノート）提出
2	『ニコマコス倫理学』の構成と意図についてテキスト批評＋ゼミ論作成の手順	講義・ディスカッション・エクササイズ	ゼミ論レイアウト提出。教科書 pp.11-18 を読んでおく。
3	『ニコマコス倫理学』第 1 巻第 1～3・5 章講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.22-33, 38-41 を要約し、問題を提起する。
4	『ニコマコス倫理学』第 1 巻第 7～9 章講読・テキスト批評＋研究発表の方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.52-75 を要約し、問題を提起する。
5	『ニコマコス倫理学』第 2 巻第 1～3 章講読とテキスト批評＋ゼミ論作成の手順	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.100-117 を要約し、問題を提起する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	『ニコマコス倫理学』第 2 巻第 4〜5 章講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.118-127 を要約し、問題を提起する。
7	『ニコマコス倫理学』第 2 巻第 6〜8 章講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.128-151 を要約し、問題を提起する。
8	『ニコマコス倫理学』第 2 巻第 9 章〜第 3 巻第 1 章講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.152-170 を要約し、問題を提起する。
9	『ニコマコス倫理学』第 3 巻第 2〜3 章講読・テキスト批評	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.172-188 を要約し、問題を提起する。
10	『ニコマコス倫理学』第 3 巻第 4 章〜6 章講読・テキスト批評＋研究発表の方法	講義・ディスカッション・エクササイズ	教科書 pp.190-205 を要約し、問題を提起する。
11	研究発表　第 1 回	発表 ディスカッション	発表準備
12	研究発表　第 2 回	発表 ディスカッション	発表準備
13	研究発表の振り返り ゼミ論文の書き方	講義 エクササイズ	ゼミ論文初稿提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミ論文初稿についての講評 ゼミ論作成のためのエクササイズ	講義 エクササイズ	ゼミ論文への加筆修正

テキスト	アリストテレス『ニコマコス倫理学（上)』(光文社古典新訳文庫) 河野哲也『レポート・論文の書き方入門』(慶應義塾大学出版会)
参 考 書	J.O.アームソン『アリストテレス倫理学入門』(雨宮健訳)（岩波書店） 中畑正志『アリストテレスの哲学』(岩波新書)
その他 特記事項	テキストをていねいに読み進めようとする熱意と、自分の考えを練り上げ、わかりやすく伝えようとする粘り強さが求められる。分からないことや要望などがあれば、遠慮せず問い合わせること。

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	森下　園
開講期	春	開講時限	水 4 限			研究室	4202
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	歴史学、史資料論、論文作成作法、プレゼンテーション
授業の概要	論文の要約発表を通して、先行研究の批判的な読み方を学ぶ。並行してゼミ研究のテーマを決め、参考資料や先行研究の収集を行い、ゼミ研究のテーマと構成を決めて発表する。テーマは歴史学領域のほか、ジェンダー問題・紛争解決・環境問題などの社会問題、経済・経営や業界研究などからも設定できるが、歴史的背景を織り込むか、または社会史の観点を入れるなど歴史の視点を含めた研究を行うこととなる。
達成目標（授業の目的）	① 論文の要約を行うことで、史資料・先行研究の探し方、批判的な読み方、発表レジュメを用いての発表の作法を学ぶ。 ② この要約を通して、自分の論文のテーマや構成を設定し、適切な文献・資料を選定できるようにする。 ③ また他の学生の発表を聞いて、適切な意見を出せるようにする。
到達目標（学修成果）	① 論文を読み、テーマをどのように設定し、どんな資料を使い、どんな構成で論じているかを学び、その論文の評価とともに要約をレジュメにまとめて発表できるようにする。 ② 各自の研究テーマを設定し、参考文献・資料を選定し、発表の構成を組み立てられるようにする。 ③ 発表への質疑応答の仕方を学ぶ。
評価方法	① 要約発表：30% ② ゼミのテーマ・構成と参考文献の発表：10%×3 回＝30% ③ 要約発表、ゼミテーマ発表への質疑応答：4%×10 回＝40%
評価基準	① 要約発表：必要な下調べ、批判的な読み方、適切なレジュメ作成、発表ができているか ② ゼミのテーマ発表：テーマと参考文献は適切であるか、構成をきちんと考えているか ③ 他の学生の発表に対し、積極的に質問や意見を出しているか
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ゼミの概要説明、研究倫理について 要約発表の割り当て	講義、質疑応答	要約発表準備
2	要約発表のレジュメ作成の仕方、参考文献の探し方、発表の仕方の注意	講義、質疑応答、ディスカッション	要約発表準備
3	要約発表①	要約発表、質疑応答、講評	要約発表準備
4	要約発表②	要約発表、質疑応答、講評	要約発表準備
5	要約発表③	要約発表、質疑応答、講評	要約発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	ゼミ論文のテーマ設定、構成と参考文献リストなどの説明	講義、質疑応答、ディスカッション	ゼミ論文テーマ発表準備
7	ゼミ論文のテーマ発表①	ゼミ論文テーマ発表、質疑応答、講評	ゼミ論文テーマ発表準備
8	ゼミ論文のテーマ発表②	ゼミ論文テーマ発表、質疑応答、講評	ゼミ論文テーマ発表準備
9	ゼミ論の参考文献の探し方、引用の仕方についての説明	講義、質疑応答、ディスカッション	ゼミ論文構成発表準備
10	ゼミ論文の構成と参考文献発表 1 回目①	ゼミ論文構成発表、質疑応答、講評	ゼミ論文構成発表準備
11	ゼミ論文の構成と参考文献発表 1 回目②	ゼミ論文構成発表、質疑応答、講評	ゼミ論文構成発表準備
12	ゼミ論文の構成と参考文献発表 2 回目①	ゼミ論文構成発表、質疑応答、講評	ゼミ論文構成発表準備
13	ゼミ論文の構成と参考文献発表 2 回目②	ゼミ論構成発表、質疑応答、講評	ゼミ論文構成発表準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	今学期の振り返りと反省、夏休みの研究計画発表	研究計画発表、質疑応答、講評	夏休みの研究計画作成 学修ポートフォリオ用意

テキスト	『上智大学短期大学部　紀要』　https://www.jrc.sophia.ac.jp/research/bulletin/
参 考 書	上智大学史学科編『歴史家の調弦』（Sophia University Press） 上智大学史学科情報サイト　https://dept.sophia.ac.jp/human/history/

科目名	SES300: ゼミナールⅡ					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	水 4 限			研究室	4202
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	歴史学、プレゼンテーション、論文作成
授業の概要	ゼミⅠに引き続き、各自が選んだ研究テーマにそって個人報告を行い、内容をゼミ論文にまとめる。トピックは、歴史学などの専門領域のほか、ジェンダー問題・紛争解決・環境問題などの時事問題、経済・経営や業界研究などからも設定できるが、歴史的背景を織り込む、または社会史の観点を入れるなど歴史の視点を含めた研究を行うこととなる。
達成目標（授業の目的）	① 研究に必要な文献・資料を自ら選定して読み込み、発表レジュメを用いた研究報告として発表できるようにする。 ② 文献・資料を適切に使用し、引用註を付したゼミ論文を作成できるようにする。 ③ 他の学生の発表に対して、適切な質問と意見を出せるようにする。
到達目標（学修成果）	① 春学期のゼミ論文テーマ発表を発展させ、レジュメを作成し、アカデミックなスタイルでの中間研究報告ができるようになる。 ② 発表内容を、文献・資料を引用し、引用註をつけたアカデミックな書式でのゼミ論文にまとめることができる。 ③ 他の学生の発表に対して適切な質問や意見表明をし、自分が受けた質問などから改善点を学べるようになる。
評価方法	① レジュメを用いた中間研究報告：10%×3 回＝30% ② A4 で 10 枚以上、参考文献リスト、引用註つきのゼミ論文：33% ゼミ論文の発表：10% ③ 報告に対する意見・質問：3%×9 回＝27%
評価基準	① テーマが適切に設定され、必要な参考文献・資料を参照しているか、構成が適切であるか、発表レジュメが適切に作成されているか ② ゼミ論文の書式・締め切りを守り、参考文献を踏まえて自分なりの結論に至っているか、その内容を自分の言葉で発表できているか ③ 積極的に質問・意見を述べているか
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	夏季休暇中の成果報告、研究倫理についての説明、中間報告についての説明	発表、講義、質疑応答	成果報告準備 中間研究準備
2	ゼミ論文の構成と中間報告についての具体的な説明	講義、質疑応答	1 回目中間研究報告準備
3	ゼミ論文の 1 回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	1 回目中間研究報告準備
4	ゼミ論文の 1 回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	1 回目中間研究報告準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	ゼミ論文の書式、構成、引用註、表の扱いについて	発表、質疑応答、講評	2回目中間研究報告準備
6	ゼミ論文の2回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	2回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
7	ゼミ論文の2回目中間報告②	講義、質疑応答、ディスカッション	2回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
8	ゼミ論文の2回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	2回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
9	ゼミ論文の3回目中間報告①	発表、質疑応答、講評	3回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
10	ゼミ論文の3回目中間報告②	発表、質疑応答、講評	3回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
11	ゼミ論文の3回目中間報告③	発表、質疑応答、講評	3回目中間研究報告準備 ゼミ論文執筆
12	ゼミ論文の参考文献リスト・引用註の相互チェック、ゼミ論文の提出	質疑応答、講評	ゼミ発表の準備
13	ゼミ論文の発表（課題と結論部分、参考文献）	質疑応答、講評	ゼミ論文の修正版の仕上げ
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミ論文の講評 振り返りと研究の総括	ゼミ論文の相互講評、教員の講評	ゼミ論文振り返り ゼミ論文加筆修正

テキスト	なし、参考資料は moodle の「2025　短大部　ゼミ II（森下）」にアップロードする。
参 考 書	なし

科目名	SES200:　ゼミナール I					担当教員	宮崎　幸江
開講期	春	開講時限	水 4 限			研究室	4217
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-④, 5-①

キーワード	移民、バイリンガリズム、言語マイノリティ、言語教育政策、多文化共生
授業の概要	日本における移民の子どもの教育について基礎的な事柄を学ぶ。サービスラーニングを並行して行い、地域社会の課題を認識し、授業で学んだことを用いて地域の課題解決に向けてアクティブラーニングを行う。
達成目標（授業の目的）	本科目は「多文化共生とバイリンガリズム」について、移民という視点から見た教育問題に関する知識を深め、多文化共生社会の現場やバイリンガリズムに関する課題について批判的に考える力を養うことを目的とする。
到達目標（学修成果）	学期の終わりには、日本における言語マイノリティを対象とした教育の種類と課題を理解できるようになる。また、ゼミナール論文に向けて、多文化共生とバイリンガリズムの領域からテーマを見つけ、文献を読めるようになる。
評価方法	① 授業への積極参加：30% ② 口頭発表：20% ③ 期末レポート：50%
評価基準	① 授業への積極参加：自分とは異なる他者の意見を理解しようとしているかどうか、具体的、建設的な意見を述べることで、問題解決に向けた討議の活性化に貢献できたかどうかを評価する。 ② 口頭発表：学期中に 2~3 回担当箇所について、課題の内容を解説する。 ③ 期末レポート：ゼミナール II で取り組む研究テーマについて概要をまとめる。Prezi の設定の妥当性、先行研究が適切かどうかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	序章 グローバル時代の国際移動と変容する日本社会、研究倫理について	講義、グループディスカッション、質疑応答	序章を読み、要点をまとめてくる
2	第 1 章 オールドカマー：その歴史が問いかけるもの	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 1 章を読み課題の質問に答えて提出する
3	第 2 章 ニューカマー：加速する日本社会の多文化化	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 2 章を読み課題の質問に答えて提出する
4	第 3 章 海外帰国生：教育問題の変遷と新たな動向	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 3 章を読み課題の質問に答えて提出する
5	第 4 章 留学生：日本における外国人留学生と日本からの海外留学	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 4 章を読み課題の質問に答えて提出する
6	第 5 章 家族：多様な文化と教育戦略	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 5 章を読み課題の質問に答えて提出する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	第 6 章 学校：子どもの生きにくさから考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 6 章を読み課題の質問に答えて提出する
8	第 7 章 地域：見慣れた風景を問い直す	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 7 章を読み課題の質問に答えて提出する
9	第 8 章 労働市場：それはいかに移民の教育と関係するのか	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 8 章を読み課題の質問に答えて提出する
10	第 9 章 トランスナショナルな生活世界：往還する日系ブラジル人の教育経験から	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 9 章を読み課題の質問に答えて提出する
11	第 10 章 グローバル社会と教育格差：東アジアにおける教育移住を手がかりに	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 10 章を読み課題の質問に答えて提出する
12	第 11 章 移民国家アメリカの多文化教育：多様性の尊重と社会的公正をめざして	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 11 章を読み課題の質問に答えて提出する
13	第 12 章 多文化共生と日本の学校教育（施策編）	講義、グループディスカッション、質疑応答	第 12 章を読み課題の質問に答えて提出する
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめ	講義、グループディスカッション、質疑応答	夏休みの研究計画を作成する

テキスト	額賀美沙子他（2010）『移民から教育を考える―子どもたちを取り巻くグローバル時代の課題』（ナカニシヤ出版）
参 考 書	坂本光代（2021）『多様性を再考する―マジョリティに向けた多文化教育』（上智大学出版）
その他 特記事項	本ゼミナールを受講する学生は、在学中に「サービスラーニング（地域日本語支援 A または B）と「サービスラーニング（小中学校日本語支援 A または B）」を履修することが求められる。1 年次に前提科目となる「サービスラーニング入門講座」を履修していない場合は、ボランティアとしてコミュニティフレンド等に参加することが求められる。詳細はアドバイザーと個別に相談すること。

科目名	SES300: ゼミナールⅡ					担当教員	宮崎　幸江
開講期	秋	開講時限	水 4 限			研究室	4217
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-④, 5-①

キーワード	バイリンガリズム、言語マイノリティの言語と文化、言語教育政策、多文化共生
授業の概要	ゼミナール II では、日本における言語マイノリティの子どもの教育と多文化共生について、1 年かけて自主的に学んだことを発展させて研究を行う。先行研究の読み方、論点の絞り方、調査方法と結果のまとめ方等についても授業で段階的に学び、学年末にゼミナール論文を書く。
達成目標（授業の目的）	本科目は、1 年次から参加してきたサービスラーニング（コミュニティフレンドまたはカレッジフレンド）での経験と、ゼミナール I、プレゼミナールで学んだ知識を統合し、多文化共生社会の現状や課題について批判的に考える力と論文にまとめる力を養うことを目的とする。
到達目標（学修成果）	学期終了までに、先行研究を読み進め、自分の選んだ研究テーマについての考察を深め、理論やデータを元にゼミナール論文を執筆できるようになる。他の人の研究に対してディスカッションする力やプレゼンテーションのスキルも習得する。
評価方法	① 授業への積極参加：20% ② ゼミナール論文中間発表：10% ③ ゼミナール論文最終発表：20% ④ ゼミナール論文：50%
評価基準	① 授業への積極参加：授業で扱う文献を読んでディスカッションに参加しているか、質問ができるか、討議の活性化に貢献できたかどうかを評価する。 ② ゼミナール論文中間発表：各自の研究の進捗についてポイントを述べ、研究を進めるために足りないものは何かを的確につかめているかを評価する。 ③ ゼミナール論文最終発表：論文全体の構成と内容について評価する。 ④ ゼミナール論文：テーマにあった先行文献が選ばれているか、論拠に沿って意見がまとめられているか、引用や出典が適切に示されているかなどを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	夏休みの研究報告 1 回目 個人発表	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
2	夏休みの研究報告 2 回目 個人発表	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
3	夏休みの研究報告 3 回目 個人発表	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備
4	卒業研究の計画：論文の構成とアウトライン、先行研究の選び方について	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、テーマの絞り込み
5	文献購読 1 各自の選んだ文献の内容を発表	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、テーマの絞り込み

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	文献購読 2 文献の概要とポイントを発表する	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、テーマの絞り込み
7	論文の構成を考える 要約の書き方	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、テーマの絞り込み
8	ゼミナール論文、論点の絞り方 アウトラインについて	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、テーマの絞り込み
9	ゼミナール論文のアウトライン発表 構成の修正方法	発表と質疑応答、ディスカッション	文献購読、テーマの絞り込み
10	ゼミナール論文の中間発表 1	発表と質疑応答、ディスカッション	論文作成、発表準備
11	ゼミナール論文の中間発表 2	発表と質疑応答、ディスカッション	論文作成、発表準備
12	論文作成、引用、参考文献の書き方	発表と質疑応答、ディスカッション	論文作成、発表準備
13	フォーマットの整え方	発表と質疑応答、ディスカッション	論文の推敲
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	最終発表、まとめ	発表と質疑応答、ディスカッション	プレゼン準備、論文の推敲

その他 特記事項	1 年次から継続してきたサービスラーニングから、地域の課題解決に向けたアクティブラーニングを行い卒業研究とする。

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	狩野　晶子
開講期	春	開講時限	水 4 限			研究室	4203
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-④, 5-②

キーワード	コミュニカティブな言語教育、言語習得、児童英語教育、アクティブラーニング
授業の概要	「言葉をおぼえる、言葉をならう、言葉を教えるとは」をテーマに、言葉の教育、習得、運用の観点から言葉と人との関わりを扱う。プレ・ゼミナールで学んだ基本的な知識をベースに、ゼミナール論文作成へつながる個人のテーマを決め、内容を絞り込み深めてゆき、ゼミナール II での発表、論文作成に向け準備を整える。
達成目標（授業の目的）	各自の研究テーマについて研究調査の基本的な進め方を体得する。文献の探し方、引用の仕方、研究倫理を学び、資料を読み、理解し、内容について要旨をまとめる。発表を通じて効果的なプレゼンテーションのスキルを学ぶ。発表、ディスカッション、グループワークを通して自律的、主体的に学ぶ姿勢を養うことが授業の目的である。
到達目標（学修成果）	各自が興味関心のあるテーマについて文献を調べ、聞き手がその内容を理解し関心を共有できる発表と質疑応答を行う。発表者は担当箇所について十分に理解を深め、さらに他の文献・資料にもあたりレジュメを作成し発表準備を行う。聞く側は発表に基づいた的確な質問、コメントができるよう、聞く際のポイントを学び、実践する。発表の内容をもとにディスカッションを行う手法を学び、実践する。
評価方法	①授業時の活動への参加姿勢（30%）、②リアクションペーパー及びフィードバック（30%）、③プレゼンテーション（20%）、④期末課題（20%）
評価基準	①事前に必要な準備や下調べを行ったうえで授業に参加し、ディスカッション等に積極的に関わり、具体的かつ建設的な意見を出して討論への貢献ができる。 ②授業で得た知見をもとに意見や観点を、読み手を意識した的確な表現で文章化できる。 ③特定のテーマについて資料や文献を調べ、聞き手が内容を理解しやすい構成とヴィジュアル資料を作成し、興味・関心を共有できるように準備し発表し、質疑応答を行える。 ④ゼミナール論文の中間報告として、テーマに沿って調べた内容やテキストの要約を、読み手を意識したわかりやすく的確な表現で文章化できる。さらに、発表等に活用することを念頭に置いて、所定の書式に沿った資料として作成できる。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	プレ・ゼミナール概観・総括 各自が興味のあるテーマを考える	グループワーク	プレ・ゼミナールテキスト復習、テーマ予備調査
2	各自が興味のあるテーマを調べ、深める 文献の探し方、研究倫理指導	講義、グループワーク 適宜図書館等を利用	テーマ探し、文献検索 ブックリスト作成
3	プレゼンテーションスキルの具体的指導	講義、実践指導 学生フィードバック	ポイント要約 発表準備
4	各自のテーマを深め、調べる	個別活動、面談 教員による個別指導	各自テーマを調べる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	各自のテーマ・調べた内容について発表・フィードバック（1）	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
6	各自のテーマ・調べた内容について発表・フィードバック（2）	学生発表、 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
7	発表省察 各自のテーマを掘り下げる	省察、相互評価、 ディスカッション	リアクションペーパー
8	学生によるプレゼンテーション・フィードバック（1）	学生発表、質疑応答 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
9	学生によるプレゼンテーション・フィードバック（2）	学生発表、質疑応答 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
10	学生によるプレゼンテーション・フィードバック（3）	学生発表、質疑応答 相互評価、講評	発表準備 リアクションペーパー
11	プレゼンテーション省察 各自のテーマの方向性の検討	省察、相互評価、 ディスカッション	リアクションペーパー
12	テーマに沿ったブックリスト発表準備	ディスカッション、 グループワーク	ブックリスト更新版作成・発表準備
13	ブックリスト発表・相互フィードバック	学生発表、質疑応答 相互評価、講評	ブックリスト更新版の改定・発表準備・リアペ
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミナールⅠの総括、各自の研究テーマについて方向性と内容の確認	省察、相互評価、 ディスカッション	テーマについてアウトライン作成

テキスト	指定なし
参考書	廣森友人『改訂版　英語学習のメカニズム―第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法』（大修館書店）

科目名	SES300: ゼミナールⅡ					担当教員	狩野　晶子
開講期	秋	開講時限	水 4 限			研究室	4203
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-④, 5-②

キーワード	コミュニカティブな言語教育、言語習得、児童英語教育、アクティブラーニング
授業の概要	「言葉をおぼえる、言葉をならう、言葉を教えるとは」をテーマに、プレゼミナールとゼミナール I で学んだ知識をベースに、各自が設定したテーマを調べ、発表の過程を通して内容をまとめ、卒業課題となるゼミナール論文を完成させる。研究内容を学術論文の体裁に従ってまとめる具体的方法と、研究倫理、効果的なプレゼンテーションのスキルを併せて学ぶ。
達成目標（授業の目的）	各自の研究テーマについて研究調査を進め、学術論文としての体裁を整えたゼミナール論文を作成する。そのゼミナール論文のアウトラインをゼミナール最終発表として、パワーポイントスライドショー形式で他のゼミナール生に向けて発表する。発表、ディスカッション、グループワークを通して自律的、主体的に学ぶ姿勢を養うことがこの授業の目的である。
到達目標（学修成果）	各自の研究テーマに沿って学びを深め、構成や書式などの基本的な規定を守ったうえで、他のゼミナール生が内容を理解し関心を共有できるようなゼミナール論文を書く。最終発表としてゼミナール論文の概要を短く適切にまとめ、ヴィジュアル資料を活用し、聞く者にわかりやすく発表する。他者の発表を聞き的確な質問、コメントをする力を養う。今後の進路に向け、自律的、主体的学習者としての意識を持ち、実践する。
評価方法	①授業時の活動への参加姿勢（20%）、②リアクションペーパー及びフィードバック（20%）、③プレゼンテーション（30%）、④ゼミナール論文（30%）。
評価基準	①事前に必要な準備や下調べを行ったうえで授業に参加し、ディスカッション等に積極的に関わり、具体的かつ建設的な意見を出して討論への貢献ができる。 ②授業で得た知見をもとに自らの意見や観点を、読み手を意識したわかりやすく的確な表現で文章化できる。 ③ゼミナール論文の内容について聞き手が理解しやすい構成とヴィジュアル資料を活用した準備と発表、質疑応答を行える。 ④ゼミナール論文として十分な文献や資料を調べ、所定の構成および書式に則った文章を作成できる。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	論文作成に向け進捗状況と課題点の確認	グループワーク 教員との個別相談	プレゼミナールテキスト復習 テーマアウトライン準備
2	論文作成に向け各自のテーマについてグループで協議、相互コメント	グループワーク ディスカッション	文献研究 テーマアウトライン準備
3	論文作成に向け各自のテーマに従って準備、研究倫理について確認と指導	個別活動 教員との個別相談	文献研究 テーマ概要発表準備
4	論文作成に向け各自のテーマの概要を発表、相互フィードバック（1）	学生発表、ディスカッション、講評	発表準備 リアクションペーパー

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	論文作成に向け各自のテーマの概要を発表、相互フィードバック（2）	学生発表、ディスカッション、講評	発表準備 リアクションペーパー
6	各自のテーマ概要を再考する 構成と参考文献を検討する	ディスカッション、 教員による個別指導	発表準備 リアクションペーパー
7	最終プレゼンテーション（論文報告）のための準備（1）	ディスカッション、 教員による個別指導	発表準備 リアクションペーパー
8	最終プレゼンテーション（論文報告）のための準備（2）	ディスカッション、 教員による個別指導	発表準備 リアクションペーパー
9	学生による最終プレゼンテーション（1） 論文作成指導	学生発表、相互評価、 講評、論文個別指導	発表準備 リアクションペーパー
10	学生による最終プレゼンテーション（2） 論文作成指導	学生発表、相互評価、 講評、論文個別指導	発表準備 リアクションペーパー
11	学生による最終プレゼンテーション（3） 論文作成指導	学生発表、相互評価、 講評、論文個別指導	発表準備 リアクションペーパー
12	最終プレゼンテーション省察 論文作成指導	ディスカッション、 論文個別指導	発表準備 リアクションペーパー
13	論文初校提出：ゼミナール論文を相互に読みあい相互校正	相互校正、相互評価	論文初校修正、最終稿へ向け修正方針をまとめる
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミナール論文を相互に読みあい講評と校正、ゼミナール総括	振り返り活動、相互校正、ディスカッション	論文初校修正方針の確認、論文最終稿提出準備

テキスト	なし
参 考 書	廣森友人『改訂版　英語学習のメカニズム―第二言語習得研究にもとづく効果的な勉強法』（大修館書店）

科目名	SES200: ゼミナールⅠ					担当教員	C. Oliver
開講期	春	開講時限	水4限			研究室	4205
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	multiculturalism, research skills, presentation
授業の概要	Building upon what students learned in the Pre-seminar, in this course students will investigate various key issues related to multiculturalism. These may include, for instance, illegal immigration, ethnic identity, religious intolerance, racism, language laws, and multicultural education. Through independent study and presentations during the semester, students will develop their research and academic presentation skills.
達成目標（授業の目的）	Students will learn to summarize, organize, present, and ask questions about information that they have found in books and other sources. They will also improve their ability to discuss their own study/career interests.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, students will be able to summarize both general and specific information about an issue and about that issue in a specific country; ask good questions to guide their own future study of an issue; prepare a well-organized outline for a presentation; do a well-organized 7-10 minute presentation with good delivery; discuss their own study/career interests in relation to specific universities/companies that they would like to enter.
評価方法	Participation (45%), Written work, including presentation handouts (20%), Presentations (35%).
評価基準	・ Participation: active involvement in everyday discussions and other class activities; effort to regularly use English; shows improvement in ability to discuss study/career interests; ・ Written work: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, summarizes both general and focused information, well organized, includes appropriate study questions; ・ Presentations: appropriate topic, appropriate length, summarize both general and specific information, well organized (following outline and including a preview), include appropriate study questions, demonstrate good delivery (eye contact, voice, etc.).
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Orientation: perspectives on multiculturalism. Explanation of Presentations #1 and #2.	explanation by teacher, small-group discussion	Read syllabus carefully. Review presentation explanation.
2	Talking/writing about one's study/career interests (with follow-up in class 6). Review: research basics/ethics.	lecture, small-group discussion	Review class notes, begin preparing for presentation. Write presentation Topic Sheet.
3	Presentation #1. Topics: (1) Immigration and (2) Identity.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
4	Presentation #1. Topics: (3) Religion and (4) Attitudes/Ideologies.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
5	Presentation #1. Topics: (5) Policies/Laws and (6) Social Action and Organizations.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	Asking good questions for research. Discussing one's study/career interests (follow-up from class 2). Explanation of Presentation #3.	lecture, small-group discussion, individual guidance from teacher	Review class notes, prepare written statement of study/career interests.
7	Presentation #2. Topics: (1) Immigration, (2) Identity, and (3) Religion.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
8	Presentation #2. Topics: (4) Attitudes/Ideologies, (5) Policies/Laws, and (6) Social Action and Organizations.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation, including handout.
9	Research basics/ethics: using information from sources (avoiding plagiarism). Discussion of research progress for Presentation #3.	lecture, small-group work	Review class notes. Write Reading Report (on material related to Presentation #3).
10	Presentation preparation. Discuss research progress for Presentation #3.	small-group discussion, individual guidance	Write presentation Topic Sheet. Write Reading Report (on material related to Pres. #3).
11	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation content, handout/outline.
12	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation content, handout/outline.
13	Presentation #3: Topic and country decided by each student.	presentations, small-group discussion	Prepare presentation content, handout/outline.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Remaining presentations, if any. Recap of Spring semester. Planning for Fall semester (including Seminar II Research Project Topic sheet).	explanation by teacher, small-group discussion	Review class notes, handouts.

テキスト	None. To prepare for presentations, students will select their own materials to read.
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class (if submitted in the classroom) or before the start of class (if submitted online).

科目名	SES300: ゼミナールⅡ					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	水 4 限			研究室	4205
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	multiculturalism, independent research project, presentation, report
授業の概要	In this course, each student will do an independent research project on a topic related to multiculturalism. For this, students will choose their own topic, think of their own research question, and find related books and other materials to read. In addition to two short presentations, each student will also do a longer final presentation and write a report about her research findings.
達成目標（授業の目的）	Students will develop their ability to do an independent research project and to discuss their study interests.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students should be able to: ・ formulate a suitable question for an independent research project; ・ conduct reading-based research focused on that research question; ・ summarize key information related to the research topic; ・ describe and analyze “data” related to the research topic; ・ organize information in a manner suited to a research report; ・ explain one’s study interests in relation to ideas and information learned from books or other materials.
評価方法	Participation (25%), Homework (25%), Presentations (25%), Report (25%).
評価基準	・ Participation: active involvement in discussions and other everyday class activities, effort to regularly use English, effort to explain one’s study interests in relation to ideas and information learned from books or other materials; ・ Homework: completed thoroughly and according to instructions, submitted on time, summarizes key information related to the research topic; ・ Presentations and Report: suitability of research question; evidence of research focused on the research question; summarizing of information related to the research topic; description and analysis of “data” related to the research topic; organization of information.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Overview of Fall semester. Discuss Research Project Topic prepared by each student. Explanation of presentation #1.	explanation by teacher, small-group discussion	Prepare “Research Project Topic” document in advance.
2	Talking/writing about one’s studies, school life, and future vision. Explanation of presentation #2.	explanation by teacher, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare SOP worksheet.
3	Short presentation #1: your independent research topic.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
4	Short presentation #1: your independent research topic.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Short presentation #2: describing and analyzing “data.”	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
6	Short presentation #2: describing and analyzing “data.”	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
7	Short presentation #2: describing and analyzing “data.” Explanation of final presentation.	presentations, small-group discussion	Write weekly reading report. Prepare presentation.
8	Organizing your final Seminar report. Review research basics/ethics: avoiding plagiarism.	lecture, small-group work	Review handouts provided in class.
9	Writing an Introduction (including “thesis statement”) and Conclusion.	lecture, small-group work	Review handouts provided in class.
10	Prepare for final presentation, final Seminar report	individual guidance from teacher	Write draft of presentation outline.
11	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
12	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
13	Final presentation: your research findings	presentations, whole-class discussion	Prepare presentation, handout.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Remaining presentations, if any. Collection of Seminar report. Recap of semester.	small-group discussion, in-class writing	Finish writing final Seminar report.

テキスト	None. For their own independent research projects, students will choose their own books and other materials to read.
その他 特記事項	All work for this course is to be done in English. Homework must be submitted at the very beginning of class (if submitted in the classroom) or before the start of class (if submitted online).

科目名	SES200: ゼミナールⅠ					担当教員	杉村　美佳
開講期	春	開講時限	水4限			研究室	4220
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	国際教育学研究、国際教育協力、開発教育、参加型学習の歴史と現状、総合学習
授業の概要	開発教育の理念と歴史、地球的課題と開発教育、今後の開発教育の展開について専門的に学ぶ。具体的には、日英テキストの講読を通して、SDGs、国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどをテーマとした開発教育の方法やカリキュラムのあり方を考察する。また、実際に開発教育ワークショップに参加し、開発教育の実践に必要な知識や技術を習得する。最後に各自自由にゼミナール論文のテーマを設定し、構想発表を行う。
達成目標（授業の目的）	国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどの地球的諸課題について理解を深めた上で、これらをテーマとした開発教育の実践に必要な技術を習得する。またゼミナール論文のテーマを設定して文献を収集し、論点を整理して論文の構想を練り上げる力を習得する。
到達目標（学修成果）	①国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどの地球的諸課題について、教育を通して問題を解決するための方法を考察することができる。 ②開発教育のワークショップへの参加を通して実践に必要な知識や技術を習得する。 ③ゼミナール論文のテーマを設定して先行研究を整理し、研究課題や研究方法などの構想を適切にまとめることができる。
評価方法	①討論への参画（20%）、②テキスト発表（30%）、③ゼミナール論文の構想発表（20%）、④リアクションペーパー（20%）、⑤ブックレポート（10%）
評価基準	①討論への参画：研究発表や論点に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 ②テキスト発表：テキストの内容を的確に整理して考察を加えたレジュメを作成し、効果的な発表を行っているか。英文原書の内容を的確に理解できているか。 ③ゼミナール論文の構想発表：ゼミナール論文のテーマを適切に設定して先行研究を整理し、研究課題や方法などの構想を論理的にまとめているか。 ④リアクションペーパー：論題について発表内容をふまえて論理的に考察できているか。 ⑤ブックレポート：文献を適切に要約して論点を整理し、意見を論理的に述べているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	開発教育の内容・方法・カリキュラムと研究倫理	講義・討論・リアクションペーパー	テキスト第2章の要約 発表・討論の準備
2	MDGs から SDGs へ	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第4章の要約 発表・討論の準備
3	環境問題と ESD	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第6章の要約 発表・討論の準備
4	国際協力	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第7章の要約 発表・討論の準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	貧困と格差	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 8 章の要約 発表・討論の準備
6	紛争と平和	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 10 章の要約 発表・討論の準備
7	子どもの権利条約	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 12 章の要約 発表・討論の準備
8	開発教育ワークショップ	ワークショップ・振り返りシート	配布資料の講読 発表・討論の準備
9	ジェンダーと開発	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 13 章の要約 発表・討論の準備
10	人の移動と多文化共生社会	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 14 章の要約 発表の準備
11	ゼミナール論文構想発表（1）、*Women's Education in Developing Countries* の講読（1）	発表・討論・リアクションペーパー	テキスト pp.285-287 の翻訳 発表の準備
12	ゼミナール論文構想発表（2）、*Women's Education in Developing Countries* の講読（2）	発表・討論・リアクションペーパー	テキスト pp.291-293 の翻訳 発表の準備
13	ゼミナール論文構想発表（3）、*Women's Education in Developing Countries* の講読（3）	発表・討論・リアクションペーパー	テキスト pp.294-296 の翻訳 発表の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミナール論文構想発表（4）、*Women's Education in Developing Countries* の講読（4）	発表・討論・リアクションペーパー	テキスト pp.297-300 の翻訳 発表の準備

テキスト	田中治彦『SDGs と開発教育』（学文社） King, Elizabeth M. *Women's Education in Developing Countries* (World Bank).
参 考 書	田中治彦・杉村美紀編『多文化共生社会における ESD・市民教育』（上智大学出版） 小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書）
その他 特記事項	発表の 1 週間前までに教員にレジュメを提出し、指導を受けること。 ゼミ生には討議への活発な参加を求める。

科目名	SES300: ゼミナールⅡ					担当教員	杉村　美佳
開講期	秋	開講時限	水 4 限			研究室	4220
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	先行研究の検討、研究課題・研究方法の設定、文献研究・調査、ゼミナール論文の作成、発表
授業の概要	プレ・ゼミナールおよびゼミナールⅠで学んだ国際教育学研究の基礎的な理論と手法を用いて実際にゼミナール論文を作成する。毎回発表者が研究成果を報告し、ゼミ生全員で課題を討議する。また、開発教育のワークショップを実践する。
達成目標（授業の目的）	国際教育学研究の基礎的な理論と研究手法を用いて教育事象を論理的、批判的に考察し、ゼミナール論文を作成、完成させることを目標とする。また、研究成果の報告ではお互いの課題を見出して討議し、効果的に発表する力を培う。さらに開発教育の実践を通して基礎的な指導技術を修得する。
到達目標（学修成果）	①先行研究の検討、研究課題の設定、文献研究や各種調査などを通して論文作成に必要な知識、技法を修得し、研究論文の形に仕上げることができる。 ②研究内容を論理的に論述し、独自の考察を加え、説得力のある発表ができる。 ③毎回発表者が研究成果を報告し、ゼミ生全員で課題を討議することを通して、教育事象を論理的、批判的に分析し、考察できるようになる。 ④開発教育の実践を通して基礎的な指導技術を修得する。
評価方法	①討論への参画（10%）、②リアクションペーパー（20%）、③研究発表（30%）、④ゼミナール論文（40%）
評価基準	①討論への参画：研究発表に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 ②リアクションペーパー：論題について発表内容をふまえて論理的に考察できているか。 ③研究発表：研究内容を論理的に論述、考察し、説得力のある発表になっているか。 ④ゼミナール論文：先行研究の検討、研究課題の設定、研究方法、内容が論文の技法に即していて適切であるか。書式や提出期限を守っているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	ゼミナール論文の書き方、研究倫理	発表・解説・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
2	ゼミナール論文中間発表と討論（1）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
3	ゼミナール論文中間発表と討論（2）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
4	ゼミナール論文中間発表と討論（3）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
5	ゼミナール論文中間発表と討論（4）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	ゼミナール論文中間発表と討論（5）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
7	開発教育ワークショップの準備	討論・相互評価講評	解説の要約、教材の準備
8	開発教育ワークショップの実践	発表・討論・リアクションペーパー	教材の準備、論文の作成
9	ゼミナール論文発表と討論（1）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
10	ゼミナール論文発表と討論（2）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
11	ゼミナール論文発表と討論（3）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
12	ゼミナール論文発表と討論（4）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
13	ゼミナール論文発表と討論（5）	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、論文の作成 討論の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミナール論文発表会	発表・討論・リアクションペーパー	発表の準備、スライドの作成

テキスト	特になし。適宜、プレ・ゼミナールおよびゼミナールⅠで使用したテキストを参照する。
参 考 書	小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書） 「杉村ゼミナール論文集」
その他 特記事項	ゼミ生には討議への活発な参加を求める。発表の1週間前までに原稿を教員に提出し、添削を受けること。

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	神谷　雅仁
開講期	春	開講時限	水 4 限			研究室	4215
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	社会言語学、言語変種、アカデミック・スキルズの鍛錬・強化、批判的思考、研究倫理
授業の概要	学生は社会言語学という専門分野の内容を題材にした英語の専門書を読み、多言語社会や言語政策、言語のバリエーション等、様々な言語事象について学び、考える。そして自ら選択したチャプターに関する発表を通し、社会言語学についてより理解を深める。また自分の学問的興味をもとにひとつテーマを取り上げ、そのテーマに沿って文献を調べ、まとめ、発表を行う。加えてレポートを作成するなどのアカデミック・スキルズ修練のための活動も行う。
達成目標（授業の目的）	学生は計2回の発表を通し、言語とその使用に関するテーマ、そして自らの興味あるテーマについて広く深く学ぶと同時に、分析的・批判的に物事を考察することができるようになる。そして自分が理解した内容や得た知識を相手に分かりやすく伝えることができるようになる。また社会言語学的な視点から自分たちの母語や学習言語についての理解を深め、最終的には自己研究へ向けたテーマ設定や問題提起ができるようになる。
到達目標（学修成果）	学生は発表を通して意見の整理の仕方、レジュメの作成、効果的な発表の方法、先行文献の使い方、発表後のディスカッションや質疑応答の進め方などについて学び、それらを的確に実践できるようになる。また言語を社会的な視点から考察し、それを自らの生活や経験という文脈の中で捉えられるようになる。さらに学期末レポートを作成する中で、先行研究の重要性や自らの意見・主張の大切さ、文献を批判的に読む力、文献リストの書き方などを学び、それらの観点をレポート作成に活かせるようになる。
評価方法	・発表①（Textbook *Sociolinguistics* by B. Spolsky のチャプター・プレゼンテーション）：25% ・発表②（自己研究テーマに関するプレゼンテーション）：25% ・授業参加・提出物（discussion and chapter summary）：10% ・学期末レポート（Term paper）：20% ・Article Note: 20%
評価基準	・発表 1、2 では、発表の進め方、レジュメの書き方、先行研究の扱い、文献の示し方、そしてディスカッション時の質問に対する受け答えの適切さなどが評価される。 ・授業参加はディスカッション時に自分の意見や見解を表明できたかどうかが評価される。特に論理的、分析的、批判的な視点をともなう意見には高い評価が与えられる。また提出物とは毎回の chapter summary（各章の TEXT に関する要約／まとめ※学期前半のみ）を指し、指示に従い、期限内に提出できたかどうかが問われる。 ・学期末レポート（Term paper）は自己研究テーマについて 2 回目の発表内容をもとに、それを自らの論点や問題提起を含めたレポートの体裁にまとめ、提出期限内に提出できたかどうかが評価される。 ・Article Note は各エントリーに必要な英語による言語活動がすべて含まれており、設定された回数のエントリー数が達成できている状態で提出期限内に提出できたかどうかが評価される。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Overview 発表のスケジューリング	講義、理解度のチェック、教員コメント	テキストの Preface を読む
2	About giving a presentation, writing a resume, discussion and assignments, 研究倫理について	講義、ディスカッション、教員コメント	配布資料を読む
3	Ch.1: The social study of language	講義、ディスカッション、教員コメント	関連チャプターを読み、チャプター・サマリーを準備
4	Ch.2: The ethnography of speaking and the structure of conversation	講義、ディスカッション、教員コメント	関連チャプターを読み、チャプター・サマリーを準備
5	Ch.3: Locating variation in speech	講義、ディスカッション、教員コメント	関連チャプターを読み、チャプター・サマリーを準備
6	学生による発表①（Textbook *Sociolinguistics* のチャプター・プレゼンテーション）	発表、講評、ディスカッション	レジュメ作成を含む発表の準備
7	Ch.4: Styles, gender, and social class（前半）	講義、ディスカッション、教員コメント	関連チャプターを読み、チャプター・サマリーを準備
8	Ch.4: Styles, gender, and social class（後半）	講義、ディスカッション、教員コメント	関連チャプターを読み、チャプター・サマリーを準備
9	Ch.5: Bilinguals and bilingualism	講義、ディスカッション、教員コメント	関連チャプターを読み、チャプター・サマリーを準備
10	Ch.6: Societal multilingualism（前半）	講義、ディスカッション、教員コメント	関連チャプターを読み、チャプター・サマリーを準備
11	Ch.6: Societal multilingualism（後半）	講義、ディスカッション、教員コメント	関連チャプターを読み、チャプター・サマリーを準備
12	Ch.7: Applied sociolinguistics	講義、ディスカッション、教員コメント	関連チャプターを読み、チャプター・サマリーを準備
13	学生による発表②（自己研究テーマに関するプレゼンテーション）	発表、講評、ディスカッション	レジュメ作成を含む発表の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Course Review まとめ	講義、ディスカッション、教員コメント	2 回のプレゼンテーションで使用したレジュメの見直し

テキスト	Spolsky, B. *Sociolinguistics* (Oxford U.P.).
参 考 書	東照二『社会言語学入門』（研究社） 田中春美・田中幸子『よくわかる社会言語学』（ミネルヴァ書房）

科目名	SES300: ゼミナールⅡ					担当教員	神谷　雅仁
開講期	秋	開講時限	水 4 限			研究室	4215
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	ゼミナール論文、テーマ設定、問題提起と仮説、批判的思考、論理的文章構成、研究倫理
授業の概要	学生はゼミナールⅠで専門的な学びに必要なアカデミック・スキルズをしっかりと学んだ後、本講において自らの学問的興味に従い、ゼミナール論文の作成に向けテーマの絞り込みをしていく。学生は学期中に 1~2 回の中間発表を行い、自らの研究成果をまとめ、最終的に論文として提出することを目指す。毎回の授業は講義、質疑応答、ワーク等で構成され、内容は論文指導に関する様々なテーマを扱う。
達成目標（授業の目的）	本講では学びの集大成としてゼミナール論文の作成を課しているが、学生たちは自らの自己研究に必要な様々な知識や研究方法を専門書の理解を通じて修得していく。同時に発表の仕方、レジュメの作成、ディスカッション時のポイントなどについても、引き続き実践を通して研鑽していく。
到達目標（学修成果）	本講を通して学生はゼミナール論文作成という大きな目標を掲げ、それを達成するため計画的にそして確実に必要な作業を進めていくことができるようになる。具体的には先行研究の収集、論文構成の決定（仮説やデータ収集法）、実際のデータ収集と分析、そして実際の執筆作業など論文完成までの長い工程の中をひとつずつ着実にステップを踏みながら、最終的に自らの計画した目標を達成することができるようになる。同時にゼミナール論文の作成や発表の機会を通し、自らのテーマ設定の仕方や先行研究の重要性について学ぶ一方で、既存の主張や考え方、また理論に対する批判的な視点も養われていく。
評価方法	・ゼミナール論文：40% ・中間発表（2 回）および質疑応答：30% ・授業参加：30%
評価基準	・ゼミナール論文：提出された論文が、全体の構成を含めひとつの論文として成り立っているかどうかを、総合的に評価する。授業内で学んだことが活かされたかたちで論文が完成されている必要がある。 ・中間発表①、②：自らの研究内容を口頭、そしてレジュメを用いてわかりやすく説明しているかが問われる。ディスカッション：発表した内容に関して質問された際、明確に、過不足なく回答しているかが問われる。 ・授業参加：各回の授業において、学生が学修内容に関して意見、質問、コメント等をし、授業に積極的に参加したかどうかが問われる。また、他の発表者のプレゼンテーションを聞く機会があった場合には、発表者に対して質問やコメントを含めたフィードバックを返しているかどうか、そしてそのフィードバックの内容が発表者に対して建設的、批判的であり、また示唆を与えるものであるかどうかが問われる。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Overview：授業内容・運営、評価方法、課題などの説明	講義、質疑応答	ゼミナールⅠで学んだ内容を振り返る
2	ゼミナール論文の作成に向けて、研究倫理	講義、質疑応答	関連資料を読み、「論文の基本構成」を考える。
3	論文の基本構成 1：テーマ選定、課題設定	講義、質疑応答	関連資料を読み、自己研究を進める。
4	論文の基本構成 2：先行研究の重要性、文献探し	講義、質疑応答	関連資料を読み、自己研究を進める。
5	自己研究の中間発表①	発表、質疑応答、講評	発表の準備、修正点の確認
6	論文の基本構成 3：問題提起と仮説の設定	講義、質疑応答	関連資料を読み、自己研究を進める。
7	論文の基本構成 4：データについて	講義、質疑応答	関連資料を読み、自己研究を進める。
8	論文の基本構成 5：データ分析／考察、および解釈について	講義、質疑応答	関連資料を読み、自己研究を進める。
9	論文の基本構成 6：研究結果から結論を導き出す	講義、質疑応答	関連資料を読み、自己研究を進める。
10	論文の基本構成 7：その他、論文作成に必要な事柄について学ぶ	講義、質疑応答	関連資料を読み、自己研究を進める。
11	論文執筆に関する注意点 1：論文のタイトル、および基本フォーマット	講義、質疑応答	関連資料を読み、自己研究を進める。
12	自己研究の中間発表②	発表、質疑応答、講評	発表の準備、修正点の確認
13	論文執筆に関する注意点 2：論文で使用される言語	講義、質疑応答	関連資料を読み、自己研究を進める。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミナール論文の提出 Course review まとめ	講義、質疑応答	関連資料を読み、自己研究を進める。

テキスト	テキストは使用せず。教員の準備する論文作成に関する資料を使用する。
参考書	白井利明・高橋一郎（2017）『よくわかる卒論の書き方（第 2 版）』（ミネルヴァ書房） 石坂春秋（2003）『レポート・論文・プレゼンスキルズーレポート・論文執筆の基礎とプレゼンテーション』（くろしお出版）

科目名	SES200: ゼミナールⅠ					担当教員	小林　宏子
開講期	春	開講時限	水 4 限			研究室	4204
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	1-①, 4-④

キーワード	キリスト教人間観、解放者イエス、救い、福音、罪、汚れ、聖性、神の似姿、聖母マリア
授業の概要	福音書に登場する女性たちとイエスとの出会いに注目し、当時の社会において女性たちが背負っていた制度的・宗教的な差別と抑圧からイエスがどのように解放したのかを考察し、現代社会の中で生きる女性たちが直面する問題や苦しみと関連づけながら、その原因や構造について学び、各自の個人研究の考察を深める。
達成目標（授業の目的）	「神の似姿」として創造された女性という視点でキリスト教ヒューマニズムの理解を深める。当時の社会通念に囚われることのないイエスとの出会いがもたらした、女性本来の姿とはどのようなものであるかを知り、現代社会が抱える課題を見つける視点を得る。
到達目標（学修成果）	・テキスト及び聖書箇所の考察を通して、自分の意見をまとめ、発表する力をつける。 ・聖書の時代特有の問題と現代社会にも共通する課題とを見出し、女性が直面する課題について考察する力をつける。話し合いの司会を交替で担当する。 ・個人研究に必要な文献を探して読解し、理解した内容を的確にまとめ、自分の見解を論理的に記述し、口頭表現する力をつける。
評価方法	①春休み課題及び事前課題（8%＋3%×8 回＝32%） ②テキスト担当箇所の発表（10%×2 回＝20%）、授業参画の積極性（1%×14 回=14%） ③期末レポート（20%）と発表（14%）
評価基準	①課題として指示されたテキストの内容を的確に理解した上で、授業での発表に備えて自分の見解を、論理的に記述できること。 ②発表の担当者はレジュメを作成し、主題に添った発展的問いを提起することでテーマを深めること。また、質問されたことに答えられること。担当者以外の学生は準備学修でまとめた意見を積極的に発表し、意見交換に貢献すること。 ③各自の研究テーマに沿った参考文献の内容を的確に要約し、自分の見解を論理的に記述したブックレポートを 3 冊分作成し、分かりやすく口頭発表できること。
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う／ Moodle ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	オリエンテーション、研究倫理 イエス・キリストの人間観	講義、意見交換	課題「イエス・キリストの人間観」の課題発表準備
2	神の母・聖マリア、シモン（ペトロ）の姑、出血症の女	講義、聖書講読、意見交換	テキスト①pp.1～28 を読み意見をまとめる
3	サマリアの女、姦通罪を犯した女、罪の女と仕える女たち、	講義、聖書講読、意見交換	テキスト①pp.29～55 を読み意見をまとめる
4	ご訪問の聖マリア、マルタの妹、マリア、マルタ	講義、聖書講読、意見交換	テキスト①pp.56～79 を読み意見をまとめる
5	カナンの女、貧しいやもめ、女預言者アンナ、ベタニアのマリア	テキスト①発表、聖書講読、意見交換	テキスト①pp.80～109 を読み意見をまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	死刑囚の母・聖マリア、マグダラのマリア	講義、聖書講読、意見交換	テキスト①pp.110～125 を読み意見をまとめる
7	マザー・テレサと共に（1）歩く、着る、持つ	講義、聖書講読、意見交換	テキスト②pp.87～116 を読み意見をまとめる
8	マザー・テレサと共に（2）掃除する、育てる、働く	テキスト②発表、聖書講読、意見交換	テキスト②pp.117～146 を読み意見をまとめる
9	マザー・テレサと共に（3）休む、生活のすべてを祈りに	講義、聖書講読、意見交換	テキスト②pp.147～166 を読み意見をまとめる
10	キリストは生きている（1）神の言葉は青年について何を語るか	講義、資料講読、意見交換	期末レポートに関する準備
11	キリストは生きている（2）イエス・キリストはいつも若い	講義、資料講読、意見交換	期末レポートに関する準備
12	キリストは生きている（3）あなたたちは神の今	講義、資料講読、意見交換	期末レポートに関する準備
13	キリストは生きている（4）すべての若者への、すばらしいメッセージ、 期末レポートの提出	講義、資料講読、意見交換	期末レポートに関する準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	期末レポートの発表、講評、まとめ、キリストは生きている（5）青年の歩み	講義、資料講読、意見交換、講評	学期のまとめ

テキスト	①　英隆一郎『イエスに出会った女性たち』（女子パウロ会） ②　片柳弘史『祈るように生きる　マザー・テレサと共に』（ドン・ボスコ社）
参 考 書	教皇フランシスコ『使徒的勧告　キリストは生きている』（カトリック中央協議会） NKJ/新共同訳『NEW TESTAMANT・新約聖書』（日本国際ギデオン協会、入学時に配布済）

科目名	SES300: ゼミナールⅡ					担当教員	小林　宏子
開講期	秋	開講時限	水 4 限			研究室	4204
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	1-①, 4-④

キーワード	キリスト教ヒューマニズム、人間の尊厳、人格、神の似姿、愛、幸福、希望の根拠
授業の概要	ゼミナールⅠで学んだイエス・キリストの人間観を踏まえ福音書に描かれるイエス像をキリスト論的視点から振り返る。各自が選んだ研究テーマに関する考察を深め、研究成果を3回に分けて報告し、質疑応答を経て研究を発展的にまとめ、ゼミナール論文を執筆する。
達成目標（授業の目的）	福音書に記されたイエスの姿を通してキリスト教の基礎を確認するとともに、各自の興味・関心に沿った研究テーマを深めるために、参考文献や資料を探して講読し、クラス内での質疑応答を経て、自分の見解の論理展開を吟味し、文章の推敲を重ねながら論文を仕上げる。また、「神の似姿」や「人格的存在」という人間観に照らして、日常的経験の中に横たわる行動選択の基準を見直し、自身が持つ価値観を見直す機会を持つ。
到達目標（学修成果）	①社会現象や人間関係の諸問題の中から考察の対象となる課題を具体的に設定し、適確な文献や資料を探して研究し、資料から学んだ事柄と自分の意見の区別がつく形でレジュメを作成し発表することができる。キリスト教の視点からの質問にも答えることができる。 ②イエスは誰であるかというキリスト論的問いについて意見を述べることができる。 ③文献・資料を正しく引用し、脚注付きのゼミナール論文を仕上げることができる。
評価方法	①課題設定、文献・資料検索、夏休みの研究成果、及び 3 回の中間発表（7%×4＝28%） ②教科書の要約と問題提起、授業内の積極的発言（3%×8 回＝24%） ③ゼミナール論文（40%）と要旨の発表（8%）
評価基準	①社会的な事象や人間にかかわる問題について自分の興味に合わせた課題を設定し、相応しい参考文献を探して読むことで研究を深め、自分の意見の構築まで発展させることができたか。また、レジュメを作成し論理的で分かりやすい形での中間報告ができたか。 ②教科書の要点をまとめ、適切な問題提起ができたか。 ③A4 用紙で 8 頁以上、参考文献リスト、脚注つきの論旨が明確なゼミナール論を仕上げることができたか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	夏季休暇中の研究進捗状況の報告 研究倫理について	発表、講義、質疑応答、講評	夏休みの研究成果発表準備
2	第一章　洗礼者ヨハネによる洗礼 第二章　山上の説教	講義、質疑応答	教科書 pp.7-40 を要約し問題を提起する
3	第二章　罪びとたちとの食事 ゼミナール論文の中間報告①	講義、学生発表、質疑応答、講評	中間報告準備、教科書 pp.41-53 を要約し問題を提起する
4	第四章　力のわざ 第五章　イエスの祈り	講義、質疑応答	教科書 pp.55-85 を要約し問題を提起する
5	第六章　パンのふやしの物語 第七章　宣教活動に訪れた危機	講義、質疑応答	教科書 pp.87-110 を要約し問題を提起する

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	第八章　最後の晩餐 第九章　イエスの受難と死	講義、質疑応答	教科書 pp.111-138 を要約し問題を提起する
7	第十章　イエスの復活 ゼミナール論文の中間報告②	講義、学生発表、質疑応答、講評	中間報告準備、教科書 pp.139-155 を要約し問題を提起する
8	第十一章　弟子たちへの出現 第十二章　昇天と聖霊降臨	講義、質疑応答	教科書 pp.157-196 を要約し問題を提起する
9	付論　教義のキリスト論	講義、質疑応答	教科書 pp.197-215 を要約し問題を提起する
10	キリストは生きている（1）根づいている若者	講義、資料講読、意見交換	ゼミナール論文執筆
11	キリストは生きている（2）青少年司牧、ゼミナール論文の中間報告③	講義、資料講読、学生発表、質疑応答、講評	中間報告準備、ゼミナール論文執筆
12	キリストは生きている（3）召命	講義、資料講読、意見交換	ゼミナール論文の執筆
13	キリストは生きている（4）識別	講義、資料講読、意見交換	ゼミナール論文の提出
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミナール論文の発表と講評	学生発表、質疑応答、講評	意見交換のための準備

テキスト	百瀬文晃『生涯学習のためのキリスト論』（女子パウロ会）
参 考 書	教皇フランシスコ『使徒的勧告　キリストは生きている』（カトリック中央協議会） 教皇フランシスコ『回勅　兄弟のみなさん』（カトリック中央協議会）

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	水 4 限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	Peace, nonviolence, conflict resolution, reconciliation, environmental protection, peace building
授業の概要	This course introduces the lives, messages and philosophies of fifteen great peacemakers exploring their contributions to building peace within their respective fields of work. The course emphasizes the following five key themes: nonviolence, living peace, honoring diversity, valuing all life, and caring for the planet. Students are expected to study in detail about one of the peacemakers and make a PowerPoint presentation in class. Additionally, they will write a short research thesis on a peace-related topic of their choice, demonstrating critical thinking and academic writing skills.
達成目標（授業の目的）	The primary goals of this course are to provide an introduction to various concepts of peace and to explore pathways to achieving peace through various activities and disciplines, such as philosophy, politics, religion, music, social service, education, dialogue, science, literature, sustainable development, and environmental protection. Additionally, this course aims to develop students' academic skills, such as reading and analyzing research papers, summarizing key points, and creating PowerPoint presentations. Finally, students will write a short research thesis demonstrating their academic writing skills.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will ・develop an understanding of various concepts of peace, and approaches to building and sustaining peace ・demonstrate the ability to write a short research paper on peace-related topics, adhering to research ethics ・learn to present their research findings using PowerPoint ・actively participate and contribute in discussions
評価方法	Class participation (40%), Presentation on a peacemaker (20%), Final report (40%)
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to teaching materials, class policies, evaluation criteria, and research ethics	lecture, discussion, Q&A	purchase textbook, read syllabus
2	Nonviolence: Living deliberately (Henry David Thoreau)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 3-10; 79-86 prepare for discussion
3	Nonviolence: Nonviolent resistance (Mahatma Gandhi)	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 11-18, and prepare for discussion
4	Nonviolence: Daring to dream (Martin Luther King, Jr.), Honoring Diversity: Desmond Tutu: All Belong presentation by students	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 19-26, prepare for discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	Living peace: Living peace (Mother Theresa) Honoring Diversity: Raine Eisler: Partnership, Not Domination, presentation by students	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 37-44; 87-94, prepare for discussion
6	Living peace: Being peace (Thich Nhat Hanh) Valuing All Life: Henry Salt: The Creed of Kinship, presentation by students	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 45-52; 105-112, prepare for discussion
7	Living peace: “Us” refers to all of humankind (Oscar Arias) Valuing All Life: Albert Schweitzer: Reverence for Life, presentation by students	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 61-67; 113-120, prepare for discussion
8	Honoring diversity: Interfaith Harmony (Bruno Hussar) Valuing All Life: Astrid Lindgren: A Voice for the Voiceless, presentation by students	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 71-78; 121-128, prepare for discussion
9	Honoring diversity: Universal compassion (The Dalai Lama) presentation by students Valuing all life: Realizing our humanity (Jane Goodall), presentation by students	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 95-101; prepare for discussion
10	Caring For the Planet: Rachel Carson: The Balance of Nature Research methodology（論文の書き方） Checking the outline of Final report	lecture, reading, discussion, Q&A	read textbook pp. 129-135, prepare for discussion
11	Research methodology（論文の書き方） Checking the outline of Final report	lecture, reading, discussion, Q&A	prepare for presentation and discussion
12	Presentation of final report by students (group 1) * (Presentation time: 10 minutes; Q&A: 5 minutes; Score: 10%)	presentation, Q&A, discussion	prepare for presentation and discussion
13	Presentation of final report by students (group 2) * (Presentation time: 10 minutes; Q&A: 5 minutes; Score: 10%)	presentation, Q&A, discussion	prepare for presentation and discussion
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Conclusion, recap of the course, submission of Final report	lecture, reading, discussion, Q&A	submit Final report, Q&A

テキスト	Ken Beller, Heather Chase. *Great Peacemakers: True Stories from Around the World* (LTS Press).
参 考 書	Thomas Keefe & Ron E. Roberts. *Realizing Peace: An Introduction to Peace Studies* (Iowa State Pr).

科目名	SES300:　ゼミナールⅡ					担当教員	Thomas
開講期	秋	開講時限	水 4 限			研究室	4211
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	Peace, just war, holy war, diplomacy, negotiation, balance of power, deterrence
授業の概要	This course explores strategies and theories for preventing conflicts and fostering sustainable peace. It examines traditional war theories such as ‘just war theory’, and ‘holy war’ from various religious perspectives, providing critical, historical and ethical perspectives. The course also investigates specific strategies for building ‘negative peace’ such as diplomacy, negotiations, and conflict resolution. In addition, it emphasizes strategies for building ‘positive peace’ such as promotion of human rights, environmental protection, economic well-being, promotion of nonviolence etc.
達成目標（授業の目的）	This course aims to provide students with a comprehensive understanding of strategies for preventing conflicts by fostering both negative peace – eliminating direct violence, and positive peace – addressing structural and cultural roots of conflict. As part of coursework, students will do personal research based on research ethics throughout the semester on a topic related to peace which will be submitted as their graduation thesis.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will ・gain an understanding of various strategies for preventing conflicts and fostering peace ・develop skills necessary to conduct independent research on peace related topics ・be able to engage in academic discussions constructively ・acquire the ability to extract key ideas and information from books and articles
評価方法	Class participation (20%), preview sheets & reaction papers (30%), research presentations (10%), thesis (40%)
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction: course materials and policies; research ethics	lecture, discussion, Q&A	read syllabus
2	Building “Negative Peace”: third-party involvement, negotiating techniques	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
3	Peace through strength: balance of power, collective security	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
4	Peace through strength: deterrence	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
5	Peace through positive peace – promotion of human rights	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
6	Peace through positive peace – promotion of justice	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
7	Mid-term presentation of research by students	presentation, discussion, Q&A	prepare for presentation

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Disarmament and arms control: history of disarmament, arms control etc.	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
9	International organizations: The United Nations, Just War – part 1	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
10	International law: enforcement of international law, Just War – part 2	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
11	War and general ethics, religious support for war, Holy war – part 1 (Christianity, Buddhism)	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
12	War and general ethics, religious support for war, Holy war – part 2 (Islam)	lecture, reading, discussion, Q&A	read the handout, prepare for discussion
13	Research presentation by students	presentation, feedback, discussion, Q&A	prepare for presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Course recap, submission of thesis	Feedback, discussion, Q&A	Submit thesis

テキスト	Materials adapted from the following textbook will be used in class. Richard Smoke with Willis Harman. *Paths to Peace: Exploring the Feasibility of Sustainable Peace* (Institute of Noetic Science Westview Press).
参 考 書	Huston Wood. *Invitation to Peace Studies* (Oxford University Press).

科目名	SES200:　ゼミナールⅠ					担当教員	M. Lupas
開講期	春	開講時限	水 4 限			研究室	4206
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	Research paper process, citations, thesis statement, outline
授業の概要	This class will teach students how to write research papers in English. Students will practice summarizing what they read and producing a thesis statement and working outline for their topic. They will choose a topic for this semester and write the first two drafts of a research paper on it.
達成目標（授業の目的）	The goal of this class is for students to go through the process of writing a research paper in English. They will practice choosing a topic and finding sources of information for it. They will practice producing a thesis statement and working outline. They will practice revising these and will write two drafts of a research paper. By doing this, they will become familiar with the format of a research paper and start working on their seminar II thesis.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will have practiced reading and summarizing texts in English. They will have learned the basic steps of writing a research paper in English and practiced some of these steps on worksheets. They will have practiced presenting content related to writing a research paper and facilitated a class session by finding an appropriate order and pace. They will be able to write organized drafts of research reports with appropriate content and citations.
評価方法	Participation 30%; Worksheets and exercises 40%; Writing drafts 30%
評価基準	Participation: actively participating in class and facilitating group work Worksheets: textbook worksheets are completed and on time. Drafts: 2 drafts submitted on time with the required length and with appropriate organization, content, sources, and citations.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course. Unit 1 What is a research paper. Unit 2 Topics. Library tour	Warm-up, lecture, reading and writing	Prepare worksheet (WS) page 1 and WS pages 2-3; submit WS 3
2	Unit 3 Research	Warm-up, student presentations, writing, individual consultations	Summarize Unit 3, and do practice exercises; Prepare WS pages 4-7
3	Unit 4 The beginning thesis statement	Warm-up, student presentations, writing, individual consultations	Summarize Unit 4, and do practice exercises; Prepare WS page 8
4	Unit 5 The working outline	Warm-up, student presentations, writing, individual consultations	Summarize Unit 5, and do practice exercises; Prepare WS pages 10-11
5	Unit 6 Revising the thesis statement and working outline	Warm-up, student presentations, writing	Summarize Unit 6, and do practice exercises; Prepare WS page 9
6	Unit 7 Writing the first draft	Warm-up, student presentations, writing	Summarize Unit 7, and do practice exercises; Work on draft

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Unit 8 Writing the title Unit 9 Writing the introduction	Warm-up, student presentations, writing	Summarize Units 8 and 9, and do practice exercises; Prepare WS pages 8-99
8	Unit 10 Support, accuracy, and logic Unit 11 Writing the body	Warm-up, student presentations, writing	Summarize Units 10 and 11, and do practice exercises
9	Unit 12 Writing the conclusion Unit 13 Avoiding plagiarism; Research ethics education	Warm-up, student presentations, writing	Summarize Units 12 and 13, and do practice exercises
10	Unit 14 Writing the reference list	Warm-up, student presentations, writing	Summarize Unit 7, and do practice exercises
11	Unit 15 Evaluating and rewriting Sharing draft 1	Warm-up, student presentations, pair-work	Submit draft 1
12	Preparing draft 2	Warm-up, writing	Work on draft 2
13	Sharing draft 2	Warm-up, pair-work	Submit draft 2
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Unit 19 An end and a beginning	Warm-up, lecture	Prepare for Seminar II

テキスト	David E. Kluge and Matthew A. Taylor. *Writing Research Papers* (National Geographic / Cengage Learning).
その他 特記事項	All submitted assignments (summaries, worksheets, drafts) will be written in English.

科目名	SES300: ゼミナールⅡ					担当教員	M. Lupas
開講期	秋	開講時限	水4限			研究室	4206
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-④

キーワード	writing, research, comparative literature
授業の概要	This seminar focuses on writing the seminar thesis. With the support of the teacher, students may choose their own topic connected to their plans after graduation or to their interests. Students will practice framing their topic, gathering and organizing ideas, and expressing themselves in an organized way in accordance with best research ethics practices. They will produce a seminar thesis in English.
達成目標（授業の目的）	The goal of this course is for students to build their English fluency and gain confidence across all four skills, gain research skills, and gain content knowledge about literature, culture, and history.
到達目標（学修成果）	By the end of this course, students will be able to present their research topic and the ideas they gathered about the research topic; write and revise drafts of their work; and make a final research presentation about their topic.
評価方法	Preparing and presenting a research diary 40%; seminar thesis 45%; final research presentation 15%
評価基準	Research diaries are presented several times during the semester and are evaluated on the quality of the source chosen and on the inductive and deductive reasoning applied by the student to the source material. The seminar thesis is evaluated on appropriate length, content, organization, use of sources, and language. It should avoid plagiarism and properly cite sources. The final presentation is organized and uses visuals and gestures to support the meaning.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Research Ethics; The Thesis Writing Process; Choosing topics and finding information	Lecture, group work, semester planning	Do research diary. Prepare presentation.
2	Outlining	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
3	Avoiding Plagiarism	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
4	Paraphrasing and academic language Submit Outline	Student presentations, pair and group work	Do research diary. Make an outline.
5	Writing the first draft	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
6	In-text citations	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
7	Hedging and boosting language Submit Draft 1	Student presentations, pair and group work	Do research diary. Do first draft
8	Editing Looking at model writing	Student presentations, pair and group work	Do research diary.

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	Revising Adding subheads	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
10	Finalizing References	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
11	Working on the seminar thesis Improving the title	Student presentations, pair and group work	Do research diary.
12	Working on the seminar thesis Submit Draft 2	Student presentations, pair and group work	Do research diary. Do second draft.
13	Preparing presentations Preparing an abstract	Individual consultations, individual work	Do thesis.
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	Presentations Submit final seminar thesis	presentations	Prepare presentation.

テキスト	Students will find their own research materials.
参 考 書	David E. Kluge and Matthew A. Taylor. *Writing Research Papers* (National Geographic / Cengage Learning).

科目名	SES200: ゼミナールⅠ（再）					担当教員	杉村　美佳
開講期	秋	開講時限	水 2 限			研究室	4220
分類	必修	単位	2	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-④

キーワード	国際教育学研究、国際教育協力、開発教育、参加型学習の歴史と現状、総合学習
授業の概要	開発教育の理念と歴史、地球的課題と開発教育、今後の開発教育の展開について専門的に学ぶ。具体的には、日英テキストの講読を通して、SDGs、国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどをテーマとした開発教育の方法やカリキュラムのあり方を考察する。また、実際に開発教育ワークショップに参加し、開発教育の実践に必要な知識や技術を習得する。最後に各自自由にゼミナール論文のテーマを設定し、構想発表を行う。
達成目標（授業の目的）	国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどの地球的諸課題について理解を深めた上で、これらをテーマとした開発教育の実践に必要な技術を習得する。またゼミナール論文のテーマを設定して文献を収集し、論点を整理して論文の構想を練り上げる力を習得する。
到達目標（学修成果）	①国際協力、環境、多文化共生、子どもの権利、ジェンダーなどの地球的諸課題について、教育を通して問題を解決するための方法を考察することができる。 ②開発教育のワークショップへの参加を通して実践に必要な知識や技術を習得する。 ③ゼミナール論文のテーマを設定して先行研究を整理し、研究課題や研究方法などの構想を適切にまとめることができる。
評価方法	①討論への参画（20%）、②テキスト発表（30%）、③ゼミナール論文の構想発表（20%）、④リアクションペーパー（20%）、⑤ブックレポート（10%）
評価基準	①討論への参画：研究発表や論点に対し、課題を論理的、批判的に討議できているか。 ②テキスト発表：テキストの内容を的確に整理して考察を加えたレジュメを作成し、効果的な発表を行っているか。英文原書の内容を的確に理解できているか。 ③ゼミナール論文の構想発表：ゼミナール論文のテーマを適切に設定して先行研究を整理し、研究課題や方法などの構想を論理的にまとめているか。 ④リアクションペーパー：論題について発表内容をふまえて論理的に考察できているか。 ⑤ブックレポート：文献を適切に要約して論点を整理し、意見を論理的に述べているか。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	開発教育の内容・方法・カリキュラムと研究倫理	講義・討論・リアクションペーパー	テキスト第 2 章の要約 発表・討論の準備
2	MDGs から SDGs へ	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 4 章の要約 発表・討論の準備
3	環境問題と ESD	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 6 章の要約 発表・討論の準備
4	国際協力	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 7 章の要約 発表・討論の準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	貧困と格差	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 8 章の要約 発表・討論の準備
6	紛争と平和	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 10 章の要約 発表・討論の準備
7	子どもの権利条約	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 12 章の要約 発表・討論の準備
8	開発教育ワークショップ	ワークショップ・振り返りシート	配布資料の講読 発表・討論の準備
9	ジェンダーと開発	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 13 章の要約 発表・討論の準備
10	人の移動と多文化共生社会	発表・討論・解説・リアクションペーパー	テキスト第 14 章の要約 発表の準備
11	ゼミナール論文構想発表（1）、*Women's Education in Developing Countries* の講読（1）	発表・討論・リアクションペーパー	テキスト pp.285-287 の翻訳 発表の準備
12	ゼミナール論文構想発表（2）、*Women's Education in Developing Countries* の講読（2）	発表・討論・リアクションペーパー	テキスト pp.291-293 の翻訳 発表の準備
13	ゼミナール論文構想発表（3）、*Women's Education in Developing Countries* の講読（3）	発表・討論・リアクションペーパー	テキスト pp.294-296 の翻訳 発表の準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	ゼミナール論文構想発表（4）、*Women's Education in Developing Countries* の講読（4）	発表・討論・リアクションペーパー	テキスト pp.297-300 の翻訳 発表の準備

テキスト	田中治彦『SDGs と開発教育』（学文社） King, Elizabeth M. *Women's Education in Developing Countries* (World Bank).
参 考 書	田中治彦・杉村美紀編『多文化共生社会における ESD・市民教育』（上智大学出版） 小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』（講談社現代新書）
履修条件、前提科目	「ゼミナールⅠ」の単位未修得者を対象とする。
その他特記事項	発表の 1 週間前までに教員にレジュメを提出し、指導を受けること。

科目名	HST310:　東洋研究					担当教員	玉置　真紀子
開講期	春	開講時限	月木 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	アジア基層文化、交易、先住民族、植民地化、開発、児童労働、マイクロファイナンス
授業の概要	西洋から見た「東洋」の自然環境、歴史、宗教、文化、社会を学び、その文化的重層性と多様性を理解する。国際社会の中で、その人口規模からも経済的にも東南アジアの重要性は増している。開発が進む中で生きる人々の生活を知り、その知恵を学ぶ。同時に、発展の陰で取り残される女性や子どもたちの生活に目を向け、現代社会における数々の課題の原因をふまえ、解決方法を探る。
達成目標（授業の目的）	この授業は、東南アジア世界の成立と現代社会のかかわりを理解し、そこに生きる人々の視点を獲得することを目標とする。それによって、遠い他者を身近な隣人として考えることを可能にする。
到達目標（学修成果）	a. 東南アジアの基層文化と多様性を理解する。 b. 人々の日常生活と経済活動を授業で学んだ用語や概念を用いて分析し、記述できる。 c. 開発・発展に伴う貧困や児童労働などの問題群の原因を説明し、解決のための提案ができるようになる。
評価方法	①授業課題：授業内で提出するリアクションペーパー 2%（2 点相当）×26 回＝52%（初回と②の回を除く） ②授業内試験：選択式、論述式 18% ③定期試験：選択式、論述式 30%
評価基準	①授業課題：授業内容を理解した上で、質問に対して（1）論理的に説明すること、（2）具体的に記述すること、を求める。これができていれば 2 点、感想のみの場合は 1 点となる。 ②&③ 授業内試験と定期試験：（1）問題に対し適切な解答を、授業で学んだ用語や理論を援用し論理的に説明すること、（2）課題解決型の問題の場合は具体的な解決策を提案すること、（3）自分の経験に引き寄せて検討すること、を求める。感想のみの場合は減点対象とする。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	講義の概要説明、東洋と東南アジアについて	講義、質疑応答	東南アジア各国の位置と成り立ちを確認する
2	東南アジアの自然環境	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.16-23 を読む
3	東南アジアの基層文化	講義、質疑応答 リアクションペーパー	テキスト pp.24-36 を読む
4	東南アジアの歴史と社会（1）インド化	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.47-54 を読む
5	東南アジアの歴史と社会（2）交易の時代から植民地化へ	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.55-72 を読む
6	東南アジアの歴史と社会（3）脱植民地化から国民国家形成へ	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.73-79 を読む
7	人びとは何を食べてきたかーコメの歴史と棚田のテクロノジー	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.137-150, pp.297-303 を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	東南アジアの家族観－結婚、家族、親族、子どもの成長	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.173-179 を読む
9	東南アジアの居住空間－都市と農村	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.130-136 を読む
10	児童労働とは（1）子どもの権利条約	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
11	児童労働とは（2）児童労働の実態	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
12	児童労働とは（3）農園で働く子どもたち	講義、グループディスカッション	参考資料を読む
13	児童労働とは（4）子ども兵士	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
14	東南アジアにおける児童労働のまとめ、授業内試験	講義、質疑応答、授業内試験（50 分）	1～13 回の講義を復習する
15	現代東南アジア史におけるキーパーソン	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.366-412 を読む
16	試験の返却と解説 先住民族と呼ばれる人々	試験返却および解説 講義	テキスト pp.182-188 を読む
17	東南アジアの古典文学	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.152-157, pp.166-172 を読む
18	東南アジアの宗教（1）仏教、ヒンズー教	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	テキスト pp.158-165 を読む
19	東南アジアの宗教（2）イスラム教、キリスト教	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
20	大陸東南アジアの現在（1）ラオス	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
21	大陸東南アジアの現在（2）ミャンマー／ビルマ	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
22	マイクロファイナンスを学ぶ（1） マイクロファイナンスの成立と背景	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
23	マイクロファイナンスを学ぶ（2） マイクロファイナンス機関と実践	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
24	マイクロファイナンスを学ぶ（3） 課題と解決に向けて	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
25	東南アジアの移住／移民労働者	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
26	日本で働く東南アジアの人々	講義、DVD 視聴 リアクションペーパー	参考資料を読む
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	東南アジア社会における経済と労働問題のまとめ	講義、質疑応答 リアクションペーパー	16～26 回の講義を復習する
28	東洋を再考する 定期試験の返却と解説	講義、試験返却、および解説	講義の振り返り

テキスト	今井昭夫編『東南アジアを知るための 50 章』（明石書店）
参 考 書	弘末雅士『海の東南アジア史－港市・女性・外来者』（ちくま新書） 岩崎育夫『入門 東南アジア近現代史』（講談社現代新書）
その他 特記事項	学習者にとって初めて聞く・見る内容になると思います。好奇心を持って臨みましょう。

科目名	HST302:　西洋研究					担当教員	森下　園
開講期	秋	開講時限	月木 3 限			研究室	4202
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	教会史、聖人、キリスト教文化
授業の概要	キリスト教文化を理解するため、古代ローマ帝国時代から第二バチカン公会議までのヨーロッパの教会史を聖性・聖人・聖遺物崇敬なども取り上げながら概観する。ヨーロッパが中心となるがアメリカ、日本についても一部取り上げる。
達成目標（授業の目的）	ヨーロッパの歴史と不可分であるキリスト教の歴史を学び、その歴史的意義や文化への影響力について理解し、自分の言葉で説明できるようにすることが目標である。
到達目標（学修成果）	① 次回授業プリントを事前に読んで事典類で用語を調べることで予習する習慣をつけ、授業後に授業課題を書くことで授業内容を理解できるようになる。 ② 関心を持つトピックについて、資料を用いて調べた内容を発表できるようにする。
評価方法	① 授業課題：3%×20 回＝60%（Moodle で提出） ② 授業内での発表と発表資料：発表 25%＋資料 15%＝40%（資料は Moodle に提出）
評価基準	① 授業課題：授業内容を正しく理解しているか、自分で調べ学習をしているか ② 授業内での発表：適切な資料を用いて調べた内容を自分の言葉で説明できているか 授業内発表の資料：資料の内容や図像の引用元を適切に表示できているか
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	はじめに　ーキリスト教とヨーロッパ史	講義、質疑応答	キリスト教の起源について調べる、Moodle 登録
2	ローマ帝国時代（1）迫害の時代	講義、質疑応答	授業プリントの予習
3	ローマ帝国時代（2）教父と教義論争の時代	講義、質疑応答	授業プリントの予習、3 回授業課題提出①
4	イングランドへの布教	講義、質疑応答	授業プリントの予習、4 回授業課題提出②
5	シャルルマーニュの戴冠とフランク王国への布教	講義、質疑応答	授業プリントの予習、5 回授業課題提出③
6	ビザンツ帝国と東方教会	講義、質疑応答	授業プリントの予習、6 回授業課題提出④
7	西方修道制と写本制作	講義、質疑応答	授業プリントの予習、7 回授業課題提出⑤
8	グレゴリウス改革と叙任権闘争	講義、質疑応答	授業プリントの予習、8 回授業課題提出⑥
9	十字軍と巡礼	講義、質疑応答	授業プリントの予習、9 回授業課題提出⑦

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
10	新しい修道制と説教	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 10 回授業課題提出⑧
11	修道院学校・教会学校・大学	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 11 回授業課題提出⑨
12	異端と異端審問	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 12 回授業課題提出⑩
13	神聖ローマ帝国と宗教改革	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 13 回授業課題提出⑪
14	中世の聖母マリア崇敬と聖女たち	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 14 回授業課題提出⑫
15	聖性の創出　ー誰が「聖人」を認定するのか	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 15 回授業課題提出⑬
16	巡礼地①サンチャゴ・デ・コンポステラ	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 16 回授業課題提出⑭
17	巡礼地②聖地エルサレム	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 17 回授業課題提出⑮
18	巡礼地③ローマとカンタベリー	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 18 回授業課題提出⑯
19	イングランドとスイスの宗教改革、 カトリックの対抗宗教改革	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 19 回授業課題提出⑰
20	大航海時代と世界への布教	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 20 回授業課題提出⑱
21	アメリカ合衆国のキリスト教	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 21 回授業課題提出⑲
22	「魔女狩り」とは何か	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 発表の準備
23	日本のキリシタン迫害と潜伏キリシタン	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 発表の準備
24	近代市民社会とキリスト教	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 発表の準備
25	学生の発表① 講評と解説	発表、質疑応答	授業プリントの予習
26	学生の発表② 講評と解説	発表、質疑応答	授業プリントの予習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	世界大戦からエキュメニカル運動へ	講義、質疑応答	授業プリントの予習、 27 回授業課題提出⑳
28	終わりに　ーキリスト教文化について 期末レポートの講評	講義、質疑応答、講評	振り返り

テキスト	なし。授業内容に関するプリントや参考資料を Moodle の「2025　短大部　西洋研究」にアップロードする。なお、希望者には印刷したプリントを教室で配布する。
参 考 書	土井健司ほか『1 冊でわかるキリスト教史』（日本キリスト教団出版） 「カトリック教会の歴史」カトリック中央協議会、https://www.cbcj.catholic.jp/catholic/history/

科目名	HST300:　比較社会史					担当教員	森下　園
開講期	春	開講時限	月木 5 限			研究室	4202
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	社会史、社会構築主義、身分階層、ジェンダー、家族、教育
授業の概要	社会構築主義の観点から、身分階層、ジェンダー、家族、他者排除、ナショナリズムとグローバリゼーションなどについて講義を行う。地域・時代が異なる事例をトピックごとに取り上げていく。高校レベルの世界史の知識を前提とする。
達成目標（授業の目的）	社会構築主義に基づく分析に必要な用語・概念を理解し、これらを用いて国内外の社会の諸問題を各自の問題意識と観点から論述できるようにする。
到達目標（学修成果）	① 学生は次回授業プリントを読んで事典類で用語などを調べ、授業課題を書くことで毎回のポイントを把握できるようになる。 ② 任意の社会問題について、授業で学んだ用語や概念を用いて分析し、自分の見解を論述できるようになる。
評価方法	① 授業課題：Moodle で次の授業開始時までに提出、3%×25 回=75% ② レポート（3000 字）：扱ったトピックに関するオリジナルのレポート、定期試験期間中に Moodle 提出、25%
評価基準	① 授業課題：要点を整理して自分の言葉でまとめているか、提出期限を守っているか。なお原則として授業を欠席した回の授業課題は採点対象としない。 ② レポート：社会問題などの事例について、授業で扱った用語・理論・概念を用いて分析し、自分なりの考察を加えて論述できているか。 いずれも研究倫理を守らない（友達の課題を写す、またはネット情報や事典類などから無断引用する）場合は 0 点とする。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	社会史と社会構築主義 研究倫理について	講義、質疑応答	第 1 回授業内容の復習 第 2 回授業プリントの予習
2	近代の学的知（1）歴史学	講義、質疑応答	第 2 回授業課題の提出① 第 3 回授業プリントの予習
3	近代の学的知（2）英文学と比較文学	講義、質疑応答	第 3 回授業課題の提出② 第 4 回授業プリントの予習
4	近代の学的知（3）文化人類学・自然人類学	講義、質疑応答	第 4 回授業課題の提出③ 第 5 回授業プリントの予習
5	近代の学的知（4）ジェンダー・スタディーズ	講義、質疑応答	第 5 回授業課題の提出④ 第 6 回授業プリントの予習
6	王権（1）西欧の王　－　皇帝と王	講義、質疑応答	第 6 回授業課題の提出⑤ 第 7 回授業プリントの予習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	王権（2）日本の王　－　天皇と将軍	講義、質疑応答	第 7 回授業課題の提出⑥ 第 8 回授業プリントの予習
8	身分階層（1）身分と社会的ステータス	講義、質疑応答	第 8 回授業課題の提出⑦ 第 9 回授業プリントの予習
9	身分階層（2）カースト制	講義、質疑応答	第 9 回授業課題の提出⑧ 第 10 回授業プリントの予習
10	教育と学校　－　教育の誕生と文化資本	講義、質疑応答	第 10 回授業課題の提出⑨ 第 11 回授業プリントの予習
11	女性と職業　－　働くミドルクラス女性	講義、質疑応答	第 11 回授業課題の提出⑩ 第 12 回授業プリントの予習
12	家族と社会（1）近代英国	講義、質疑応答	第 12 回授業課題の提出⑪ 第 13 回授業プリントの予習
13	家族と社会（2）近代日本	講義、質疑応答	第 13 回授業課題の提出⑫ 第 14 回授業プリントの予習
14	女性のイメージ　－　近代英国と日本の女性向けメディアが構築したもの	講義、質疑応答	第 14 回授業課題の提出⑬ 第 15 回授業プリントの予習
15	スティグマの付与（1）聖女と魔女	講義、質疑応答	第 15 回授号課題の提出⑭ 第 16 回授業プリントの予習
16	スティグマの付与（2）アウトサイダー	講義、質疑応答	第 16 回授業課題の提出⑮ 第 17 回授業プリントの予習
17	死者との交流（1）西欧の幽霊 レポートの説明	講義、質疑応答	第 17 回授業課題の提出⑯ 第 18 回授業プリントの予習
18	死者との交流（2）日本の幽霊 レポートの説明	講義、質疑応答	第 18 回授業課題の提出⑰ 第 19 回授業プリントの予習
19	他者イメージと自己イメージの構築	講義、質疑応答	第 19 回授業課題の提出⑱ 第 20 回授業プリントの予習
20	言語（1）標準語の問題	講義、質疑応答	第 20 回授業課題の提出⑲ 第 21 回授業プリントの予習
21	言語（2）クレオール	講義、質疑応答	第 21 回授業課題の提出⑳ 第 22 回授業プリントの予習
22	法と秩序	講義、質疑応答	第 22 回授業課題の提出㉑ 第 23 回授業プリントの予習
23	無縁とアジール	講義、質疑応答	第 23 回授業課題の提出㉒ 第 24 回授業プリントの予習
24	ナショナリズム（1）　日本人とは誰か	講義、質疑応答	第 24 回授業課題の提出㉓ 第 25 回授業プリントの予習
25	ナショナリズム（2）　想像の共同体、記憶と記録	講義、質疑応答	第 25 回授業課題の提出㉔ 第 26 回授業プリントの予習
26	パブリックヒストリーとエゴドキュメントの歴史学	講義、質疑応答	第 26 回授業内容の復習 レポートの準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	サブカルチャーとしてのマンガとアニメ	講義、質疑応答	第 27 回授業課題の提出㉕ 第 28 回授業プリントの予習
28	社会構築主義の応用 レポートの講評	講義、質疑応答	授業の振り返り

テキスト	なし。授業内容に関するプリントと資料を Moodle の「2025　短大部　比較社会史」で配付する。なお、希望者には印刷したプリントを教室で配布する。
参 考 書	上野千鶴子『構築主義とは何か』（勁草書房）

科目名	INT301:　国際関係論					担当教員	
開講期	春/秋	開講時限				研究室	
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	
授業の概要	シラバスは本学公式 web サイトの シラバスページにて公開します。 詳細については、 Loyola「上智大学短期大学部掲示板」にて お知らせします。
達成目標（授業の目的）	
到達目標（学修成果）	
評価方法	
評価基準	
課題等に対するフィードバック方法	
準備学修の時間	

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
	定期試験を実施する Final Exam will be held　／　定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27			
28			

テキスト	
参 考 書	
履修条件、前提科目	
その他特記事項	

科目名	ANT300:　文化人類学					担当教員	C. Oliver
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4205
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-⑤

キーワード	cultural anthropology, culture, fieldwork, understanding others, interview research
授業の概要	This course provides an introduction to cultural anthropology. Regular class sessions will consist of lectures, watching scenes from films, and discussions among students. Examples will come from many parts of the world, including Indonesia, Mexico, Papua New Guinea, Iran, North America, and sub-Saharan Africa. Each student will do an interview project (with a written report) and discuss the findings in class. All lectures, assignments, and tests will be in English.
達成目標（授業の目的）	This course will help students understand what cultural anthropologists study and how they study it. Students will also be able to develop their own research skills.
到達目標（学修成果）	By the end of the semester, students should be able to: ・understand key ways that anthropological study differs from that of other social sciences; ・understand broadly the range of topics often studied in anthropology; ・understand and explain the significance of key examples of those topics; ・understand key anthropological concepts and apply them to cultural processes; ・use careful observation and inference-making to gain cultural understanding; ・ask good questions for doing qualitative, interview research.
評価方法	Participation 10%; Homework 30%; Interview Project, including written report 30%; Tests 30%.
評価基準	Participation: Active participation in everyday class activities, including discussions. Homework: Submitted on time and completed thoroughly, shows adequate understanding and application of key concepts, demonstrates careful observation and inference-making. Homework may not be submitted more than 2 weeks after the due date. Interview Project: Each part submitted on time and according to instructions, demonstrates asking good interview questions as well as careful observation and inference-making. Tests: Demonstrates understanding of how anthropological study differs from that of other social sciences, understanding of the range of topics studied in anthropology, understanding and ability to explain the significance of key examples, understanding and ability to apply key concepts, and careful observation and inference-making.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	What is cultural anthropology?	lecture	Review syllabus, read pp. 2 & 73-74
2	Culture: definitions and examples	lecture, pair work	Read pp. 34-41
3	Anthropological research: fieldwork	lecture, video, pair work	Read pp. 13, 21-24 (also skim pp. 1-12 for homework)
4	Anthropological research: dialogue	lecture, video, pair work	Complete homework about textbook authors' fieldwork
5	Doing qualitative interviews: the basics	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
6	Religion: general approach	lecture, video, pair work	Complete interview practice worksheet

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Interview Project planning (interview project will be explained)	lecture, small-group discussion	Read handout about Interview Project
8	Religion: “witchcraft” in Africa	lecture, pair work	Read pp. 123-125
9	Ritual: general concepts	lecture, video, pair work	Complete HW about objective/ subjective information
10	Ritual: what do rituals “do”?	lecture, video, pair work	Read pp. 123-125
11	Marriage and family: cultural arrangements	lecture, pair work	Read pp. 75-81, 86-87; complete HW about film
12	Doing qualitative interviews: strategies for asking good questions	interview practice with another student	Read handout provided by the teacher
13	Gift-giving and exchange: general concepts	lecture, pair work	Complete interview practice worksheet
14	Gift-giving and exchange: *potlatch* (also: discuss Interview Project topics)	lecture, video, small-group discussion	Read pp. 109-112, 115-117; complete Interview Project topic
15	Gift-giving and exchange: *kula*	lecture, simulation (role-play)	Read pp. 109-112, 115-117
16	Culture and person/self: general concepts	lecture, pair work	Read pp. 131-141
17	Culture and person/self: cultural variations	lecture, pair work	Complete worksheet on Ch. 8
18	Review, Test #1	lecture, test	Study for test
19	Health, illness, and medicine: key concepts	lecture, pair work	Read pp. 136-140
20	Health, illness, and medicine: culture-bound syndromes	lecture, pair work	Complete homework on culture-bound illnesses
21	Social class: cultural dimensions	lecture, video, pair work	Read pp. 93, 103
22	Discuss Interview Project findings (based upon each student’s completed interview)	small-group discussion	Complete interview; prepare copy of actual interview notes
23	Identity: individual and collective; return Test #1 and go over results	lecture, pair work	Read pp. 92-94, 96-100
24	Nation and culture: what holds society together?	lecture, pair work	Read pp. 63-64, 89-90, 96-100
25	Globalization and transnationalism: anthropological approaches	lecture, pair work	Read pp. 103-106
26	Review, Test #2	lecture, test	Study for test
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Watch film: “Children of Heaven” (making observations, forming inferences)	pair work, watch video while taking notes	Complete Fact Sheet on Iran, Interview Project report
28	Discuss film: observations/inferences; return Test #2 and go over results	small-group discussion, lecture	Complete worksheet about the film

テキスト	J. Monaghan & P. Just. *Social & Cultural Anthropology: A Very Short Introduction* (Oxford University Press).
参 考 書	H. Peters-Golden. *Culture Sketches: Case Studies in Anthropology* (McGraw-Hill).
その他 特記事項	Lectures, assignments, and tests will be in English. Each student must do an Interview Project that requires finding a suitable person to interview and interviewing that person outside of class.

科目名	ART300:　現代美術					担当教員	G. Freddes
開講期	春	開講時限	火金 3 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-⑤

キーワード	Romanticism, Japonisme, Modernism, Modern Art, Contemporary Art, Post-Modernism
授業の概要	This course will explore developments in art from the 19th to the 21st Century. Each class will begin with a lecture and / or video on an artist, period, or style. This will be followed by readings pertaining to the lecture and discussion in small groups. Every class will conclude with students writing comments on class content and their online research. Students will be required to conduct research in areas of personal interest, visit two museums and submit two written reports in English.
達成目標（授業の目的）	Students will acquire a fundamental knowledge of major artists and art movements of the past 200 years. They will learn the vocabulary of art and various ways of looking at art by considering its formal characteristics, materials, and cultural / historical contexts. The course aims to support students in developing insights into how the rapidly changing modern world has affected individual artists and how they, in turn, have influenced and shaped the world in which we live.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will be able to recognize many of the most important modern artists. They will be able to describe the works' formal characteristics, materials, and possess some understanding of its cultural / historical significance. Ultimately, students will be able to enjoy visiting museums, viewing new works, and more confidently express personal opinions.
評価方法	Participation and Written Reactions (40%) Midterm Report (25%) Final Report (35%)
評価基準	Participation, Written Reactions (Note-taking during lecture, involvement in discussions and art-making activities, effort in answering all written reactions using vocabulary learned in class and expressing a personal opinion of the artworks seen in class, online research summary) Midterm Report (at least 800 words) Final Report (at least 1000 words) Guidelines for both are the same. (1) Choose an artist of interest and research his/her life. Write the artist's biography. (2) Choose at least six works by the artist and, using vocabulary learned in class, describe the works in detail. Write a conclusion including what you learned about the artist. (3) Visit a museum and report on what you saw. Choose at least five works seen and write in detail about each of them, including materials, formal characteristics, the work's cultural / historical context, and a personal opinion.
課題等に対するフィードバック方法	・Google Forms / Google Docs で行う／Google Forms / Google Docs ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course Introduction; How to Look at a Painting, 100 Great Paintings of All Time	Lecture, video, reading, writing, online sources	Read textbook pp. 66-71
2	Introduction to the textbook; online resources; art vocabulary; What is Modern Art?	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 76-78 Review, View online sources
3	The Nineteenth Century: Birth of the "Isms" Neoclassicism and Romanticism	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 74-75, 79-80 Review, Online research
4	Romanticism: Goya, Turner, Chopin, Beethoven	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 81-88 Review, Online research
5	Nineteenth Century Japan: Ukiyo-e, Hokusai	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 89-91 Review, Online research
6	The Industrial Revolution: Early Modern Architecture, Japonisme, Art Nouveau	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 92-95 Review, Online research
7	The Birth of Photography: Inventors, Pioneers, Travel, War, Documentary, Portrait, Art	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 96-103 Review, Online research

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Impressionism: Manet, Monet	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 104-109 Review, Online research
9	Impressionism: Renoir, Degas, Cassatt, Morisot	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 110-113, 133 Review, Online research
10	Modern Sculpture: Rodin, Brancusi	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 114-115 Review, Online research
11	Post-Impressionism: Seurat, Lautrec	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 118-122 Review, Online research
12	Post-Impressionism: Gauguin, Van Gogh	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Bring colored pencils, markers, and / or pastels to class
13	Van Gogh: Create color sketches / drawings while viewing Van Gogh's paintings	Art making activity	Read text pp. 123-125 Review, Online research
14	Early Expressionism: Munch, M-Becker Symbolism: Rousseau, Redon	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 128-133 Review, Online research
15	Fauvism: Matisse, Vlamink, Derain, Dufy	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Submit Midterm Report; Bring: Scissors, glue, colored paper
16	Matisse cutouts: Create individual works (*kirie)* in the style of Matisse	Art making activity	Read pp. 116-117, 136-138 Review, Online research
17	Cezanne, Picasso	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 139-145 Review, Online research
18	Futurism; Constructivism; Precisionism	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 146-147 Review, Online research
19	Modernist Architecture: Gropius, Mies van der Rohe, Le Corbusier, Frank Lloyd Wright	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text p. 148 Review, Online research
20	Dada: Duchamp, Arp, Schwitters	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 149-151 Review, Online research
21	Surrealism: Miro, Ernst, Dali, Magritte	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp.152-153 Review, Online research
22	20th Century Photography: Cartier-Bresson, Man Ray, Weston, Stieglitz, Lange	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 158-163 Review, Online research
23	Figural and Abstract Expressionism	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 172-176 Review, Online research
24	Pre-Pop and Pop Art	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 177-179 Review, Online research
25	Minimal and Conceptual Art	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 188-189 Review, Online research
26	Post-Modernism: Diversity	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Read text pp. 194-200 Submit Final Report
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Recent Trends 1990-2000	Lecture, video, Note-taking, talk, writing	Skim text from p. 200 to the end Review, Online research
28	Recent Trends 2001-2025	Lecture, slideshow, Course Survey	Last chance to submit the Final Report

テキスト	Carol Strickland. *The Annotated Mona Lisa, Third Edition* (Andrews and McMeel).
参 考 書	The Museum of Modern Art (MoMA): Online Collection, Google Arts & Culture: Online, *The Letters of Vincent Van Gogh*: Online
その他 特記事項	All lectures and student writing will be entirely in English. Videos: English / some Bilingual And, as mentioned above, students must visit two museums and write two reports in English.

科目名	EDU302:　比較・国際教育学					担当教員	杉村　美佳
開講期	春	開講時限	火金 4 限			研究室	4220
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	教育の国際比較、教育問題、教育制度、教育政策、開発と教育、グローバル化と教育
授業の概要	先進国と途上国における教育の現状や課題について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて概観し、比較・国際教育学の基礎理論を理解する。さらに、今日的教育課題である多文化教育、シティズンシップ教育、開発教育や国際教育協力等のあり方を国際的視点から考察する。
達成目標（授業の目的）	比較・国際教育学の基礎理論を理解し、日本と諸外国の教育の現状や課題について、歴史的、政治的、経済的、文化的背景と関連付けて考察し、国際的視野から教育問題の解決に向けた方策を論じられるようになることを目標とする。
到達目標（学修成果）	①日本と諸外国の教育制度や教育政策、教育問題等について、歴史、政治、経済、文化等と関連付けて考察する力を身につけ、比較・国際教育学の基礎理論を習得する。 ②各国の教育の現状や課題について文献の内容をまとめ、論理的に考察することができる。 ③比較・国際教育学的視点から教育事象を論理的、批判的に分析し、教育問題の解決に向けた方策を考察することができる。
評価方法	①リアクション・ペーパー（30%）、②レポート（30%）、③授業内試験（40%）
評価基準	①リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえ論理的に考察できているか。 ②レポート：設定したテーマに即して参考文献の内容を的確にまとめ、教育事象を論理的、批判的に考察できているか。 ③授業内試験：授業内容を理解し、設問に対して正確に解答できているかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	OECD データからみる諸外国と日本の教育	講義･ディスカッション、リアクションペーパー	ジェンダーと教育について調べる
2	比較教育学の歴史的展開と課題	講義･ディスカッション、リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察
3	国際教育学の歴史的展開と課題	講義･ディスカッション、リアクションペーパー	教育の国際組織を調べる 配付プリントの要約・考察
4	教育制度の国際比較（1） ―就学率・識字率―	講義･ディスカッション、リアクションペーパー	識字率について調べる 配付プリントの要約・考察
5	教育制度の国際比較（2） ―学校教育制度の類型―	講義･ディスカッション、リアクションペーパー	英文記事の和訳 配付プリントの要約・考察
6	教育制度の国際比較（3） ―教育制度改革の焦点―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察
7	先進国における学校化社会と学歴（1） ―学校化社会と学歴社会―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	学歴社会について調べる 配付プリントの要約・考察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	先進国における学校化社会と学歴（2） ―ヨーロッパの非学歴社会―	講義･ディスカッション、 リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察
9	先進国における生涯学習社会の構築	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	生涯学習社会について調べる 配付プリントの要約・考察
10	発展途上国における識字教育（1） ―非識字者の分布と構成―	講義･ディスカッション、 リアクションペーパー	配付記事の要約・考察 配付プリントの要約・考察
11	発展途上国における識字教育（2） ―識字教育の取り組み―	講義･ディスカッション、 リアクションペーパー	識字教育について調べる 配付プリントの要約・考察
12	先進国と途上国における児童労働の現状と撲滅に向けた課題	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	児童労働について調べる 配付プリントの要約・考察
13	開発と教育（1）―MDGs の成果と SDGs の課題―	講義･ディスカッション、 リアクションペーパー	MDGs と SDGs を調べる 配付プリントの要約・考察
14	開発と教育（2）―国際教育協力―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	国際教育協力について調べる 配付プリントの要約・考察
15	開発と教育（3）―JICA による国際教育協力の実態―	講義･ディスカッション、 リアクションペーパー	JICA について調べる 配付プリントの要約・考察
16	開発と教育（4）―開発教育―	講義･ディスカッション、 リアクションペーパー	開発教育について調べる 配付プリントの要約・考察
17	レポートの発表	講義･ディスカッション、 リアクションペーパー	レポート発表の準備 配付プリントの要約・考察
18	先進国における国民統合と学校教育（1） ―新自由主義的教育政策―	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	新自由主義について調べる 配付プリントの要約・考察
19	先進国における国民統合と学校教育（2） ―多文化共生教育―	講義･ディスカッション、 リアクションペーパー	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察
20	多文化教育の国際比較	講義・DVD 視聴 リアクションペーパー	多文化教育について調べる 配付プリントの要約・考察
21	発展途上国における国民統合と学校教育（1） ―マレーシアを中心に―	講義･ディスカッション、 リアクションペーパー	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察
22	発展途上国における国民統合と学校教育（2） ―シンガポールを中心に―	講義･DVD 視聴 リアクションペーパー	東南アジアの教育を調べる 配付プリントの要約・考察
23	小括と授業内試験	講義・質疑応答 授業内試験	22 回目までの授業内容の復習
24	紛争後社会における平和構築に向けた教育	講義･ディスカッション、 リアクションペーパー	紛争後教育について調べる 配付プリントの要約・考察
25	ヨーロッパの自由教育（1）シュタイナー教育	講義･DVD 視聴 リアクションペーパー	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察
26	ヨーロッパの自由教育（2）イエナプラン教育	講義･DVD 視聴 リアクションペーパー	自由教育について調べる 配付プリントの要約・考察
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	シティズンシップ教育の日英比較	講義･ディスカッション、 リアクションペーパー	市民性教育について調べる 配付プリントの要約・考察
28	総括および試験の返却と解説	講義・質疑応答	配付資料の要約・考察 配付プリントの要約・考察

テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配付する。
参 考 書	石附 実『比較・国際教育学』（東信堂） 二宮 皓編著『世界の学校』（学事出版）
その他 特記事項	JICA からゲストスピーカーを招き、日本の国際教育協力の実態について講義を行う。

科目名	PHL310:　倫理学					担当教員	丹木　博一
開講期	秋	開講時限	火金 4 限			研究室	4214
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	1, 4	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	1-①, 4-⑤

キーワード	幸福、福利、権利、義務、責任、自由、徳、ハビトゥス
授業の概要	倫理学の歴史を幅広く概観し、個人と社会の望ましい関係はどのようなものか、また社会において私はいかに生きるべきかについて講義とディスカッションを通して考察する。
達成目標（授業の目的）	「社会の中で人生をいかに生きるべきか」という問いを真剣に問い進め、自分の考えを築き上げることができる。
到達目標（学修成果）	・倫理学の歴史に登場する基本的な概念と学説を正しく把握し、それを表現できる。 ・行為選択の倫理的規範についての近現代の主要な議論を理解し、正しく表現できる。 ・倫理的な問いを 提起し、その問いに関する自分自身の考えを説明できる。
評価方法	①提出課題（17%＝1%×17 回）、②リアクションペーパー（28%＝1%×28 回）、③中間レポート（2,000 字以上）（25%）、④期末レポート（2,500 字以上）（30%）
評価基準	① 提出課題：事前に指示した通り課題を行い提出できたかどうか。 ② リアクションペーパー：授業で説明された倫理学の基本的な概念と学説の意味を、自分の言葉で正しく論述できるかどうか。 ③ 中間レポート：14 回目までの授業で取り上げた倫理学説を一つ取り上げ、それが行為選択のための倫理規範をどのように考えているかを自分の言葉でわかりやすく説明した上で、自分の意見を論述展開できるかどうか。 ④ 期末レポート：山内志朗『小さな倫理学入門』について問いを提起し、筆者の考えを自分の言葉で説明した上で、理由を挙げて自分の考えを展開できるかどうか。
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う／ Moodle ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入　倫理学とは何か	講義・話し合い・リアクションペーパー	「倫理学」とはどのような学問であるかを調べておく。
2	規範倫理学の代表的な理論について①　功利主義	講義・話し合い・リアクションペーパー	「功利主義」の特徴を調べておく。
3	規範倫理学の代表的な理論について②　義務倫理学	講義・話し合い・リアクションペーパー	「義務倫理学」の特徴を調べておく。
4	規範倫理学の代表的な理論について③　契約論	講義・話し合い・リアクションペーパー	「契約論」の特徴を調べておく。
5	規範倫理学の代表的な理論について④　徳倫理学	講義・話し合い・リアクションペーパー	「徳倫理学」の特徴について調べておく。
6	ソクラテスの問い「いかに生きるべきか」	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.9-35 と pp.381-390 を読んでおく。
7	利己主義的考慮と倫理的考慮	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.36-55 をていねいに読み、問いを提起する。
8	倫理に関するアルキメデスの支点	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.56-71 をていねいに読み、問いを提起する。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	幸福と徳	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.72-91 をていねいに読み、問いを提起する。
10	アリストテレス の目的論的思考	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.91-115 をていねいに読み、問いを提起する。
11	基本的自由への権利	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.116-136 をていねいに読み、問いを提起する。
12	私にとっての実践的熟慮	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.136-148 をていねいに読み、問いを提起する。
13	ロールズの契約論	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.149-176 をていねいに読み、問いを提起する。
14	ヘアーの功利主義	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.176-188 をていねいに読み、問いを提起する。
15	理論と直観の間の反省的均衡	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.189-211 をていねいに読み、問いを提起する。
16	理論と偏見	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.211-237 をていねいに読み、問いを提起する。
17	言語論的転回	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.238-260 をていねいに読んでおく。 中間レポート提出。
18	客観性をめぐる議論	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.261-284 をていねいに読み、問いを提起する。
19	倫理的思考の本性 中間レポートの講評	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.284-303 をていねいに読んでおく。
20	相対主義と反省	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.304-337 をていねいに読んでおく。
21	道徳的義務と重要性という概念	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書①pp.338-390 をていねいに読み。問いを提起する。
22	欲望と情念	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.5-18 をていねいに読み、問いを提起する。
23	私であることの苦しみ	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.19-33 をていねいに読み、問いを提起する。
24	偶然性とハビトゥス	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.33-47 をていねいに読み、問いを提起する。
25	傷つきやすさ	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.47-60 をていねいに読み、問いを提起する。
26	涙と友愛	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.61-74 をていねいに読んでおく。 期末レポート提出。
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	真理と目的に対する疑問	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.74-88 をていねいに読み、問いを提起する。
28	私とは何か 期末レポートの講評	講義・話し合い・リアクションペーパー	教科書②pp.88-100 を読んでおく。

テキスト	①バーナド・ウィリアムズ『生き方について哲学は何が言えるか』（ちくま学芸文庫） ②山内志朗『小さな倫理学入門』（慶應義塾大学三田哲学会叢書）
参 考 書	マイケル・サンデル『これからの「正義」の話をしよう』（ハヤカワ文庫） 品川哲彦『倫理学入門』（中公新書）
その他 特記事項	主体的な関心をもって授業に臨んで欲しい。分からない点や疑問がある場合は、どんどん質問してもらいたい。

科目名	SOC301: 平和と開発					担当教員	Thomas
開講期	秋	開講時限	月木2限			研究室	4211
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-⑤

キーワード	sustainable development, poverty eradication, universal education, gender equality, global partnership
授業の概要	This course makes an in-depth exploration of “Sustainable Development Goals (SDGs)” initiated by the United Nations Organization in the year 2015. It explores the seventeen SDGs and one hundred sixty-nine targets highlighting their foundation in the “Millennium Development Goals” which concluded in 2015. Through lectures, discussions and assignments, students will critically engage with the SDGs, focusing on their global significance and practical implementation. As part of coursework, students will be required to choose one of the seventeen goals and analyze its application in a specific developing country.
達成目標（授業の目的）	The general goals of this course are to (1) analyze the achievements and unresolved challenges of MDGs, (2) develop a comprehensive understanding of the significance of SDGs, with a particular focus on developing countries, and (3) explore the interconnected relationship between development and peace.
到達目標（学修成果）	By the end of this course students will ・acquire a deeper understanding of the relevance and achievements of MDGs and SDGs ・comprehend the transition from MDGs to SDGs ・recognize the significance of SDGs in shaping the future of the world ・increase their awareness of global issues especially in developing countries ・improve their ability to do research on issues related to peace and development ・learn to cooperate and contribute to group discussion and active class participation
評価方法	Class participation (40%), Reaction paper (20%), Presentation of SDGs (20%), Final report with presentation (20%)
評価基準	To be distributed at the first class.
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course, course materials, class policies, evaluation criteria	lecture, discussion, Q&A	read syllabus
2	Developed countries and developing countries, OCED, G8, G20, BRICS	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
3	What is development? Relation between development and peace	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
4	Introduction to Millennium Development Goals (MDGs), history of MDGs	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
5	Achievements of MDGs – Goals 1 - 4	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
6	Achievements of MDGs – Goals 5 - 8	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	From MDGs to Sustainable Development Goals (SDGs)	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for discussion
8	SDG 1: No poverty, presentation on SDG 1 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
9	SDG 2: Zero hunger, presentation on SDG 2 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
10	SDG 3: Good health and well-being, presentation on SDG 3 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
11	SDG 4: Quality education, presentation on SDG 4 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
12	SDG 5: Gender equality, presentation on SDG 5 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
13	SDG 6: Clean water and sanitation, presentation on SDG 6 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
14	SDG 7: Affordable and clean energy, presentation on SDG 7 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
15	SDG 8: Decent work and economic growth, presentation on SDG 8 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
16	SDG 9: Industry, innovation and infrastructure, presentation on SDG 9 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
17	SDG 10: Reduced inequalities, presentation on SDG 10 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
18	SDG 11: Sustainable cities and communities, presentation on SDG 11 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
19	SDG 12: Responsible consumption and production, presentation on SDG 12 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
20	SDG 13: Climate action, presentation on SDG 13 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
21	SDG 14: Life below water, presentation on SDG 14 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
22	SDG 15: Life on land, presentation on SDG 15 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
23	SDG 16: Peace, justice and strong institutions, presentation on SDG 16 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
24	SDG 17: Partnerships for the goals, presentation on SDG 17 by students	lecture, reading, group work, discussion	read handouts, do preview sheet, prepare for presentation
25	Presentation of final report by students (Group 1)	presentation, discussion, feedback, Q&A	prepare for presentation
26	Presentation of final report by students (Group 2)	presentation, discussion, feedback, Q&A	prepare for presentation
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Presentation of final report by students (Group 3)	presentation, discussion, feedback, Q&A	prepare for presentation
28	Challenges faced by SDGs: politics, international cooperation	lecture, reading, group work, discussion	Submit Final report

テキスト	Materials adapted from *The 2030 Agenda for Sustainable Development* and *The Sustainable Development Goals Report 2025* and *The Millennium Development Goals Report 2015* will be distributed in class.
参 考 書	Rorden Wilkinson and David Hulme (Eds.). *The Millennium Development Goals and Beyond* (Routledge).

科目名	LIT310: 英詩研究					担当教員	飯田 純也
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4 号館 2 階 講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	詩、詩人、モラル、ダンテ、煉獄、死者の声、戦争、平和、内戦、虐殺、イデオロギー
授業の概要	詩は人類が学んだ教訓を記憶に刻む。詩とは何か踏まえた上で、次に世界の詩人に影響を与えたイタリアの詩人ダンテの代表作『神曲』を概観する。そして最後、極限状況で詩を書いた世界の詩人たちの詩を英語訳で読み、あらためて詩とは何か問う。最終的に各自小論文 no. 1-3 でまとめた内容を振り返り、期末レポート（4,000 字以上）を提出する。
達成目標（授業の目的）	授業の目標は、差別、迫害、暴力、戦争という時代背景を批判的に分析しながら、詩のテキストの中に忘れてはならない教訓を読み取り、自分のことばで表現する語学力と思考力の獲得である。
到達目標（学修成果）	1. 英語文化圏を代表する詩人の作品を分析、批判、評価することができる 2. 作品が描く歴史的・社会的問題や課題を理解することができる 3. 作品で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる 4. 問題意識をもって詩を読む習慣ができる 5. 議論をまとめる能力を身につけることができる
評価方法	①小論文、作品の背景を理解した上で、作品を分析、批判、評価できているか、計 40% ②発表と期末レポート、何が問題か理解できているか、問題を分析し、根拠を上げ、自分の文章で論述しているか、発表 10%、定期試験 30% ③シャトルカード、問題意識をもって映画を見る習慣ができているか、計 20%
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	授業紹介 Poetry in *In Her Shoes* (2005 movie)	講義、DVD 視聴	課題 DVD 資料の準備
2	Poetry poems: Pablo Neruda, Marianne Moore, William Carlos Williams, Seamus Heaney, etc.	講義、DVD 視聴、質疑応答	課題 DVD 資料の準備
3	Poetry poems: John Donne, Andrew Marvell, Robert Herrick, John Keats, Wallace Stevens	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
4	Long poems vs short poems: Imagist poems, etc.	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
5	Ezra Pound: poems from *Cathay*, etc.	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
6	Poems in sequence: Charles Baudelaire, Emily Dickinson, W. B. Yeats, Pound, etc.	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
7	T. S. Eliot: “The Love Song of J. Alfred Prufrock”; Pound: “Hugh Selwyn Mauberley”	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	Eliot: *The Waste Land*	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
9	Dantesque poems: Geoffrey Chaucer, Percy Bysshe Shelley, George Gordon Byron, etc.	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
10	Dantesque poems: Robert Browning, Dante Gabriel Rossetti, Yeats, Heaney, etc.	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
11	総括	ディスカッション	小論文 no. 1 の準備（提出は次回授業時）
12	ダンテ講義①『神曲』全体の枠組 *Inferno* 1-2, *Paradiso* 31-33	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
13	ダンテ講義②『地獄編』リンボの異教徒アリストテレス　*Inferno* 4-5, 10, 13	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
14	ダンテ講義③『地獄編』裏切りは何を裏切るか　*Inferno* 19, 26, 33	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
15	ダンテ講義④『煉獄編』罪人は救われるか *Purgatorio* 1, 3, *Paradiso* 3	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
16	ダンテ講義⑤『煉獄編』わけるよりあわせる　*Purgatorio* 21-30	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
17	ダンテ講義⑥『天国編』哲学のあるべき雛形　*Paradiso* 10-13	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
18	ダンテ講義⑦『天国編』政治のあるべき雛形　*Paradiso* 14-20	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
19	ダンテ講義⑧『神曲』聖戦を戦わない皇帝フェデリコ　十字軍をめぐる教皇 vs 皇帝	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
20	ダンテ講義⑨『神曲』三つの比喩 天空、生命、音楽	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
21	ダンテ講義⑩『神曲』総括	ディスカッション	小論文 no. 2 の準備（提出は次回授業時）
22	詩集 *Against Forgetting* の詩を読む（1） 個人研究の案内（研究倫理等）	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
23	詩集 *Against Forgetting* の詩を読む（2） Poems from “The Holocaust”	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
24	詩集 *Against Forgetting* の詩を読む（3） Poems from “World War II”	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
25	詩集 *Against Forgetting* の詩を読む（4） Poems from “War in Korea and Vietnam”	講義、質疑応答、ディスカッション	課題資料の予習、要約をノート
26	詩集 *Against Forgetting* の詩を読む（5） Poems from other chapters	ディスカッション	小論文 no. 3 及び期末レポート準備（提出は次回授業時）
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	詩の朗読会 シャトルカードの返却	朗読	期末レポート提出
28	期末レポートの返却と講評	講義、グループ討論	シャトルカードの読み返しと学修内容の振り返り

テキスト	Carolyn Forché (ed.). *Against Forgetting: Twentieth-Century Poetry of Witness* (W. W. Norton). 詩のテキスト及び資料を随時配布する
参 考 書	Dante Alighieri. *Divine Comedy* (Chartwell Books).

科目名	LIT321: 小説研究					担当教員	永野　良博
開講期	秋	開講時限	月木5限			研究室	4218
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	英米小説、小説技法、批評理論、社会参加、疎外、排除、英文読解、口頭発表、論文作成
授業の概要	小説技法と批評理論への理解を深め、小説の主題として共同体や社会への参加、疎外や排除の問題を中心に扱う。小説技法としてプロット、語り手、時間、性格、アイロニー、ポリフォニー、異化等を学び、批評理論として、脱構築、精神分析、ジェンダー、マルクス主義、ポストコロニアリズム等を学ぶ。扱う小説は、Mary Shelley 作 *Frankenstein*、Kazuo Ishiguro 作 *Never Let Me Go*、John Steinbeck 作 *Of Mice and Men*、J.D. Salinger 作 *The Catcher in the Rye*。
達成目標（授業の目的）	基本的な小説技法と批評理論を理解し、それらを基に日々議論を行い、各自が小説に関する独自の論を発展させることが主な目的である。小説の読解を通じて創造的な文章の理解力を高め、第二次資料の読解を通じて、論理的、分析的、批判的な文章への理解力を高める。そして文学研究上重要な用語、概念、研究法に慣れ親しみ、小説に見出した問題を共同体や社会への参加やそこからの疎外や排除という問題と結び付け、研究上の主題を設定し、意見を発表し、議論を発展させる力を養う。また小説に関する論文作成力を身に付ける。
到達目標（学修成果）	学期前半で小説技法と批評理論に関する用語と概念の基本的な意味を理解し、それを学期が進む中で小説の分析に応用出来る。小説の比喩的な言語を理解し、人間の心、対話、行動、社会状況について独自の洞察を含む読解が出来る。主題として社会参加に問題を抱える人物と彼等を取り巻く状況を理解出来る。口頭発表では作品の英文と内容理解を基に自らの意見を明確に述べ、論文作成では小説研究の基本的方法を理解し独自の論を発展出来る。
評価方法	授業参加（40%）、発表（30%）、論文（30%）
評価基準	日々の授業参加では、小説技法と批評理論の基本事項を理解し、また小説の内容を正確に理解し、自らの想像力を駆使して得た洞察を含む意見を明確に述べることが求められる。口頭発表では、小説と第二次資料の内容の重要な点を適切に判断し理解した上で文章にまとめ、その上で自らの意見を明確で論理的に述べることが重要である。また第一次資料から選んだ英文について、語彙、文法、意味の解説を的確に行うことが出来ること。論文作成では、自分が研究対象として選んだ小説一作品を英語で読み、その内容に関して授業で扱った文学研究のアプローチを活用しながら、自ら設定した主題を明確に説明し、それを論理性と構成力を持って発展させ、意義ある結論に到達することが重要である。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	【小説】*Frankenstein*、生と死の境界 【技法・理論】ストーリーとプロット	講義、質疑応答、議論	*Frankenstein* 第 1 巻 『批評理論入門』pp. 4-21
2	冒険家の手紙、理想主義、友情の希求 プロットとサスペンス	講義、質疑応答、議論	*Frankenstein* 第 1 巻 『批評理論入門』pp. 4-21
3	母の死、科学、啓蒙主義、ロマン主義 枠物語、語り手の人称と信頼性	講義、質疑応答、議論	*Frankenstein* 第 1 巻 『批評理論入門』pp. 22-33
4	生命の根源への興味、神秘主義、ゴシック 焦点化、外的焦点化、内的焦点化	講義、質疑応答、議論	*Frankenstein* 第 1 巻 『批評理論入門』pp. 34-47
5	人造人間の制作、美と醜、他者性の拒絶 提示と叙述、時間、速度	講義、質疑応答、議論	*Frankenstein* 第 1 巻 『批評理論入門』pp. 48-62
6	排除される怪物、孤独、憎悪、復讐 性格描写、アイロニー、声	講義、発表、質疑応答、議論	*Frankenstein* 第 2 巻 『批評理論入門』pp. 63-80

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	怪物の善良性、理性、感受性、人間像 イメージャリー、反復、異化	講義、発表、質疑応答、議論	*Frankenstein* 第 2 巻 『批評理論入門』pp. 81-94
8	新たな人造人間の解体、怪物の伴侶の喪失 間テクスト性、メタフィクション、結末	講義、発表、質疑応答、議論	*Frankenstein* 第 3 巻 『批評理論入門』pp. 95-112
9	花嫁の死、怪物の追跡、傲慢さが招くもの 伝統、ジャンル	講義、発表、質疑応答、議論	*Frankenstein* 第 3 巻 『批評理論入門』pp. 113-133
10	北極へ向けた旅、怪物の独白、まとめ 読者反応、脱構築	講義、質疑応答、議論	*Frankenstein* 第 3 巻 『批評理論入門』pp. 133-154
11	【小説】*Never Let Me Go*、介護、創造力の謎 【技法・理論応用】精神分析、フェミニズム	講義、質疑応答、議論	*Never Let Me Go* 第 1-3 章 『批評理論入門』pp. 155-178
12	幼少期の特権、機会乱用、運命の予感、歌 ジェンダー論、マルクス主義	講義、質疑応答、議論	*Never Let Me Go* 第 4-6 章 『批評理論入門』pp. 178-191
13	クローンの臓器提供の使命、提供と芸術 脱植民地主義、新歴史主義、文体論	講義、質疑応答、議論	*Never Let Me Go* 第 7-9 章 『批評理論入門』pp. 211-230
14	【小説、技法・理論応用】愛、友情、親探 し、参加不能な別世界、夢、自己の忘却	講義、質疑応答、議論	*Never Let Me Go* 第 10-12 章 『批評理論入門』選択箇所
15	愛の証明と延命の可能性、別世界の別の自 分、自虐、贈り物の再発見、芸術と魂	講義、質疑応答、議論	*Never Let Me Go* 第 13-15 章 『批評理論入門』選択箇所
16	絵画をめぐる立場の相違、引き裂かれる男 女、介護人の仕事、友との再会・介護	講義、質疑応答、議論	*Never Let Me Go* 第 16-18 章 『批評理論入門』選択箇所
17	小旅行、友の臓器提供と体力の衰え、友の 告白、延命の希望、恋人の介護、愛と芸術	講義、質疑応答、議論	*Never Let Me Go* 第 19-21 章 『批評理論入門』選択箇所
18	運命の現実、クローンと人間性、クローン への恐怖、正しき者、誰にも奪えないもの	講義、質疑応答、議論	*Never Let Me Go* 第 22-23 章 『批評理論入門』選択箇所
19	【小説、技法・理論応用】*Of Mice and Men* 社会参加、不適合者の生	講義、質疑応答、議論	*Of Mice and Men* 第 1-2 章 『批評理論入門』選択箇所
20	自律性、動物と人間の生の尊厳、生命剥 奪、土地所有、人種差別、権利剥奪	講義、質疑応答、議論	*Of Mice and Men* 第 3-4 章 『批評理論入門』選択箇所
21	社会不適合者と女性の抑圧、殺人、逃亡、 友人の殺害、夢の崩壊、まとめ	講義、質疑応答、議論	*Of Mice and Men* 第 5-6 章 『批評理論入門』選択箇所
22	【小説、技法・理論応用】*The Catcher in the Rye*、語り口、放校、虚偽的社会の拒絶	講義、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 1-3 章 『批評理論入門』選択箇所
23	隣人との関係、虚偽の友情、自己愛、友人 への嫉妬、弟の死、トラウマ	講義、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 4-6 章 『批評理論入門』選択箇所
24	旅立ち、止まらない嘘、夜のホテル、妹と の繋がり、ニューヨークの街路の彷徨	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 7-10 章 『批評理論入門』選択箇所
25	未成熟な異性への感情、兄への批判、深ま る鬱状態、虚偽的な夜の世界、買春、恐喝	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 11-14 章 『批評理論入門』選択箇所
26	階級差の認識、修道女との出会い、宗教に 関する考察、ブルジョア生活と虚偽	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 15-18 章 『批評理論入門』選択箇所
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	成長への抵抗、死に関する考察、家への帰 還、妹との対話、いじめと死、理不尽さ	講義、発表、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 19-22 章 『批評理論入門』選択箇所
28	転落の予感、同性愛、西部移住の空想、ク リスマスと再生、まとめ	講義、質疑応答、議論	*Catcher in the Rye* 第 23-26 章 『批評理論入門』選択箇所

テキスト	1 廣野由美子『批評理論入門』（中公新書） 2 メアリー・シェリー『フランケンシュタイン』芦澤恵訳（新潮文庫） 3 カズオ・イシグロ『私を離さないで』土屋政雄訳（早川文庫） 4 ジョン・スタインベック『ハツカネズミと人間』大浦暁生訳（新潮文庫） 5 J.D. サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』野崎孝訳（白水 U ブックス） （上記 2～5 の小説の内で英語原書一冊を加える）

科目名	LIT322: 映画と文学					担当教員	飯田　純也
開講期	春	開講時限	火金 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと
DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要					学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。					4-⑤
キーワード	歴史、教訓、社会、戦争、反戦、虐殺、差別、SF、ユートピア、プロパガンダ、ゲーム						
授業の概要	映画と文学を物語として捉え、映画作品において、われわれの世界がどのように物語られているのか探求する。名作とされるものを多く取り上げ、作品の内容を理解する語学力、作品が取り上げる問題を分析、批判、議論する思考力を身につける。						
達成目標（授業の目的）	授業では毎回、映画作品を取り上げ、物語の内容を理解する語学力と、物語が描く「世界」「社会」「人間」を分析的、批判的、論理的に説明する思考力の獲得を目標とする。						
到達目標（学修成果）	1. 映画を物語として分析、批判、評価することができる 2. 映画が描く現代の問題や課題を理解することができる 3. 映画で扱われている諸問題を人文科学、社会科学の視点から考えることができる 4. 問題意識をもって映画を見る習慣ができる 5. 映画を語学教材として活用する習慣ができる						
評価方法	①小論文では、作品の背景を理解した上で、作品を分析、批判、評価できているか、評価（計 40%） ②発表と定期試験では、何が問題か理解できているか、問題を分析し、根拠を上げ、自分の文章で論述しているか、評価（発表 10%、定期試験 30%、計 40%） ③シャトルカード（SC）では、問題意識をもって映画を見る習慣ができているか、評価（計 20%）						
評価基準	詳細は初回授業時に説明する。						
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う ・口頭で行う ・提出物にコメントをつけて返却する						
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。						

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to Film and Literature *Hugo* (2011)	講義、質疑応答、ペアワーク、グループ討論	課題リストを基に DVD の入手先を各自検討
2	discussion: *Hugo* *Cinema Paradiso* (1988)	講義、質疑応答、ペアワーク、グループ討論	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
3	discussion: *Cinema Paradiso* Chaplin: *The Kid*, *Modern Times*, etc.	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
4	discussion: *The Kid*, *Modern Times*, etc. Chaplin: *The Great Dictator* (1940)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
5	discussion: *The Great Dictator*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 1 の準備（提出は次回授業時）
6	Drama: *What's Eating Gilbert Grape*, *Rain Man*, *I Am Sam*, etc.	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
7	discussion: *WEGG*, *RM*, *IAS*, etc. Drama: *The Theory of Everything* (2014)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	discussion: *The Theory of Everything* Epic: *War and Peace*, *Doctor Zhivago*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
9	discussion: *WAP*, *DZ* Epic: *Dances with Wolves*, *Legends of the Fall*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
10	discussion: *DWW*, *LOTF* Epic: *Les Misérables* (2012)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
11	discussion: *Les Misérables*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 2 の準備（提出は次回授業時）
12	SF: *Metropolis*, *2001: A Space Odyssey*, *The Time Machine*, *The War of the Worlds*, *Avatar*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
13	discussion: SF films	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
14	Dystopia: *The Hunger Games* trilogy (2012, 2013, 2014, 2015)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
15	discussion: *The Hunger Games* trilogy	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 3 の準備（提出は次回授業時）
16	War: *The Cold Mountain*, *The Red Baron, A Bridge Too Far*, *Nuremberg*, *Joyeux Noël*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
17	War: *Thirteen Days* (2000) discussion: *Thirteen Days*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
18	Propaganda: Eisenstein, Griffith, Riefenstahl *Welcome to Sarajevo* (1998)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
19	discussion: Propaganda, *Welcome to Sarajevo* Introduction to independent research	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 4 の準備（提出は次回授業時）
20	Music: *The Sound of Music*, *Amadeus*, *The Phantom of the Opera*, *La La Land*, etc.	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
21	discussion: Music films	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
22	Race: *The Color Purple* (1985), *12 Years a Slave* (2013)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
23	Marriage: *Pride and Prejudice* (1995), *Bridget Jones* film series (2001, 2004)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
24	Fantasy: *Harry Potter*, *Star Wars*, *The Lord of the Rings* film series	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
25	Japanese films: Kurosawa (*Seven Samurai*, etc.), Ozu (*Tokyo Story*, etc.)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
26	Japanese films: Miyazaki (*Princess Mononoke*, *Ponyo*, *From Up on Poppy Hill*, etc.)	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	発表等準備、小論文 No. 5 の準備（提出は定期試験時）
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
27	Romance: *Pretty Woman*, *50 First Dates*, *P.S. I Love You*, *The Notebook*	講義、発表、ペアワーク、ディスカッション	課題 DVD を視聴、ノート作成、SC 及び発表準備
28	定期試験と SC の返却と講評	講義、ペアワーク、ディスカッション	SC の読み返しと学修内容の振り返り

テキスト	テキストは使用しません。授業ごとに資料を用意して配布します。
参考書	Jill Nelmes. *Introduction to Film Studies* (2011); Edward Bernays. *Propaganda* (2005); Timothy Corrigan. *Film and Literature: An Introduction and Reader* (2012)
その他特記事項	この授業では世界史の知識が前提となるので、高校世界史を復習すること。

科目名	LNG310: 社会言語学					担当教員	神谷 雅仁
開講期	春	開講時限	月木5限			研究室	4215
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	言語コミュニティー、社会・地域方言、多言語主義、Politeness、言語と文化、言語政策
授業の概要	本講は言語学の中でも社会言語学と呼ばれる分野の入門編という位置付けのもと、言語をそれが使われる社会との関係から考察していく。各単元の学修内容は言語選択やポライトネス理論、社会方言など社会言語学の中でも中核を成す内容を中心に構成される。授業はテキストの内容をまとめたレジュメ、および関連する内容についての様々な資料を用い、講義形式で進められる。また、理解定着のため必ず単元ごとに既習内容の review を行う。
達成目標（授業の目的）	本講で対象となる言語社会は多くの学生にとっての母語である日本語社会、および様々な英語圏の国・地域で使用される英語のコミュニティーが中心となるが、ヨーロッパやアジアなど、その他の地域に関する言語状況などについても概観する。そのため、学生は人が社会の中でどのように言葉を選択し、それを使用しているかについて幅広い、グローバルな視点に立って考えることができるようになる。
到達目標（学修成果）	上記の達成目標のもと、学生は言語使用や言語のバリエーションに関する様々な概念や理論に触れ、日本語や英語、また他の言語が各言語コミュニティーの中でどのような状況に置かれているのかについて、客観的に認識できるようになる。同時に自らの言語生活を振り返ることで、いつどこでどのような言葉を使っているか、そして自らの母語（および第二言語）がどのように自らのアイデンティティー形成に関与しているかなどについても考察することができるようになる。
評価方法	▸授業内試験①（30%）、▸授業内試験②（40%）、▸Research Assignment（20%）、▸授業参加度（10%）
評価基準	▸授業内試験①、②：試験までの学修内容について、用語、概念、理論的枠組みなどが言語例とともに理解され、定着しているかを問う。 ▸Research assignment：学期を通して学ぶいくつかのテーマには、それをさらに学生が自ら調べ、まとめるという課題が課せられる。これらの課題は期限内に提出されたかどうかに加え、①指示通りに調べたことがまとめられているか、②それを自分自身の言語観や日々の言語生活、また経験に照らし合わせ、より深く議論できているかによって評価される。 ▸授業参加度：受講態度や授業内での積極的・自発的な発言、またグループ活動への参加などがトータルに判断される。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally ・提出物にコメントをつけて返却する／comments made on returned papers
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Course overview & What is language? 本講の概観＆言語とは何か	講義、グループワーク、ディスカッション	テキストのまえがきを読む 言葉について考える
2	What is Linguistics? 言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 1）、レジュメの予習・復習
3	What is Sociolinguistics? 社会言語学という分野を概観する	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 1）、レジュメの予習・復習
4	Multilingual society 多言語社会	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 2）、レジュメの予習・復習
5	Diglossia & Domain 2 言語併存の状況	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 2）、レジュメの予習・復習
6	Code-switching: Why do we code-switch? なぜコードスイッチするのか	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch. 2）、レジュメの予習・復習

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Code-switching: How do we code-switch? どのようにコードスイッチするのか	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.2）、レジュメの予習・復習
8	Language death: “Ainu Rebels” 言語の死：“Ainu Rebels”	講義、ディスカッション、DVD 視聴	テキストを読む（ch.2）、レジュメの予習・復習
9	Language death 言語の死：絶滅危惧言語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.2）、レジュメの予習・復習
10	Pidgin and Creole　ピジン語とクレオール語：その背景と特徴	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.2）、レジュメの予習・復習
11	Pidgin and Creole　ピジン語とクレオール語：広がりと言語的発達　前半のまとめ	講義、ディスカッション、質疑応答	レジュメの予習・復習、前半の振り返り
12	Regional variations: dialects in America アメリカの地域方言　前半のまとめとテスト準備	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
13	Mid-term Test 授業内試験①　Regional variations: language & dialect 言語と方言	試験実施、講義、質疑応答	前半内容の復習、テキストを読む（ch.3）
14	Test review 試験結果の返却と解説　Regional variations: language & dialect 言語と方言続き	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
15	World Englishes: 国際語としての英語	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
16	Social variations: Studies by Labov 社会方言：Labov の調査研究	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
17	Social variations: social class 社会方言：社会階級	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
18	Social variations: genderlect 社会方言：性別による言語使用	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
19	Social variations: ethnicity and age / generation 社会方言：人種・民族、年齢・年代	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.3）、レジュメの予習・復習
20	Audience Design and Accommodation Theory オーディエンス・デザインとアコモデーション	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.4）、レジュメの予習・復習
21	Politeness: Its background ポライトネス：言語学的、語用論的背景	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.4）、レジュメの予習・復習
22	Politeness: B &L’s politeness ポライトネス：ブラウン＆レビンソン	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.4）、レジュメの予習・復習
23	Sexist language use 性差別的言語使用	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、レジュメの予習・復習
24	Cross-cultural Communication: Culture & Context　異文化コミュニケーション：文化	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、レジュメの予習・復習
25	Cross-cultural Communication: Sapir-Whorf Hypothesis　サピア＝ウォーフ仮説、Review	講義、ディスカッション、質疑応答	テキストを読む（ch.5）、レジュメの予習・復習
26	Final Test 授業内試験② Language policy 言語政策	試験実施、講義、質疑応答	後半内容の復習、テキストを読む（ch.5）
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Test review 試験結果の返却と解説 Language Planning 言語計画	講義、ディスカッション、質疑応答	テスト問題の見直し レジュメの予習・復習
28	Think about language and identity. Course review 全体のまとめ	講義、質疑応答	授業全体の学修内容を見直す、全レジュメの復習

テキスト	東照二（著）『社会言語学入門』（研究社）
参 考 書	飯野公一ほか（著）『新世代の言語学』（くろしお出版） Wardhaugh, R. *An Introduction to Sociolinguistics* (Blackwell).
その他 特記事項	本講の履修には「言語学概論」が履修済みか、同時履修している、あるいは言語系のゼミナールに所属していることが望ましい。

科目名	LNG305:　音声学					担当教員	野口　大斗
開講期	秋	開講時限	火 4・5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	調音音声学、音響音声学、知覚音声学、Praat、Python
授業の概要	講義は主につぎの 2 点から構成される： ・講師による指定教科書に沿った英語音声学の基礎に関する説明と演習 ・コンピューターを使用した実習（Praat と Python を使用）
達成目標（授業の目的）	本講義の主な目的は下記の 3 点である： ・音声学の基礎的な知識を獲得すること ・履修生同士でディスカッションしたり、実習に取り組んだりすること ・実際のデータと向き合い、必要な情報を収集し、試行錯誤しながら分析を進めること
到達目標（学修成果）	履修生は本講義を受講し演習に取り組むことによって学期末までに下記 3 点の目標に到達することが期待される： ・音声学の基礎的な事項について他者に説明できること ・Praat と Python を使用してごく初歩的な音声データを処理できること ・基本的な音声実験データの収集・分析ができ、エラーが生じた場合に必要な情報を参照・検索できること
評価方法	演習問題による講義内容の理解（授業内での発言や発表・リアクションペーパー）（奇数回）：50% 実習の報告（口頭・レポート）（偶数回）：50%
評価基準	いずれの項目も採点は以下のルーブリックにより、自己評価を踏まえたうえでの教員の評価を採用する。 100 点：指示された範囲を超えて新たなデータや手法を試した。／他の履修生とのかかわりの中で学びをより深めることができた。 90 点：最終的な結果を得ることができた。 80 点：取り組みの手順は理解しているものの、最終的な結果が正しくない。 70 点：取り組もうとはしているものの、手順を完全に理解していない。 60 点以下：取り組んでいない。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	調音点と調音法	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.8-57）
2	Praat 入門	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
3	調音運動	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.58-85）
4	音声の録音とアノテーション	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
5	アクセント	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.85-93）
6	Python 入門	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	音と波	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.94-106）
8	音響特徴量の測定	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
9	音の大きさ	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.106-113）
10	jsPsych によるオンライン産出実験作成	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
11	音声波形の重ね合わせと分解	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.114-120）
12	音声実験データの取り出し	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
13	スペクトルとスペクトログラム	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.120-123）
14	Julius による forced alignment	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
15	共鳴	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.124-130）
16	Montreal Forced Aligner による forced alignment	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
17	音響モデルとフォルマント	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.130-139）
18	音声の manipulation	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
19	分節音の音響特性	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.140-165）
20	jsPsych によるオンライン知覚実験作成	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
21	音の可視化と読み解き	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.166-173）
22	知覚実験データの分析	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
23	音響音声学と数学	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.174-184）
24	音声認識	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
25	聴覚の仕組み	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.186-209）
26	音声合成	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	音声の知覚	講義・グループワーク	予習：教科書を読む（pp.210-233）
28	声質変換	演習	予習：連続授業のためなし 復習：演習の振り返り

テキスト	川原繁人『ビジュアル音声学』（三省堂）
参 考 書	北原真冬／田嶋圭一／田中邦佳『音声学を学ぶ人のための Praat 入門』（ひつじ書房）
その他 特記事項	授業内で音声解析ソフトなどを使用するため、自身が管理者権限を持つ PC（Window/Mac のいずれでも可）を必ず持参すること。携帯電話やタブレット上では使用できないため不可。

科目名	LNG330:　日本語学					担当教員	鷲見　あつみ
開講期	秋	開講時限	火 4 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	外国語としての日本語、日本語の特徴、4 つの言語領域と 4 つの文法カテゴリー
授業の概要	・日本語の構造や様々な特徴を音声・文法・語彙・表記の観点から理解を深める。 ・日本語らしい表現や言語変化にも目を向け外国語としての日本語を捉えていく。
達成目標（授業の目的）	日本語母語話者が学んできた国語文法と、日本語学習者へ教える日本語文法の相違点を理解し、使い方を身に付けることを目的とする。
到達目標（学修成果）	・外国語としての日本語を理解し、日本語学習者の言語習得への理解とアプローチ法を身に付ける。 ・文法中心型ではなく、語彙、表記、音声領域からも捉え、社会における日本語の言語変化と多様性まで理解することを学修成果とする。
評価方法	①　授業への主体的な取り組み　30% ②　中間試験　30% ③　定期試験　40%
評価基準	①　授業への主体的な取り組み：　授業内の議論に主体的に取り組み、発表しているか。 ②　中間試験　：　国語教育と日本語教育の相違点を理解しているか。 ③　定期試験　：　様々な観点から見た日本語の特徴を理解し、多様な日本語表現や言語変化にも気づきを得ているか。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	日本語の音と形：発音のしくみ、特殊拍、五十音図	講義、ワーク 質疑応答	教科書 2-9 頁を読む　（予習） レジュメに目を通す　（復習）
2	日本語の音と形：音素と異音、アクセント	講義、ワーク 質疑応答	教科書 10-15 頁を読む（予習） レジュメに目を通す　（復習）
3	日本語の音と形：漢字かな交じり文 短縮語	講義、ワーク 質疑応答	教科書 16-20 頁を読む（予習） レジュメに目を通す　（復習）
4	日本語の文法　：日本語の品詞、活用（1）	講義、ワーク 質疑応答	教科書 22-26 頁を読む（予習） レジュメに目を通す　（復習）
5	日本語の文法　：活用（2）、動詞の分類	講義、ワーク 質疑応答	教科書 22-26 頁を読む（予習） レジュメに目を通す　（復習）
6	日本語の文法　：格助詞、ヴォイス 使役、受身、授受表現	講義、ワーク 質疑応答	教科書 27-36 頁を読む（予習） レジュメに目を通す　（復習）
7	日本語の文法　：テンス、アスペクト	講義、ワーク 質疑応答	教科書 37-43 頁を読む（予習） レジュメに目を通す　（復習）
8	日本語の文法　：モダリティ 語彙（1）	講義、ワーク 質疑応答	教科書 44-45 頁を読む（予習） レジュメに目を通す　（復習）

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	日本語の文法　：条件、名詞修飾 語彙（2）	講義、ワーク 質疑応答	教科書 46-50 頁を読む（予習） レジュメに目を通す　（復習）
10	日本語らしい表現：連体修飾/連用修飾 語彙（3）　　省略、「は/が」、「のだ」	講義、ワーク 質疑応答	教科書 52-57 頁を読む（予習） レジュメに目を通す　（復習）
11	日本語らしい表現：とりたて助詞、敬語 表記（1）　　日本語学習者の日本語	講義、ワーク 質疑応答	教科書 58-74 頁を読む（予習） レジュメに目を通す　（復習）
12	日本語の変化と多様性：ら抜きことば 表記（2）　　古典語、地域差	講義、ワーク 質疑応答	教科書 76-83 頁を読む（予習） レジュメに目を通す　（復習）
13	日本語の変化と多様性：方言、位相語、 表記（3）　　差別ことば	講義、ワーク 質疑応答	教科書 84-95 頁を読む（予習） レジュメに目を通す　（復習）
	定期試験を実施する Final Exam will be held		
14	試験の返却および講評 本科目のフィードバック	講義、質疑応答	まとめノートの作成　（予習） 全レジュメの見直し　（復習）

テキスト	庵功雄・日高水穂・前田尚子・山田敏弘・大和シゲミ『やさしい日本語のしくみ』（くろしお出版）
参 考 書	佐々木泰子『ベーシック日本語教育』（ひつじ書房） 今井新悟　『いちばんやさしい日本語教育入門』（アスク出版）

科目名	LNG302:　語用論					担当教員	近藤　佐智子
開講期	秋	開講時限	月木 4 限			研究室	4208
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	言語学、会話、異文化間語用論、発話行為、ポライトネス、含意
授業の概要	会話における相互理解の仕組みに関する語用論の理論を理解した上で、日本語母語話者が英語で「断り」や「依頼」などの発話行為をする場合どのような誤解が起こりうるのか、異文化間コミュニケーションや英語学習の視点から考察する。授業は、講義と練習問題、質疑応答、ロールプレイ、グループディスカッションによって進める。最後に受講者は各自実際に会話を語用論的視点で分析する研究プロジェクトを行い、レポートにまとめ口頭発表する。
達成目標（授業の目的）	実際に会話を行う際の相互理解のプロセスについて理解を深めることを目標とする。語用論の理論について学んだ上で、実際に会話を分析することによって、言語に関する理解を深めると同時に分析結果を発表する力をつける。また、異文化間語用論的視点で日本語と英語を比較することによって、英語でのコミュニケーション能力を高める。
到達目標（学修成果）	会話の仕組みについての語用論の理論を理解し、具体例を挙げて理論を説明できるようになる。文化的価値観が言語使用にどのような影響を与えるかを理解し、日本語と英語を比較する能力をつける。相手に失礼にならないような、状況に合った適切な英語を使用する能力をつける。映画やドラマの中の会話を語用論的視点で分析し、その結果を書面（レポート）と口頭で表現できるようになる。
評価方法	小テスト 2 回（50%）レポート（15%）発表（10%）授業時の積極参加（25%）
評価基準	**小テスト 2 回（50%）**小テスト 1（25%）具体例を挙げて理論を論理的に説明できるか。語用論の用語を理解しているか。 小テスト 2（25%）例を挙げて会話分析、異文化間・中間言語語用論の用語を論理的に説明できるか。英語での発話行為を適切に行うことができるか。 **レポート（15%）**理論の紹介が適切に行われているか。語用論的視点から会話を分析できているか。論理的に分かりやすく書かれているか。書式が守られているか。 **発表（10%）**発表の内容（理解して発表しているか、分かりやすく伝えることができたか）、発表の態度（声の大きさ、話し方などが効果的か）。 **授業時の積極参加（25%）**Participation Worksheet 5 回の提出とその内容の質（20%）、授業での予習・復習に関する質疑応答（5%）
課題等に対するフィードバック方法	・Moodle で行う ・口頭で行う
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	導入：授業の概要と評価方法 What is Pragmatics?（語用論とは何か）	講義、ディスカッション	テキスト 15-22 頁を読む
2	What is Pragmatics?（語用論とは何か）：状況の中での発話の意味	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 15-22 頁を読む
3	Greeting（挨拶）	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 1-8 頁を読む
4	Communicative Competence（言語運用能力）	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 9-15 頁を読む
5	Speech Acts（発話行為）：理論と分類	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 23-30 頁を読む
6	Speech Acts（発話行為）：間接発話行為	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 47-54 頁を読む

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Conversational Implicature（会話による含意）：協調の原則	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 39-46 頁を読む
8	Conversational Implicature（会話による含意）：会話の分析	講義、ビデオ視聴 ディスカッション	テキスト 39-46 頁を読む
9	Politeness（ポライトネス）: Brown & Levinson の理論	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 55-63 頁を読む
10	Politeness（ポライトネス）: Leech の理論	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 64-71 頁を読む
11	日本語と英語のポライトネス	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「日英のポライトネス」を読む
12	小テスト 1（40 分） 復習（60 分）	小テスト、講義	小テストのための復習
13	会話分析：隣接応答ペア	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「会話分析：隣接応答ペア」を読む
14	会話分析：修復 小テスト 1 の返却、および講評	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「会話分析：修復」を読む
15	会話分析：優先構造	講義、質疑応答、ディスカッション	資料「会話分析：優先構造」を読む
16	語用論的視点からの会話の分析（英語） レポートと発表について	ビデオ視聴、講義、ディスカッション	談話完成タスク データの分析
17	語用論的視点からの会話の分析（日本語）	ビデオ視聴、講義、ディスカッション	発表の題材を考える データの分析
18	Cross-cultural Pragmatics（異文化間語用論） Interlanguage Pragmatics（中間言語語用論）	講義、質疑応答、ディスカッション	テキスト 80-86 頁読む
19	日英比較：Apologies（謝罪） Participation Worksheet ①	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Apologies」を読む
20	Apologies（謝罪） 中間言語語用論での謝罪の研究	講義、ディスカッション	テキスト 31-38 頁を読む
21	日英比較：Requests（依頼） Participation Worksheet ②	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Requests」を読む テキスト 72-79 頁を読む
22	日英比較：Compliments（誉め） Participation Worksheet ③	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Compliments」を読む
23	日英比較：Refusals（断り） Participation Worksheet ④	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Refusals」を読む
24	日英比較：Complaints（不満表明） Participation Worksheet ⑤	ロールプレイ、ディスカッション、講義	資料「Complaints」を読む レポート作成
25	中間言語語用論での誉め、断り、不満表明の研究	講義、ディスカッション	誉め、断り、不満表明に関する資料を読む
26	小テスト 2（40 分） 復習（60 分）	小テスト、講義	小テストのための復習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	語用論的視点からの会話の分析（発表）	学生の発表 ディスカッション	発表の準備 レポート作成
28	小テスト 2 の返却、および講評 レポート提出、復習と総括	講義、ディスカッション	レポート提出

テキスト	田中典子『プラグマティクス・ワークショップ一身のまわりの言葉を語用論的に見る』（春風社）、Sachiko Kondo. *Cross-cultural Pragmatics: Speech Acts*（オリジナル資料）.
参 考 書	岡本真一郎（編）『ことばのコミュニケーション』（ナカニシヤ出版） ヘレン・スペンサー＝オーティー（編著）『異文化理解の語用論』（研究社）
その他 特記事項	テキストと資料は日本語と英語で書かれているので、日本語と英語での予習復習が必要である。

科目名	LNG320: バイリンガル教育					担当教員	宮崎　幸江
開講期	秋	開講時限	木 4 限			研究室	4217
分類	選択	単位	2	標準受講年次	1・2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	バイリンガル、母語、継承語、手話、アイデンティティ
授業の概要	バイリンガルの言語習得や文化習得に関する応用言語学の理論とバイリンガル教育の方法について学ぶ。日本に住む外国人の子どもたちの言語環境や課題、手話を母語とする「ろう」の人々についても学び、言語マイノリティや言語とアイデンティティの関係について多文化共生的な視点で考えていく。
達成目標（授業の目的）	本科目は、バイリンガルの言語発達や言語教育の方法を理解し、日本人が海外で育った場合の日本語保持や、日本国内に住む外国人の子どもたちの教育課題について、バイリンガルを取り巻く様々な事象について理解できるようになることが目的である。同時に言語マイノリティの立場への理解を深め、手話言語を母語とする人々についても知識を得る。
到達目標（学修成果）	学生はバイリンガルとモノリンガルの言語発達の違いや特徴、それぞれの教育方法を学ぶことにより、言語や文化的多様性を持つ人々のことを理解できるようになる。さらに、バイリンガリズムについて具体的な事例を、専門用語を用いて分析し記述できるようになる。
評価方法	① ミニレポート：20% ② 中間テスト（授業内試験）：30% ③ プレゼンテーション（グループ）：20% ④ 期末レポート：30%
評価基準	① ミニレポート：課題の文献を読んで理解できているかどうかを評価する。 ② 中間テスト（授業内試験）：理論や専門用語など基礎的な授業内容の理解を評価する。 ③ プレゼンテーション（グループ）：授業で学んだ理論等に基づいて分析しているかを評価する。 ④ 期末レポート：テーマの理解と理論を使い適切にまとめられているかを評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	グローバル化と在日外国人	講義、グループディスカッション、質疑応答	A 第 1 章を読んで、ノートにまとめる
2	にほんで育つ多文化の子どもたち 就学不明の問題	講義、グループディスカッション、質疑応答	A 第 2 章を読んで、ノートにまとめる
3	「発達障害」と間違われる外国人の子ども	講義、グループディスカッション、質疑応答	A 第 3 章を読んで、ノートにまとめる
4	海外子女の教育、母語と外国語	講義、グループディスカッション、質疑応答	B 第 1~4 章を読んで、ノートにまとめる
5	バイリンガルの言語発達、年齢要因、母語保持	講義、グループディスカッション、質疑応答	B 第 5~10 章を読んで、ノートにまとめる
6	家庭でできるバイリンガルの基礎づくり	講義、グループディスカッション、質疑応答	B 第 11~16 章を読んで、ノートにまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	ことばとアイデンティティ	講義、グループディスカッション、質疑応答	B 第 17~20 章を読んで、ノートにまとめる
8	ファミリーランゲージポリシー グループプレゼンテーション	講義、グループディスカッション、質疑応答	プレゼンテーションの準備
9	ろう・難聴者の言語生活、デフファミリー、コーダ	講義、グループディスカッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめる
10	バイリンガルろう教育	講義、グループディスカッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめる
11	ろうの言語とアイデンティティ	講義、グループディスカッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめる
12	「やさしい日本語」を考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめる
13	日本人特権を考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	資料を読んで、要点をまとめる
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
14	まとめ	講義、グループディスカッション、質疑応答	レポート作成

テキスト	A 毎日新聞取材班（編）『にほんでいきる　外国からきた子どもたち』（明石書店） B 中島和子『言葉と教育　海外で子どもを育てている保護者のみなさまへ』（公益財団法人海外子女教育振興財団）

科目名	EDU310:　初等教育					担当教員	杉村　美佳
開講期	秋	開講時限	火金 3 限			研究室	4220
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	4-⑤

キーワード	小学校教育、発達教育学、初等教育史、教育課程、教育方法、指導案の作成、模擬授業
授業の概要	前半では、児童期の発達の段階と筋道を、主に発達教育学の視点から学ぶ。後半では、教育課程論、教育方法論、初等教育の歴史と現状、課題について探求する。授業実践について理解を深めるため、実際に小学校の授業を見学し、その上で指導案の作成と模擬授業を行う。
達成目標（授業の目的）	児童期の発達や初等教育の基礎理論および課題を理解し、授業実践に必要な知識や技術の基礎を習得する。児童の発達や興味・関心に即した指導案を作成し、模擬授業を行うことを通して、実践的な指導力の基礎を身につけることを目標とする。
到達目標（学修成果）	1. 初等教育の現状と課題を学び、教師論や教育課程論等を理解することを通して、初等教育の理論や実践に関する基礎知識を身につける。 2.『教育の段階』のブックレポート作成を通して、児童期の発達の筋道を理解し、発達段階に即した教育のあり方を考察できるようになる。 3. 小学校見学をもとに「総合的な学習の時間」の指導案を作成し、模擬授業を行い、相互に授業評価をし合うことによって、効果的に児童への指導が行える力を養う。
評価方法	1. 授業時に課すリアクション・ペーパー（30%）、2.『教育の段階』のブックレポート（30%） 3. ①小学校見学のレポート（10%）、②指導案の作成・発表（30%）
評価基準	1. リアクション・ペーパー：論題について授業内容をふまえて論理的に論述できているか。 2.『教育の段階』のブックレポート：テキストの内容を理解し、発達の筋道に即した教育のあり方について、講義内容もふまえて考察できているか。 3. ①小学校見学のレポート：教師と児童の様子、授業のねらいや工夫を捉えているか。 ②指導案の作成・発表：ねらいが明確で一貫性があり、学習者の発達や興味に即した指導案であるか、指導案を効果的に実践する工夫がなされているか、を評価する。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	小学生をめぐる今日的課題	講義・討議・リアクション・ペーパー	配付資料の要約・考察
2	小学生の時代的変化	講義・討議・リアクション・ペーパー	小学生の問題を調べる 配付資料の要約・考察
3	児童期の発達の諸側面と教育（1） ―認知的発達―	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	ピアジェの理論について調べる、配付資料の考察
4	児童期の発達の諸側面と教育（2） ―社会的・人格的発達―	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	社会性の発達について調べる、配付資料の要約・考察
5	児童期における道徳性の発達と教育（1） ―コールバーグの道徳性発達理論―	講義・討議・リアクション・ペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
6	児童期における道徳性の発達と教育（2） ―道徳教育の現状と課題―	講義・討議・リアクション・ペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
7	児童期における問題行動の意味（1） ―非社会的問題行動―	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	問題行動について調べる DVD の内容の要約・考察

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	児童期における問題行動の意味（2） ―反社会的問題行動―	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	問題行動について調べる DVD の内容の要約・考察
9	『教育の段階』のレポート発表（1）	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』1 のレポート 『教育の段階』の復習
10	特別支援教育の現状と課題	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	特別支援教育について調べる、配付資料の要約・考察
11	初等教育の内容と教育課程（1） ―カリキュラムの分類―	講義・討議・リアクション・ペーパー	コア・カリキュラムを調べる、配付資料の要約・考察
12	初等教育の内容と教育課程（2） ―学習指導要領の変遷―	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
13	『教育の段階』のレポート発表（2）	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』2 のレポート 『教育の段階』の復習
14	秦野市の教育の現状と課題	講義・討議・リアクション・ペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
15	「総合的な学習の時間」の原理と方法	講義・討議・リアクション・ペーパー	総合学習について調べる 配付資料の要約・考察
16	「総合的な学習の時間」の系譜	講義・討議・リアクション・ペーパー	デューイについて調べる 配付資料の要約・考察
17	小学校教師とは	講義・討議・リアクション・ペーパー	教師の問題について調べる 配付資料の要約・考察
18	現代における授業改革	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	アクティブ・ラーニングを調べる、DVD の要約・考察
19	小学校見学	見学	見学のポイントを作成 見学のレポート作成
20	『教育の段階』のレポート発表（3）	口頭発表・討議・解説	『教育の段階』3 のレポート 『教育の段階』の復習
21	欧米の初等教育	講義・DVD 視聴・リアクション・ペーパー	配付資料を読む 配付資料の要約・考察
22	指導案とは―指導案の作成方法―	講義、グループワーク	配付資料を読む 指導案の作成
23	指導案の作成（1）―単元・ねらいの設定―	各自指導案の作成	指導案の作成
24	指導案の作成（2）―教材・教具―	各自指導案の作成	指導案の作成
25	指導案の作成（3）―指導方法・評価―	各自指導案の作成	指導案の作成
26	模擬授業（1）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	模擬授業（2）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習
28	模擬授業（3）	模擬授業、相互評価 講評	模擬授業の準備と練習

テキスト	なし。毎回書き込み式講義ノートと新聞記事などの資料を配付する。
参考書	モーリス・ドベス著、堀尾輝久他訳『教育の段階―誕生から青年期まで』（岩波書店） 近藤邦夫他編『児童期の課題と支援』（新曜社）
その他 特記事項	秦野市教育委員会からゲストスピーカーを招き、秦野市の取り組みに関する講義を行う。

科目名	SLE201:　サービスラーニング入門講座					担当教員	宮崎　幸江
開講期	春	開講時限	水 2 限			研究室	4217
分類	選択	単位	1	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①, 5-②

キーワード	サービスラーニング、キリスト教ヒューマニズム、秦野市、多文化共生
授業の概要	サービスラーニングへの参加を希望している学生に対して、サービスラーニングとは何か、本学のサービスラーニングの精神や歴史、フィールドである秦野市について、公教育で求められるボランティアの役割、子どもの発達など、毎回異なる講師により多様な視点から講義を聞く。講義の後、グループディスカッションと全体での意見交換を行う。
達成目標（授業の目的）	本科目では、サービスラーニングに参加することを前提に、地域貢献の精神や活動する秦野市に関する基礎知識を得るとともに、教育現場でのニーズについて学ぶことができる。また、様々な立場の人々から話を聞くことで、視野を広がり多文化共生的な視点を養うことを目的とする。
到達目標（学修成果）	本学のサービスラーニングの内容や特徴を理解し、具体的にどのサービスラーニングが自分に合っているかをイメージできるようになる。また、その活動の持つ社会貢献としての意味や自分自身にどのような学びを得られるか、どのように関わって行きたいかを主体的に考えられるようになる。
評価方法	①　授業への積極参加：25% ②　リアクションペーパー：25% ③　期末レポート：50%
評価基準	①　授業への積極参加：毎回行うグループディスカッションと最終回にグループで行うプレゼンテーションへの積極的な参加を評価する。 ②　リアクションペーパー：期限内に提出できているか、内容が適切かなどを評価する。 ③　期末レポート：本学のサービスラーニングの精神について理解し、自分が参加する際にどのような貢献をしたいか具体的に考えているかを評価する。 ※成績は「P（合格）」「X（不合格）」のいずれかで評価されます
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	サービスラーニングとは何か：サービスラーニングの歴史、目的、本学の伝統	講義、グループディスカッション、質疑応答	講義用ノートを準備する
2	キリスト教とボランティア：社会に尽くす活動をした人々	講義、グループディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで関連する事柄について調べる
3	異文化理解：言語や文化の異なる人々との協働	講義、グループディスカッション、質疑応答	インターネット等で南米の国々を調べる
4	特別な個性を持つ子どもたち：多様な子どもたちの捉え方や接し方を学ぶ	講義、グループディスカッション、質疑応答	関連するトピックについて調べてみる
5	はだの学：サービスラーニングを行う秦野市について知る	講義、グループディスカッション、質疑応答	関連する記事やサイトを探してみる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
6	秦野市の学校におけるボランティアの役割：開かれた学校教育の現場とは	講義、グループディスカッション、質疑応答	最終回のポスタープロジェクトの準備をする
7	みんなで考えるサービスラーニング：サービスラーニングの意味と目的	ディスカッション、ポスター作成、発表	レポートを書く

テキスト	ハンドアウトを Moodle で共有、またはパワーポイントスライドを用いての講義となる。

科目名	SLE305: サービスラーニング（児童英語教育 A）					担当教員	狩野　晶子
開講期	春	開講時限	水 1・2 限			研究室	4203
分類	選択	単位	3	標準受講年次	2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-②

キーワード	児童英語教育、言語習得、サービスラーニング、地域連携
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。前提科目で学んだ知識をもとに、地域教育施設で小学生へのイングリッシュフレンド（EF）サービスラーニングを行い、授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。
達成目標（授業の目的）	児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつけることがこの授業の目的である。主に小学校高学年を対象に、児童の認知発達や特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成をする。それを用いて児童英語教育サービスラーニングを行う。実践をもとに、自らの指導を検証、評価し改善する経験を積むことを目標とする。
到達目標（学修成果）	児童英語教育の基礎知識を活かし、主に小学校高学年を対象とした英語指導の目的と意義に沿う指導案と教材、教具等を作成し、児童英語教育サービスラーニングを行うことができる。グループでの授業準備、小学校での実践を踏まえた相互評価と省察を通して、指導力の育成と自らの指導を検証、評価し改善する課題発見力、課題解決力、協働力が身につく。
評価方法	①授業でのグループワーク参加姿勢（30%） ②指導案・教材・教具作成（20%） ③サービスラーニング実習（30%） ④各回の省察をもとにした期末課題（20%）
評価基準	①授業内のすべての活動およびグループワーク等への積極的参加、協力しあい主体的に関わる姿勢とそれを反映した省察を評価する。②児童特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成への取り組みを評価する。③実習における指導の内容、構成、準備と練習の成果を評価する。④各回の省察の蓄積をもとに、改良改善への取り組みの過程を評価する。 ※成績は「P（合格）」「X（不合格）」のいずれかで評価されます。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・上記以外で行う／other:
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教育・小学校外国語（英語）教育とは：これまでの学習内容の確認	講義、指導実践 グループワーク	既習科目の内容復習 Moodle 登録・活用方法確認
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論・発達理論	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導に有用な素材集め
3	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践を反映した授業案とは	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案作成の準備
4	テキスト概観：学習指導要領に照らして小学校外国語（英語）教育を考える	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具作成
5	Communicative Language Teaching の観点からイングリッシュフレンド指導案を考える	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導案・教材・教具作成
6	小学校高学年への指導案をもとに模擬授業発表①	指導実践、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
7	小学校高学年における学習者の特徴を踏まえた指導案・教材教具の在り方	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
8	小学校高学年への指導案をもとに模擬授業発表②	指導実践、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（1）の研究	講義、学生発表 グループワーク	相互フィードバックと省察をもとに実習準備と実践練習
10	小学校高学年モデル指導案（1）の実践練習 Classroom English の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
11	イングリッシュフレンド・小学校高学年モデル指導案（2）の研究	講義、学生発表 グループワーク	相互フィードバックと省察をもとに実習準備と実践練習
12	小学校高学年モデル指導案（2）の実践練習 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	実習準備と実践練習 指導案・教材・教具を準備
13	【イングリッシュフレンド】実習 1－1： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動を省察し必要な修正を行う
14	【イングリッシュフレンド】実習 1－2： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動報告・振り返りを書く
15	実習 1 回目の振り返り	グループディスカッション、相互省察	改善点を踏まえ実習 2 回目の計画を立て準備する
16	実習 2 回目に向け改善点を確認、指導案修正、準備と練習	講義、グループワーク、相互省察	改善点を踏まえ実習 2 回目の計画を立て準備する
17	【イングリッシュフレンド】実習 2－1： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動を省察し必要な修正を行う
18	【イングリッシュフレンド】実習 2－2： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動報告・振り返りを書く
19	実習 2 回目の振り返り	グループディスカッション、相互省察	改善点を踏まえ実習 3 回目の計画を立て準備する
20	実習 3 回目に向け改善点を確認、指導案修正、準備と練習	講義、グループワーク、相互省察	改善点を踏まえ実習 3 回目の計画を立て準備する
21	【イングリッシュフレンド】実習 3－1： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動を省察し必要な修正を行う
22	【イングリッシュフレンド】実習 3－2： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動報告・振り返りを書く
23	実習 3 回目の振り返り	グループディスカッション、相互省察	改善点を踏まえ実習 4 回目の計画を立て準備する
24	実習 4 回目に向け改善点を確認、指導案修正、準備と練習	講義、グループワーク、相互省察	改善点を踏まえ実習 4 回目の計画を立て準備する
25	【イングリッシュフレンド】実習 4－1： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動を省察し必要な修正を行う
26	【イングリッシュフレンド】実習 4－2： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動報告・振り返り、期末課題作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	実習 4 回目の振り返り 期末課題提出	グループディスカッション、相互省察	イングリッシュフレンド活動全体の省察
28	期末課題の相互フィードバック	グループディスカッション、相互省察	活動全体の省察を受けて総括 期末課題総括

テキスト	文部科学省『小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編　平成 29 年告示』
参 考 書	影浦攻ほか『Blue Sky elementary 5』『Blue Sky elementary 6』（啓林館）＊令和 6 年版小学校外国語科文部科学省検定教科書
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」「児童英語教育概説」いずれかの単位を修得していることが前提条件となる。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	SLE306: サービスラーニング（児童英語教育 B）					担当教員	狩野　晶子
開講期	秋	開講時限	水 1・2 限			研究室	4203
分類	選択	単位	3	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-②

キーワード	児童英語教育、言語習得、サービスラーニング、地域連携
授業の概要	児童英語教育・言語習得の基本事項をふまえて、実践へと結びつける科目である。前提科目で学んだ知識をもとに、地域教育施設で主に小学校中学年の児童へのイングリッシュフレンド（EF）サービスラーニングを行い、授業実践と省察を通して理論と実践を体得する。
達成目標（授業の目的）	児童英語の指導に必要な知識を身につけ、実践に結びつけることがこの授業の目的である。主に小学校中学年を対象に、児童の認知発達や特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成をする。それを用いて児童英語教育サービスラーニングを行う。実践をもとに、自らの指導を検証、評価し改善する経験を積むことを目標とする。
到達目標（学修成果）	児童英語教育の基礎知識を活かし、主に小学校中学年を対象とした英語指導の目的と意義に沿う指導案と教材、教具等を作成し、児童英語教育サービスラーニングを行うことができる。グループでの授業準備、小学校での実践を踏まえた相互評価と省察を通して、指導力の育成と自らの指導を検証、評価し改善する課題発見力、課題解決力、協働力が身につく。
評価方法	①授業でのグループワーク参加姿勢（30%） ②指導案・教材・教具作成（20%） ③サービスラーニング実習（30%） ④各回の省察をもとにした期末課題（20%）
評価基準	①授業内のすべての活動およびグループワーク等への積極的参加、協力しあい主体的に関わる姿勢とそれを反映した省察を評価する。②児童特性を考慮した指導案と教材、教具等の作成への取り組みを評価する。③実習における指導の内容、構成、準備と練習の成果を評価する。④各回の省察の蓄積をもとに、改良改善への取り組みの過程を評価する。 ※成績は「P（合格）」「X（不合格）」のいずれかで評価されます。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally ・上記以外で行う／other:
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画

回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	児童英語教育・小学校外国語（英語）教育とは：これまでの学習内容の確認	講義、指導実践 グループワーク	既習科目の内容復習 Moodle 登録・活用方法確認
2	児童英語教育の背景となる言語習得理論・発達理論	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導に有用な素材集め
3	言語習得理論・発達理論と児童英語教育の指導実践を反映した授業案とは	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案作成の準備
4	テキスト概観：学習指導要領に照らして小学校外国語（英語）教育を考える	講義、指導実践 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具作成
5	Communicative Language Teaching の観点からイングリッシュフレンド指導案を考える	講義、指導実践 グループワーク	グループワークをもとに省察、指導案・教材・教具作成
6	小学校中学年への指導案をもとに模擬授業発表①	指導実践、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
7	小学校中学年における学習者の特徴を踏まえた指導案・教材教具の在り方	講義、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備
8	小学校中学年への指導案をもとに模擬授業発表②	指導実践、学生発表 グループワーク	授業内容をもとに指導案・教材・教具を改訂・発表準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
9	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（1）の研究	講義、学生発表 グループワーク	相互フィードバックと省察をもとに実習準備と実践練習
10	小学校中学年モデル指導案（1）の実践練習 Classroom English の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	発表準備と実践練習 指導案・教材・教具を改善
11	イングリッシュフレンド・小学校中学年モデル指導案（2）の研究	講義、学生発表 グループワーク	相互フィードバックと省察をもとに実習準備と実践練習
12	小学校中学年モデル指導案（2）の実践練習 教材・教具の効果的な使用	指導実践、学生発表 グループワーク	実習準備と実践練習 指導案・教材・教具を準備
13	【イングリッシュフレンド】実習 1－1： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動を省察し必要な修正を行う
14	【イングリッシュフレンド】実習 1－2： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動報告・振り返りを書く
15	実習 1 回目の振り返り	グループディスカッション、相互省察	改善点を踏まえ実習 2 回目の計画を立て準備する
16	実習 2 回目に向け改善点を確認、指導案修正、準備と練習	講義、グループワーク、相互省察	改善点を踏まえ実習 2 回目の計画を立て準備する
17	【イングリッシュフレンド】実習 2－1： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動を省察し必要な修正を行う
18	【イングリッシュフレンド】実習 2－2： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動報告・振り返りを書く
19	実習 2 回目の振り返り	グループディスカッション、相互省察	改善点を踏まえ実習 3 回目の計画を立て準備する
20	実習 3 回目に向け改善点を確認、指導案修正、準備と練習	講義、グループワーク、相互省察	改善点を踏まえ実習 3 回目の計画を立て準備する
21	【イングリッシュフレンド】実習 3－1： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動を省察し必要な修正を行う
22	【イングリッシュフレンド】実習 3－2： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動報告・振り返りを書く
23	実習 3 回目の振り返り	グループディスカッション、相互省察	改善点を踏まえ実習 4 回目の計画を立て準備する
24	実習 4 回目に向け改善点を確認、指導案修正、準備と練習	講義、グループワーク、相互省察	改善点を踏まえ実習 4 回目の計画を立て準備する
25	【イングリッシュフレンド】実習 4－1： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動を省察し必要な修正を行う
26	【イングリッシュフレンド】実習 4－2： 地域教育施設にての英語教育支援	児童英語教育サービスラーニング活動	サービスラーニング活動報告・振り返り、期末課題作成
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	実習 4 回目の振り返り 期末課題提出	グループディスカッション、相互省察	イングリッシュフレンド活動全体の省察
28	期末課題の相互フィードバック	グループディスカッション、相互省察	活動全体の省察を受けて総括 期末課題総括

テキスト	文部科学省『小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編　平成 29 年告示』
参 考 書	影浦攻ほか『Blue Sky elementary 5』『Blue Sky elementary 6』（啓林館）＊令和 6 年版小学校外国語科文部科学省検定教科書
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」「児童英語教育概説」いずれかの単位を修得していることが前提条件となる。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	SLE301: サービスラーニング（小中学校日本語支援 A）					担当教員	鷲見　あつみ
開講期	春	開講時限	月木 2 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	3	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	年少者日本語教育、多文化共生、複言語主義、入り込み・取り出し支援
授業の概要	・多様な背景をもつ JSL 児童生徒の現状を理解し、地域や学校と連携し、児童生徒への日本語支援を担い、社会的な課題とも向き合う存在であることを自覚する。 ・月曜日は学内で年少者日本語教育理論を体系的に学び、木曜日は各々が小中学校に出向き支援活動を行う。
達成目標（授業の目的）	・グローバル化が進む現代社会で、外国人児童生徒を取り巻く環境や教育課題を理解する。 ・日本の公教育で学ぶ児童生徒の言語能力や情意的側面を捉え、相互理解を深め、多文化共生に向けて自ら考えて行動できるようになること。
到達目標（学修成果）	①　関係者と連携をとりながら、外国人児童生徒に合わせた個別支援を考え行動する。 ②　外国人児童生徒の支援の課題、その他周辺の環境に関する課題を見出すことができる。 ③　サービスラーニング（カレッジフレンド）活動を通して、社会人として成長する。
評価方法	①　授業への主体的な参加　　40% ②　支援記録の作成と提出　　30% ③　最終プレゼンテーション　30%
評価基準	①　授業内で他者との議論の場で積極的に意見を述べているか。 ②　支援記録を作成し提出期限を守っているか。 ③　実習を踏まえ、自身の学びを振り返り、発表ができているか。 ※成績は「P（合格）」「X（不合格）」のいずれかで評価されます。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	秦野市における多文化化の現状	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる。
2	「子どもの日本語教育」の現状（1） 日本語指導体制	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 3-16 頁を読んでノートにまとめる。
3	「子どもの日本語教育」の現状（2） 外国につながる子どもの背景	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 17-39 頁を読んでノートにまとめる。
4	「子どもの日本語教育」の実践（1） 言語能力の把握	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 43-59/109-126 頁を読んでノートにまとめる。
5	「子どもの日本語教育」の実践（2） 教科学習と日本語学習	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 81-105 頁を読んでノートにまとめる。
6	「子どもの日本語教育」の実践（3） 子どものための日本語教材	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 61-79 頁を読んでノートにまとめる。
7	支援準備 リソース室の活用	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んで支援方法をまとめる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	実習①小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
9	実習①振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
10	実習②小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
11	実習②振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
12	実習③小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
13	実習③振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
14	実習④小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
15	中間プレゼンテーション サービスラーニングの意義を振り返る	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
16	実習⑤小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
17	実習⑤振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
18	実習⑥小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
19	実習⑥振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
20	実習⑦小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
21	実習⑦振り返りと報告 「子どもの日本語教育」で育てる言語の力	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	教科書 127-145 頁を読んでノートにまとめる。
22	実習⑧小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
23	実習⑧振り返りと報告 課題を共有し、改善策を考える	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
24	実習⑨小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。
25	実習⑨振り返りと報告 外国につながる子どものキャリアデザイン	講義、ワーク、ディスカッション、質疑応答	支援を内省し、次の支援計画を立てる。
26	実習⑩小中学校での外国人児童生徒への日本語および教科学習支援	入り込み、または個別支援の実習巡回指導	支援の振り返りを書く。 プレゼンテーション準備
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	最終プレゼンテーション（1）	プレゼンテーション	プレゼン PPT 作成　（予習） まとめノート見直し（復習）
28	最終プレゼンテーション（2） 本科目のフィードバック	プレゼンテーション	プレゼン PPT 作成　（予習） まとめノート見直し（復習）

テキスト	西川朋美『外国につながる子どもの日本語教育』（くろしお出版）
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	SLE302: サービスラーニング（小中学校日本語支援B）					担当教員	宮崎　幸江
開講期	秋	開講時限	月木2限			研究室	4217
分類	選択	単位	3	標準受講年次	1・2年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP及び学修成果	DP分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	年少者日本語教育、バイリンガリズム、多文化共生、アクティブラーニング
授業の概要	この授業では、サービスラーニング（カレッジフレンド）に参加し、秦野市内の小中学校に在籍する外国人児童生徒の日本語及び教科学習支援を行う。サービスラーニングでは、決められた学校で木曜日の2限（学期中11回）に活動を行い、月曜日とサービスラーニングのない木曜日には学内で日本語支援の方法やバイリンガル環境の子どもの発達について学ぶ。
達成目標（授業の目的）	グローバル化が進む現代社会における外国人児童生徒を取り巻く環境や教育課題を理解できるようになる。特に日本の学校で学ぶ外国人児童生徒の言語発達について、理論的に考察できるようになる。地域の課題を理解し、多文化共生に向けて自ら行動できるようになる。
到達目標（学修成果）	① 支援対象の言語的ニーズを掴み相手に合わせた支援が工夫できるようになる。 ② 地域の課題に対する理解が進み、多文化共生的な視点からの意見が持てるようになる。 ③ サービスラーニングを通して社会人として成長する。
評価方法	① 授業への積極参加：20% ② サービスラーニング実習：30% ③ プレゼンテーション：20% ④ レポート：30%
評価基準	① 授業への積極参加：授業でディスカッション等に積極的に参加しているかを評価する。 ② サービスラーニング実習：積極的に参加し、毎回振り返りを期日までに提出しているか、また活動において工夫や成長があるかを評価する。 ③ プレゼンテーション：自分の成長や変化、工夫を明確に述べられるかを評価する。 ④ レポート：地域の課題を意識し、サービスラーニングを通して自分の視野を広げられたか、自己の学びを客観的に分析できているかを評価する。 ※成績は「P（合格）」「X（不合格）」のいずれかで評価されます。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均190分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	第1章 公立小学校での「子どもの日本語教育」を知る	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書3-7頁を読んでノートにまとめる
2	第2章 日本社会の中の「子どもの日本語教育」を知る	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書8-12頁を読んでノートにまとめる
3	日本語支援の必要な子どもの特徴	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書12-16頁を読んでノートにまとめる
4	カレッジフレンドの支援対象と内容	講義、グループディスカッション、質疑応答	前年度の報告書を読んで要点をまとめる
5	第3章 子どもの日本語力	巡回先での実習の観察と助言	教科書43-59頁を読んでノートにまとめる
6	実習1：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
7	第5章 教科学習と日本語学習をつなぐ	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書81-108頁を読んでノートにまとめる

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	実習 2：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
9	第 6 章 教科学習に必要な言語力について考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 109-126 頁を読んでノートにまとめる
10	実習 3：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
11	実習 4：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
12	第 7 章 子どもの第 2 言語習得について知る	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 127-145 頁を読んでノートにまとめる
13	実習 5：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
14	第 4 章 子どものための日本語教材を使う・作る	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 61-79 頁を読んでノートにまとめる
15	実習 6：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
16	第 3 章 子どもの日本語力を評価する：評価ツールについて	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 43-49 頁を読んでノートにまとめる
17	実習 7：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
18	第 3 章 子どもの日本語力を評価する：DLA 対話型アセスメント	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 50-59 頁を読んでノートにまとめる
19	実習 8：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
20	第 8 章 日本語という言語を外から見る	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 147-169 頁を読んでノートにまとめる
21	実習 9：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
22	第 9 章 母語・継承語も育てる	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 171-192 頁を読んでノートにまとめる
23	発達障害と外国人の子ども	講義、グループディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる
24	インクルーシブ教育とろう	講義、グループディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる
25	やさしい日本語	講義、グループディスカッション、質疑応答	ハンドアウトを読んでノートにまとめる
26	実習 10：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	実習 11：派遣先での日本語支援	巡回先での実習の観察と助言	支援報告を書く
28	プレゼンテーション	講義、グループディスカッション、質疑応答	レポートを書く

テキスト	西川朋美『外国につながるこどもの日本語教育』（くろしお出版）
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	SLE303:　サービスラーニング（地域日本語支援 A）					担当教員	宮崎　幸江
開講期	春	開講時限	火金 5 限			研究室	4217
分類	選択	単位	3	標準受講年次	2 年	オフィスアワー	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	多文化共生、やさしい日本語、社会参加、居場所、参加型学習
授業の概要	日本に住む外国籍の人々に対して、日本語や教科学習支援を行うために必要な知識やスキルを講義で学び、実習では担当する外国につながりのある学習者に継続して支援を行う。
達成目標（授業の目的）	本科目は、グローバル化により多文化化が進む日本社会において「多文化共生社会」実現のために、地域社会における外国籍市民の課題について理解し、課題解決に向けた行動を起こせる人材を育成することが目的である。
到達目標（学修成果）	日本語非母語話者の日本語のニーズを理解し、相手に合わせてコミュニケーションを図ることができるようになる。支援活動の計画・実践・振り返り・改善という一連の行動を自主的に続けることができるようになる。また、外国籍市民を含む地域社会に目を向け、当事者として考え行動することができるようになる。
評価方法	①　授業への積極参加：20% ②　サービスラーニング実習：30% ③　プレゼンテーション：20% ④　レポート：30%
評価基準	①　授業への積極参加：授業での話し合いに積極的に参加し貢献できているかを評価する。 ②　サービスラーニング実習：実習に積極的に参加し、毎回の振り返りを期限内に提出しているか、また活動において工夫や成長があるかを評価する。 ③　プレゼンテーション：それまでの支援での工夫や学びを評価する。 ④　レポート：活動をまとめ自己の学びを分析できているかを評価する。 ※成績は「P（合格）」「X（不合格）」のいずれかで評価されます。
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	日本で育つ外国人家庭のこども 言語と教育問題	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 8-16 頁を読んでノートにまとめる
2	グローバル化と日本の学校文化 秦野市の多文化化の状況について考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 17-24 頁を読んでノートにまとめる
3	居場所としての地域日本語教室	講義、グループディスカッション、質疑応答	教科書 42-52 頁を読んでノートにまとめる
4	多様な子どもたちと日本語支援	講義、グループディスカッション、質疑応答	リソースルームで成人用の教材を閲覧する
5	多様な保護者	講義、グループディスカッション、質疑応答	リソースルームで子ども用の教材を閲覧する
6	教材選びと支援の方法	講義、グループディスカッション、質疑応答	前の学期の支援報告を読み、要点をまとめる
7	実習 1：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	1回目の振り返り 支援相手を知る：人間関係の構築	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
9	実習2：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
10	2回目の振り返り やさしい日本語について	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
11	実習3：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
12	3回目の振り返り 読む力をつける方法	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
13	実習4：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
14	4回目の振り返り 読み聞かせの方法	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
15	実習5：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
16	子どもたちの家庭環境を考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
17	実習6：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
18	サービスラーニングの意味と自己の学びを考える	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
19	実習7：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
20	個々の子どもの課題を整理する	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
21	実習8：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
22	子どもの個性にあった支援方法	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
23	実習9：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
24	夏祭りプロジェクトの計画	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
25	実習10：コミュニティフレンド拠点での日本語支援	拠点での観察と指導	支援報告を書く
26	夏祭りプロジェクトの計画	講義、グループディスカッション、質疑応答	支援計画を立てる
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	実習11：コミュニティフレンド拠点での日本語支援　日本語支援と夏祭り	拠点での観察と指導	支援報告を書く
28	プレゼンテーションとまとめ	講義、グループディスカッション、質疑応答	レポートを書く

テキスト	咲間まり子『保育者のための外国人保護者支援の本』（かもがわ出版）
履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	SLE304:　サービスラーニング（地域日本語支援 B）					担当教員	鷲見　あつみ
開講期	秋	開講時限	火金 5 限			研究室	4 号館 2 階　講師控室
分類	選択	単位	3	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	4, 5	専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。 地球市民的意識を形成し、多文化共生の実現のための実践ができます。	4-⑤, 5-①

キーワード	多文化共生、地域日本語教室、日本語支援を必要とする JSL 児童生徒
授業の概要	・外国人家庭の子どもに対する日本語および教科学習支援を通して、彼らの背景・現状・社会課題について考え、活動する。 ・火曜午後 18~19 時半まで「はだの子ども館」において支援活動を行い、金曜日 5 限は学内で教科学習支援の振り返りや課題を共有する。 ・動画視聴で他の地域日本語教室の実情を学び、テキストを基に年少者日本語教育への理解を深め、議論を進める。
達成目標（授業の目的）	・外国人家庭を取り巻く現状を理解し、外国人児童生徒の日本語能力や背景に応じた支援活動を継続的に行う力を養う。 ・活動後の振り返りで課題を見出し、次の実践に繋げることができるようになる。 ・様々な立場の支援者と連携を図り、柔軟に対応・協力する力を養う。
到達目標（学修成果）	①　JSL 児童生徒との信頼関係を構築し、活動に取り組むことができる。 ②　JSL 児童生徒の課題や改善策を自ら考え行動できる。 ③　多文化共生社会の担い手として成長すること。
評価方法	①　授業への主体的な参加と意見を述べる姿勢　25% ②　コミュニティフレンドでの主体的な活動と報告書提出　25% ③　イベントの企画と実施　25% ④　学期末のプレゼンテーション（振り返り）　25%
評価基準	①　授業やグループ活動で主体的な意見を述べているか。 ②　自身の実践活動を振り返り、期日までに報告書を提出したか。 ③　仲間と協力してイベントが実施できたか。 ④　自身の実践を客観的に振り返ることができているか。 ※成績は「P（合格）」「X（不合格）」のいずれかで評価されます。
課題等に対するフィードバック方法	・口頭で行う／orally
準備学修の時間	本科目の一回（100 分）の授業のための授業外学修（予習・復習）時間は、平均 190 分が求められる。

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	秦野市の多文化共生の現状 動画視聴や調べ学習	講義、ディスカッション、質疑応答	配布資料を事前に読む 調べ学習の学びをまとめる
2	地域日本語教室の事例と理解 動画視聴や調べ学習	講義、ディスカッション、質疑応答	配布資料を事前に読む 調べ学習の学びをまとめる
3	地域日本語教室の事例と理解 資料配布	講義、ディスカッション、質疑応答	配布資料を事前に読む 調べ学習の学びをまとめる
4	日本語能力の育成と見極め 学習指導要領やバンドスケールの見方	講義、ディスカッション、質疑応答	配布資料を事前に読む 活動への疑問点をまとめる
5	支援準備 リソース室の活用	講義、ディスカッション、質疑応答	活動準備
6	実習① 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
7	振り返り① 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動準備

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
8	実習② 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
9	振り返り② 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動準備
10	実習③ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
11	振り返り③ 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動準備
12	実習④ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
13	振り返り④ 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動準備
14	実習⑤ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
15	振り返り⑤　イベントの企画 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動準備
16	実習⑥ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
17	振り返り⑥　イベントの準備 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動準備
18	実習⑦ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
19	振り返り⑦　イベントの準備 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動準備
20	実習⑧ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
21	振り返り⑧　イベントの振り返り 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動準備
22	実習⑨ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
23	振り返り⑨ 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動準備
24	実習⑩ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
25	振り返り⑩ 報告を基に課題共有、支援準備の検討	講義、ディスカッション、質疑応答	活動準備
26	実習⑪ 「はだのこども館」での日本語教科支援	コミュニティフレンド参加	活動記録の記入
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	振り返り⑪ 報告を基に課題共有、プレゼン準備	講義、ディスカッション、質疑応答	プレゼンテーションの完成
28	最終プレゼンテーション	プレゼンテーション 質疑応答	本活動の学び/活動への課題/提言をノートにまとめる

履修条件、前提科目	本講の履修には「サービスラーニング入門講座」の単位を修得していることが前提条件となる。
その他特記事項	本講は「学外での実践的教育を含む開講科目・実務経験のある教員等による開講科目」にあたる。

科目名	EDU322:　リテラシーと多文化教育					担当教員	M. Lupas
開講期	秋	開講時限	火金 5 限			研究室	4206
分類	選択	単位	4	標準受講年次	1・2 年	ｵﾌｨｽｱﾜｰ	履修要覧 P.19 を参照のこと

DP 及び学修成果	DP 分類	DP（卒業認定・学位授与の方針）概要	学修成果獲得の観点
	3, 4	自己発信力に重点を置いた英語力を身につけ、英語を実践的かつ学術的に運用できます。専門的知識を身につけ、自律した学修者として研究する力を修得できます。	3-④, 4-⑤

キーワード	literacy education, multicultural education, teaching reading, teaching young learners
授業の概要	The course is taught in English and introduces the principles of reading and writing instruction used in kindergarten through elementary school grade 5 in the United States. Students will analyze videos of classroom teaching to understand how these principles are applied. Students can use the knowledge gained in this course to improve their skills as English language tutors. They will also gain awareness of cross-cultural differences between the American and Japanese education systems.
達成目標（授業の目的）	Course goals are: ・to understand the basic principles of teaching how to read and write in monolingual, bilingual, and multilingual classrooms, ・to become familiar with methods and materials used to teach literacy skills at the elementary school level, ・and to become aware of cross-cultural similarities and differences in approaches to literacy education.
到達目標（学修成果）	By the end of the course, students will be able to do the following: (1) Understand and give examples of the key components of teaching reading and how they are carried out in the elementary school classroom. (2) Write clear and organized texts of 300 words or more in English on a regular basis. (3) Summarize and critique the contents of video case studies in small and large group discussion. (4) Compare their own learning experiences with those depicted in the videos and readings.
評価方法	Participation and discussion 50% Reaction papers 50%
評価基準	(1) Participation and discussion: Demonstrate accurate comprehension of the readings and videos as well as show ability to reflect on the contents by responding effectively to the instructor's questions orally or through in-class tasks including small-group and whole-group discussions. Demonstrate understanding of the definition of vocabulary, keywords, and key components of literacy by using them to answer the instructor's questions and comment on the videos. (2) Reaction papers: Punctuality, completeness (meets required length of 300 words), organization, and detail in describing, analyzing, and evaluating the video case studies of teaching. Ability to think critically about the video contents (basic components of reading, key terminology, and concepts of literacy instruction as demonstrated in the videos and readings). Ability to compare one's own learning experiences with those depicted in the videos.
課題等に対するフィードバック方法	・Loyola / Moodle / Google Forms で行う／Loyola / Moodle / Google Forms ・口頭で行う／orally
準備学修の時間	For each 100-minute class session of this course, an average of 190 minutes is needed for out-of-class study (assignments, review, etc.).

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
1	Introduction to the course; ice-breaking; specialized Vocabulary for literacy	video, lecture, reading	After the first class, preview *Lens on Literacy (Lens)* p.5
2	Grades K-2: Video 1: Becoming readers and writers; types of reading activities; symbols	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
3	Grades K-2: Video 1: Becoming readers and writers; Introduce reaction papers	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
4	Grades K-2: Video 2: Writer's Journal Elements of the classroom environment	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
5	Grades K-2: Video 2: Writer's Journal Textbook reading: "Oral Language" p.8	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
6	Grades K-2: Video 3: Building oral language Phonics	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
7	Grades K-2: Video 3: Building oral language Who benefits from multicultural education?	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
8	Grades K-2: Video 4: Thalia learns the details Textbook reading: “Phonological Awareness” p.9	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
9	Grades K-2: Video 4: Thalia learns the details Phonological and phonemic awareness	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
10	Grades K-2: Video 5: Assessment driven instruction. Onset and rime; miscue	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
11	Grades K-2: Video 5: Assessment driven instruction. Self-monitoring, metacognition	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
12	Grades K-2: Video 6: Cassandra becomes a fluent reader. Textbook reading: “Fluency” p.11	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
13	Grades K-2: Video 6: Cassandra becomes a fluent reader. Textbook: “Vocabulary” p.12	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
14	Grades K-2: Video 7: Connecting Skills to Text Textbook reading: “Prior Knowledge” p.13	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
15	Grades K-2: Video 7: Connecting Skills to Text Textbook reading: “Comprehension” p.14	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
16	Grades K-2: Video 8: Promoting readers as leaders. Textbook reading: “Motivation” p.15	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
17	Grades K-2: Video 8: Promoting readers as leaders. Textbook: “Integrated Reading” p.16	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
18	Grades K-2: Video 11: Staying on Topic Autonomy	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
19	Grades K-2: Video 11: Staying on Topic Textbook reading: “Assessment” p.18	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
20	Grades 3-5: Workshop 1: Creating contexts for learning.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
21	Present reaction paper. Textbook reading: “Culture factor” p.19	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
22	Grades 3-5: Workshop 2: Fluency and word study.	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
23	Present reaction paper. Textbook reading: “The Role of Practice” p.20	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
24	Grades 3-5: Workshop 3: Building comprehension	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
25	Present reaction paper. Textbook reading: “Conclusion” p.21	group work, video, discussion	write a reaction paper and do the textbook reading
26	Grades 3-5: Choice of classroom video to view	video, lecture, Q&A, checklist, and other tasks	read video description handout
	定期試験を実施しない Final Exam will not be held		
27	Present reaction paper. Discussion.	group work, video, discussion	write a reaction paper
28	Review and individual consultations.	lecture, one-on-one consultations	read video description handout

テキスト	① Elizabeth Pang and others. *Teaching Reading* (UNESCO International Bureau of Education, PDF in Moodle). ② Videos and handouts from http://learner.org and other sources.
参 考 書	Horn, Martha, and Mary Ellen Giacobbe. *Talking, Drawing, Writing* (Stenhouse). Banks, James. *An Introduction to Multicultural Education* (Pearson).
その他 特記事項	Reaction papers for this class should be written in English.